

道々芽木遺跡

—新環状・西関東道路建設に伴う発掘調査報告書—

2001.3

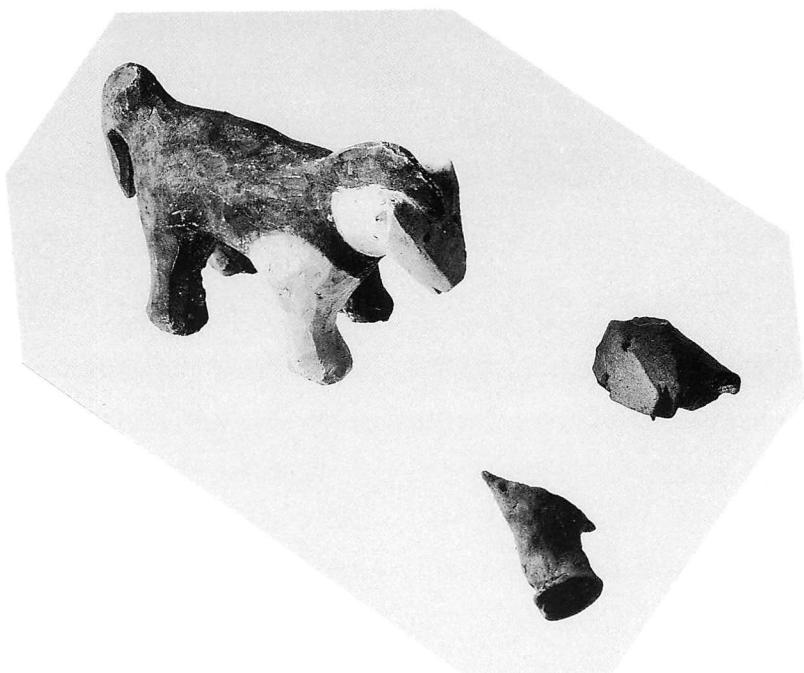
山梨県教育委員会
山梨県土木部

道々芽木遺跡

—新環状・西関東道路建設に伴う発掘調査報告書—

2001.3

山梨県教育委員会
山梨県土木部



2号溝出土土馬破片と復元資料



2号溝出土土器

序 文

本書は、新環状・西関東道路建設に伴い平成11年度に発掘調査された甲府市道々芽木遺跡の発掘調査報告書であります。今回の調査は本線建設に先立ち切り回しが必要となった道路部分を対象としたもので、幅5m・長さ約160mの面積約800m²を発掘いたしました。

本遺跡は、これまで山梨英和短期大学敷地内の道路や建物建設地を対象として数次にわたり甲府市教育委員会により発掘調査が行われて来ておりますが、それらの調査では奈良・平安時代の遺物が多く出土しているものの遺構については不明なままでありました。一方、近接の大坪遺跡では数次にわたる調査で大量廃棄された土師器が川べりから確認されており、土師器生産遺跡の可能性が指摘されておりました。なお、この調査では大量廃棄資料中から『甲斐国山梨郡表門』の刻書土器が発見され、表門郷が現在の和戸地域であることが確認されるという重要な発見があったことはよく知られています。

このようなこれまでの調査経過を踏まえ、また、事前の表面採取作業でも驚くほど多量の土師器細片が確認されたことから、今回の調査では土師器生産にかかる何らかの痕跡の確認が期待されました。

調査の結果、弥生時代末～古墳時代初期の遺物集中区域、古墳時代中期の溝、古墳時代後期の住居跡と溝、さらに平安時代の土師器が大量廃棄された溝や井戸が確認され、当初の予想をはるかに上回る成果が得られました。弥生時代末～古墳時代初期の遺物はこれまでの本遺跡の調査では確認されていなかった時期の居住の痕跡を確認したことになり、古墳時代中期の溝から出土した遺物は県内でのこれまでの時期的空白を埋める資料となりました。また、同後期の住居跡や溝は後背地域に展開する後期古墳との関連を窺わせる資料であり、平安時代の溝からの大量の出土遺物は土師器生産の痕跡を示すものと考えられます。なおこの溝中から出土した土馬は県内では初めての確実に平安時代に遡る資料として貴重であるとともに、井戸中への土師器の大量廃棄も含めて水にまつわる祭祀との係わりが注目されます。

本報告書が多くの方々の研究資料としてご利用いただければ幸甚です。

末筆ながら、種々ご協力を賜った関係機関各位、ならびに直接調査に従事していただいた方々に厚く御礼申し上げます。

2001年3月

山梨県埋蔵文化財センター

所 長 大 塚 初 重

例　　言

- 1 本書は、平成11年度に新環状・西関東道路建設に先立ち発掘調査された甲府市道々芽木遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 調査は、県土木部の委託を受けて県教育委員会が実施した。
- 3 発掘調査及び出土品の整理は山梨県埋蔵文化財センターで行い、長沢宏昌・三森鉄治が担当した。
- 4 本報告書の編集は、長沢・三森が行い、第1章・第2章を三森が、第3章・第4章を長沢が執筆した。
なお、埋甕についてのリン分析を(株)パリノ・サーヴェイに委託したが、分析の結果とくにリン分の富化が認められないとの報告があった。本来ならば結論の如何にかかわらず分析報告として掲載すべきであるが、紙面の都合上本報告書への掲載は割愛する。
- 5 写真撮影は、遺構を長沢・三森が、遺物を塚原明生（日本写真家協会会員）が行った。
- 6 本報告書にかかる出土品および記録図面、写真等は一括して山梨県埋蔵文化財センターに保管してある。
- 7 本報告書で示した甲斐型土器の編年は、山梨県考古学協会による甲斐型土器研究グループ第1回研究資料に基づく。
したがって甲斐型杯はVI期－780～800、VII期－800～820、VIII期－820～840、IX期－840～860、X期－860～880、XI期－880～920、XII期－920～960年の年代を想定している。
- 8 発掘調査および本報告書の作成にあたり、下記の方々にお世話になった。記して謝意を表する次第である。
数野雅彦（甲府市教育委員会）
信藤祐仁（　　〃　　）
伊藤正幸（　　〃　　）
平塚洋一（　　〃　　）
志村憲一（　　〃　　）
佐々木満（　　〃　　）
伊藤正彦（　　〃　　）
望月清隆（地元）

目 次

序

例言

第1章 調査経過と組織	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査組織	1
第2章 遺跡周辺の環境	2
第3章 遺構と遺物	4
第1節 遺構・遺物の概要	5
第2節 住居跡	5
第3節 土坑	8
第4節 井戸跡	10
第5節 溝跡	16
第6節 遺物集中区	52
第7節 遺構外出土遺物	53
第4章 調査の成果と課題	87

挿 図 目 次

第1図 周辺の遺跡	第27図 2号出土遺物（その7）
第2図 道々芽木遺跡調査全体図	第28図 2号出土遺物（その8）
第3図 1号住居跡	第29図 2号出土遺物（その9）
第4図 1号住居跡出土遺物（その1）	第30図 2号出土遺物（その10）
第5図 1号住居跡出土遺物（その2）	第31図 2号出土遺物（その11）
第6図 土坑	第32図 2号出土遺物（その12）
第7図 土坑出土遺物	第33図 2号出土遺物（その13）
第8図 1号井戸跡	第34図 2号出土遺物（その14）
第9図 2号井戸平面図	第35図 2号出土遺物（その15）
第10図 2号井戸遺物接合図	第36図 2号出土遺物（その16）
第11図 2号井戸出土遺物（その1）	第37図 2号出土遺物（その17）
第12図 2号井戸出土遺物（その2）	第38図 2号出土遺物（その18）
第13図 2号井戸出土遺物（その3）	第39図 2号出土遺物（その19）
第14図 2号井戸出土遺物（その4）	第40図 2号出土遺物（その20）
第15図 1号溝・1号埋甕	第41図 2号出土遺物（その21）
第16図 1号溝出土遺物	第42図 2号出土遺物（その22）
第17図 2号溝平面図	第43図 3号溝平面図・接合図
第18図 2号溝接合図	第44図 3号溝出土遺物
第19図 2号溝遺物位置図（その1）	第45図 弥生集中区平面図・接合図
第20図 2号溝遺物位置図（その2）	第46図 弥生集中区出土遺物（その1）
第21図 2号出土遺物（その1）	第47図 弥生集中区出土遺物（その2）
第22図 2号出土遺物（その2）	第48図 弥生集中区出土遺物（その3）
第23図 2号出土遺物（その3）	第49図 グリッド出土遺物（その1）
第24図 2号出土遺物（その4）	第50図 グリッド出土遺物（その2）
第25図 2号出土遺物（その5）	第51図 グリッド出土遺物（その3）
第26図 2号出土遺物（その6）	第52図 道々芽木遺跡出土土器編年図

写真図版目次

卷頭図版 2号溝出土土馬破片と復元資料	図版11 1号溝出土遺物
2号溝出土土器	図版12 2号溝出土遺物
図版1 遺跡遠景 調査前風景 住居跡遺物出土状況	図版13 2号溝出土遺物
図版2 住居跡遺跡物出土状況	図版14 2号溝出土遺物
図版3 1号井戸跡 2号井戸跡	図版15 2号溝出土遺物
図版4 1号溝	図版16 2号溝出土遺物
図版5 2号溝遺物出土状況	図版17 2号溝出土遺物
図版6 2号溝遺物出土状況	図版18 2号溝出土遺物
図版7 2号溝断面 3号溝遺物出土状況 弥生集中区遺物出土遺物	図版19 2号溝出土遺物
図版8 住居跡出土遺物	図版20 2号溝出土遺物
図版9 住居跡出土状況 3号～5号土坑出土遺物	図版21 2号溝出土遺物 3号溝出土遺物
図版10 2号井戸跡出土遺物	図版22 弥生集中区出土遺物
	図版23 遺物外出土遺物

第1章 調査概要

第1節 調査に至る経緯

新環状・西関東道路の建設に伴い、本線の建設に先立って山梨英和短期大学正門の脇に新たな取り付け道路が敷設されることになった。本遺跡の調査区は、道路建設予定地のL字状に折れ曲がった畠地800m²（幅5m、長さ160m）に当たる。同大学の敷地内については、既に甲府市教育委員会が発掘調査を実施し、奈良・平安時代の遺物が多数出土した。平成11年4月、県土木部の新環状・西関東道路建設事務所に依頼され、工事予定地の実地調査を行ったところ、現場周辺には土師器を中心とする遺物の極めて濃密な散布状況が認められた。これを受け、同月下旬に試掘調査を行った結果、遺物の出土状況等から発掘調査が必要と判断し、本調査を実施する運びとなった。発掘調査は、平成11年4月27日から6月28日までの約2ヶ月間、整理作業及び報告書作成作業は、平成11年12月から平成12年10月までの11ヶ月間にわたって実施された。

尚、文化財保護法に基づく手続きは以下の通りである。

平成11（1999）年4月 道々芽木遺跡の発掘通知を文化庁長官に提出

平成11（1999）年11月 道々芽木遺跡の埋蔵文化財発見通知を甲府警察署長に提出

第2節 調査組織

調査主体 山梨県教育委員会

調査機関 山梨県埋蔵文化財センター

調査担当者 平成11年度・12年度 長沢宏昌（県文化財主事）
三森鉄治（ ）

調査員 平順孝

作業員 雨宮昭仁、赤岡敦、斎藤重信、高野眞寿美、平本玲子、
飯田みづほ、佐藤武光、宮沢初恵、深沢芳邦、依田政子、
志村昌昭、依田勲、佐田久男

整理作業員 高野眞寿美、平本玲子、雨宮明仁、古屋清美、飯田みづほ、
斎藤重信、佐藤武光、手塚房子、雨宮一二三、江川理恵
斎藤律子、平川涼子、長田久江、佐野眞雪、澤登由美、三好美智

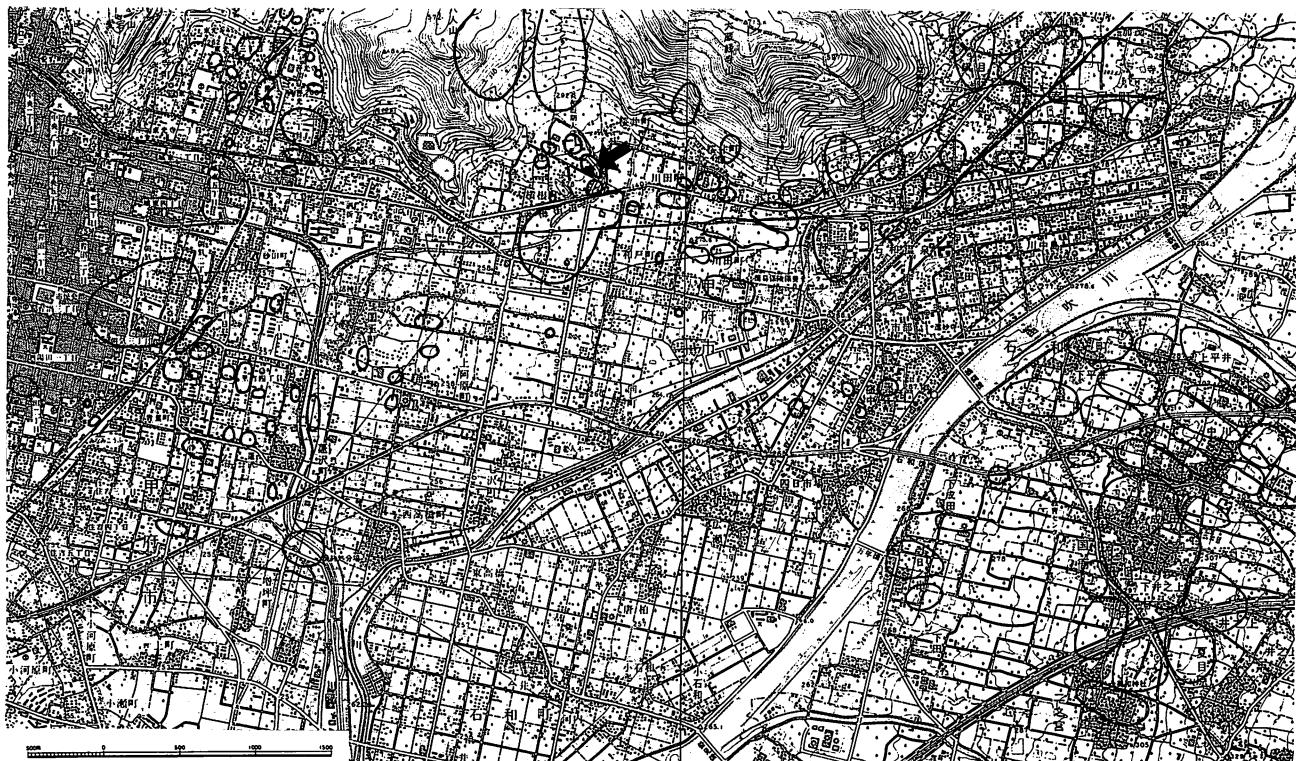
第2章 遺跡周辺の環境

道々茅木遺跡の所在地甲府市横根町は、甲府盆地の北部、大蔵経寺山の西南麓に位置する。本遺跡の北に聳える八人山と大蔵経寺山は秩父山系の前衛にあたり、両山に挟まれた斜面を南流する大山沢川の流域に沿って急勾配の扇状地が形成されている。扇状地の南向き斜面一帯には、大山沢川の両岸を中心に横根・桜井積石塚古墳群が群在し、145基にも及ぶ積石塚が集中的に分布する。積石塚の形態はすべて円墳であり、標高290mから460m付近まで広範囲に分布する。積石塚の他にも、周辺には北原古墳群、既にその殆どが消滅した和戸の古墳群等があり、県内でも屈指の古墳密集地として知られている。積石塚の多くは6世紀後半から7世紀頃の築造と考えられ、内部主体が明確なものは68基を数える。なかでも、八人山南東斜面低位に位置する39号墳は、保存状態が比較的良好な大型の墳丘を残し、学術調査が実施された。その結果、全長6.2mを測る横穴式石室内から土師器・ガラス小玉・鉄鏃・刀子等に加えて、若齢馬のものと見られる歯6点が出土した。

周知のように、積石塚の成因については、朝鮮半島北部の高句麗の墓制を祖形と考える大陸墓制説と、自然環境に適応して発生したとする環境自生説の二説が唱えられてきた。横根・桜井積石塚古墳群の場合も同様であり、統一的見解はいまだ得られない現状にある。

道々茅木遺跡は、横根・桜井積石塚古墳群と同じ扇状地上の扇端部に立地する。大山沢川は、本遺跡のやや上流で十郎川と名称を変える。この十郎川の右岸から50mを測る英和短期大学正門西の畠地800m²が今回の調査区に当たる。近隣には、土師器生産遺跡の一つとされる大坪遺跡、古代寺院の瓦を焼成した川田瓦窯跡・上土器遺跡等があることから、この周辺は高度な窯業技術を備えた工人集団の居住地と推測してきた。積石塚を築造した人々の集落ではないかとも以前から指摘されているが、考古学的資料に乏しく、いまだ推測の域を出ない現状にある。

この付近の縄文時代の遺跡は、大蔵経寺山の山裾周辺を中心に分布し、甲府市では地蔵堂遺跡、桜井畠遺跡(A・C地区)、石和町内では畔作遺跡、大蔵経寺前遺跡、松本塚の越遺跡等がある。弥生時代では、上土器遺跡、桜井畠遺跡等から後期の土器片が検出されており、周辺地域に集落跡の存在が予測されている。



第1図 周辺の遺跡（弥生時代～古墳時代：矢印が本遺跡）

古墳時代以降、この地域の遺跡数は著しく増加する。前述の横根・桜井積石塚古墳群をはじめ、墳丘墓では和田町の琵琶塚古墳、太神さん古墳、上阿原町の藤塚古墳等が知られている。集落跡では、甲府市域の桜井畠遺跡（A・B・C地区）と上土器遺跡、石和町の塚ノ越遺跡、春日居町の神東遺跡等を挙げられる。桜井畠遺跡（A・B・C地区）では、住居跡と共に方形周溝墓が確認された。外中代遺跡でも、竪穴住居跡が確認されている。

甲斐国における古墳文化は、4・5世紀あたりまで、中道町の銚子塚古墳・大丸山塚古墳等が所在する曾根丘陵一帯を中心に栄えたと考えられている。その後、6世紀代には八代町・御坂町付近、さらには甲府盆地の南東部から北部にかけて次第に勢力圏の中心が拡散したとされる。具体的には、御坂町の姥塚古墳周辺、甲府市西部の加牟那塚古墳周辺、それに横根・桜井積石塚古墳群の立地する甲府東部から春日居町にかけての地域、すなわち本遺跡の周辺である。横根・桜井積石塚古墳群以外にも、鞍掛塚古墳、大蔵経寺山古墳群等の積石塚が分布し、その総数は160基以上を数え、長野県の大室古墳に次ぐ全国第2位の規模にあたる。横根・桜井積石塚古墳群が分布する範囲は、現在でも葡萄を中心とする果樹栽培に使用されており、過去には果樹園造成等に伴って多くの古墳が削平され、消滅した可能性が高いと見られている。飯島進氏は、現存する古墳数から消滅した古墳数を推定し、総数1000～1400基と試算しているが、数値の当否はともかく、今までに相当数の積石塚が消滅したのは間違いないようである。

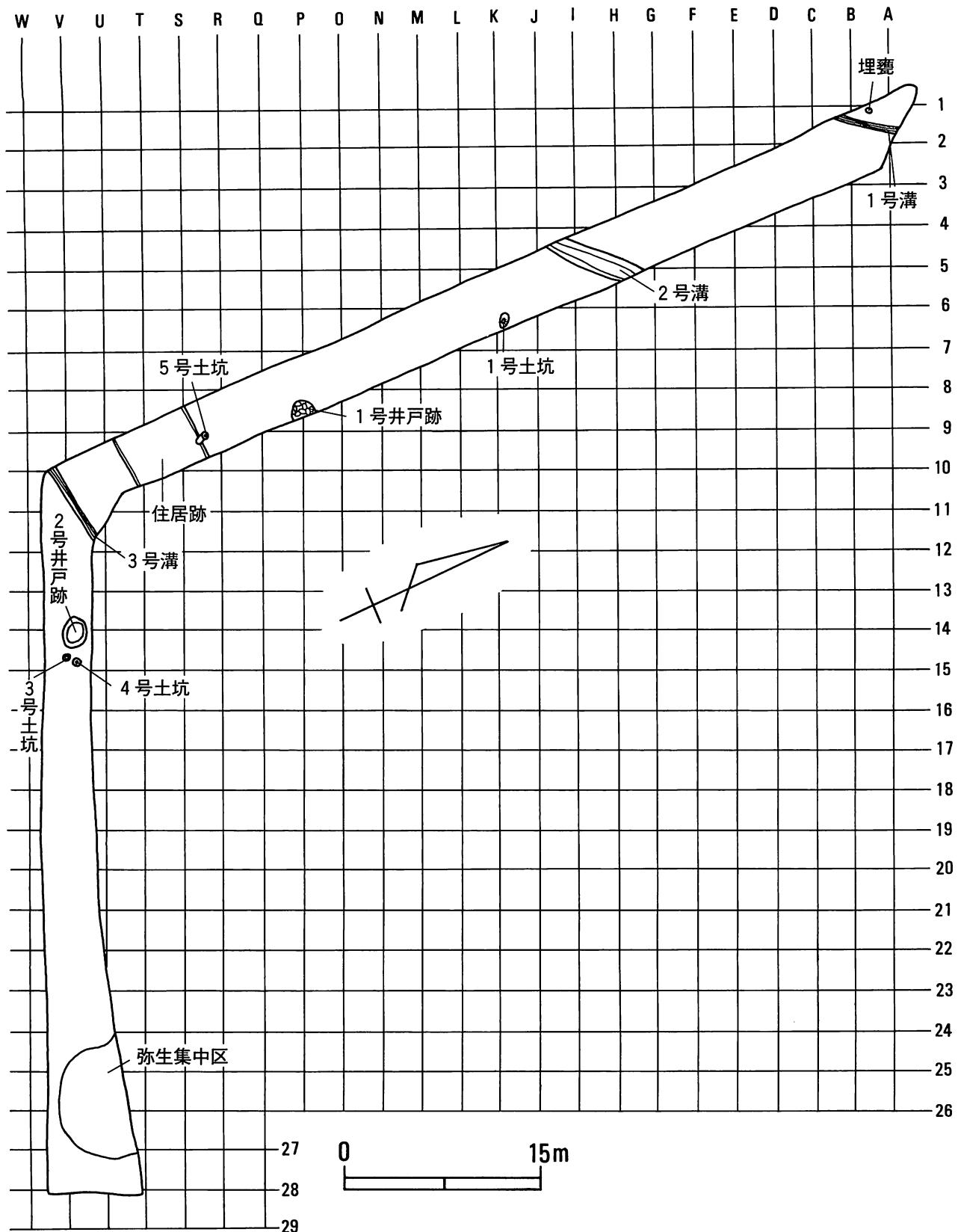
7世紀末には、本遺跡と隣接する春日居町に、甲斐国における政治・文化の象徴とも言える寺本廃寺が建造された。7世紀代における甲斐国唯一の寺院であることを考えると、春日居地域を中心に台頭した勢力が、この時期既に群を抜く存在であったことが窺われる。この地域の勢力は、奈良時代に入ってからも衰えず、春日居町国府（こう）は、御坂町の国衙、一宮町東原と共に、甲斐国府が置かれた候補地の一つに比定されている。

奈良・平安時代の遺跡の分布域は、古墳時代とほぼ一致し、継続して営まれた遺跡も多く見られる。奈良時代に入ると、国・評（郡）・里（郷）制が成立し、甲斐国には山梨郡・八代郡・巨摩郡・都留郡の4郡が設置された。道々芽木遺跡を含む甲府盆地東縁地域は、山梨郡に属していたようである。本遺跡から青梅街道（国道140号線）を挟んで200mほど南には、大坪遺跡（平成6年度調査地点）があり、須玉町大小久保遺跡、小淵沢町前田遺跡と共に、県内における土師器生産遺跡の一つと考えられている。昭和57（1982）年度の調査地点からは、「甲斐国山梨郡表門」と記された刻書土器が出土し、当該地域が『和名類聚抄』に記載される山梨郡表門郷の郷域であることが確認された。「表門」の訓は「宇波止」（うわと）であり、甲府市和戸町の和戸（わど）の遺称とされる。「うわと」が音便の変化によって「わど」に転化したというものである。本遺跡から200mほど北に位置する東畠遺跡竪穴住居跡から白鳳期の小金銅仏が出土し、和田町の桜井畠遺跡A地区からも「寺」と墨書きされた土器が出土していることから、近くに寺院が存在したのではないかと推測されている。また、川田町の川田瓦窯跡は、7世紀末に建立された春日居町の寺本廃寺に瓦を供給した生産遺跡として知られ、奈良時代には隣接する上土器遺跡と共に、甲斐国分寺瓦の生産を行っている。このことから、本遺跡周辺は、古代甲斐国の国府とも関係が深い地域であったと推測される。

中・近世の遺跡は、古墳時代以来の範囲が拡大し、山裾周辺部から沖積地に到るまで広範囲にわたる分布が見られる。なかでも代表的な遺跡として、武田家の居館として知られる川田町字御所の川田館跡がある。永正16年（1519）、武田館は古府中の躑躅ヶ崎の地に移されるが、その直前、武田氏が守護大名から戦国大名に変貌する時期の拠点となった居館である。周辺には、二之宮神社、寿徳院等の寺社が鎮座し、「御所曲輪」「御厩屋敷」「女中屋敷」「舞台」等、居館に関連した地名も残っている。昭和62（1987）年に行われた発掘調査の結果、15～16世紀代を主体とする遺物が検出されたが、決定的な遺構の確認までには至らなかった。居館移転の原因としては、水害説と体制強化移転説が挙げられているが、いまだ決着していない現状にある。

以上述べてきたように、本遺跡は、古代甲斐国における土師器・瓦の生産と流通、積石塚と被葬者の居住地の問題、甲斐国府の行政機構、さらには甲斐国における社会背景全般を探る上でも、極めて重要な地理的・歴史的環境にあると考えられる。

第3章 遺構と遺物



第2図 道々芽木遺跡調査全体図

第1節 遺構・遺物の概要

今回の調査対象は既存の道路の切り回しで、それまでブドウ畠であったところに幅5mの道路をL字形に曲げ、延べ約160mの長さで新設するというものである。

調査に先立ち、現地で表面採取を行ったが、その遺物の多さに驚かされた。ほんの僅かな時間で両手に抱え切れないくらいの土師器片を集めることができる状態であった。いずれも1・2cm程度の小破片で、耕作により細片となったものである。地元で聞いたところ、20cm程度の表土を除去するとコンクリートのように堅い盤になるということで、大量の遺物が表土に細片となってみられることから遺構の存在した生活面が既に削平されていることが予想され、遺構の存在は絶望的と思われた。対象域およびその周辺に17カ所のトレンチを設定し遺物出土状況と土層状況を確認した。表土は10~20cm程度で、調査前に聞いたガチガチに堅い黒色土層となる。黒色土は20cm程の厚さで、その下に40cm程の暗褐色土があり、さらにその下は砂礫層となっていた。遺物は表土と黒色土の上部にみられ、黒色土を掘り込んだ遺構が存在すれば確認も可能であることが明らかとなった。

調査は、調査幅5mと狭く、かつ対象区域がL字状に曲がっているためグリッドの設定に苦慮したが、通常よりやや小さめの3mグリッドを設定することとした。工事用杭のうち調査区域に最も近接したA4-1杭(X=-38081.627, Y=10647.411)とA4杭(X=-38113.194, Y=10713.434)の2本を見通し、A4-1杭からA4杭に向かって3mの地点に仮基準杭を設定した。そこから北側に90度振って調査区域内にグリッドラインを設定した。A4-1杭とA4杭を結ぶ直線は、全体図では縦方向のWラインに相当する。また、仮基準杭はヨコ方向の10列となる。したがってA4-1杭はW-9杭ということになる。なお、ヨコ列の数字の小さい方の側(北西)を向いてグリッドの中心に立った場合、その左後ろの杭番号をグリッド番号とした。

調査の結果、予想以上の遺構や遺物集中区域が確認された。遺構では、弥生時代末~古墳時代初期の土坑2基、古墳時代中期の溝1条、同後期の住居跡1軒・溝1条、平安時代後期の土坑2基・井戸跡2基・溝1条が確認された。特に平安時代の井戸跡の1基には200個体ちかい壺・皿・鉢が投げ込まれていた。また、平安時代の溝は最大幅2m程度であり、調査面積は10m²にも満たない状況であるにもかかわらず、壺・皿・鉢など1000個体以上が出土した。この中には県内でははじめて確実に平安時代に位置づけられる土馬の頭部と脚部が含まれており、祭祀を示す資料として注目される。遺物集中区域では弥生時代末~古墳時代初期の集中域が確認されており、初期のS字状口縁甕と併行する時期の他系統土器の対比資料として重要なものとなる。

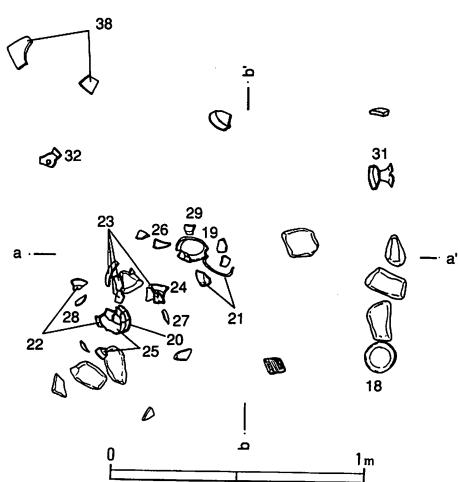
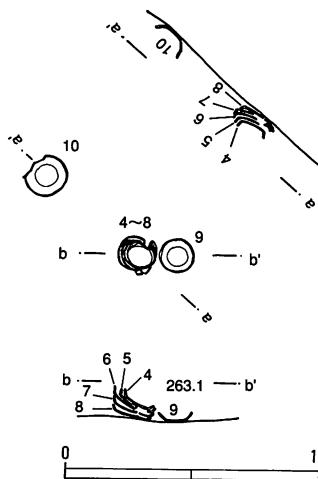
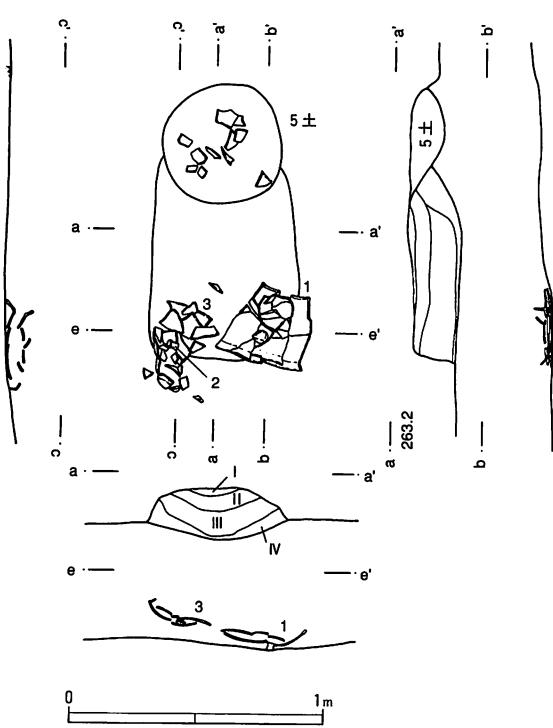
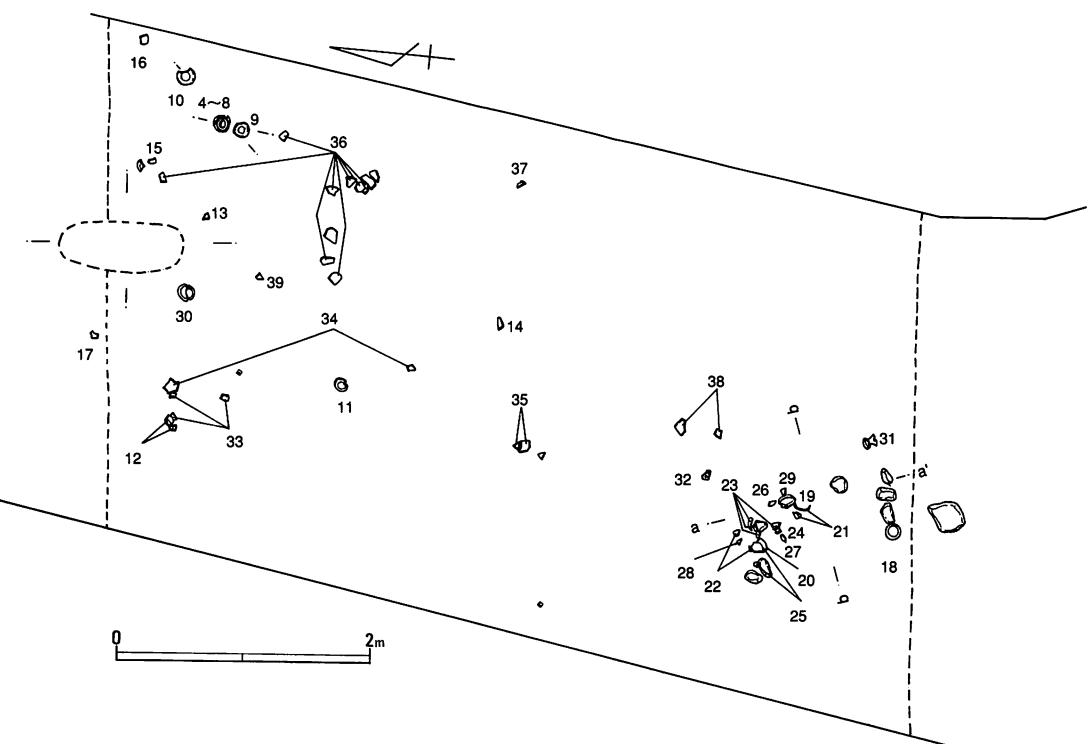
このように当初の予想に反して、重要な資料が多数得られた。以下に遺構毎に概要を記す。なお、本書では遺構の説明文中に必要に応じて遺物を示すが、文中の()内に示された遺物番号は遺構毎の遺物番号を意味するものである。

第2節 住居跡

S-9・10、T-9・10・11、U-10・11グリッド。S-10グリッド内に蒲鉾状に焼土が検出され、カマドと確認された。そこから南側に古墳時代後期の遺物の集中が見られ住居跡と判断した。北壁はカマドの存在によりほぼ確定できるものの、東・西・南壁は全く確認できなかった。同時期遺物の集中状況から住居跡の大きさを南北6.2m程度と推定したが、推定値にしてもかなり大型の住居跡である。これはあくまで遺物の集中域の推定である。確実にカマドと認識できたのは1カ所だけであるものの、住居内と想定した部分には少なくとも別に2カ所の焼土ブロックが確認されており、複数の同時期住居跡が存在していた可能性も否定できない。

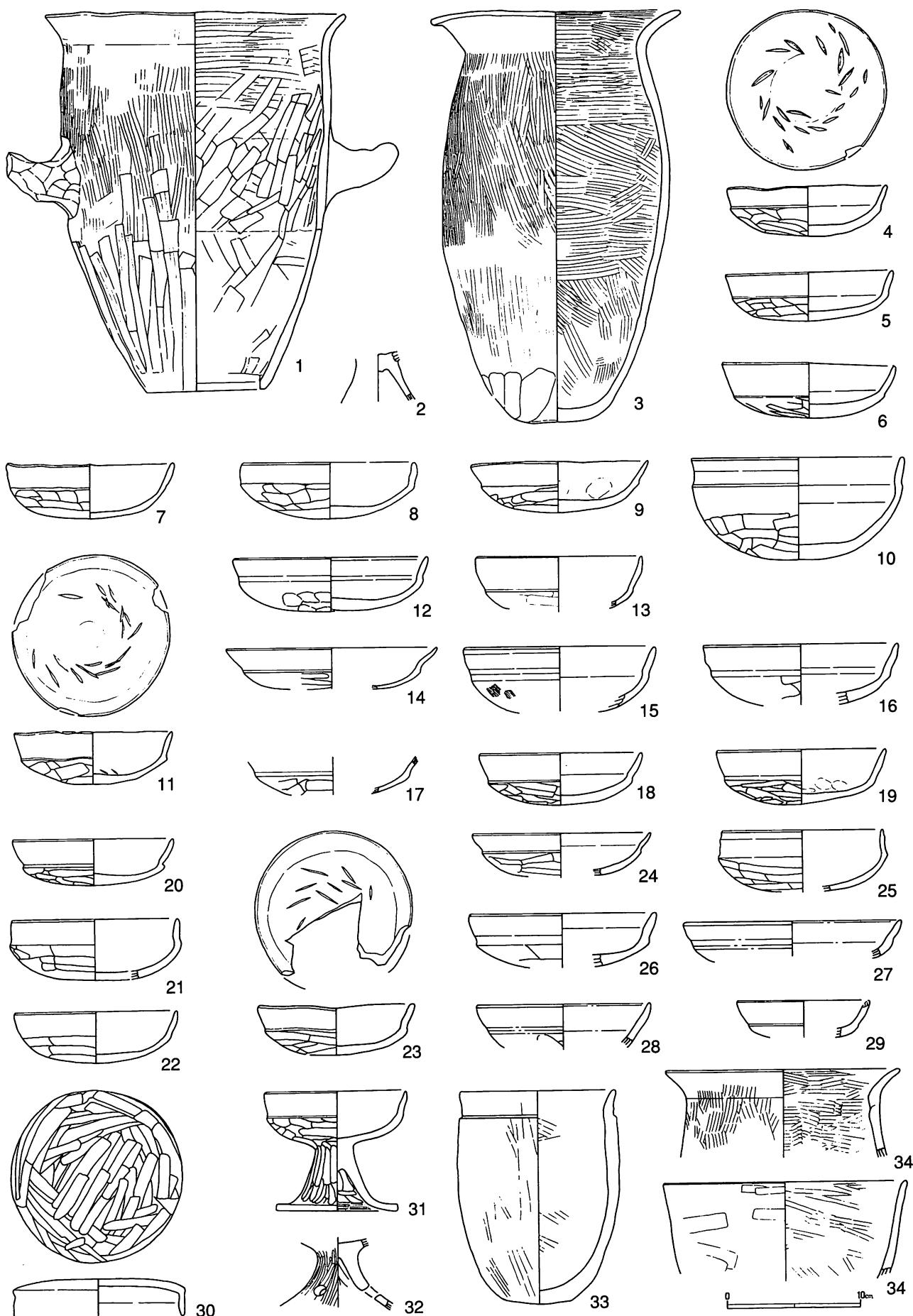
カマド前面も含め床と認識できる硬化面は確認できなかった。また柱穴等のピットも検出されなかった。

カマド脇すぐの西側には壺蓋(30)が潰れていた。壺蓋である以上壺とセットになるのであろうが、さらにその西側に細片となって散っていた小型甕(33)ともぴったり一致する。この甕は口縁部に段を有しており、段から直立する口唇までの幅と口径が蓋と一致するもので、甕への使用も想定できよう。カマドの東側には壺5個体(4~8)が重なった状態でおかれ、その脇に別の壺(9)が、さらに30cm離れて鉢(10)がおかれてい

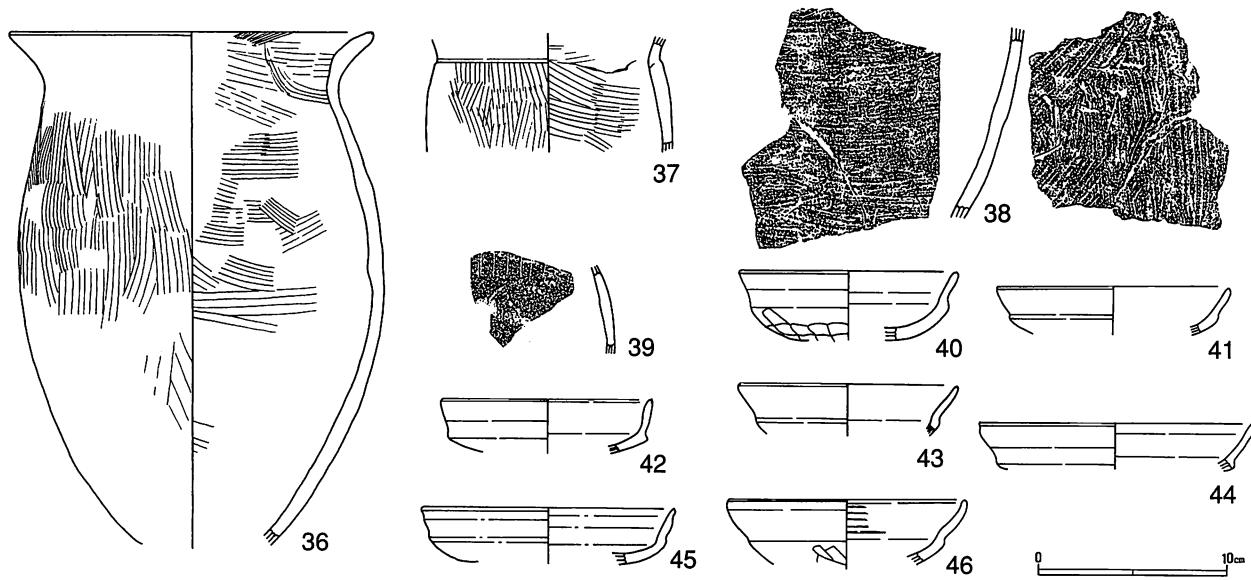


- I 黄褐色粘質土と暗褐色粘質土の混土
- II 暗褐色粘質土+焼土ブロック
- III 暗褐色粘質土と焼土粒子の混土
- IV 暗褐色粘質土

第3図 1号住居跡



第4図 1号住居跡出土遺物（その1）



第5図 1号住居跡出土遺物（その2）

た。これらは、廃棄ではなく日常そのままの状態を示すものである。南壁の想定ラインちかくで、20cm大の石3個を直線に配した状態が確認された。しかもそれを挟むように壺（18）と高壺（31）が確認されている。いずれも完形で壺は正位、高壺は倒れていた。さらにその北側では遺物の集中（19～29）がみられた。これらの遺物はいずれもほぼ同レベルで出土している。カマドは一部が残存していた。長さ90cm、幅60cmの範囲にカマボコ状に焼土の盛り上がりがみられたためカマドと判断したものである。カマド北半分は平安時代の土坑に切られており煙道は確認できなかった。内部には搅乱が及んでいないが、袖石は確認されていないことから、本体は粘土で構築されたものと思われる。内部は焼土が主体であるが、最上層には焼土と黄褐色粘土が確認されており、これが構築材の一部と考えられる。内部からは、甌（1）と甕（3）が潰れた状態で出土しており、高壺脚部（2）も出土した。

遺物は土器だけである。ここでは46点を図示するが多くは小破片である。壺・高壺・鉢・壺蓋・甌・甕が出土地していいる。壺は口縁部下に段を有するものが主体で、明瞭に段を有さないものは22の1点のみである。しかし、これも球形の壺とは明らかに異なる。

資料中に彩色されたものが目立つ。丹塗りされたものは4・7・10・11・23・41の6点を数え、黒彩（炭素吸着含む）は5・6・9・10・12・19・21・22・24・25・30・31・41・42の14点である。このうち10・41は外面丹塗り、内面黒彩（炭素吸着）である。また30の蓋、31の高壺は黒彩されている。

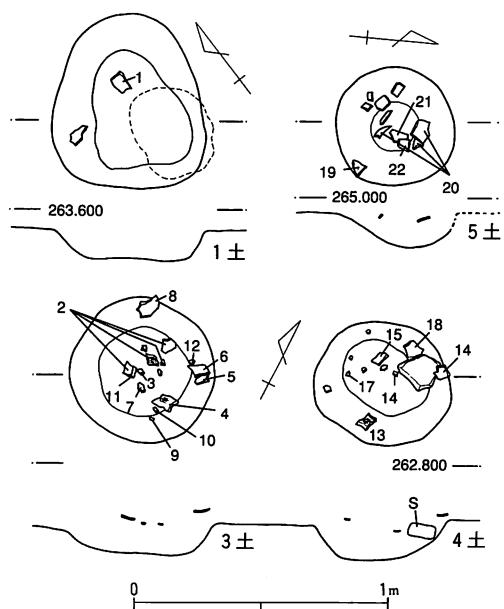
これらの資料は、壺が段を有する一群であること、黒彩資料が顕著であることなどから坂本美夫による古墳時代の編年の中期（6世紀後半代）を当てておく。

第3節 土 坑

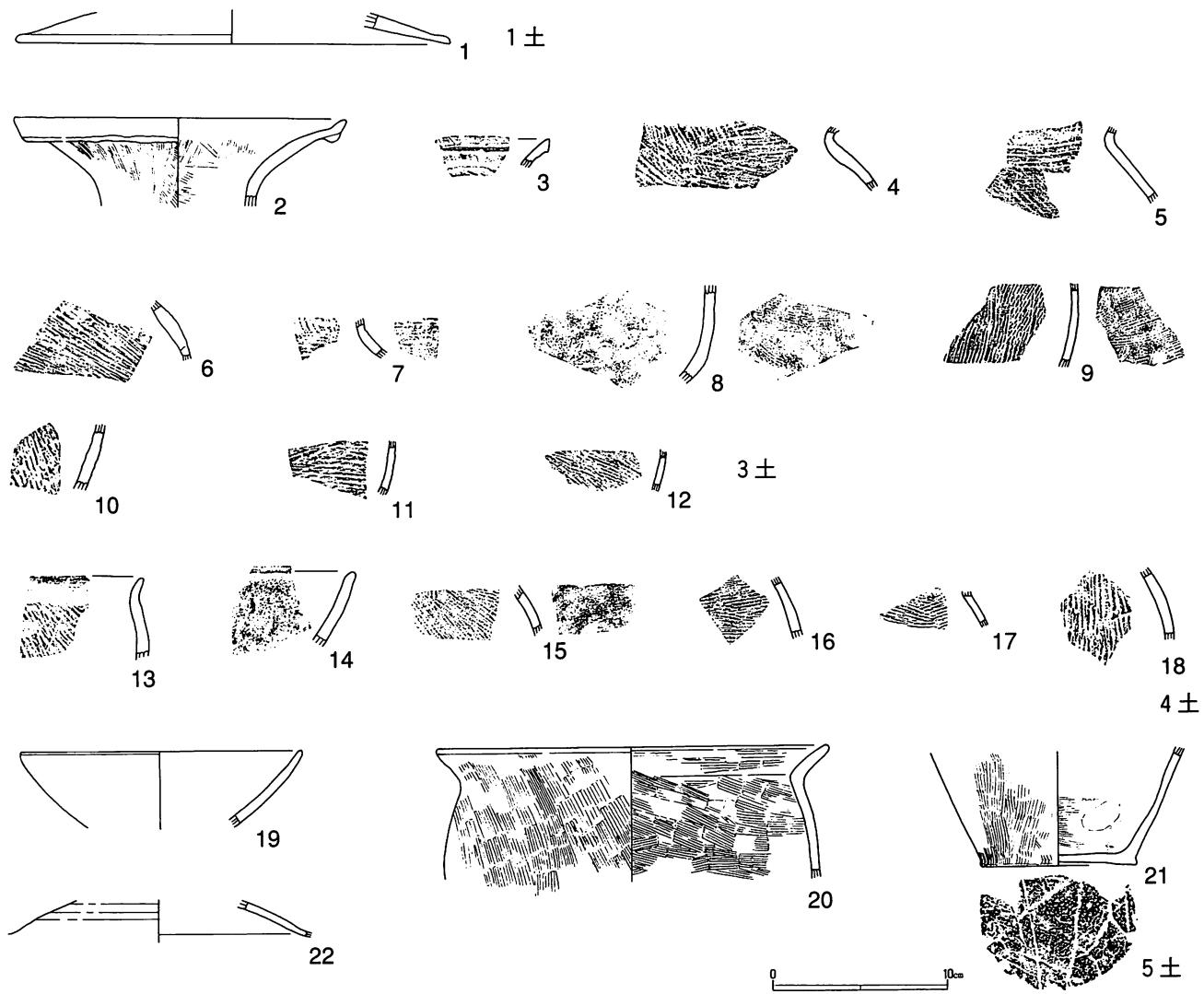
・ 1号土坑

K-7グリッド。長径70cm、短径60cm、深さ10cmを計る。上部に焼土の集中が見られたため、存在が確認されたが、焼土は確認面のみで、下部では飛散する程度であった。遺物は土師器片2点が確認されたに過ぎない。図示できたのは蓋（1）のみである。

・ 3号土坑



第6図 土坑

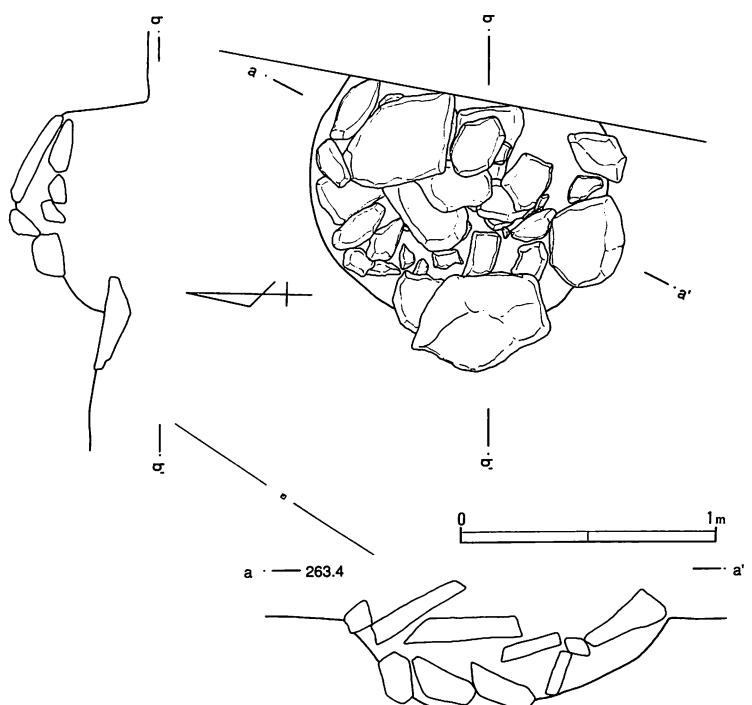


第7図 土坑出土遺物

V-15グリッド。2号井戸脇に4号土坑と並んで確認された。径55cmの円形を呈し、深さ15cmを計る。内部に焼土はみられない。遺物はいずれも浮いた状態で、細片となって出土しているが、意外に多い。いずれも薄手の作りであり、外面に条痕がみられる。口縁部破片の2・3が壺である以外は、甕もしくは台付甕である。弥生時代末～古墳時代初期に位置づけられよう。

・4号土坑

V-15グリッド。本土坑も小型であり、50cmの円形を呈する。深さはやはり15cmである。土坑壁に接して15cmの平石1点が確認されている。遺物はやはり浮いて出土しており、小破片となっている。6点を図示するが、やはり薄手で外面には条痕を有する。時期は3号



第8図 1号井戸跡

土坑と同じである。

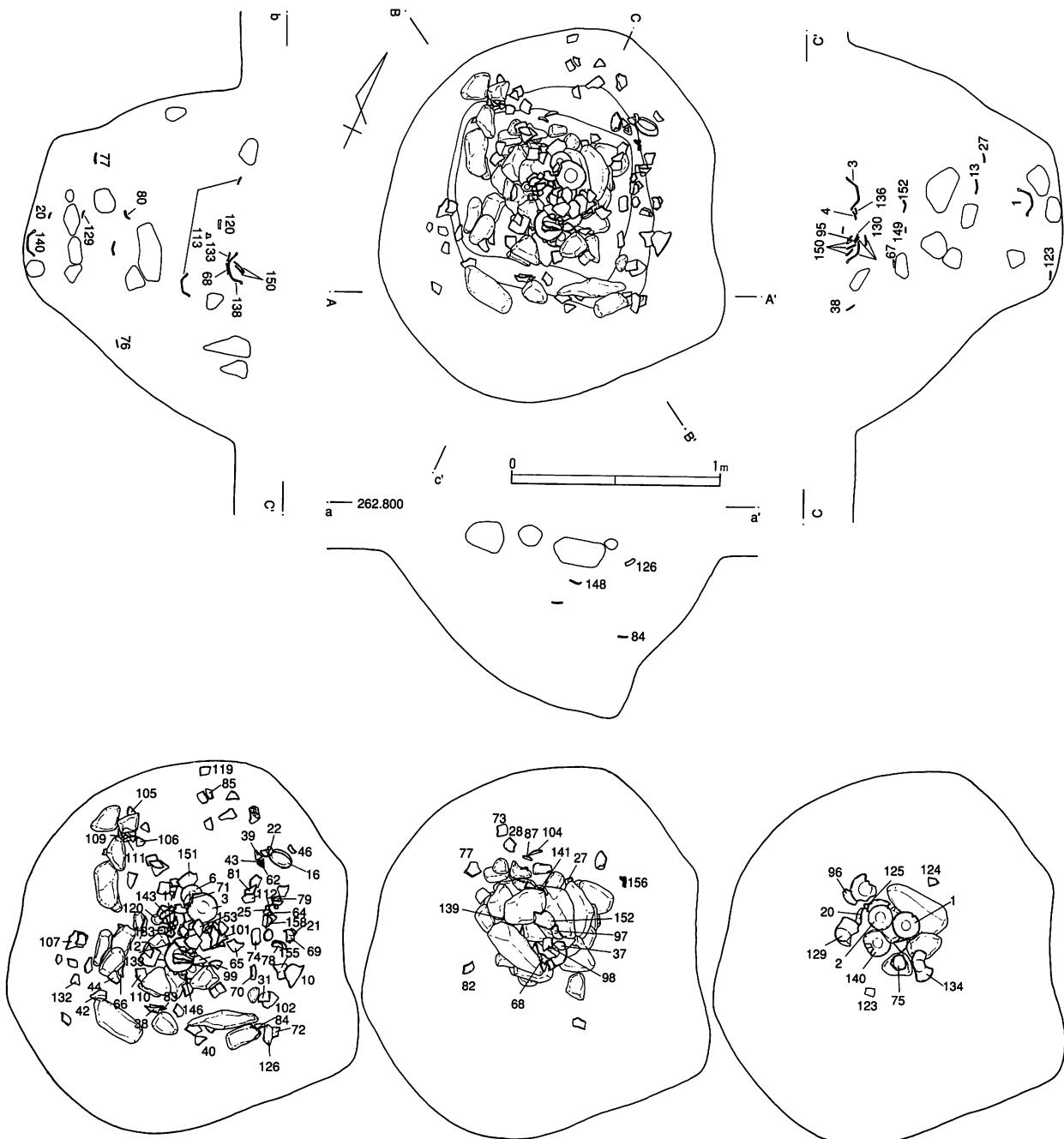
・ 5号土坑

S-10グリッド。住居跡のカマドを切っている。内部には焼土がみられる。遺物は土師器だけで、蓋・鉢・甕が出土している。甕は口縁部と底部の大型破片であり、底部には木葉痕がみられる。口縁部は体部と同じ厚さで内面屈曲部から口唇まで27mmである。甲斐型編年のIX期に位置づけられよう。

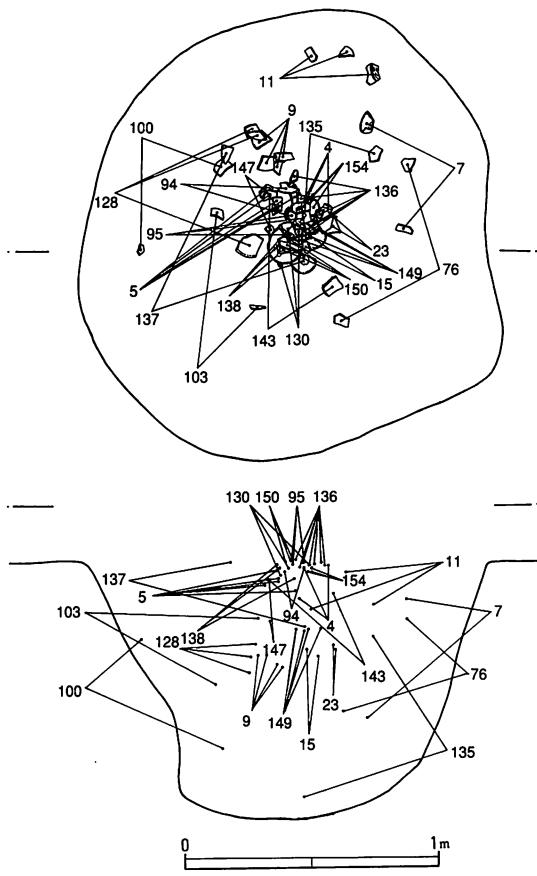
第4節 井戸跡

・ 1号井戸跡

P・Q-9グリッド。内部に20~50cm大の平石を充填した土坑で、井戸と判断した。石は底面に張り付けら



第9図 2号井戸平面図



第10図 2号井戸遺物接合図

井戸枠等の施設は確認されていないが、底面や中心部分には10~30cm大の石が確認されている。しかし1号井戸跡の石と違い、平石は全くなく、これらは後に投げ込まれたものと考えられる。ただ、底面ちかくから156に示した木片が出土している。木片はごく小さく、それ自体には加工は認められないが、未炭化であることから施設や道具の破片の可能性もある。

遺物は非常に多く、若干の須恵器と瓦を除いたほとんどが土師器である。最上部から最下部まで完形もしくはそれにちかい資料が出土し続けた。なお、最上部で完形土器とともに確認されていた30cm大の石（157）は縄文時代の多孔石であった。

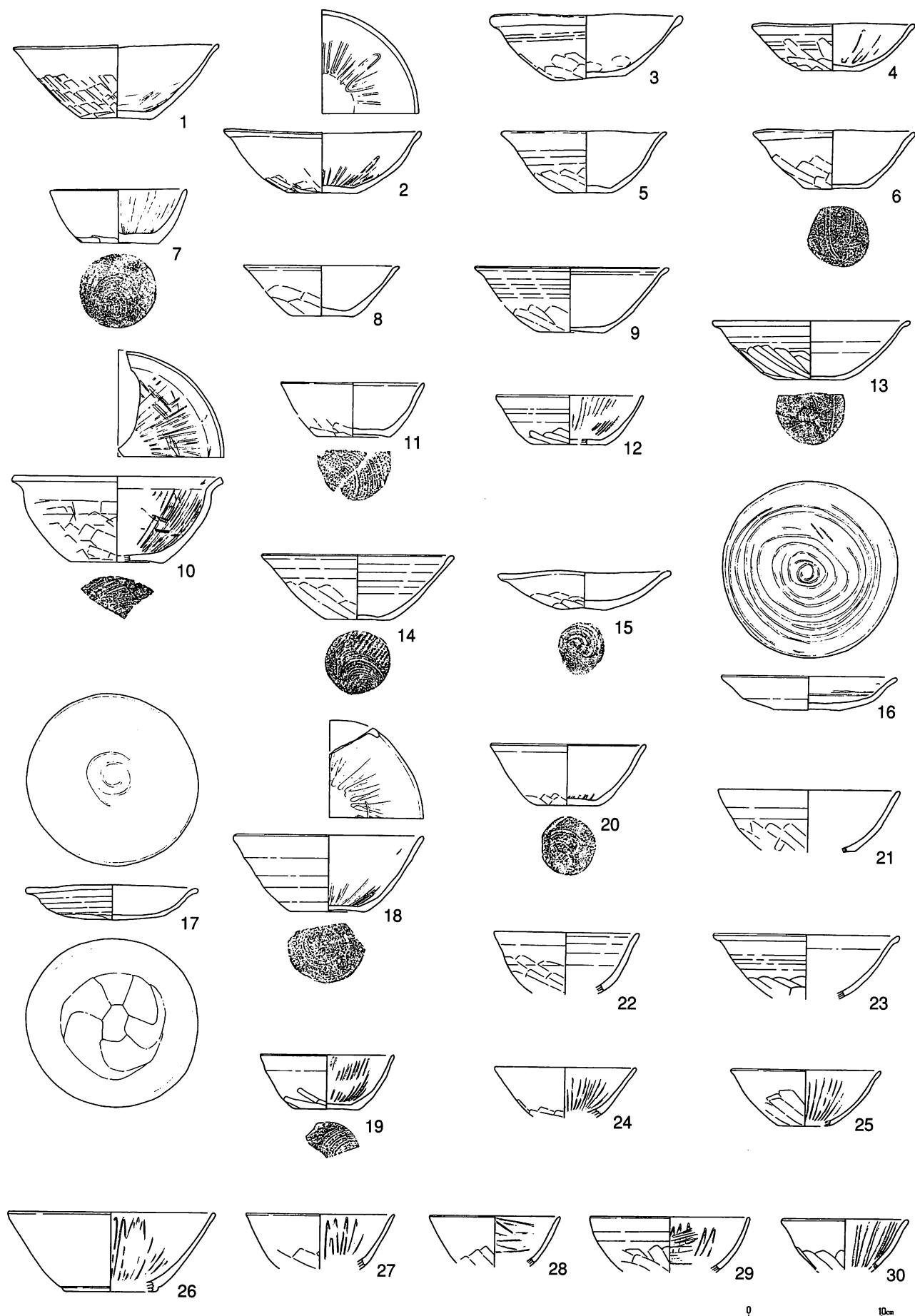
第10図に示した接合関係では、2~7点の接合が目に付く。多くは2・3点の接合であるが、これは甕などの大型の器種が少なく、壺が主体であることによるものであろうが、極端な細片の投げ入れを行っていない事も事実である。飛散の範囲は井戸跡内ということもあって50cm以内がほとんどである。しかし、高さでは135が底面にちかい部分から出土した破片と中層部から出土した破片とが60cm以上の差を示し、また、7や100も50cmちかくの差があることなど、平面分布よりも垂直分布の差が強い傾向がある。これらの土師器の時期差がほとんどないことから、極めて短期間にこれらの投げ込みが行われたことが窺われる。しかし、出土遺物のうち1・5・6・15・16・17・138の7点は完形に復元され、しかもそのうちの6・16の2点は全くの無傷であったことから他の5点も無傷の状態であった可能性が否定できない。このような状況からは、投げ込みは認められても、それが投棄であるとは考えにくい。このことは「あえて無傷の完形品を含む大量の土器を井戸に入れる行為」として理解されよう。

土師器は、壺は7・147がみこみ部に暗文が及ぶもので、これらは甲斐型編年VII期に位置づけられよう。皿では104・105が暗文については同様であるが、皿の放射状暗文はVII期~IX期にみられ、破片資料では断定できない。むしろ、暗文はみられないものの、器形や体部とみこみ部の境に一条の磨きがあり分け意識がはっきりしていることなどから148が古い様相と捉えられ、VII期へ位置づけられよう。

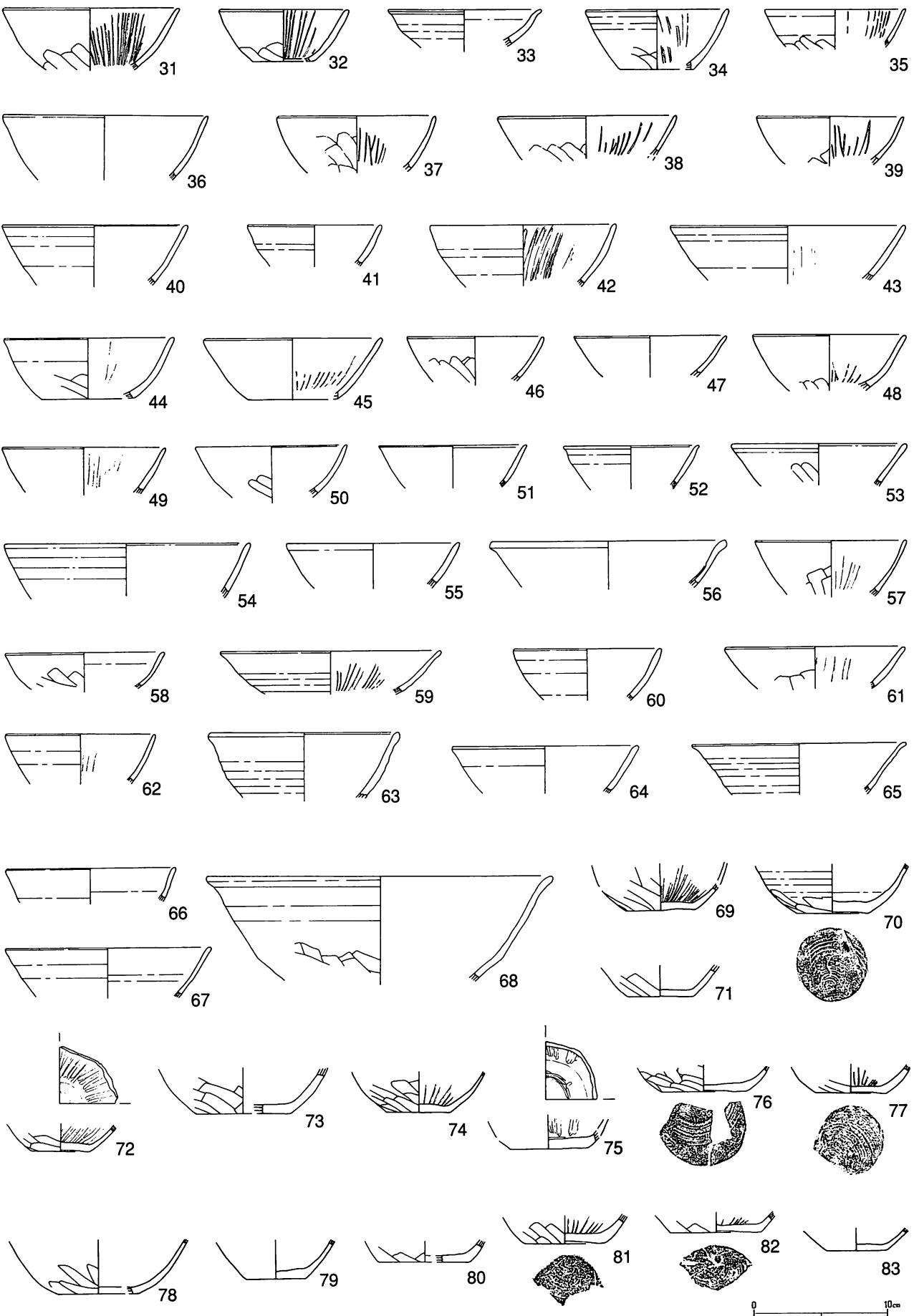
れた状態のものと、中心部分に投げ込まれ浮いた状態で出土しているものがある。一部が未調査であるが、確認部分で径130cmの円形を呈し、深さ40cmを計る。壁面近くの平石には内部に倒れ込むような状態で確認されているものがあることから、さらに上部の壁面を保護していたものとも考えられる。なお、調査中から底面付近では水が染み出す状況であった。遺物は全く出土しておらず、時期不明である。

・ 2号井戸跡

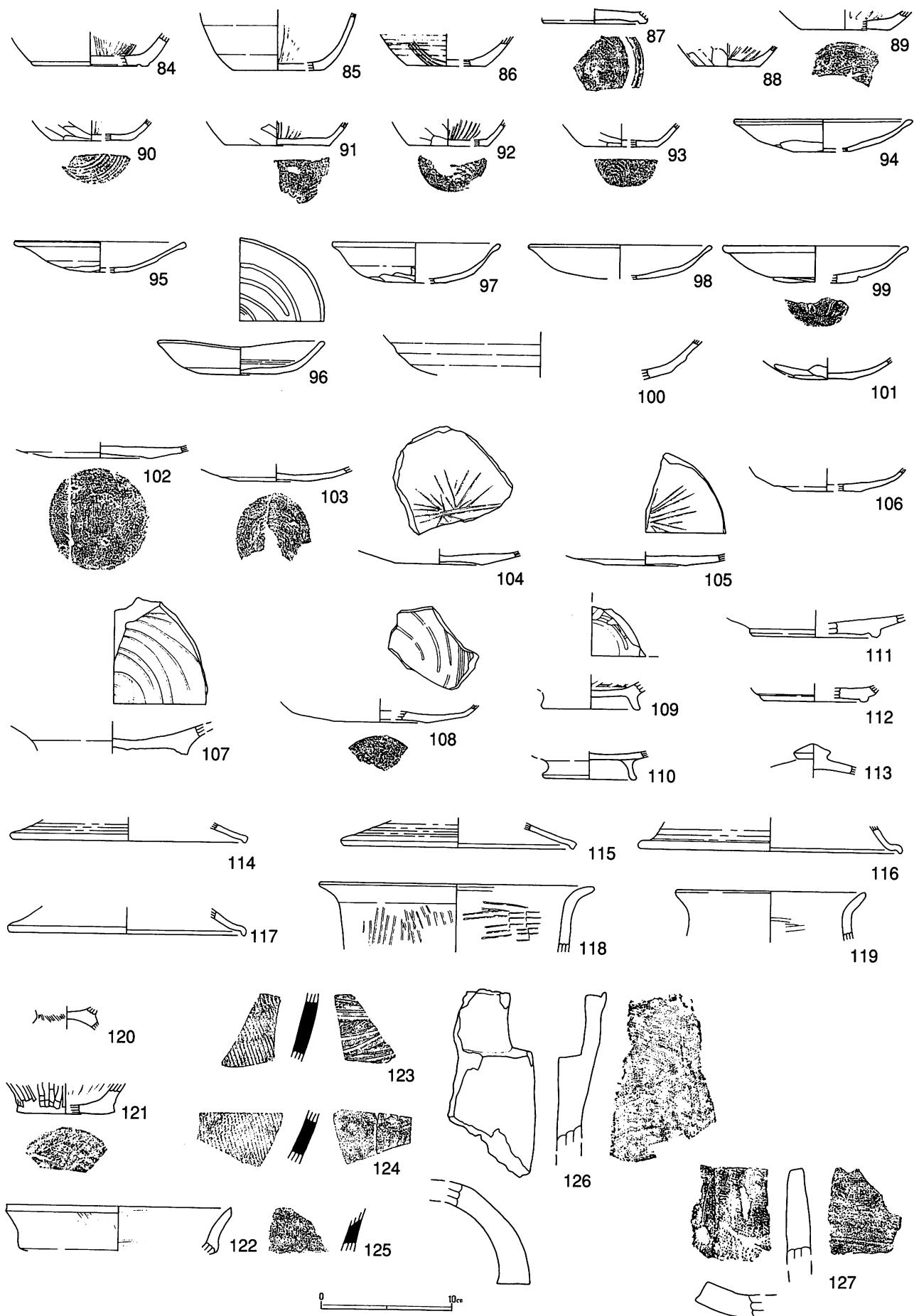
V・W-14・15グリッド。本遺構は、確認段階は上面に完形にちかい遺物が2・3点みえていたことから土坑を想定し調査に入った。プランが全く確認できなかったため遺物集中部分の中央と想定される部分にセクションベルトを設定し、掘り下げを開始したが、遺物は出土し続けたうえ、範囲も深さも予想以上に広がった。最終的には底面で壁の立ち上がりが確認でき、長径180cm、短径160cm、深さ100cmを計ることとなった。壁は一部に垂直にちかい部分があるが、45度程度の角度で立ち上がる。しかしこのまま広がり続けることは予想しにくく、当時の地表面からの掘り方も2m程度であったと想像される。本井戸跡も50cm程度掘り込んだ所で水が染みだし、翌朝にはヒシャク等でくみ出す作業を行わなければならない状況であった。



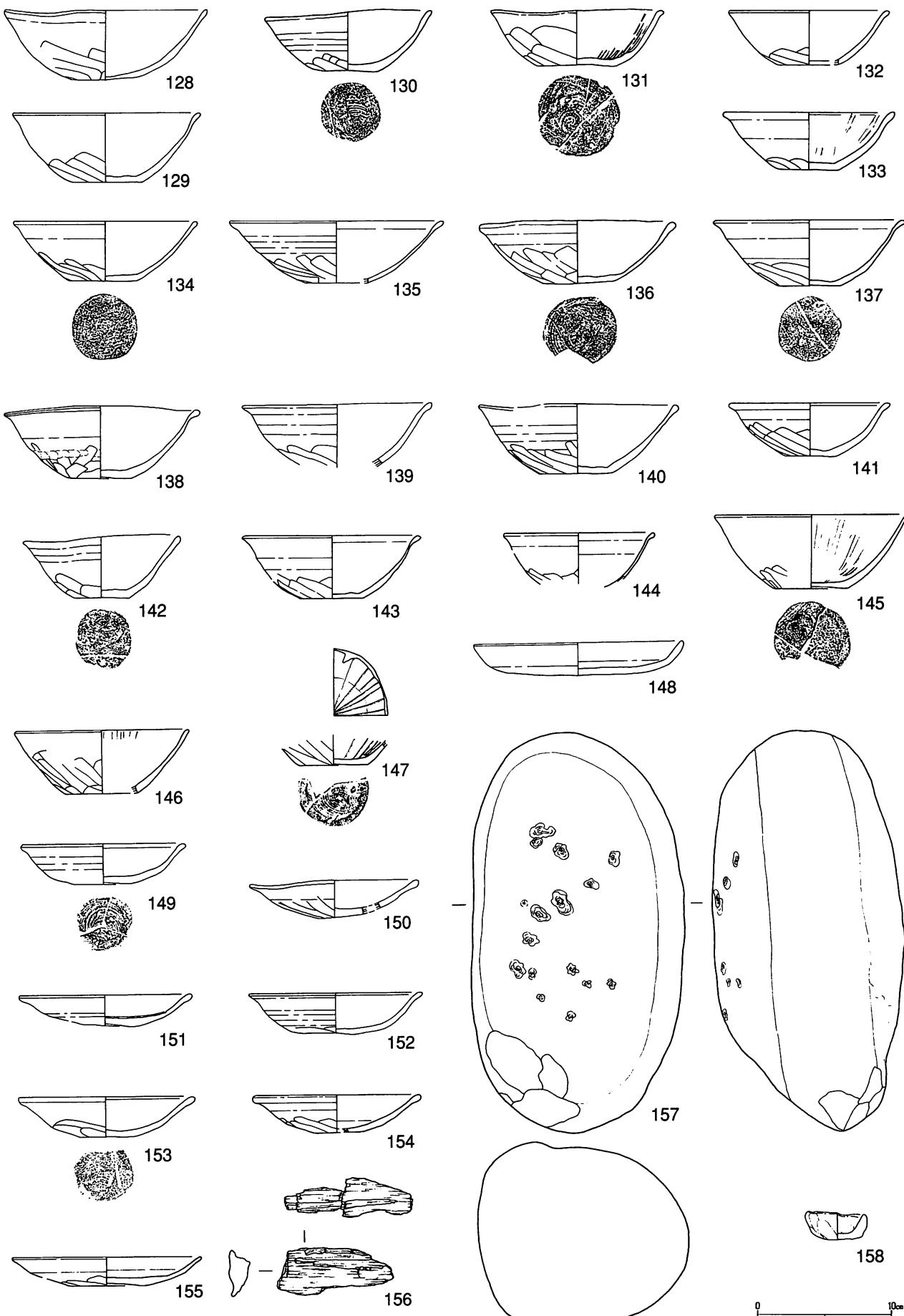
第11図 2号井戸出土遺物（その1）



第12図 2号井戸出土遺物（その2）



第13図 2号井戸出土遺物（その3）



第14図 2号井戸出土遺物（その4）

本井戸跡の最下層から出土している完形もしくは半完形資料は1・2・129・134・140などである。1・2がX期、129・134・140がXI期に位置づけられよう。逆に上層からは3・4・137・138・150などが出土している。4に暗文がみられる他は全く暗文ではなく、ほとんどがXI期に位置づけられるものであろう。そのほかの壺は、口縁部が肥厚し、暗文が施されないXI期の資料が多い。なお皿では、渦巻き状暗文が施された16も上層部からの出土であり、IX～X期に位置づけられる。暗文のみられない17はXI期、15や149～154に示した資料は口縁部の状況からXI～XII期への位置づけが妥当であろう。鉢は少なく10と68の2点であるが、10は口縁部をはつきり意識し外反させるタイプで、暗文が施されている。鉢は資料が少なく編年が確立されているとは言い難いが、これまでの例からしてIX期もしくはX期に位置づけられよう。68には暗文がみられないが、同様の時期へ位置づけておく。

以上のように、壺と皿については例外的にVII期に位置づけられるものがあるものの、主体となるのは、壺はX～XI期、皿はIX～XII期、鉢がIX～X期となる。

なお、大量の資料中に、わずか1点だけではあるが、手づくね土器（158）が上部から出土していることが確認された。

第5節 溝 跡

・ 1号溝跡

A～C－2グリッド。本溝は調査区のはずれに確認されたもので、掘り込みそのものは非常に浅く、遺物の集中が認められたことで検出されたものである。なお、本溝のすぐ脇に単独で埋甕が確認されたが、本溝資料と同時期と判断された。本溝の時期資料は今回の調査では唯一ここでのみ確認されていることから、これらに何らかの関連を想定すべきであると考え、ここでまとめて報告することとした。

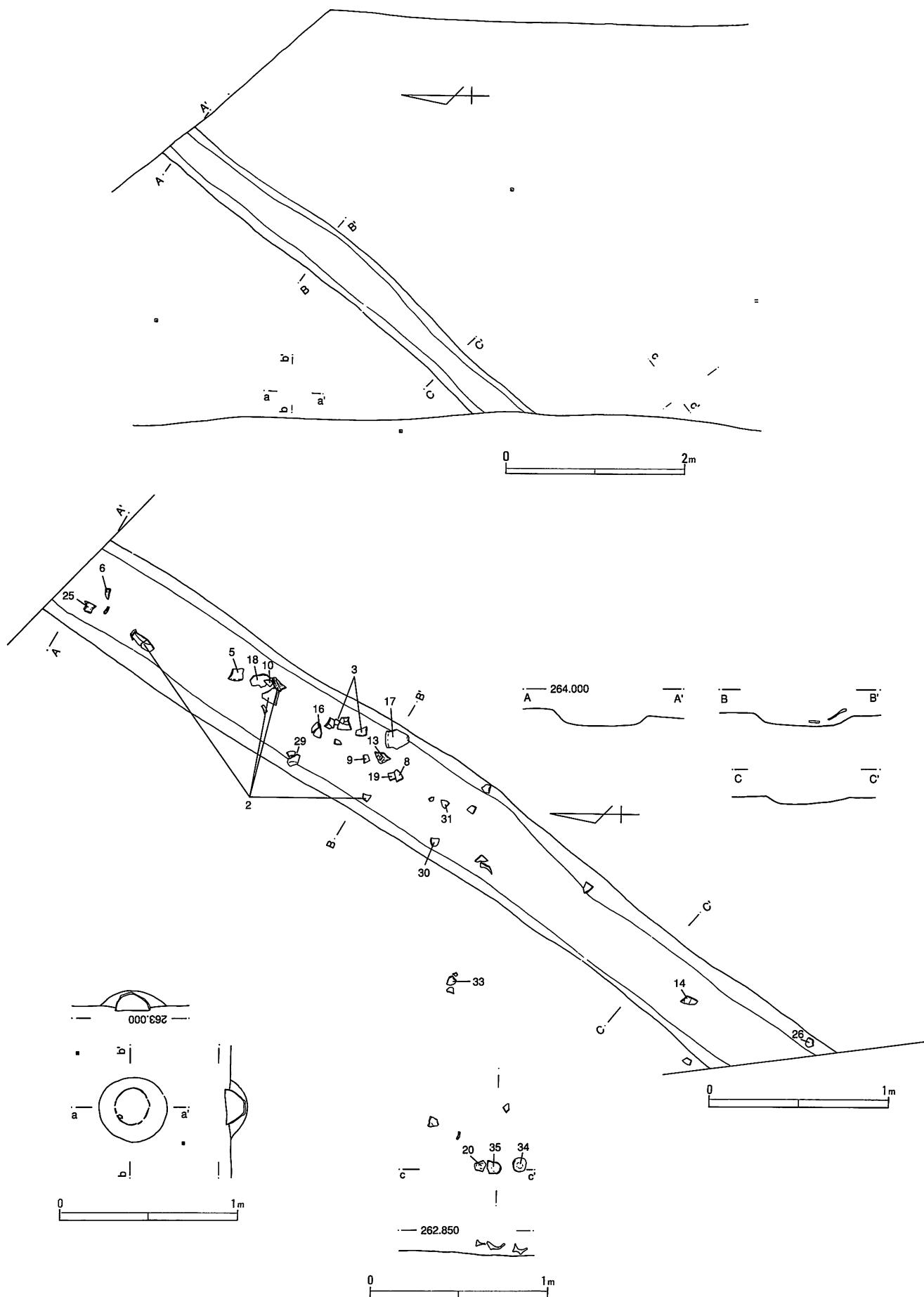
埋甕は溝の北西1mで確認された。掘り方は直径35cmの円形を呈し、確認面からの深さは10cmである。掘り方内には黒色粘質土と焼土の混土が確認された。なお埋甕内は黒色土だけであり、焼土等は確認されなかった。これについては周辺のサンプル2点と一緒にリン分析を実施したが特に内部のリン分富化は認められないとの報告があった。

溝は幅50～60cm、深さは平均5cmである。前述したように遺物の集中が認められたことから、何度も遺構確認を行い、その結果ようやく溝の掘り込みが確認できた状況である。調査区を横切るように確認されており、さらに区域外に延びている。これが直線で延びるのかどこかで屈曲するのかは不明であるが、調査区西端から2m離れて、同時期の台付甕数点が並んで確認されていることから、調査区のすぐ脇で90度曲がって再び調査区域内に存在するかとも思われたが、台付甕周辺を何度も確認したものの、溝の確認はできなかった。

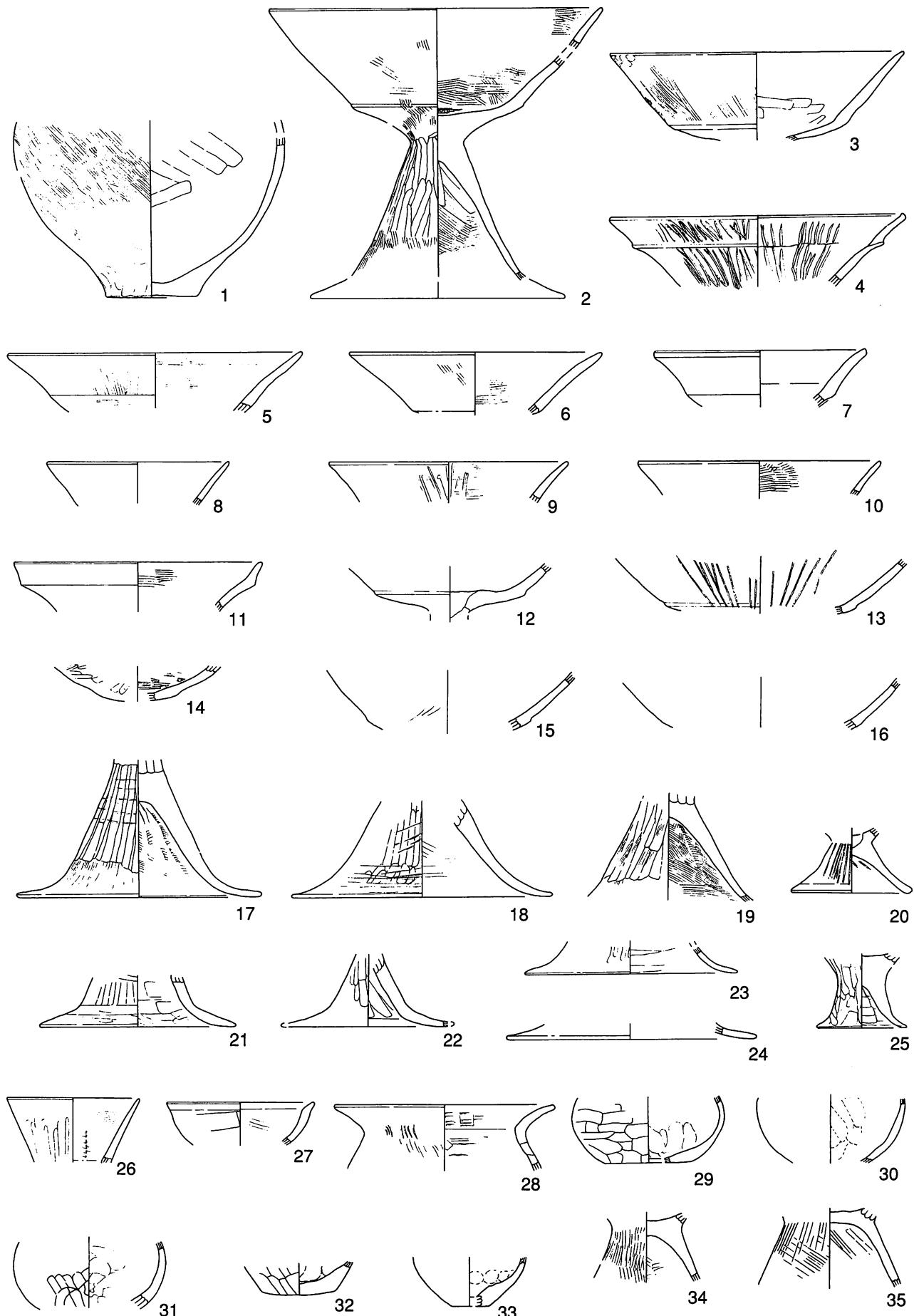
遺物は土器だけである。1は埋甕で、球形の胴部下半である。恐らく壺であろう。外面には櫛状工具による条痕がみられる。県内ではこれまで古墳時代中期の資料が非常に少なく、このような条痕のみられる甕がこの時期に一般的であるのか不安もあるが、ここでは一応この時期への位置づけとしておく。2は唯一復元できた高壺である。3～16は高壺の壺部、17～24は同じく高壺の脚部である。溝からの出土ということもあるが、高壺が目立つ。高壺は壺部に陵を有すること、また脚部では端部が極端に開くことの2点に特徴がある。その他、壺（26）・椀（27）・甕（28）・台付甕（34・35）などが出土している。

・ 2号溝跡

H・I－5・6、J－5グリッド。今回の調査で最も時間のかかった遺構である。幅2～3m、深さ0.2～0.3mの範囲におびただしい量の土師器が捨てられていた。調査面積は14m²程度であるが、遣り方を組んで1,200点ほどを実測し取り上げた。これらの遺物は暗褐色粘質土中に含まれ、少なくとも砂混じりで流されたような状況はみられなかった。明らかにあの場所に投棄されたものである。遺物に混ざって20～30cm大の石が散見されるが、これらの石の上下にも土器が確認されている。特に石の下では押し潰された状況が明らかで、土器の廃棄



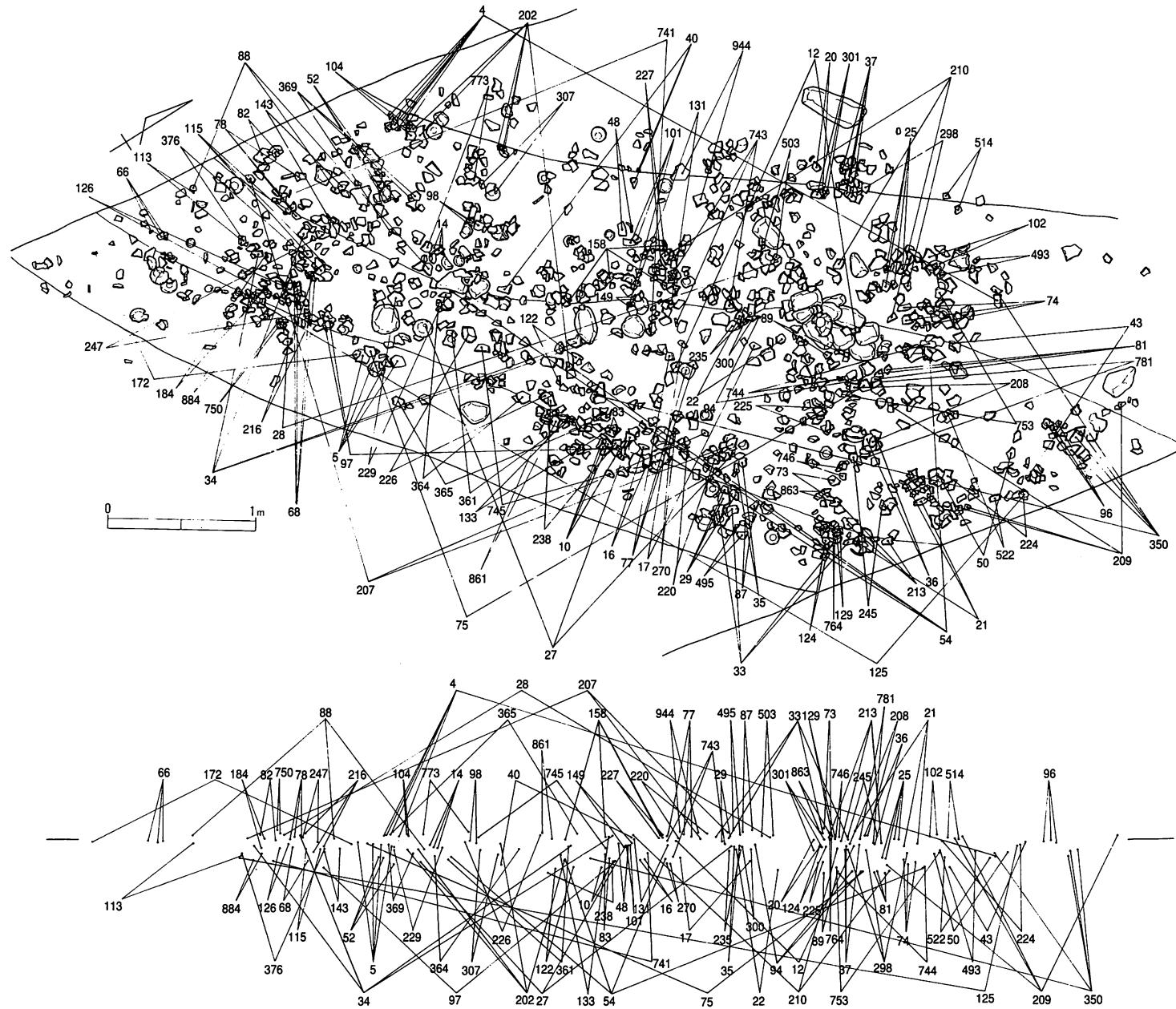
第15図 1号溝・1号埋甕



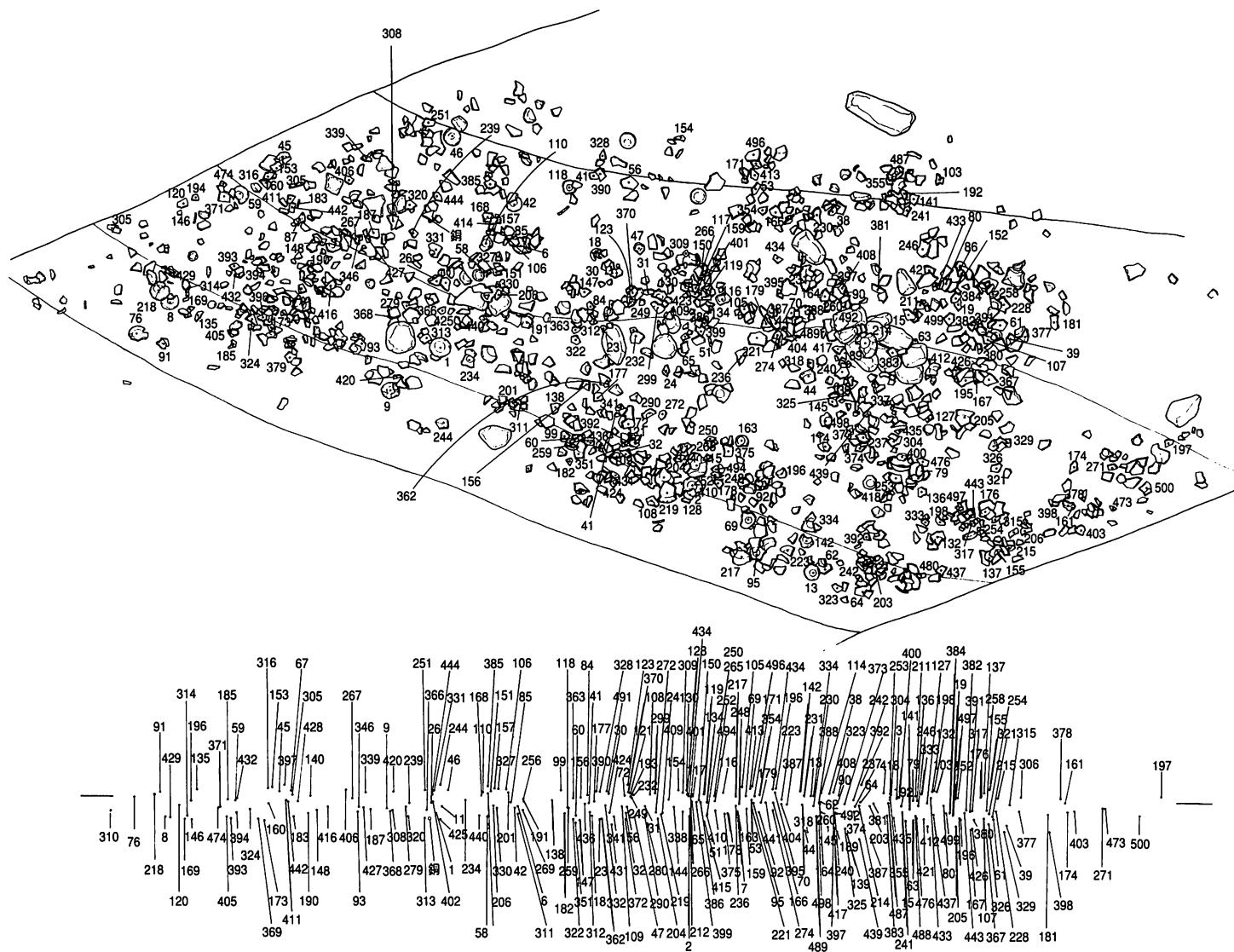
第16図 1号溝出土遺物



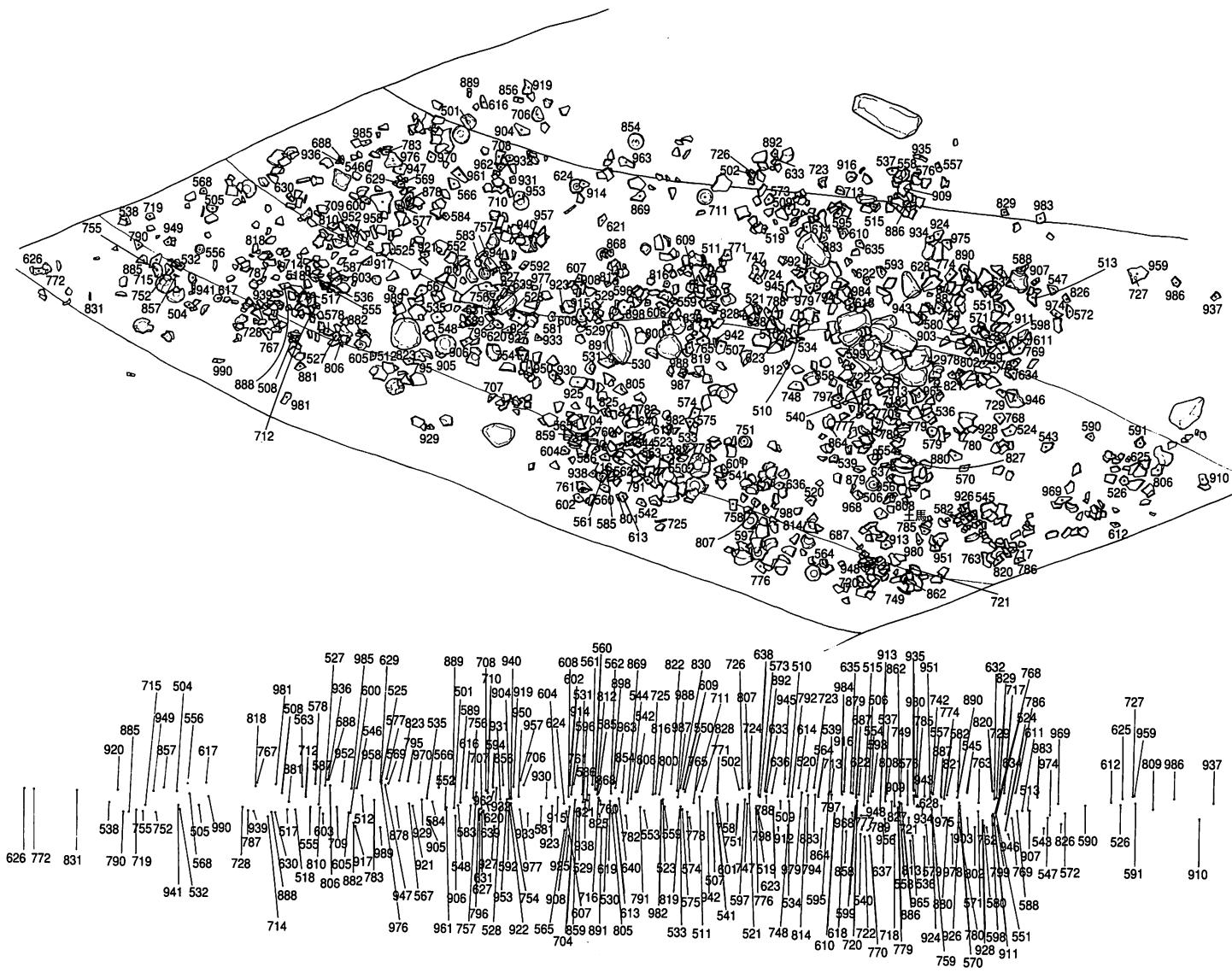
第17図 2号溝平面図



第18図 2号溝接合図



第19図 2号溝遺物位置図（その1）



第20図 2号溝遺物位置図（その2）

中に石の投げ込みも行われていたことが窺われる。2号井戸跡でみられた全く無傷な完形品は、ここでは確認されなかった。13は完形であり割れも見当たらないが、底面の削りを強く行い過ぎたらしく、底面に穴が空いてしまっている。恐らく焼成段階で底面を欠損したものと思われ、そのために廃棄されたものであろう。このように最も完形に近いものでさえも焼成段階での失敗が想起されることから、他の資料についても2号井戸跡とは違って廃棄と考える方がふさわしい。

接合関係では4が4m、125が5.2m、28と350が3.2mの距離で接合した例などのように比較的離れた位置での接合も確認されている。この点からも投棄が想定される。なお、これらの接合例の垂直分布はそれほど極端ではなく、最大でも20cm程度である。

遺物は非常に多いため、実測できない破片資料以外にも、実測は行ったものの極端な破片資料は掲載しなかった。遺物の掲載順序は、本来ならば、種別、器種、想定される時期毎に分類してから掲載するべきであるが、それらを検討する余裕がなかったため、今回は復元終了したものから仮ナンバーを決定し、その順序で実測したものそのまま掲載することとした。なお、仮ナンバーがあって、実測できたものでも非掲載資料としたものは、そのまま欠番とすることとした。欠番データは一覧表を参照していただきたい。したがって、今回掲載する本溝の遺物は22ページに及ぶが、器種も時期も不統一なままの図版となっている。

以下に種別、器種毎に概要を記すが、すべての資料を対象とすることはできないため主な資料を取り上げここでの傾向としたい。

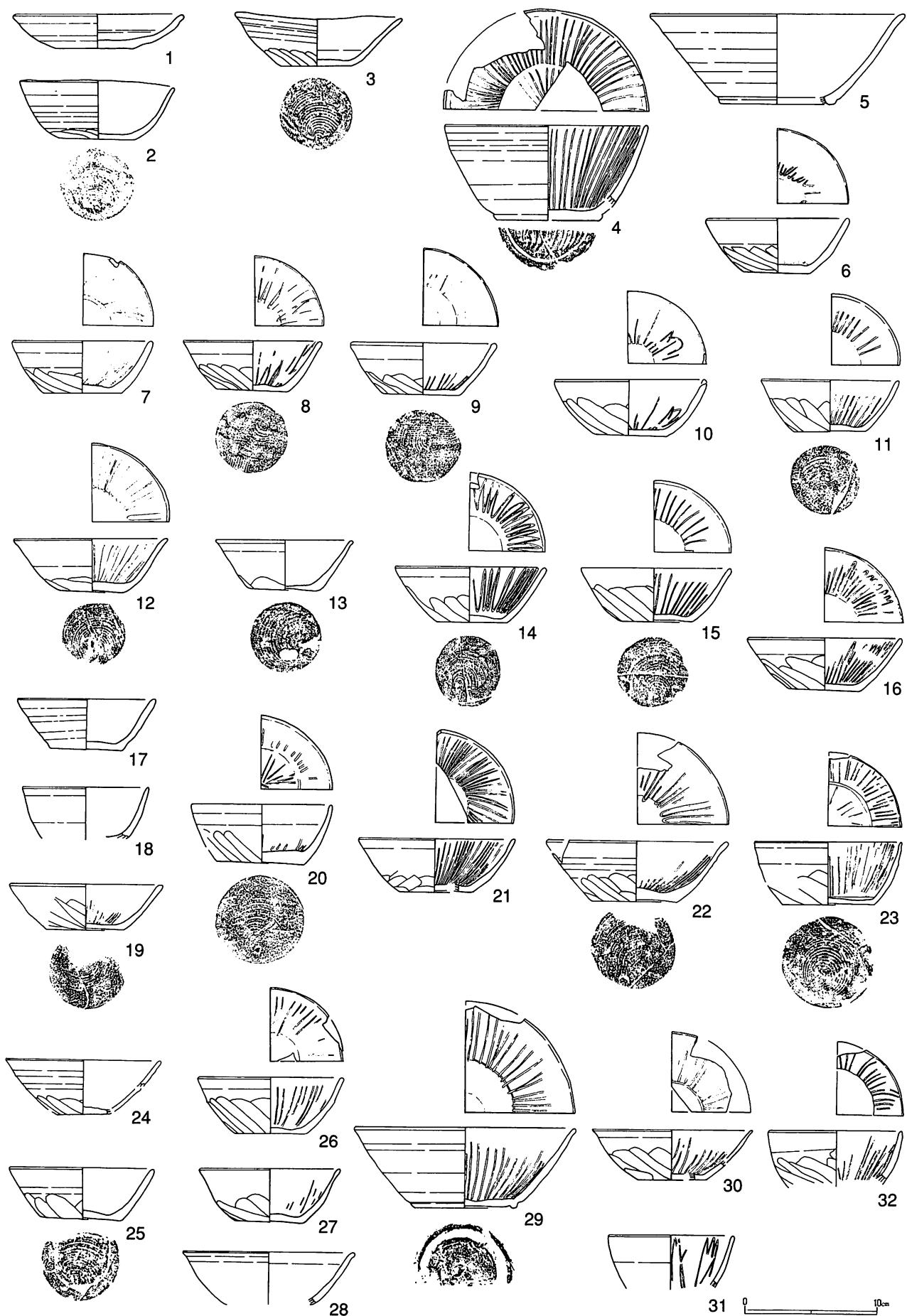
土師器は壺・皿・蓋・鉢・高壺・甕・壺などがある。

壺は通常の壺と高台付壺があるが、通常の壺から概観してみると、立ち上がりの角度がきつくみこみ部にまで暗文の施される資料が目につく。復元されたものでは23・20・41・42・44・58が、破片資料では47・101・161・171・174・185・487・493・501・502・505～507・513・519・576・607・610・854がそれにあたる。これらの資料に共通しているのは、作りが非常に丁寧であることである。また、底面中心部には糸切り痕が残るが、その周縁部はヘラ削りしており、体部外面はヘラ削りのみで磨きは見られない。なお、いずれの資料も、内面のみこみ部と体部の境にヘラによる1条の沈線施文状の磨きを行い、境の区分けをはっきり意識している。さらに23は口径11cmに対し底径7cm、20は口径10.5cmに対し底径6.7cm、42は口径10.7cmに対し底径7.2cmであり、底径の2倍がはるかに口径を上回る。以上の状況から、これらは甲斐型編年Ⅷ期に位置づけられる。また、みこみ部には暗文が施されないものの、形態や整形方法などがすべて上記と同じものとして37・39～46・51・57などがあるが、これらも同時期に位置づけられよう。さらに56は、形態や整形方法など全く同じであり、同様に同時期とできようが、暗文がラセン状の変形であり、この時期としては珍しい。

これらに続くⅨ期の資料として2・7・8・9・10・11・13・14・16・21・25・35・59・67・68・76・82・91・95・97などが挙げられる。これらは底径と口径の比率がおおむね2:1となっており、体部には暗文があるものの、みこみ部にはみられない。また、底部には糸切り痕が残るが、周縁部は回転ヘラ削りを行っている。Ⅷ期にみられた、みこみ部と体部の境のヘラによる沈線施文状の磨きがこの時期には消失するとされているが、59・67・68・76・82・91・95にはそれが明瞭に確認され、9にもそれらしき痕跡が見られることから、このような調整方法がⅨ期にもまだ残るようである。

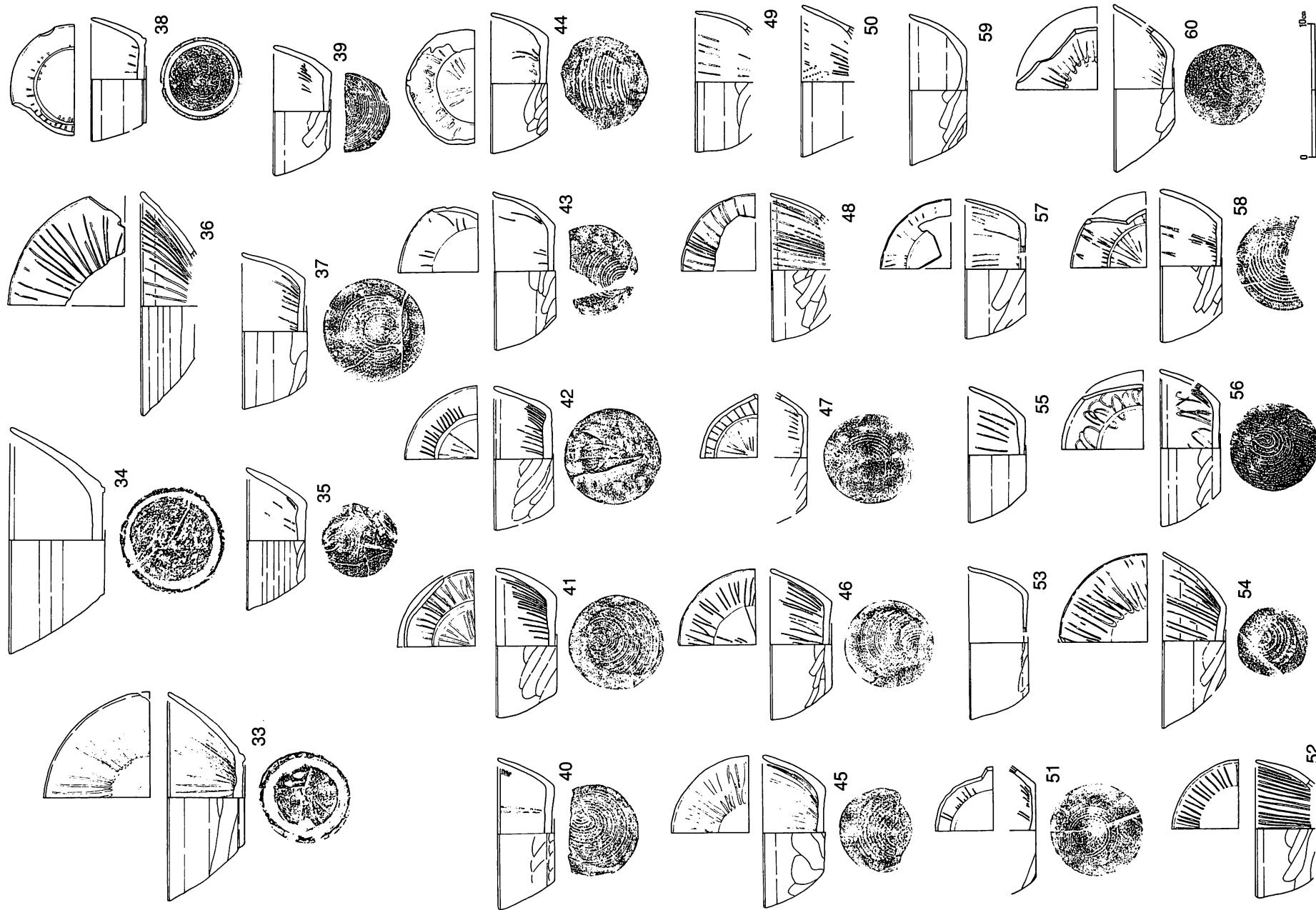
さらにⅩ期の資料としては、6・15・26・62・69・74・79・80・81・98などが挙げられる。これらはいずれも底径の2倍を口径が上回る。15・74・80・81・98は底部の中心部にのみ糸切り痕が残るが、それ以外はヘラ削りにより糸切りの痕跡は残らない。

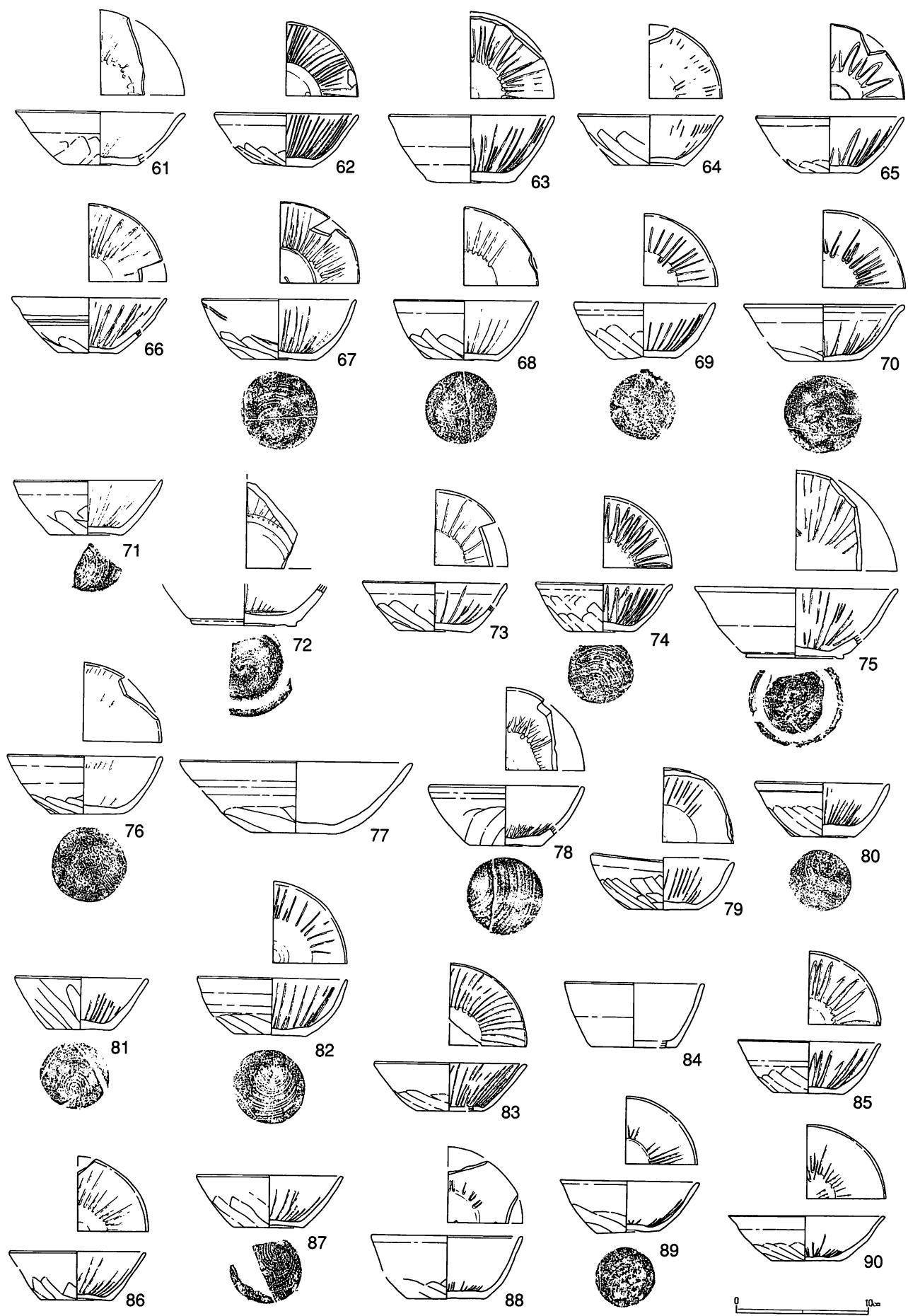
Ⅺ期に位置づけられるものには、12・22・27・54・63・64・70・73・89・94・107・861・862などがある。底面の状況は中心部に糸切り痕が残るものと全く残らないものの両者がある。体部外面下半～底部にかけては通常斜めの手持ちヘラ削りが行われるが、63には全く削りが見られないため、底部が異様に大きい。口径12.6cm対し、底径7cmで、この時期の方量の基準から大きく外れるが、削りが行われれば方量基準内に収まる可能性があること、口縁部が肥厚していないこと、暗文が見られることなどの要素からこの時期の所産と判断したも



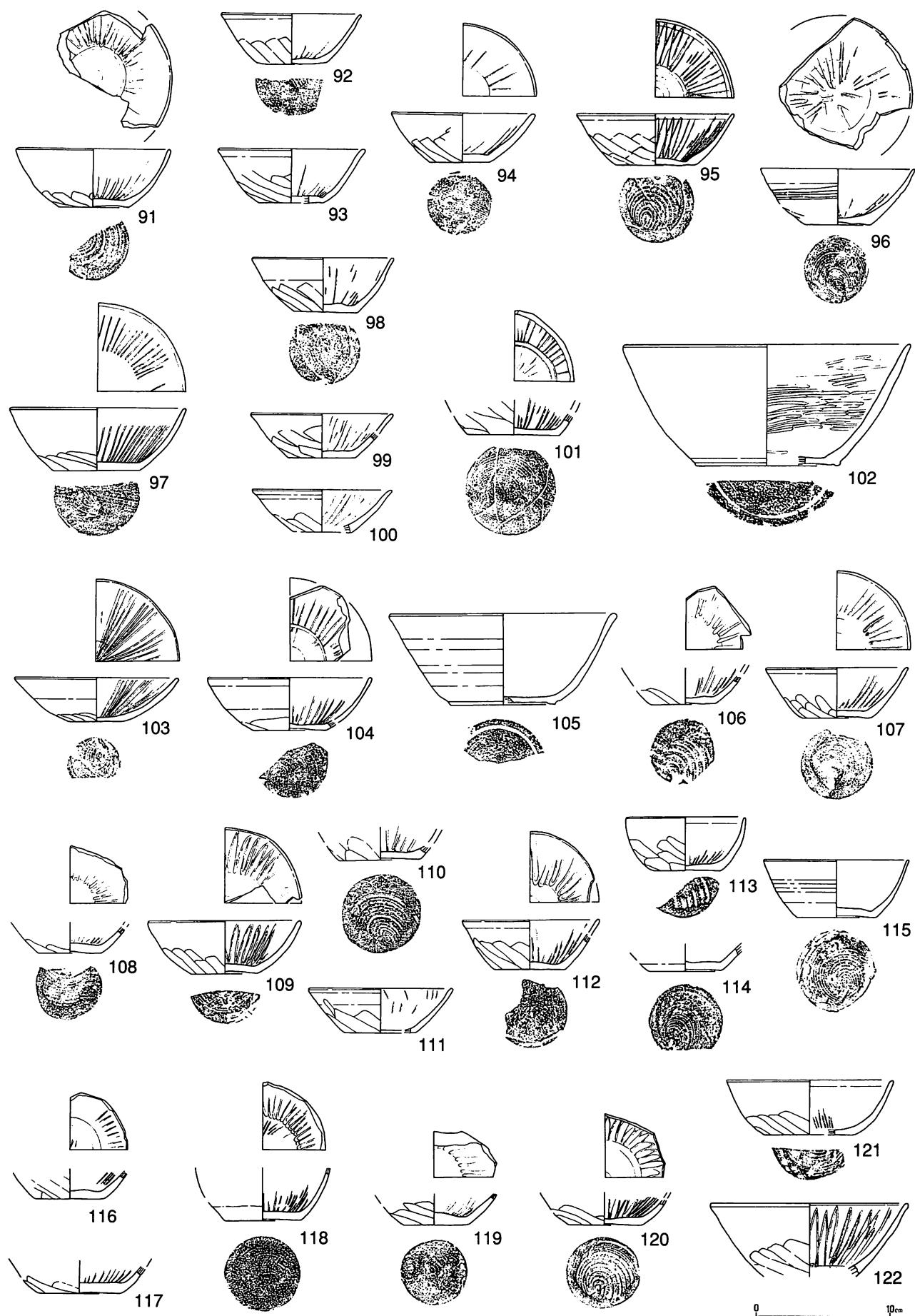
第21図 2号溝出土遺物（その1）

第22図 2号溝出土遺物（その2）

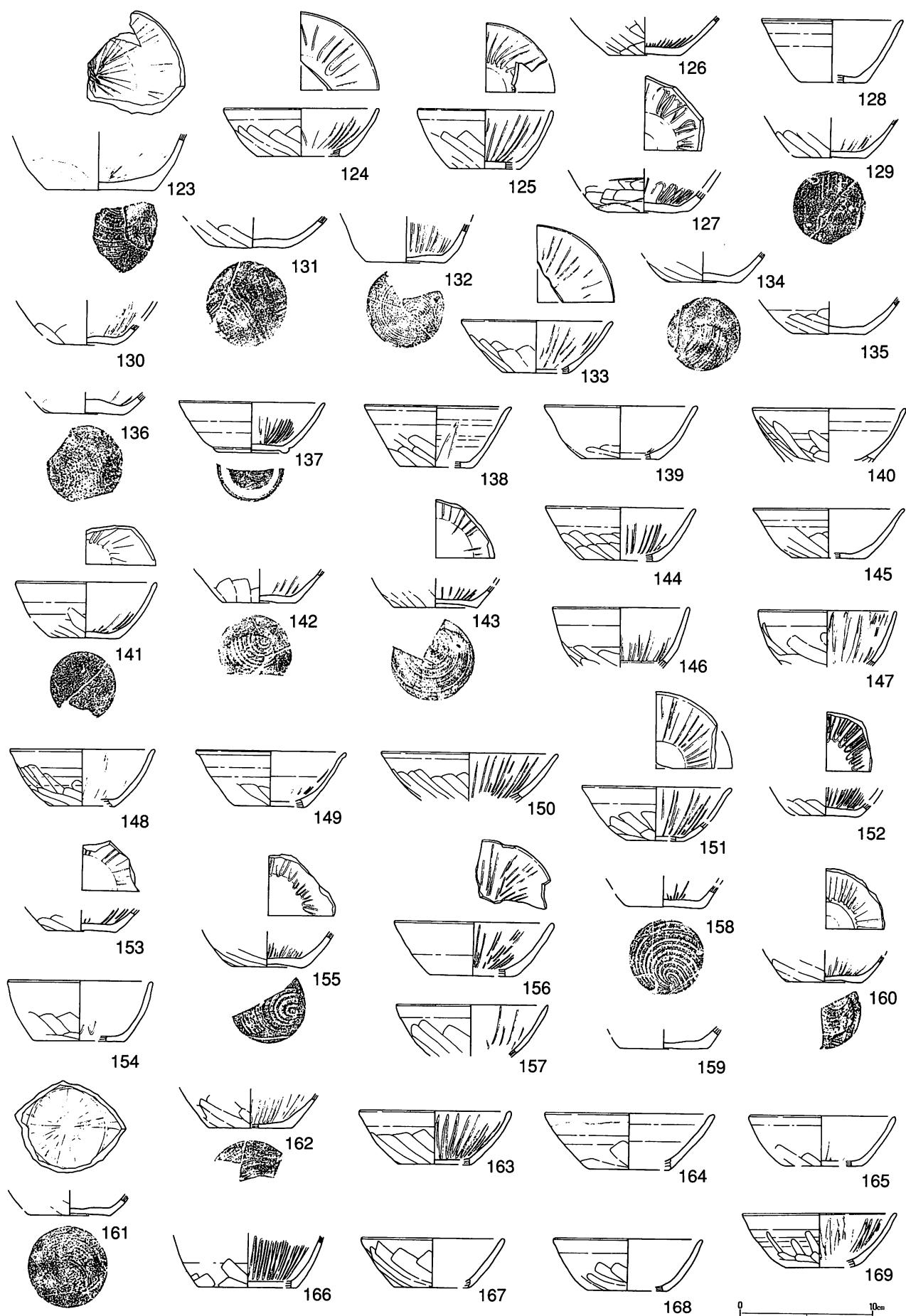




第23図 2号溝出土遺物（その3）



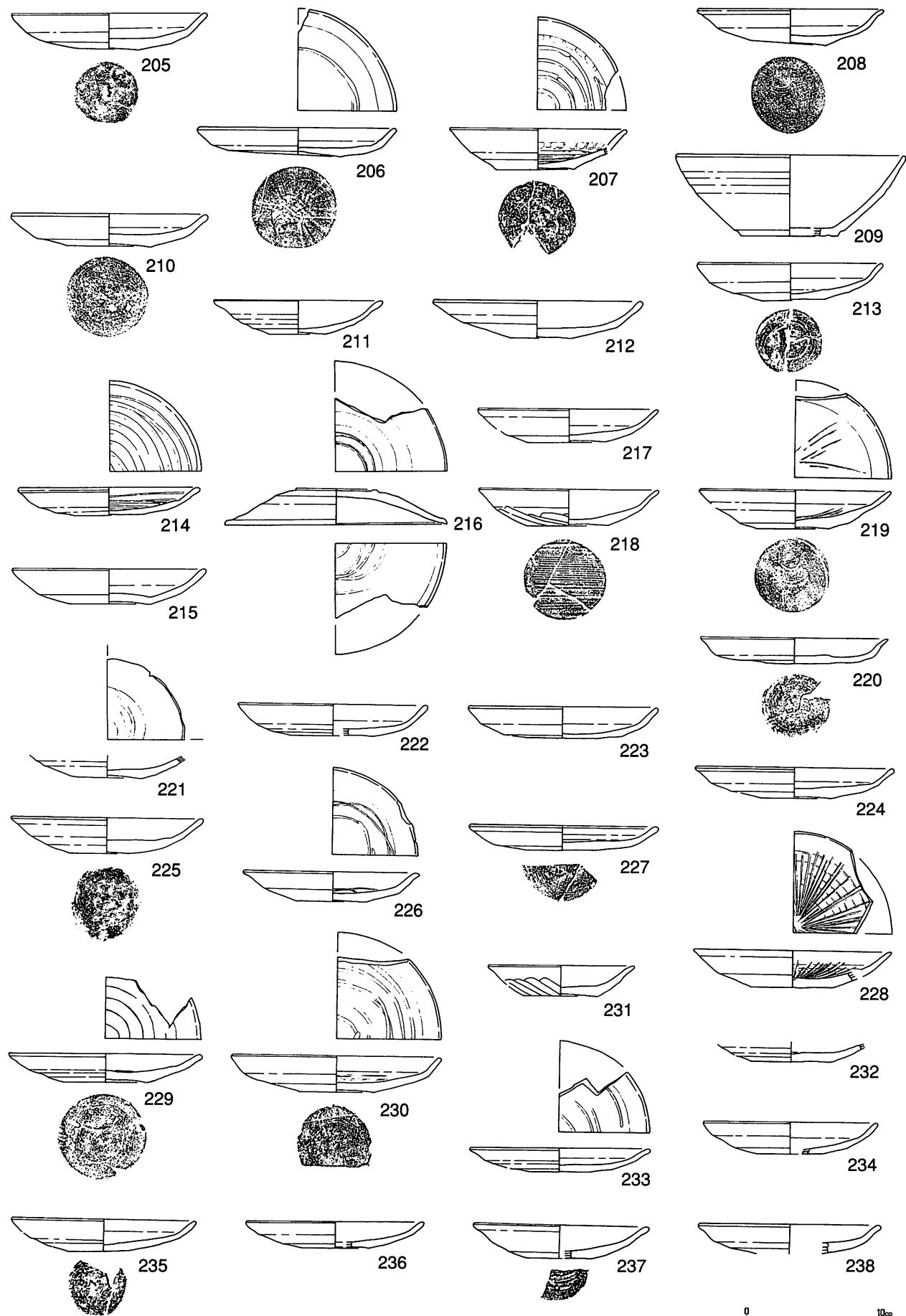
第24図 2号溝出土遺物（その4）



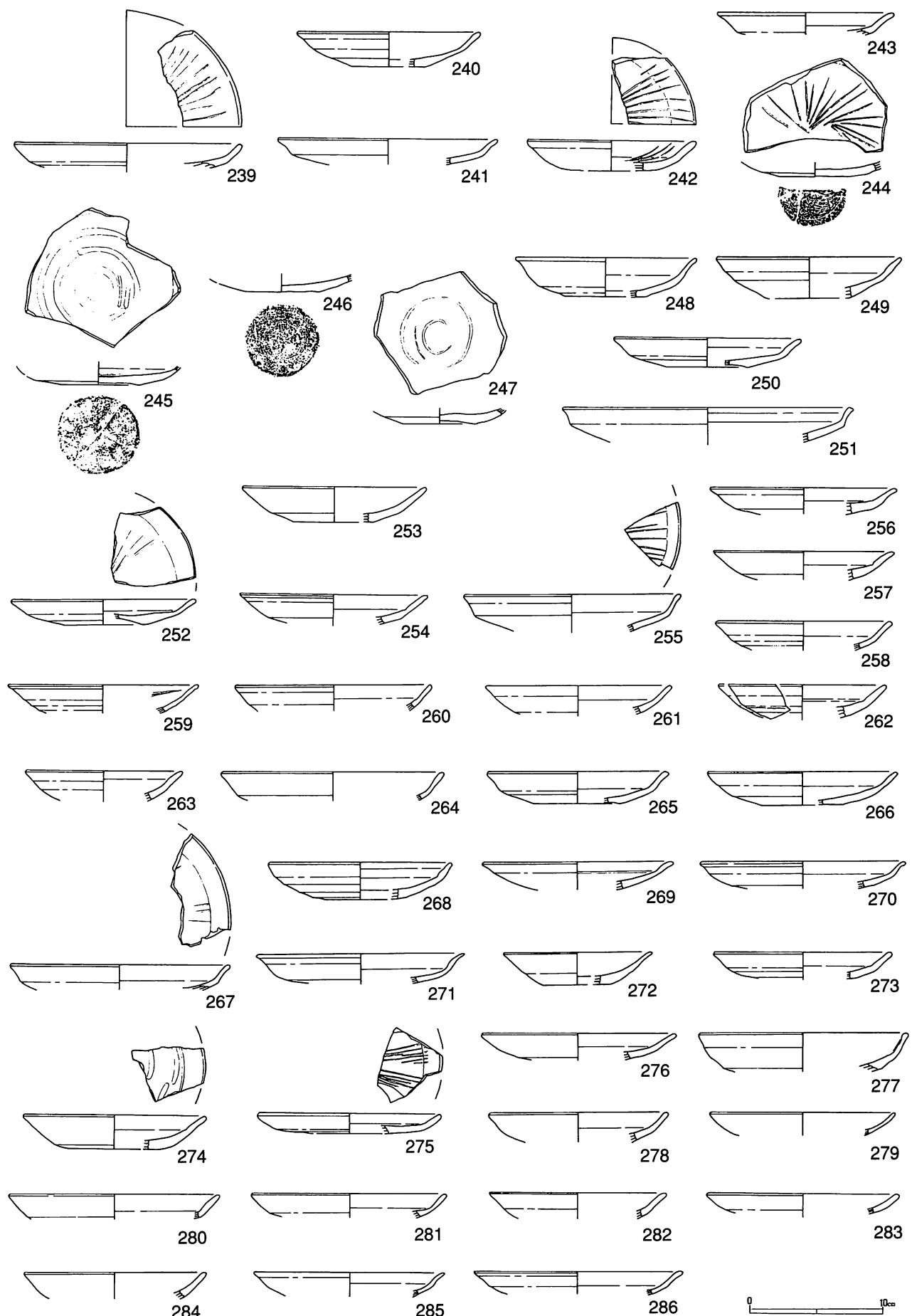
第25図 2号溝出土遺物（その5）



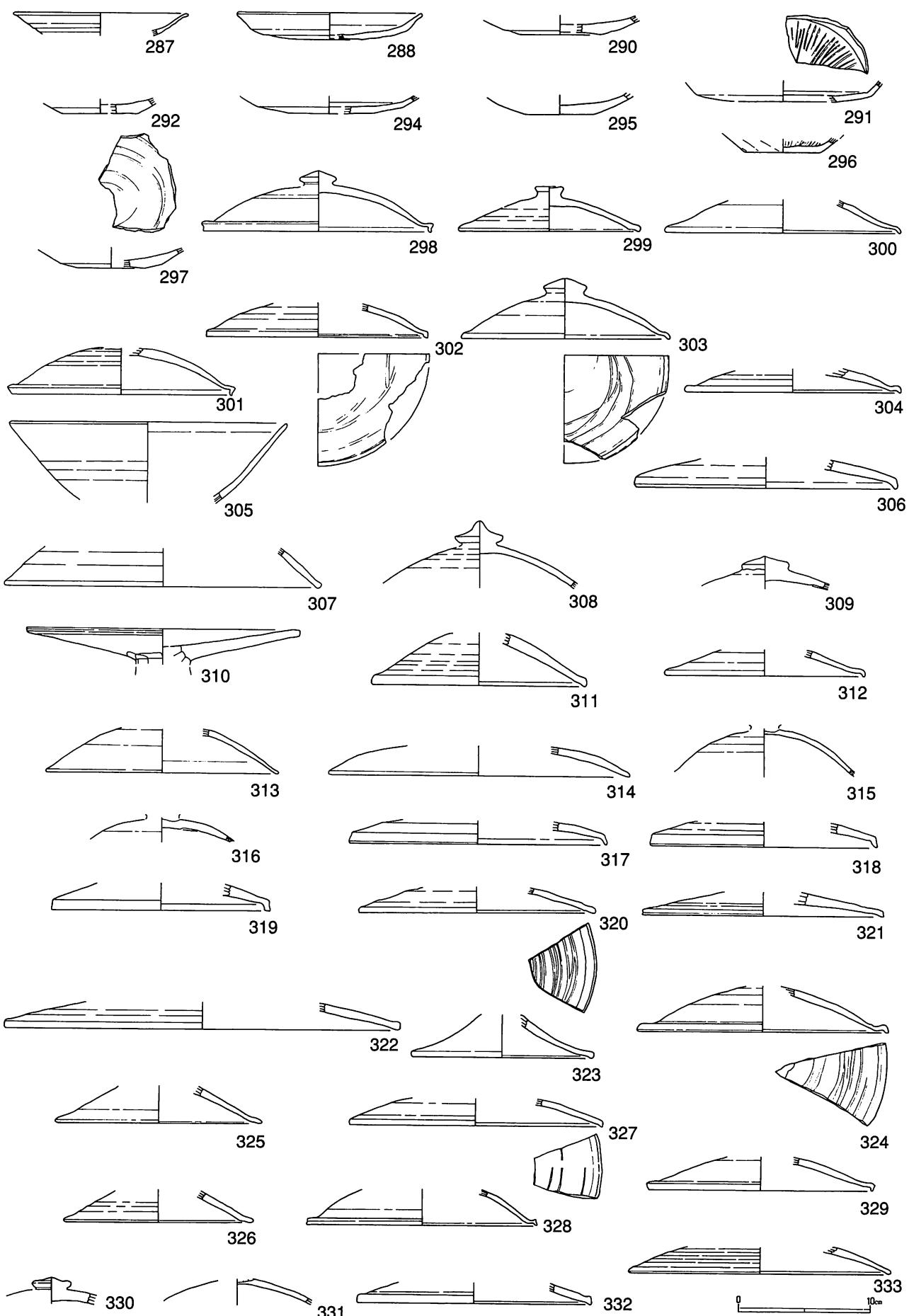
第26図 2号溝出土遺物（その6）



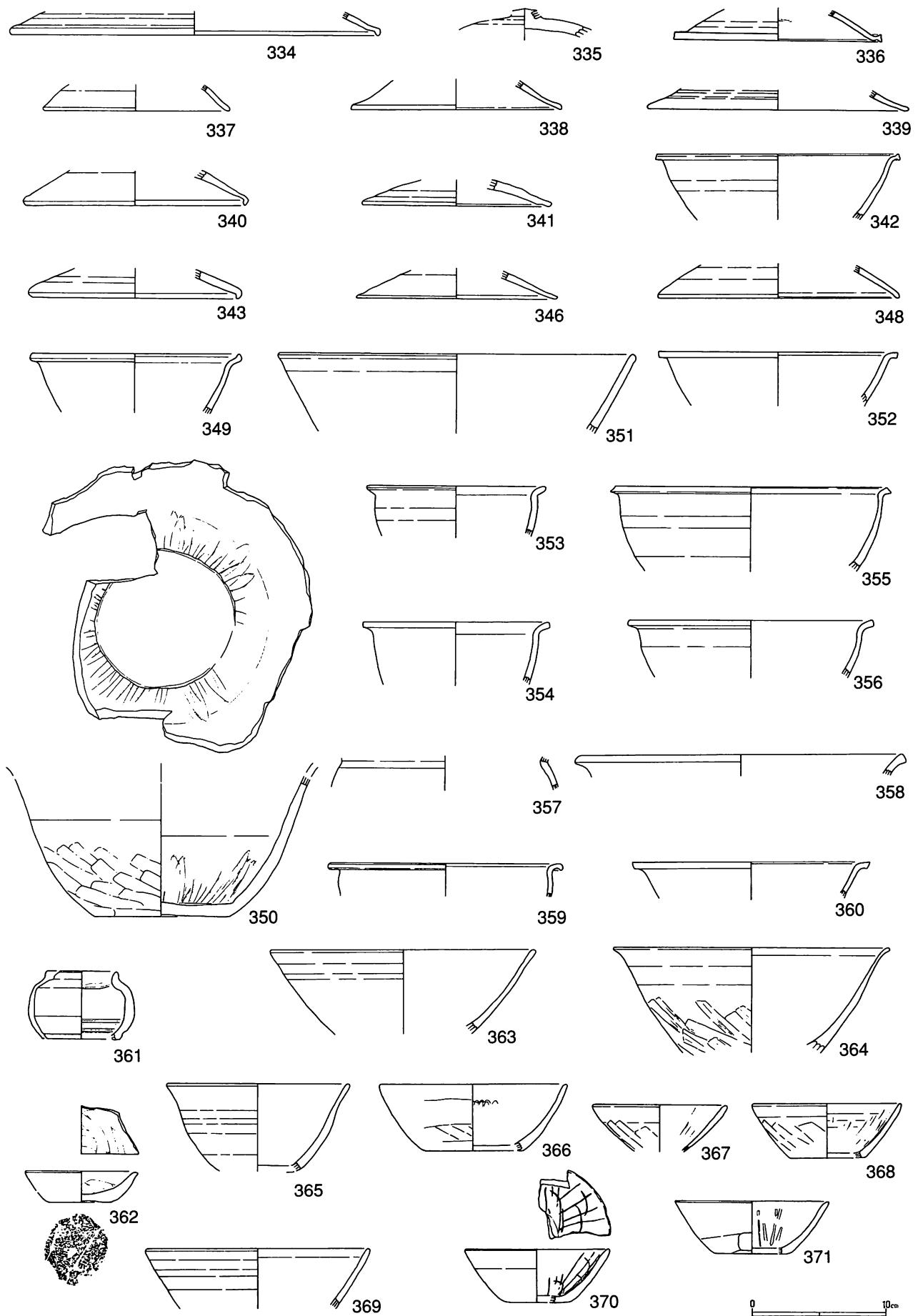
第27図 2号溝出土遺物（その7）



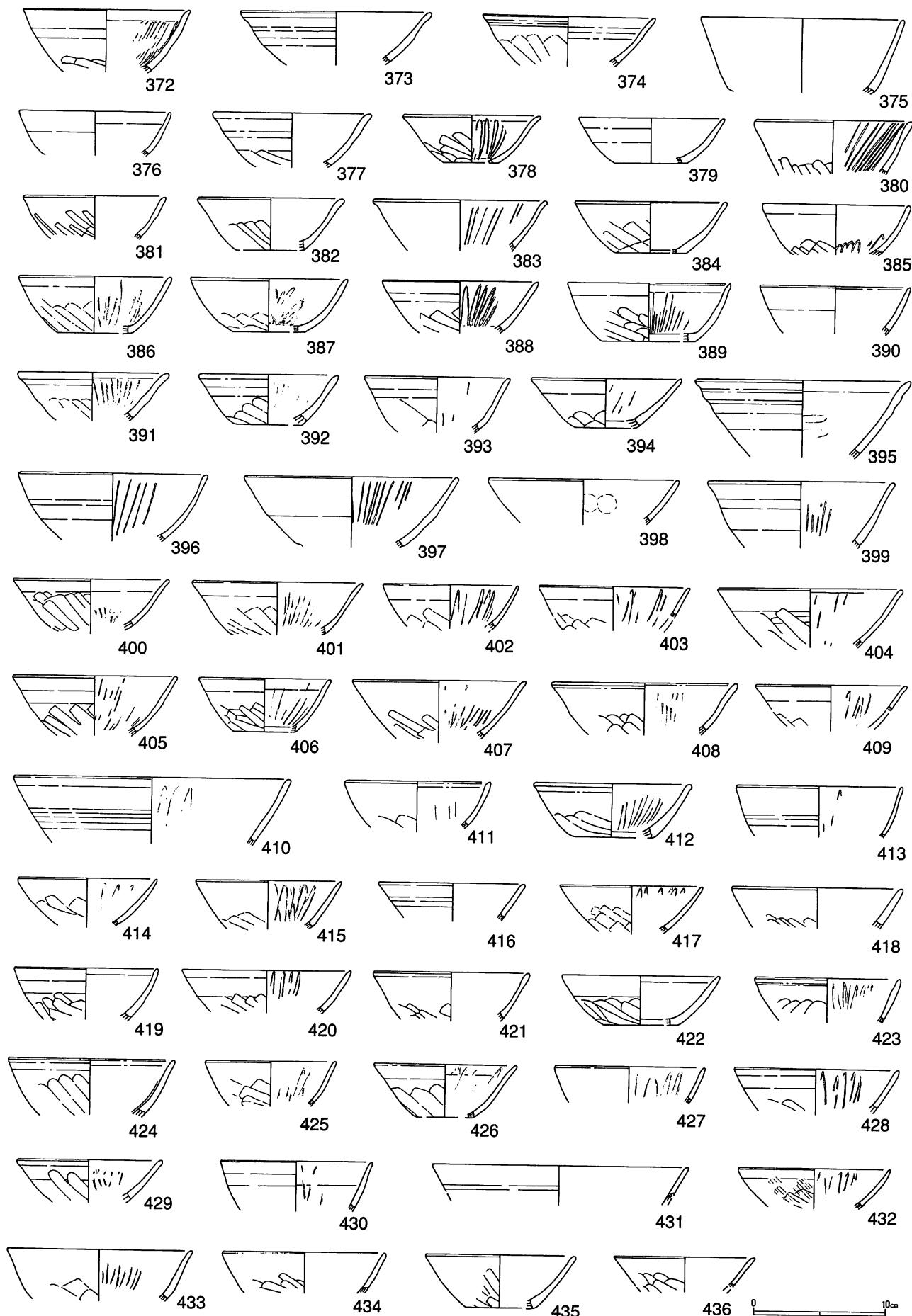
第28図 2号溝出土遺物（その8）



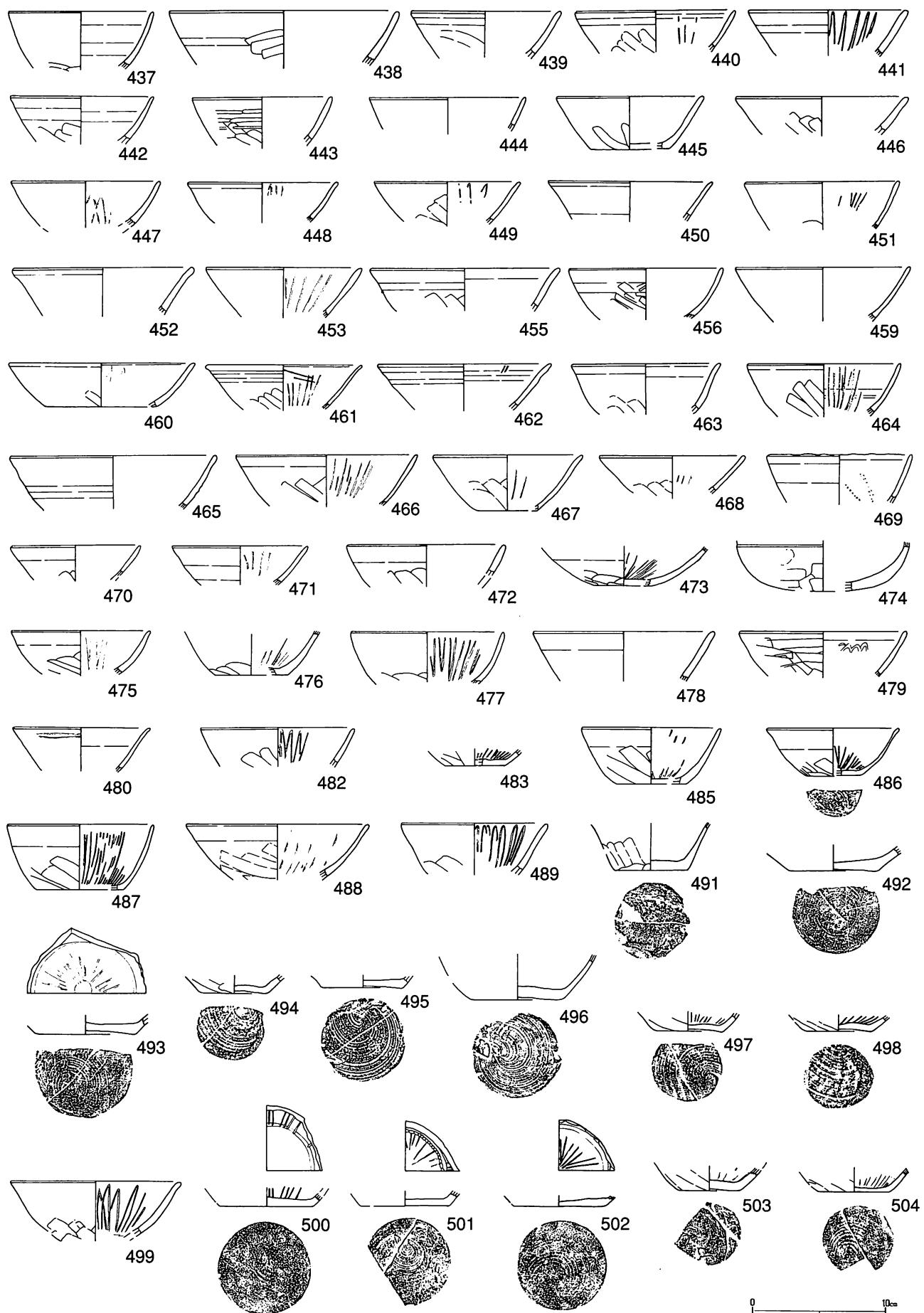
第29図 2号溝出土遺物（その9）



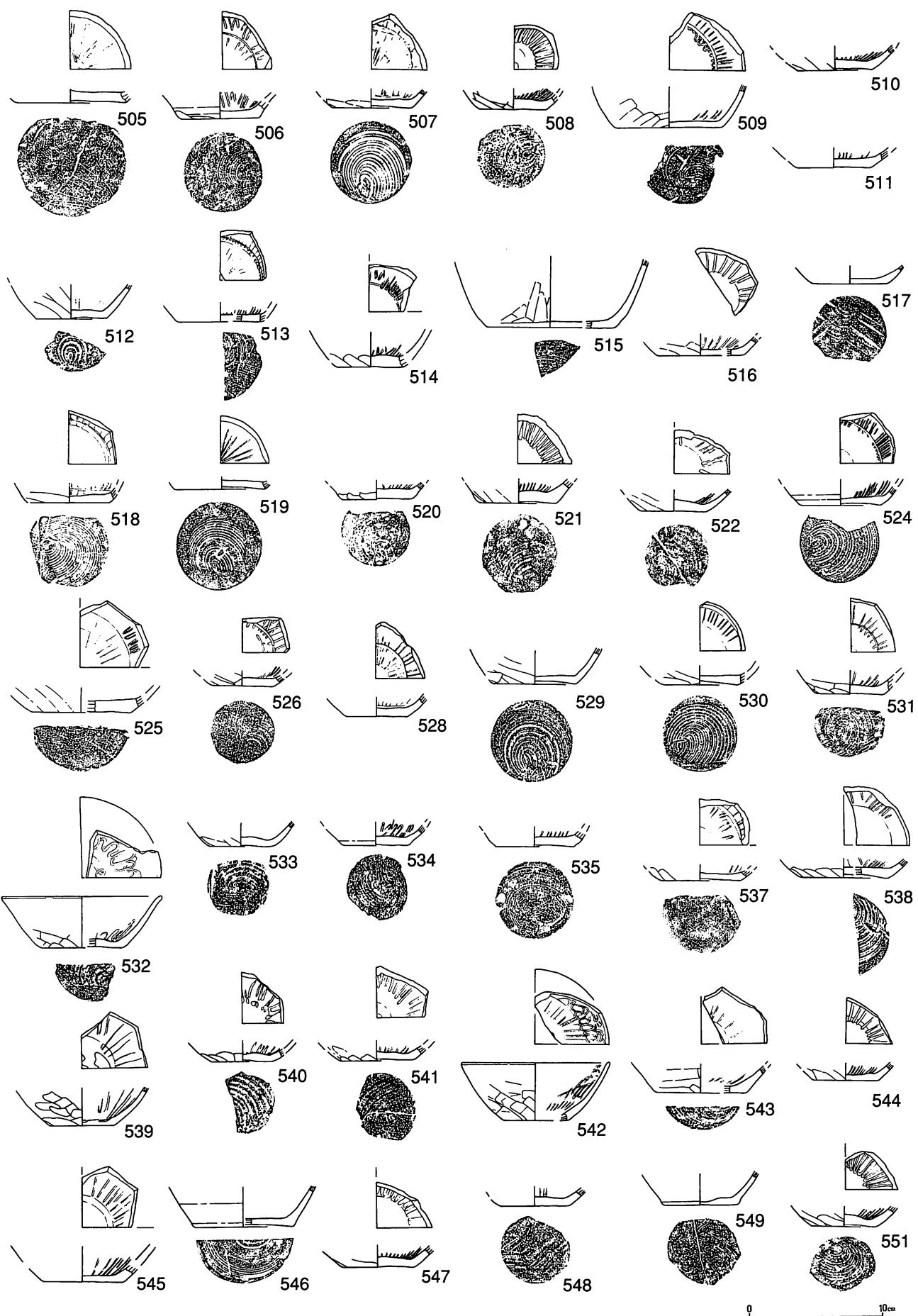
第30図 2号溝出土遺物（その10）



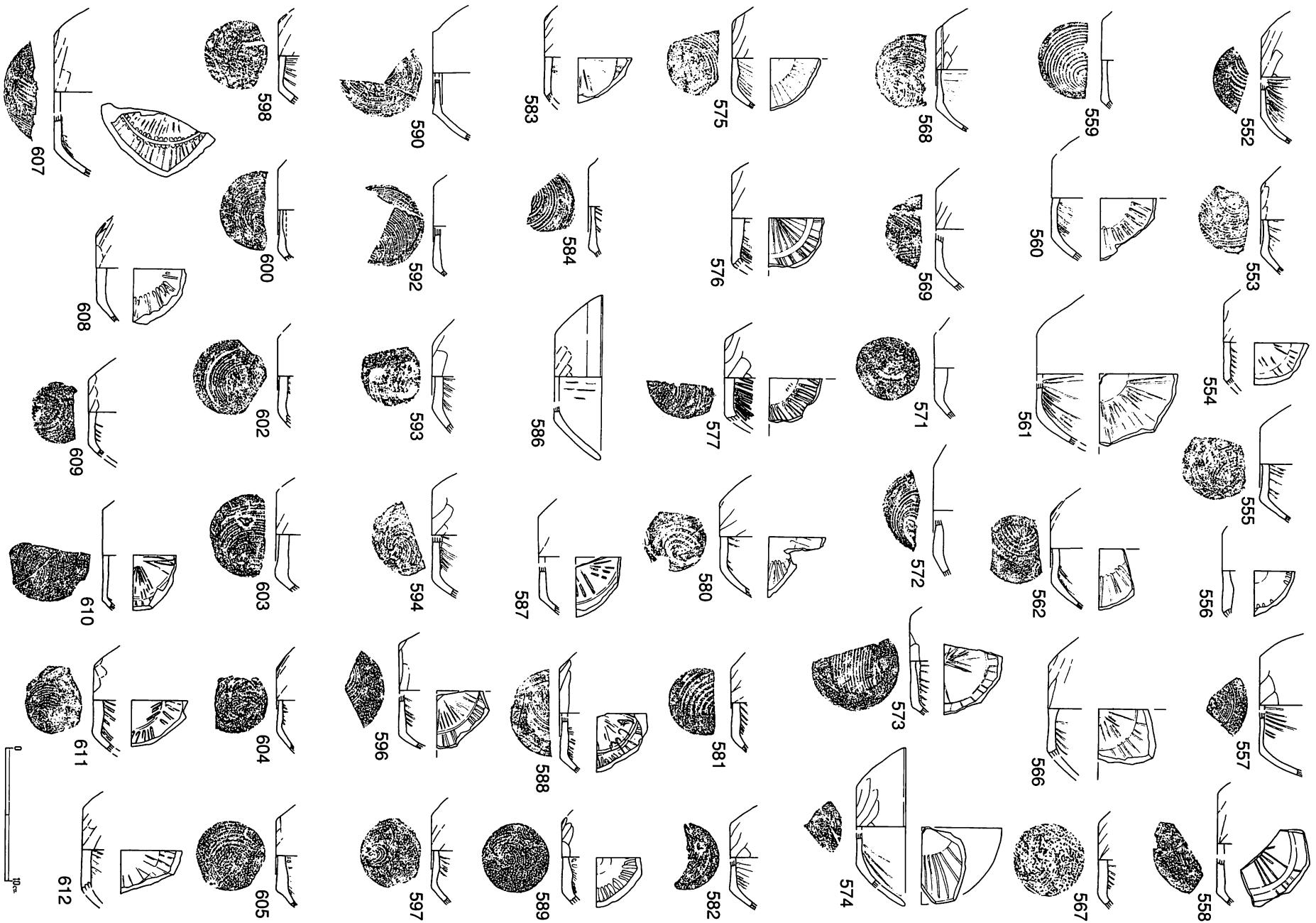
第31図 2号溝出土遺物（その11）



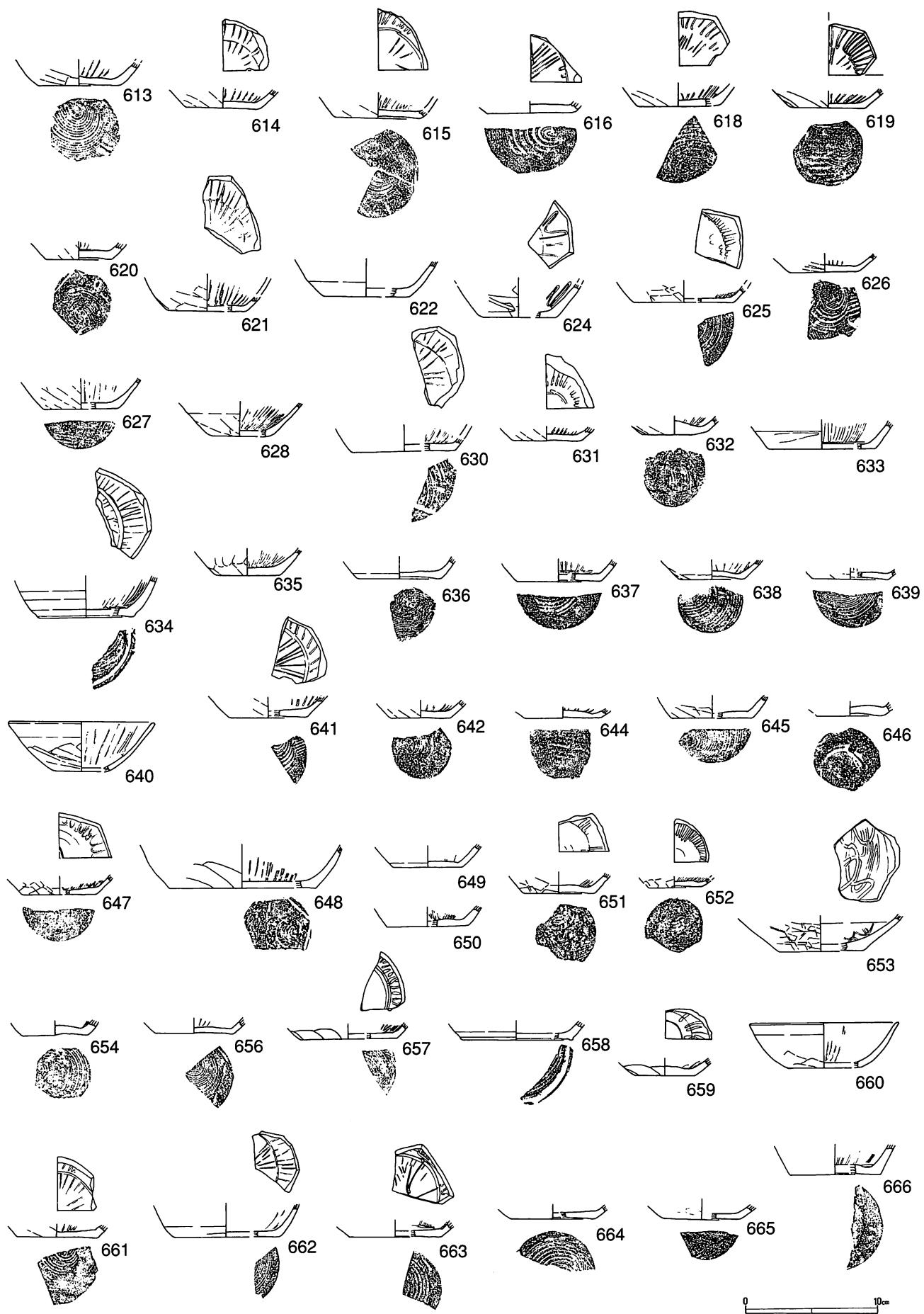
第32図 2号溝出土遺物（その12）



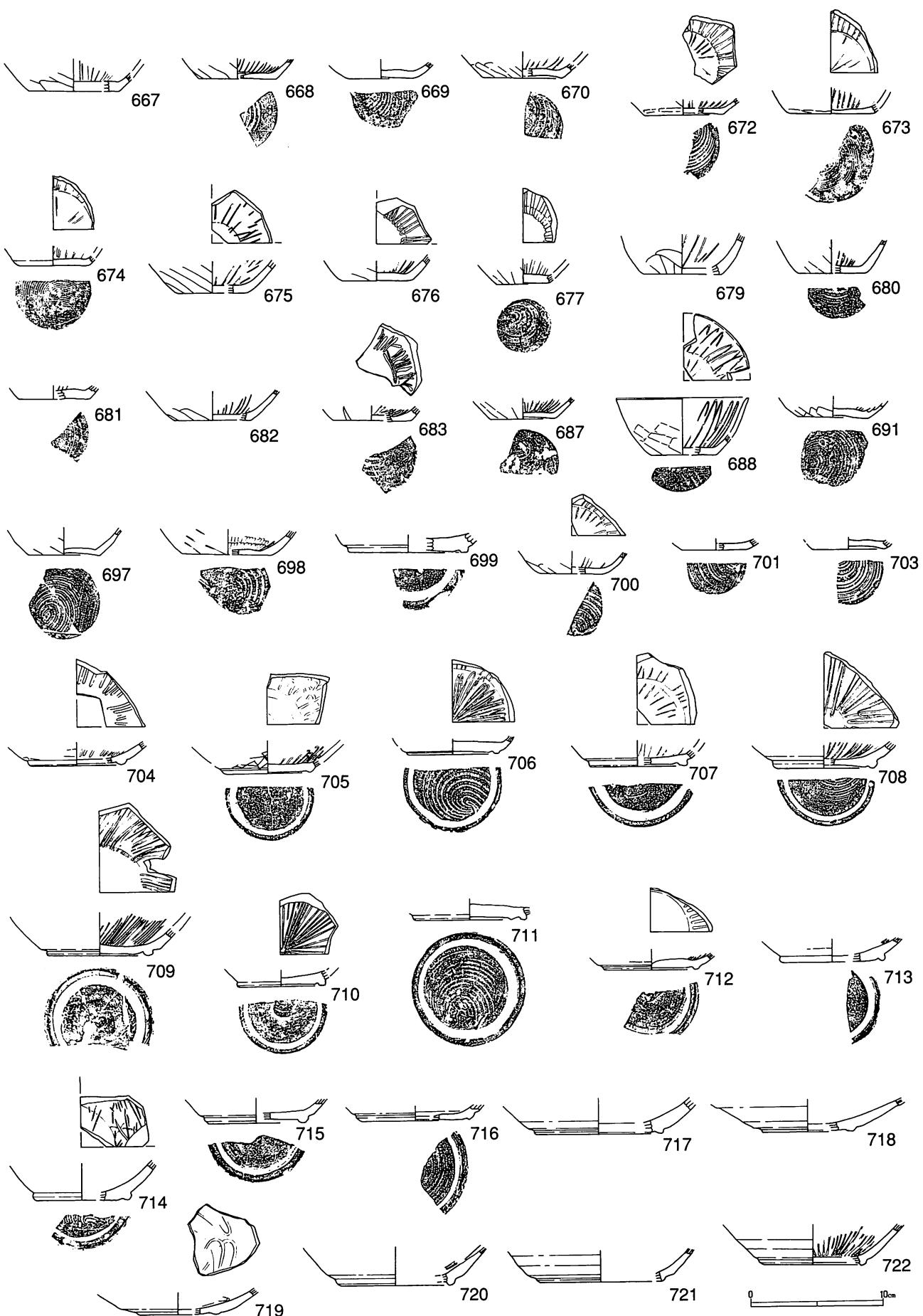
第33図 2号溝出土遺物（その13）



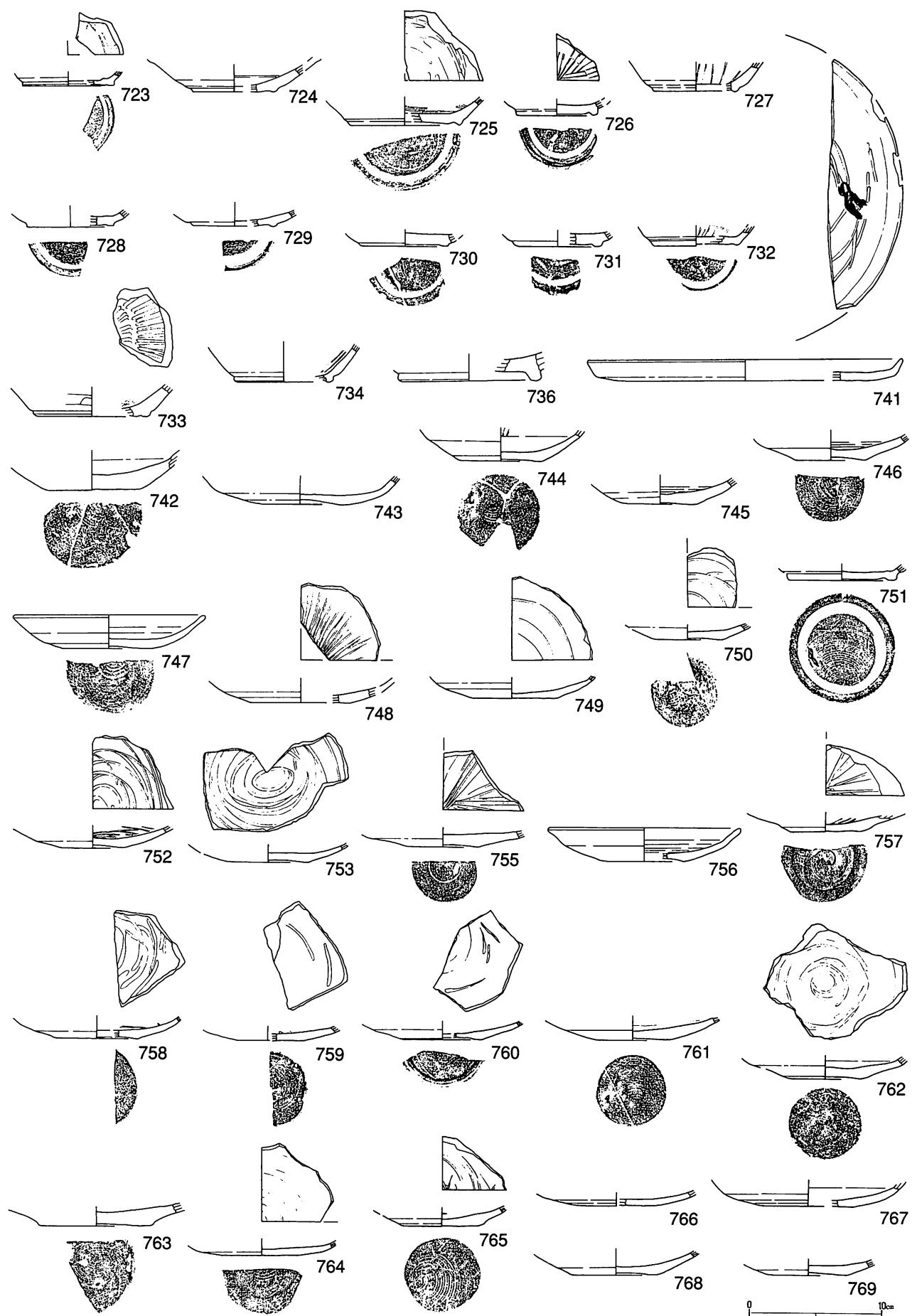
第34図 2号溝出土遺物（その14）



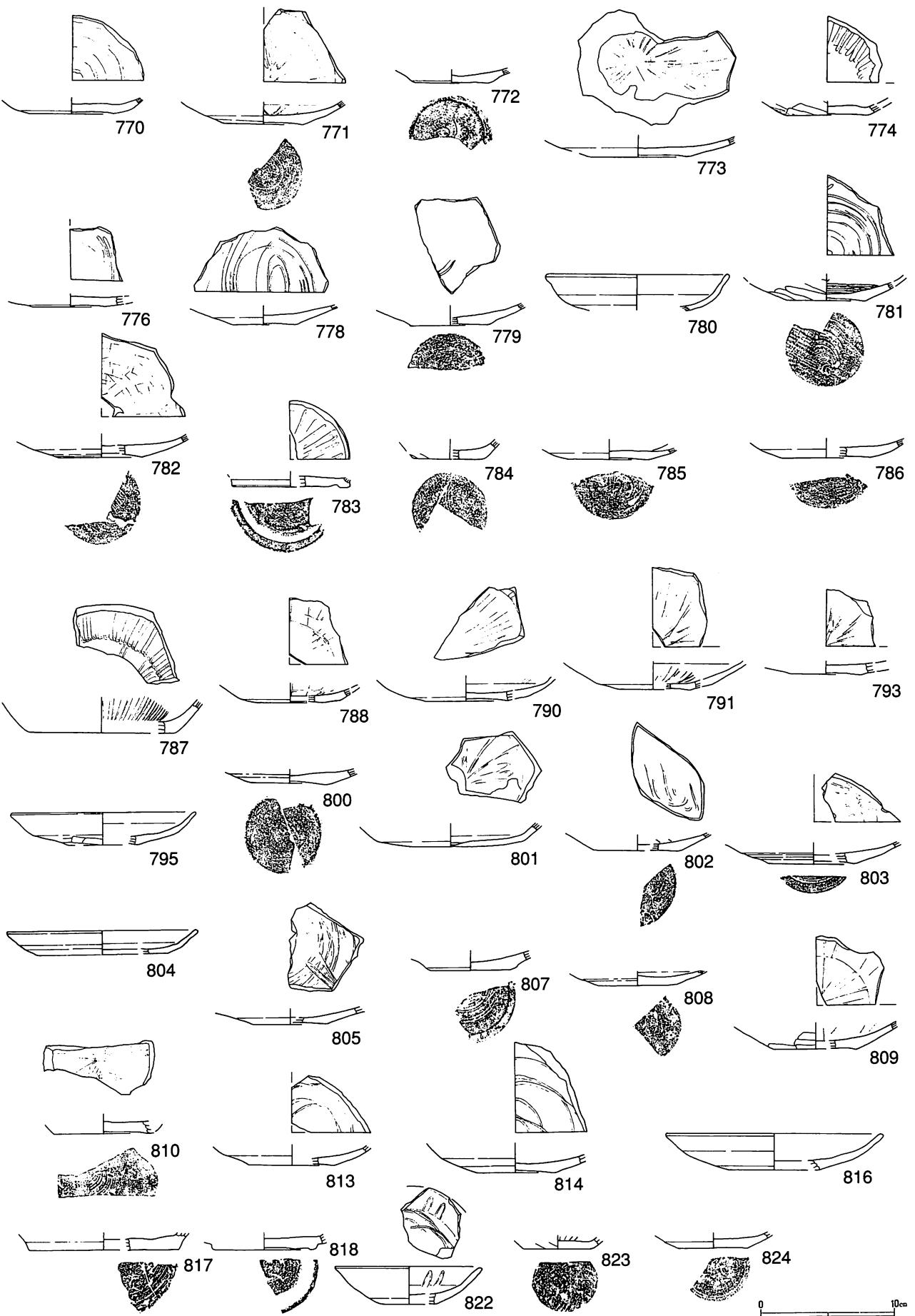
第35図 2号溝出土遺物（その15）



第36図 2号溝出土遺物（その16）

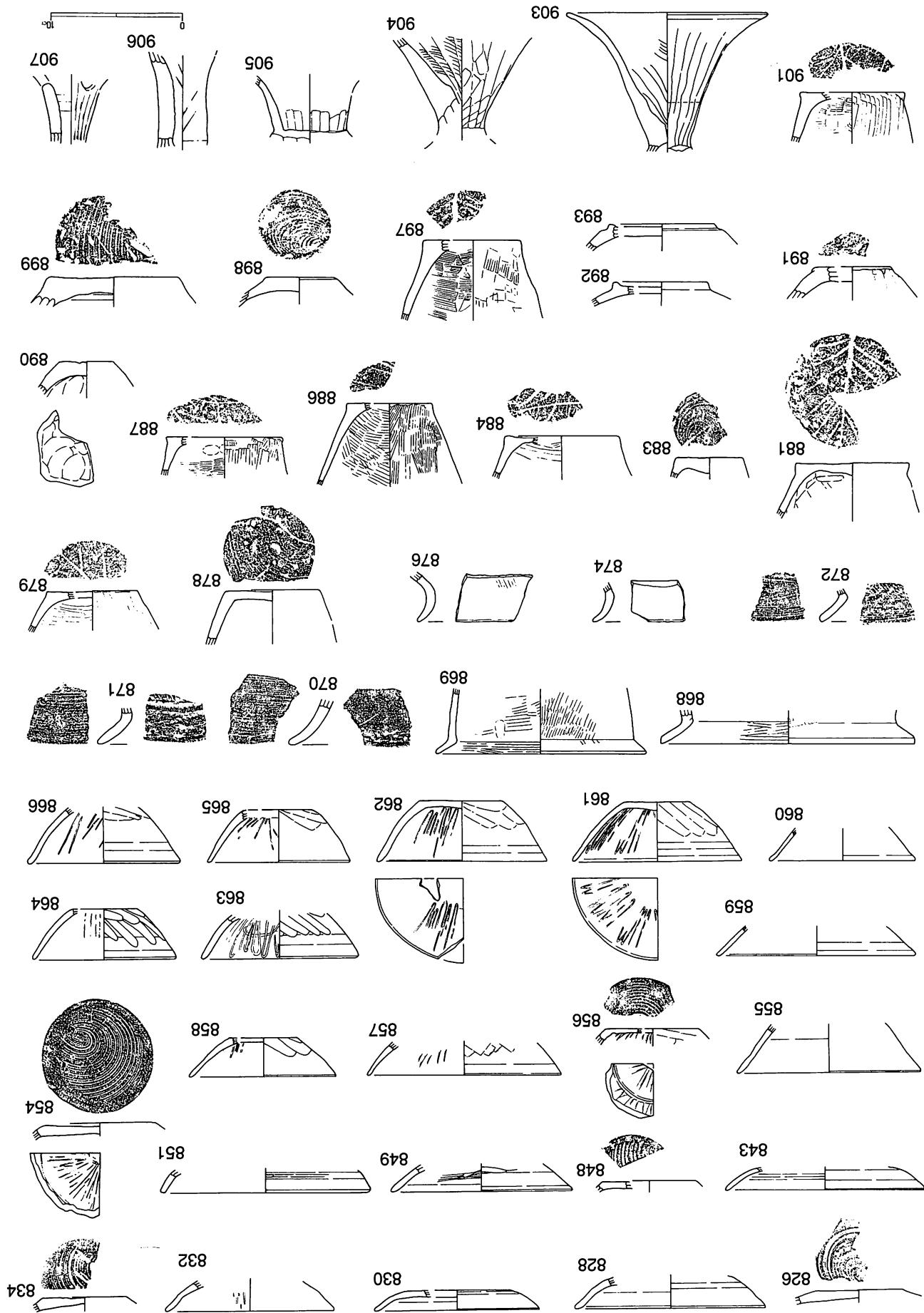


第37図 2号溝出土遺物（その17）

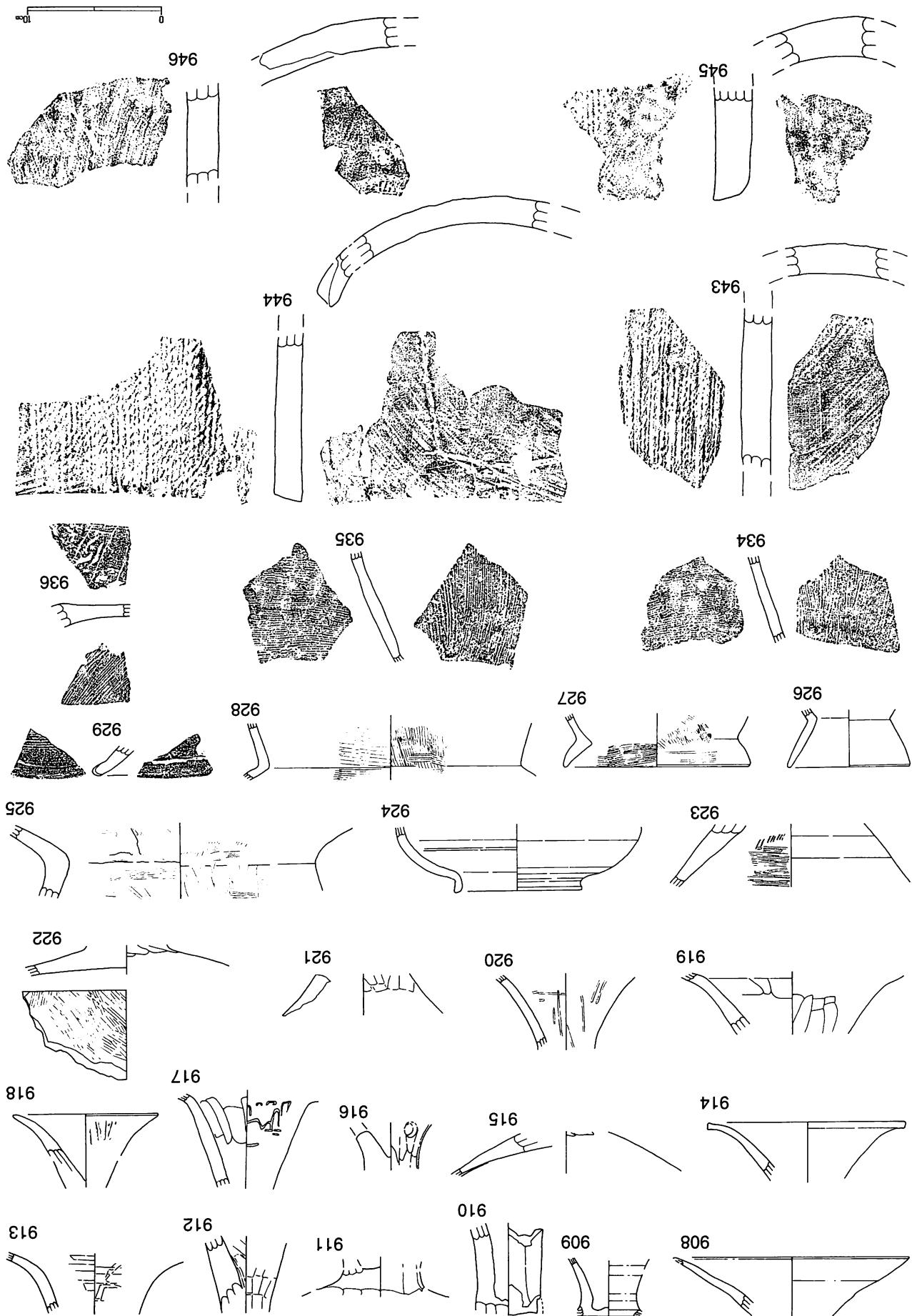


第38図 2号溝出土遺物（その18）

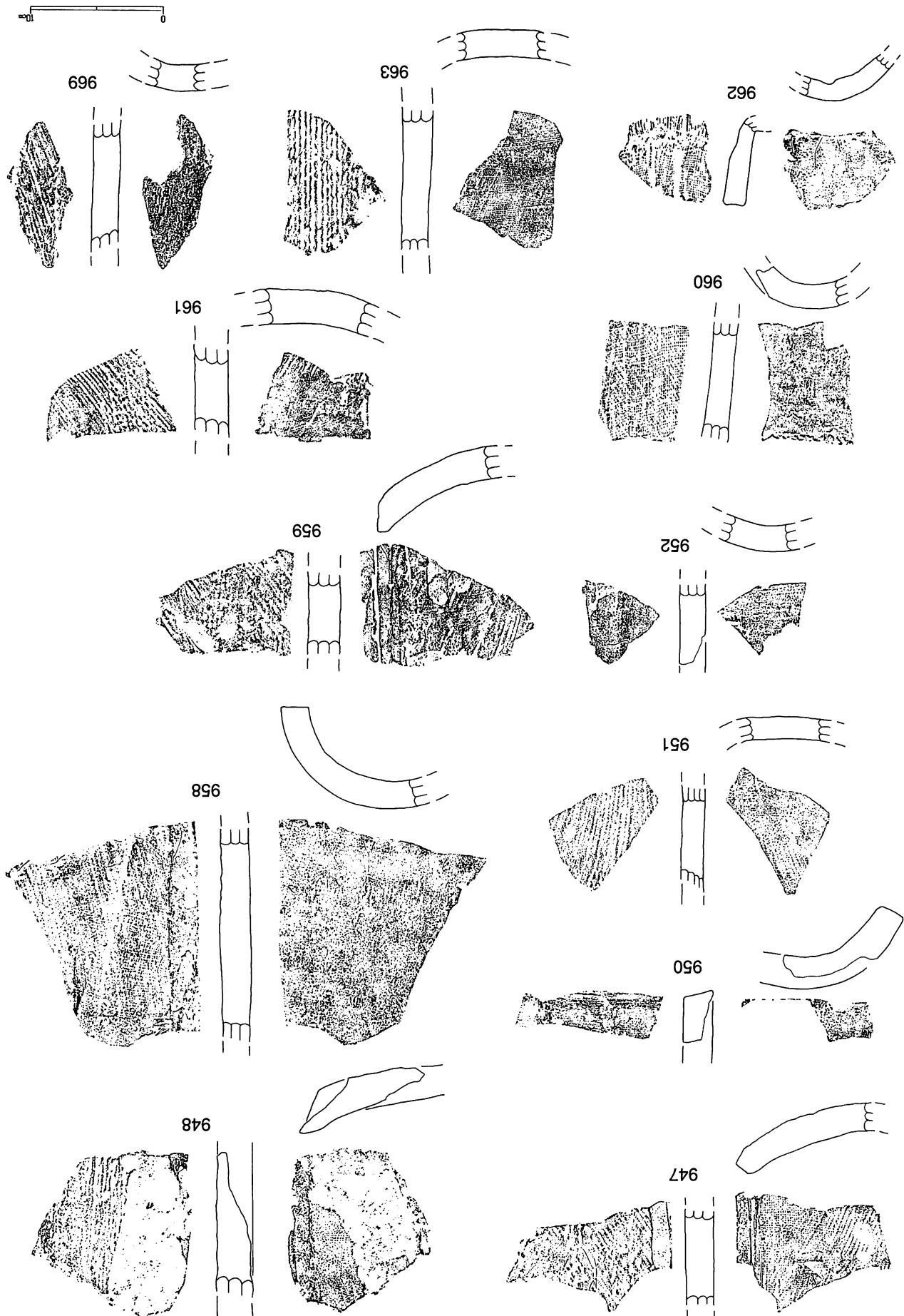
第39圖 2號墓出土遺物 (乙〇一九)

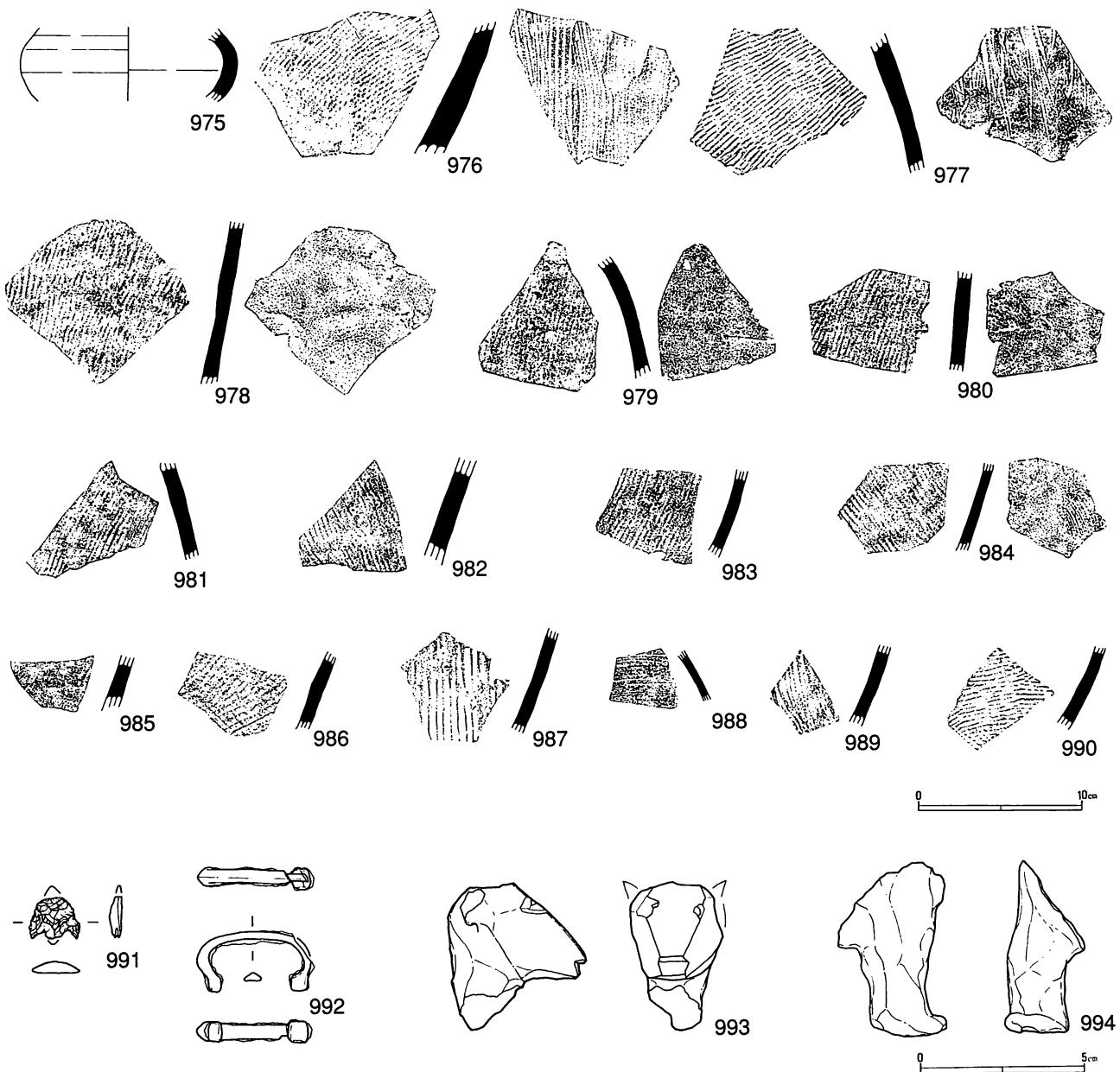


第40圖 2號墓出土遺物 (共20)



第41圖 2號漢出土遺物 (乙021)





第42図 2号溝出土遺物（その22）

のである。これらのうち12・73・107・862などはわずかながら口縁部が肥厚している。また、70は口縁部の肥厚こそないものの、外反が強く、肥厚と同様の印象を受ける。

XI期は資料が少ない。内面の暗文の消失が根拠となるが、3・17・24・77を挙げておく。やはりここでも糸切り痕の残るものと削りにより完全に消失するものとがある。今回提示した資料中には口縁部の肥厚したものは含まれていない。77は大型の壺であり、体部下半～底面に大きなヘラ削りが見られる。なお、17は底面にのみヘラ削りが見られるが、体部には全く削りがない。そのため立ち上がりの角度が強く、底径と口径の比率がこの時期のものとはズレるが、暗文の消失を優先しこの時期への位置づけとしておく。

高台付壺はそれほど資料が多い訳ではないが、復元もしくは図上復元できたものについて概観する。なお、ここで確認されている高台はいずれも削り出し高台である。まず、4・38がみこみ部に暗文を有する古いタイプであり、底部は中心部にのみ糸切り痕が確認される。内面では、体部と底部の境に1条の磨きが入り、明確な区分けが行われる。非常に丁寧な作りであり、VII期に位置づけられる。また、破片の706・710も同様の作りであり同時期とすることができる。72はみこみ部に暗文は及ばないものの、底部と体部の境の磨きがあることから、これも同時期とする。75・137は口径と底径の比が2:1であり、VIII期としておく。709は口縁部の状況が

不明であるが、つくりが丁寧である。外面に回転ヘラ削りが行われている。つくりの丁寧さからIX期への位置づけとしておく。29・33・209は、口径が底径の2倍以上あり、体部外面下部には回転ヘラ削りが認められる。これらもIX期に位置づけられるものであろう。

5・34・102・105・725は高台付坏であるが内黒であり、いずれも暗文が見られない。このうち102と725には、内面に横位の磨きが見られ、とくに口縁部の残存する102は口唇の肥厚や外反がみられないことから5・34・105などより一段階古く位置づけられよう。すなわちここでは102と725をX期、5・34・105をXI期としておく。

次に皿を概観する。皿についても坏と同様の整形方法を分類基準とする。まず202である。本資料は張り付け高台を有する大型の皿で、これ自体類例が少ない。本資料の特徴は体部とみこみ部を明確に区分けする、ヘラによる1条の沈線施文状の磨きの存在である。みこみ部には放射状の暗文がある。この調整方法はVII期の坏と全く同じであり、VII期に位置づけておきたい。なお、本資料は外面にはヘラ削りは認められない。同様な内面調整が見られるのが203である。本資料は底部外面の中心にのみ糸切り痕が残り、周辺部は回転ヘラ削りが施される。また体部外面下半も同様の回転ヘラ削りが行われている。まさにVII期の坏と全く同じである。

同じくみこみ部に放射状暗文を有するものとして219・228が挙げられるが、これらはヘラによる1条の磨きが存在しないため、体部とみこみ部の区分けがはっきりしない一言い換えれば体部の立ち上がりが203にくらべ弱い。したがって203より新しく位置づけられようが、外面の調整は203と同じであり、古い様相を示している。ここではこれらをVII期に位置づけておく。204は口縁の外反により口唇部が肥厚しているかのように見え、時期がさらに下ることになろう。ここではIX期としておく。

これに対し、みこみ部に渦巻き状暗文の施されたものも存在する。これまでの資料では、渦巻き状暗文はIX期からの出現とされている。しかし206は体部とみこみ部の境にヘラによる1条の磨きこそ行われていないものの、整形段階から意識した区分けが行われており、体部とみこみ部の境がはっきりしている。また、外面調整はVII期やVIII期の坏と同様に行われており、少なくともIX期に下ることは考えられない。むしろ底部外面の中心部に糸切り痕を残す手法からはVII期の可能性も考えられよう。皿の変化を想定すると、内面では見込みから体部への立ち上がりが新しくなるにつれはっきりしなくなる傾向があることからも、このような意識した区分けは古く位置づける根拠となろう。その視点からすれば、230も古く位置づけられようが、底面に糸切り痕が残っていないことや、体部外面の段がよりはっきりしていることなどから、206より新しくVIII期に位置づけておく。214・226は内面の区分け意識が薄れ、口唇部も肥厚していることから、IX～X期としておく。207は内面の区分け意識は非常にはっきりしているが、わずかに手持ちヘラ削りの痕跡が見られる。XI期に下る可能性がある。

上記以外で暗文を有さないものでは、220が盤状を呈し、体部の立ち上がりが強い。外面は底面～体部下半が回転ヘラ削りであり、形態だけからは区分けを意識した古い様相と言えようが、口縁部が肥厚はしていないものの、外反しており、新しい様相と言える。同様な区分け意識が見られるものとして、1・224・227なども挙げられるが、古くは位置づけられない。224がIX期、1・220・227をX期としておく。底面の調整では208・225が糸切り痕が中心部にのみのこるタイプで底面周辺部と体部は回転ヘラ削りが施されている。これまで述べて来た本遺跡資料では古い様相ということになろうが、内面の区分け意識は薄れている。また、208は口唇部が膨らみぎみであることからもX期への位置づけが妥当であろう。205・210・211・212・213・215・217・222・223・235なども同時期としておく。218・238は手持ちヘラ削りが行われているが、つくりは丁寧である。X～XI期の所産であろう。

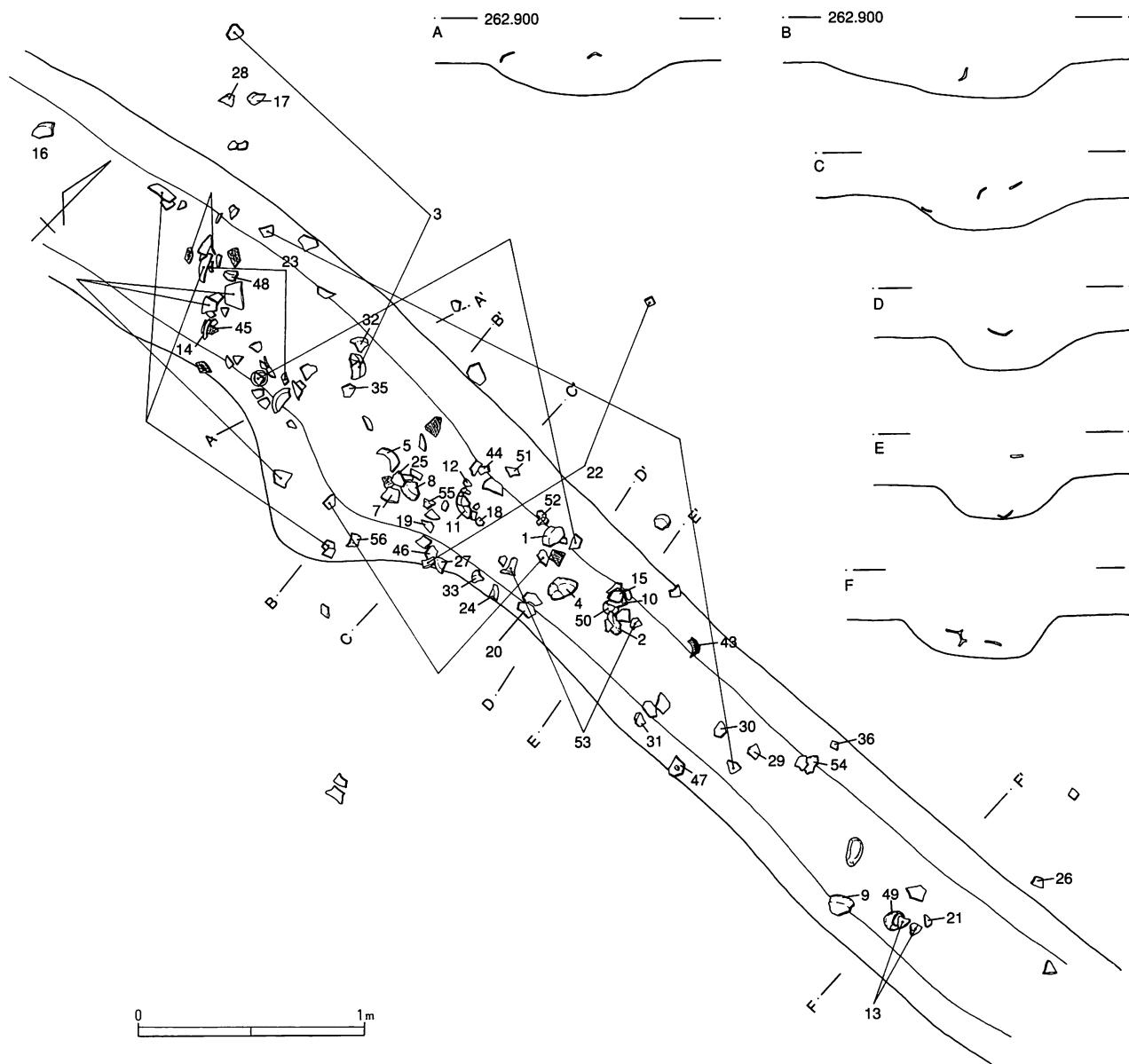
蓋は完形もしくは復元実測可能な資料が少なく、時期的変化を追えるほどではないため216・298～301の5点について概観する。216は、裏返しに置いておけば削り出し高台付の皿と見間違えるような資料である。外面のつまみは削り出しの低いもので、ほとんど実用的ではない。つまみから体部半分までは回転ヘラ削りが施される。内面の受け部は先端の丸い工具による1条の沈線もしくは深い磨きによるものである。内面には渦巻き状暗文が施されている。298と301は同一個体であることが判明したので一緒に概観する。つまみは宝珠形で、内

外面ともナデ調整である。受け部は丁寧なつくりであり、一条付け足したか、あるいは端部を厚く作り出して受けの内外両面を削り出したか、いずれにしても受けが薄く深い。299はボタン状のつまみで、内外両面ナデ調整が行われている。受けのつくりは216と同様簡単なつくりである。300はつまみは不明であるが、外面には回転ヘラ削りが認められる。受けは薄く摘まみ出したものである。

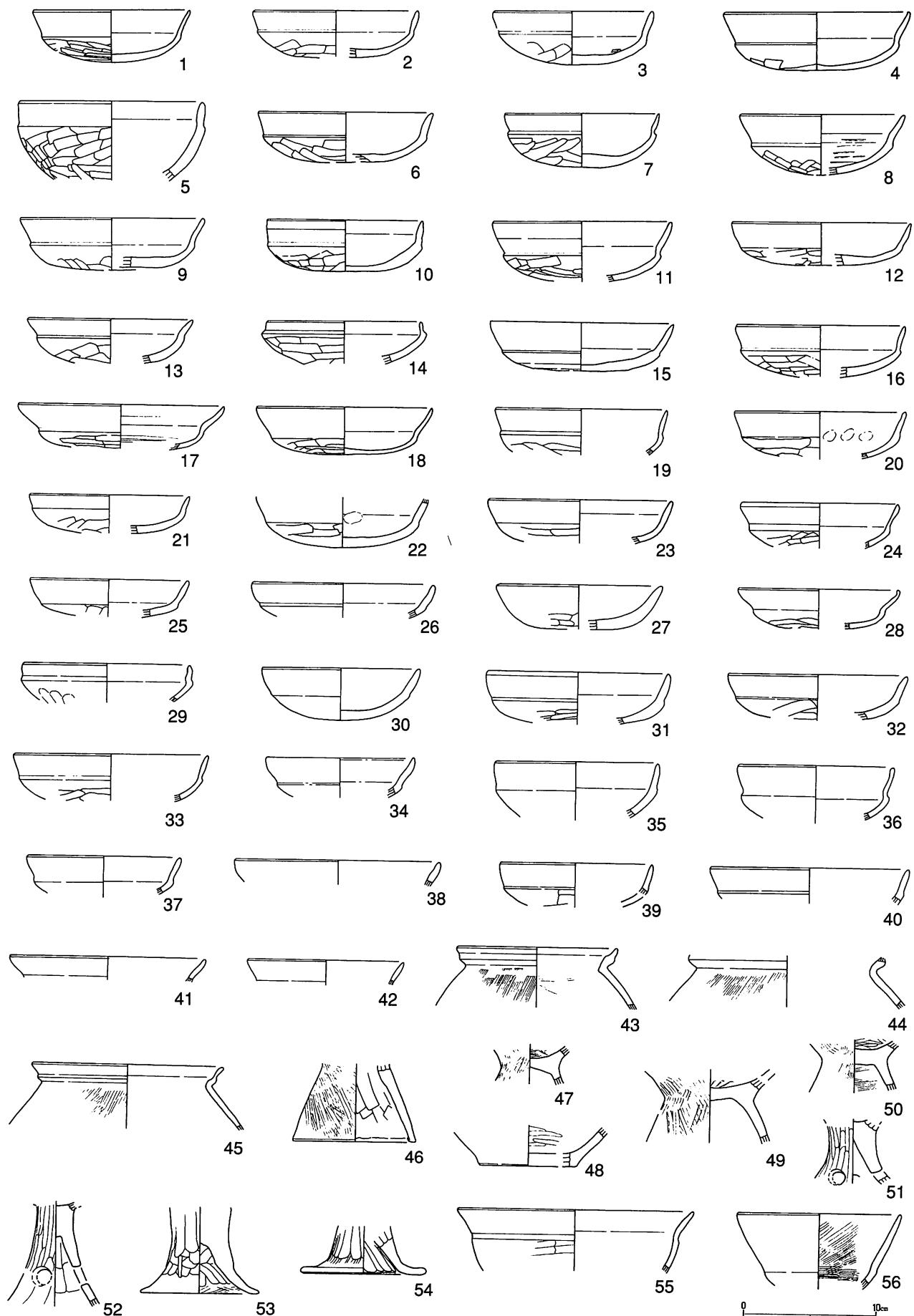
鉢はさらに資料が少なく、底部の状況が判るのは350の1点のみである。体部内面下半に暗文が見られ、上半はナデ調整である。外面下半はナナメの手持ちヘラ削りが行われている。時期の判断は難しいが、削りや暗文の状況からⅧ期に位置づけておきたい。

以上、2号溝の出土土師器について概観したが、時期的にはⅦ期～Ⅺ期までの資料が存在することが判明した。なお、これまでに概観してきた資料以外の資料や破片資料である高坏・甕・壺、須恵器、瓦などは一覧表に示すこととし、説明は割愛する。ただし、高坏のうち、920には脚部に面取りが行われている。このような例は県内では少ないがⅦ期には存在するようであり、この資料についてもⅦ期としておく。なお、他にも遺構外から出土しており、それについては後述する。

その他の資料4点についてここで触れておく。991は、今回の調査で出土した唯一の石鎌である。小型の黒曜石製凹基有茎鎌で、先端と中子を欠損している。992は青銅製の縁金で、表面には鍍金が施されている。993・



第43図 3号溝平面図・接合図



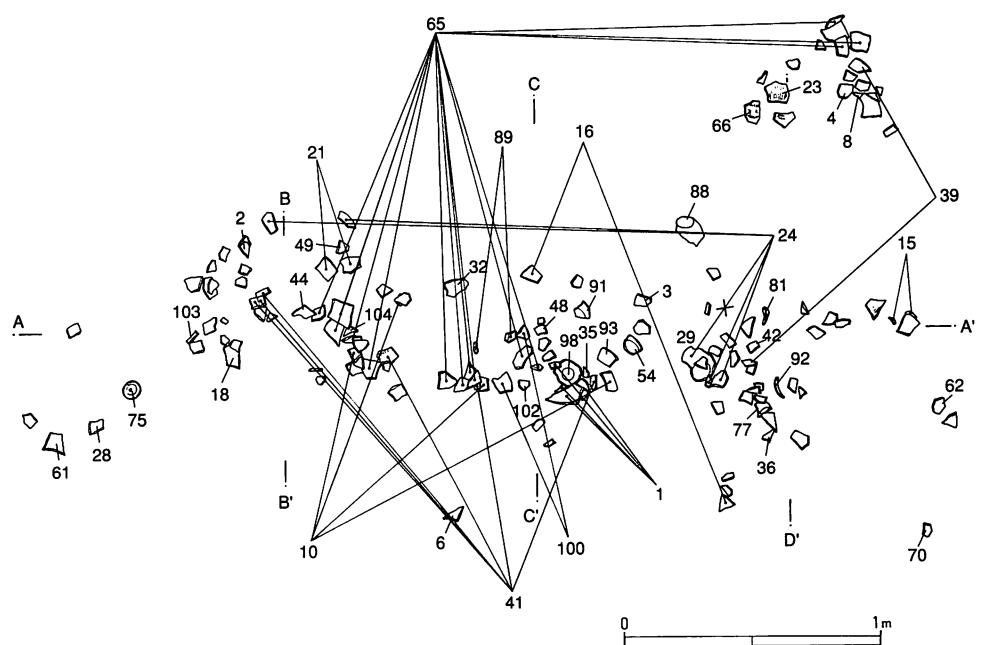
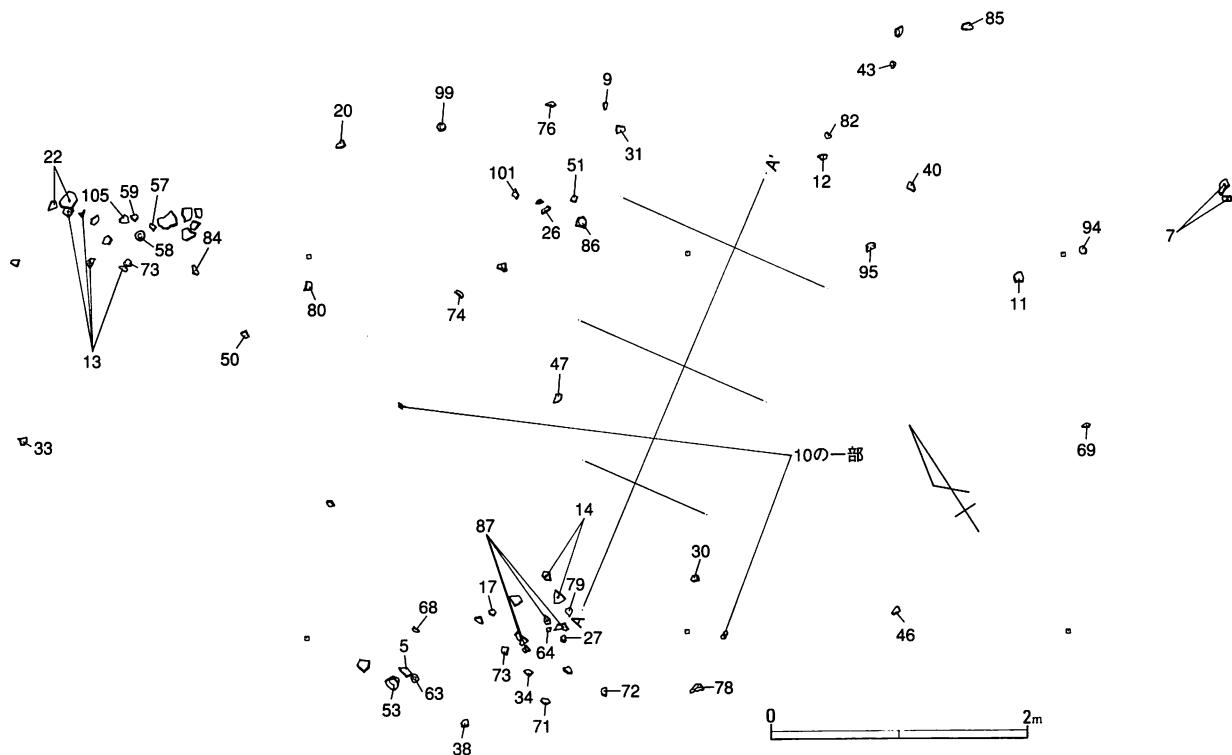
第44図 3号溝出土遺物

994は同一個体と思われる土馬の破片である。頭部及び右脚である。頭部はたてがみと両耳を欠損しているが、面取りをした顔部には簡単な表現の目とやはり面取りと同様な手法での口が表現されている。本資料は県内では5例目の土馬であるが、確実に平安時代に溯るものとしては唯一の資料である。

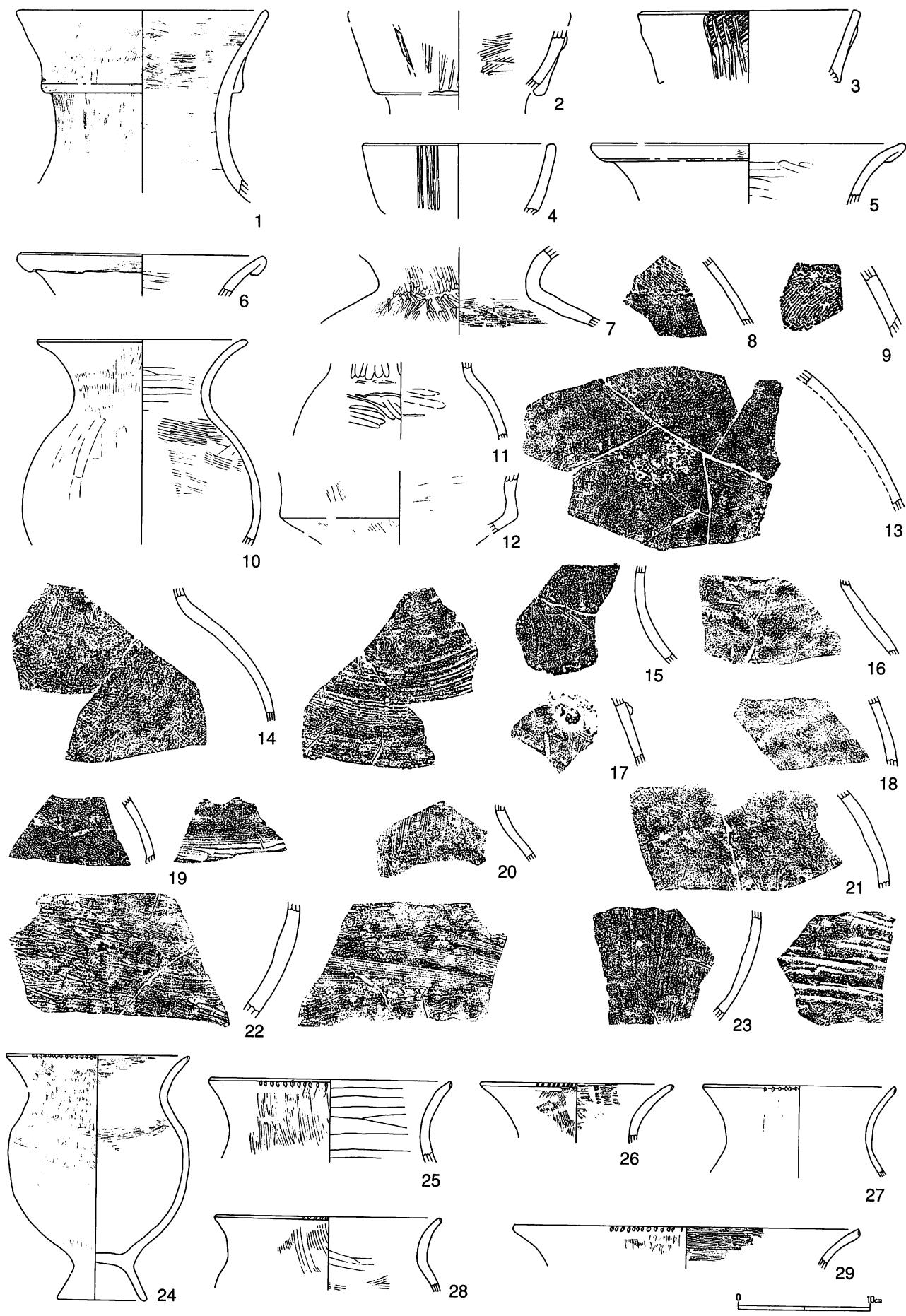
・3号溝

V-11・12、W-10・11グリッド。住居跡のすぐ南に確認された溝であり、住居跡と同時期と考えられる。確認部分で幅60cm、深さ10~15cmを計るが、部分的に膨らみがあり最大幅100cmを計る。

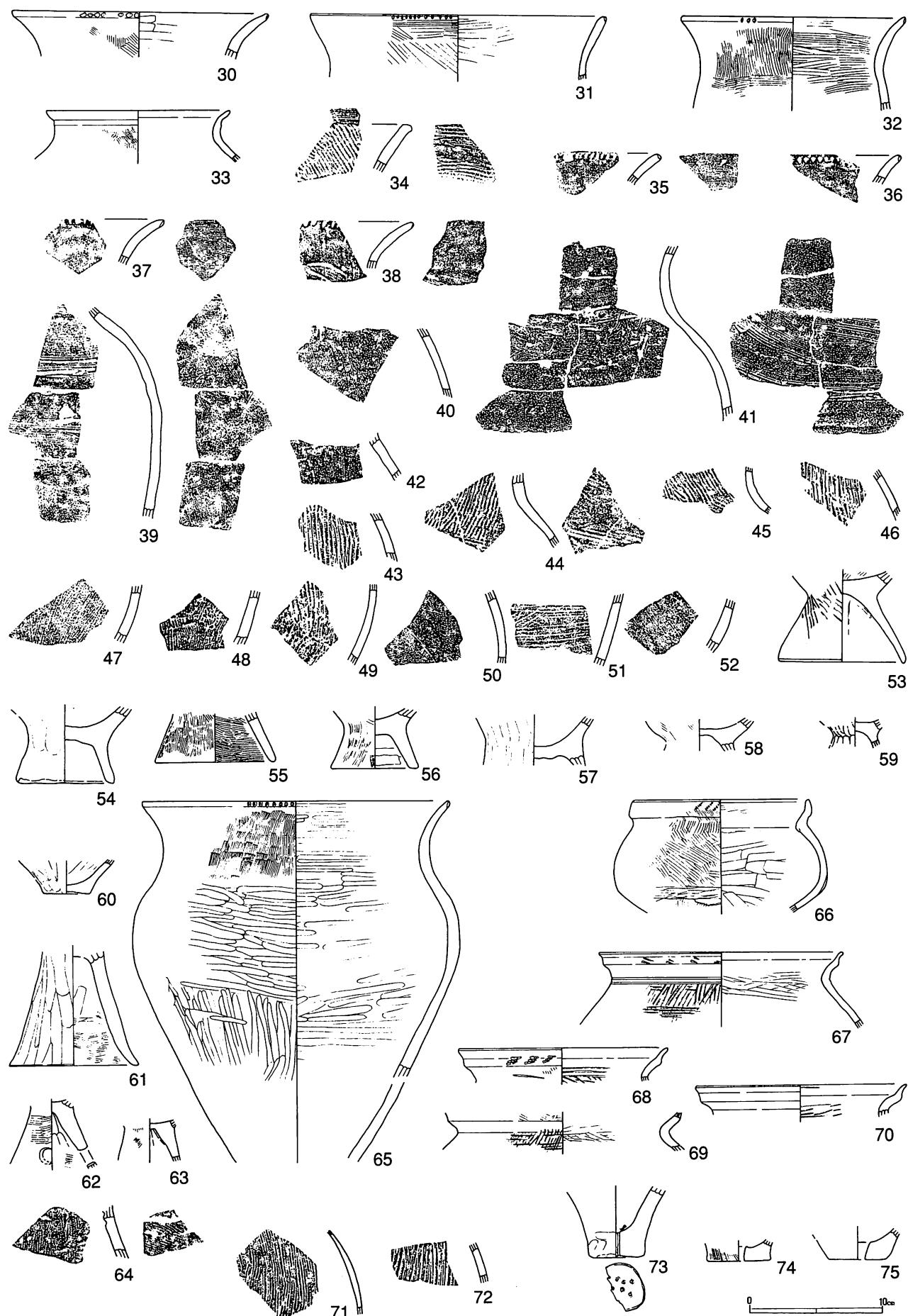
遺物は溝底に接するものからやや浮いて出土するものまであるが、主体をなすのは古墳時代後期の資料であ



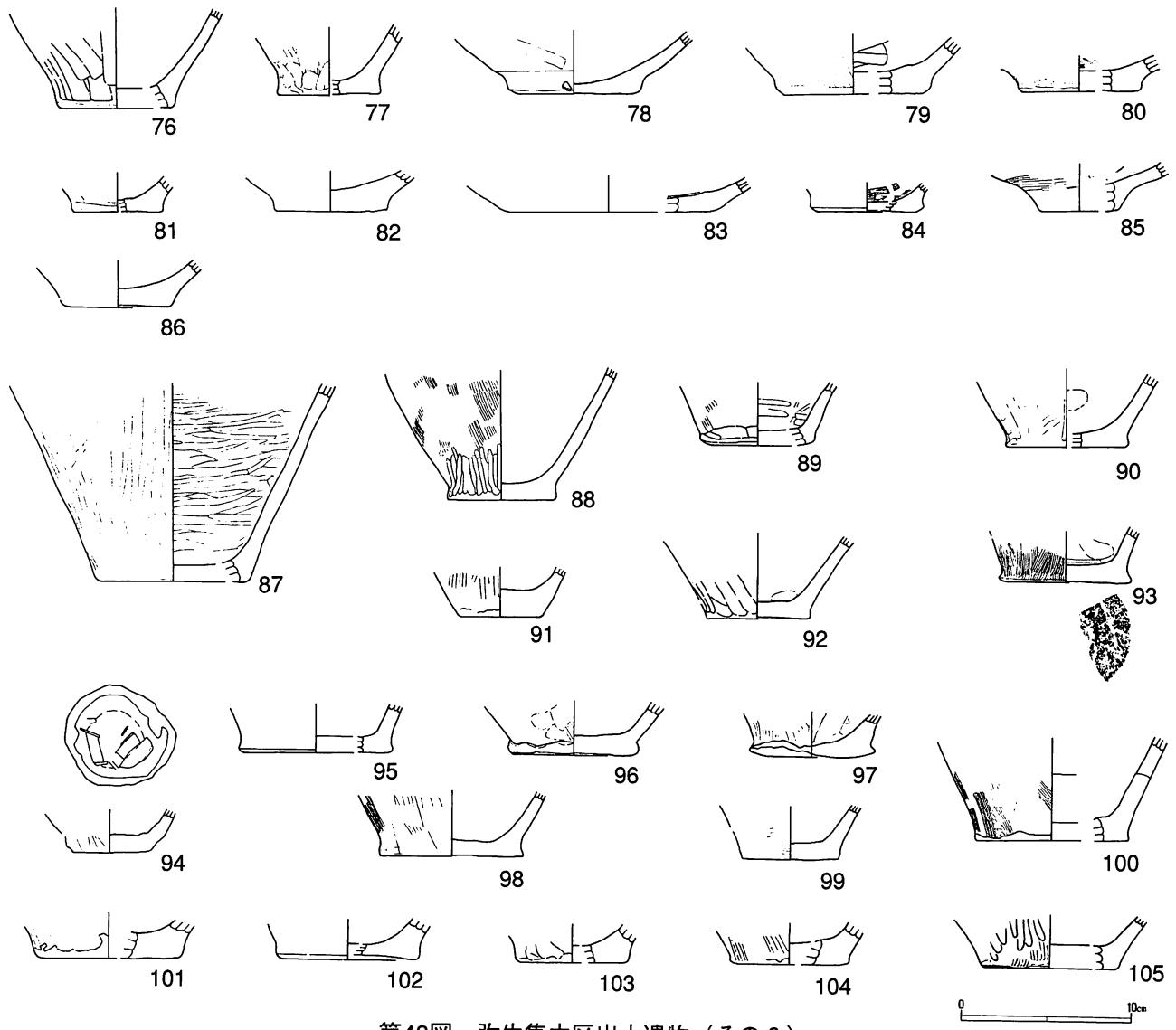
第45図 弥生集中区平面図・接合図



第46図 弥生集中区出土遺物（その1）



第47図 弥生集中区出土遺物（その2）



第48図 弥生集中区出土遺物（その3）

る。1～42までに壺を示したが、いずれも口縁部下に稜を有するものである。丹塗りや黒彩の資料が非常に多いのが特徴である。丹塗りは1・6・8・10・21～26・37・38や55の鉢にみられる。また、黒彩は2・3・5・7・10・17・19・33・36・41・42や55の鉢などである。10や55は外面丹塗りで内面黒彩（炭素吸着）である。このように彩色資料が多く、とくに黒彩が多いことや稜のない壺が存在しないことなど、住居跡と全く同じ理由からX期（6世紀後半代）が妥当なところとなろう。

第6節 遺物集中区

U・V-25～28、W-25～27グリッドに確認された遺物集中区であり、とくに遺構は確認されなかつたが、ところどころに焼土が飛散していた。遺物の集中部分を中心にその周辺を含め徹底的に遺構確認を行ったものの掘り込みやピットは全く確認されず、遺物の平面図作成のみを行つた。

第45図に遺物の接合関係を示したが、20が最も離れ3.2mを計る。1は細片となって散っており、14片が接合した。最大2.4m離れての接合である。

この集中区から出土した土器は弥生時代末～古墳時代初期に位置づけられるものである。東海地方東部～西相模、中部高地、東海地方西部などの諸地域の資料が混在している。中でも多く目につくのが東海地方東部～西相模地域の壺・甕などである。同地域の壺を1～59に示した。1～6に見られる複合口縁と10の単口縁の2種類が存在する。8・9・13は肩部に疑似縄文が施されている。その他は無文か条痕である。24～59に甕を示

したが、底部の破片資料数からは台の付かないものが多い。33を除いて、口縁部資料の口唇には一様に櫛状工具による刻みが施されている。胴部はすべて条痕文であるが、工具の違いにより、その太さは一様ではない。中部高地系の資料は意外に少ない。壺は60に示した底部で、赤彩されている。61～64には高坏を示したが、61はやはり赤彩されている。甕は65のみで、口唇部に刻み、頸部に細い条痕が見られる。胴部は内外面とも磨きが施されている。東海西部地域の資料は、66に示した小型鉢以外は台付甕である。66は口唇部には刻みが見られないものの、口縁外面に櫛状工具の刺突を連続して行っている。台付甕のうち67～70はS字状口縁台付甕で口縁外面にやはり櫛状工具の刺突を行っている。

73～75には甕を一括した。中央部に1～2cm程度の小孔を有するタイプと、73のように2mm程度の小孔多数を有するものとの2種類が存在する。

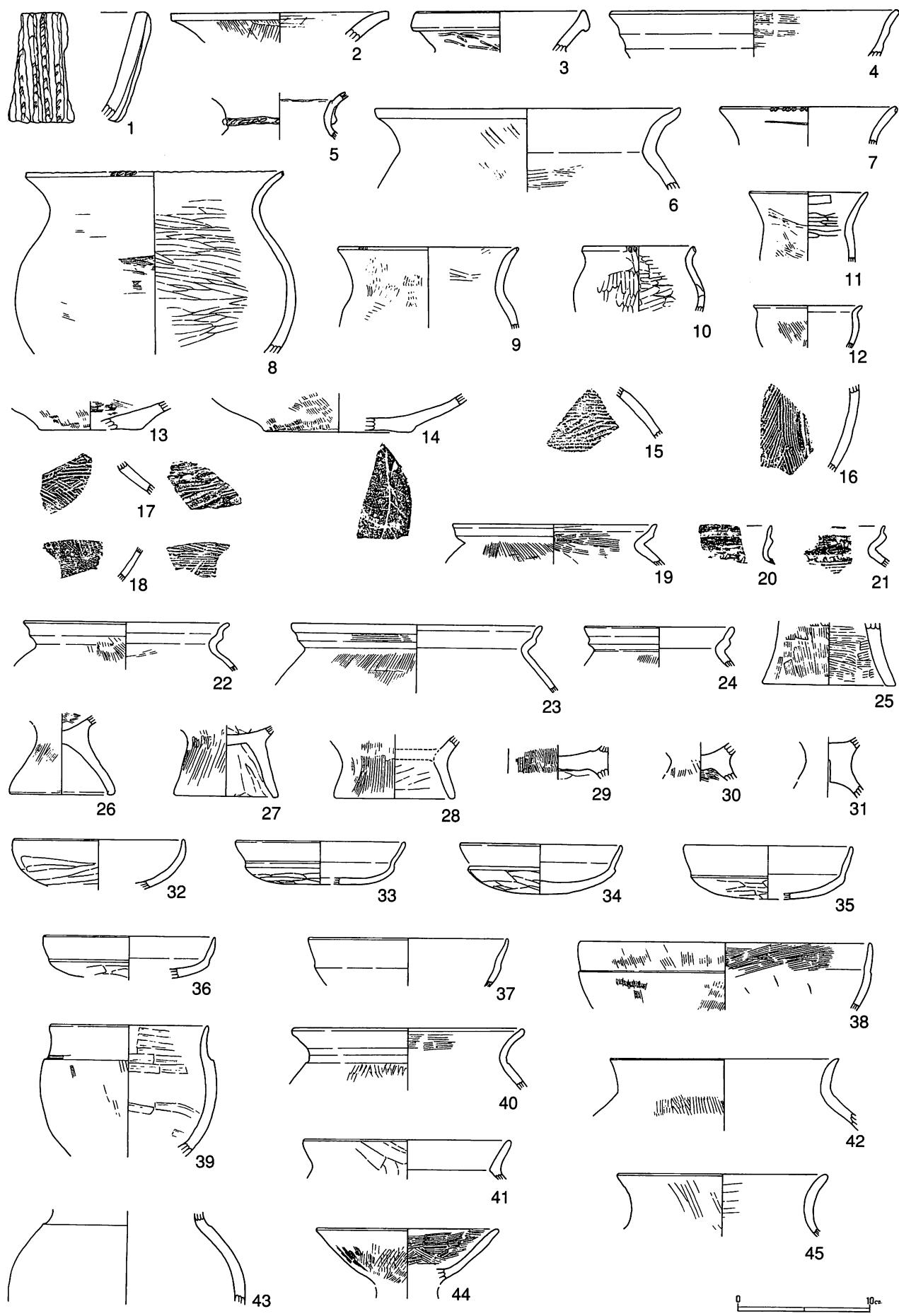
第7節 遺構外出土遺物

今回の調査では、遺構外からの出土遺物も非常に多かった。冒頭述べたように、調査前の表面採取でも驚くほど多量に採取ができ、遺物の多さは予想されたのであるが、それを上回る遺物量であった。以下に主なものについて記す。

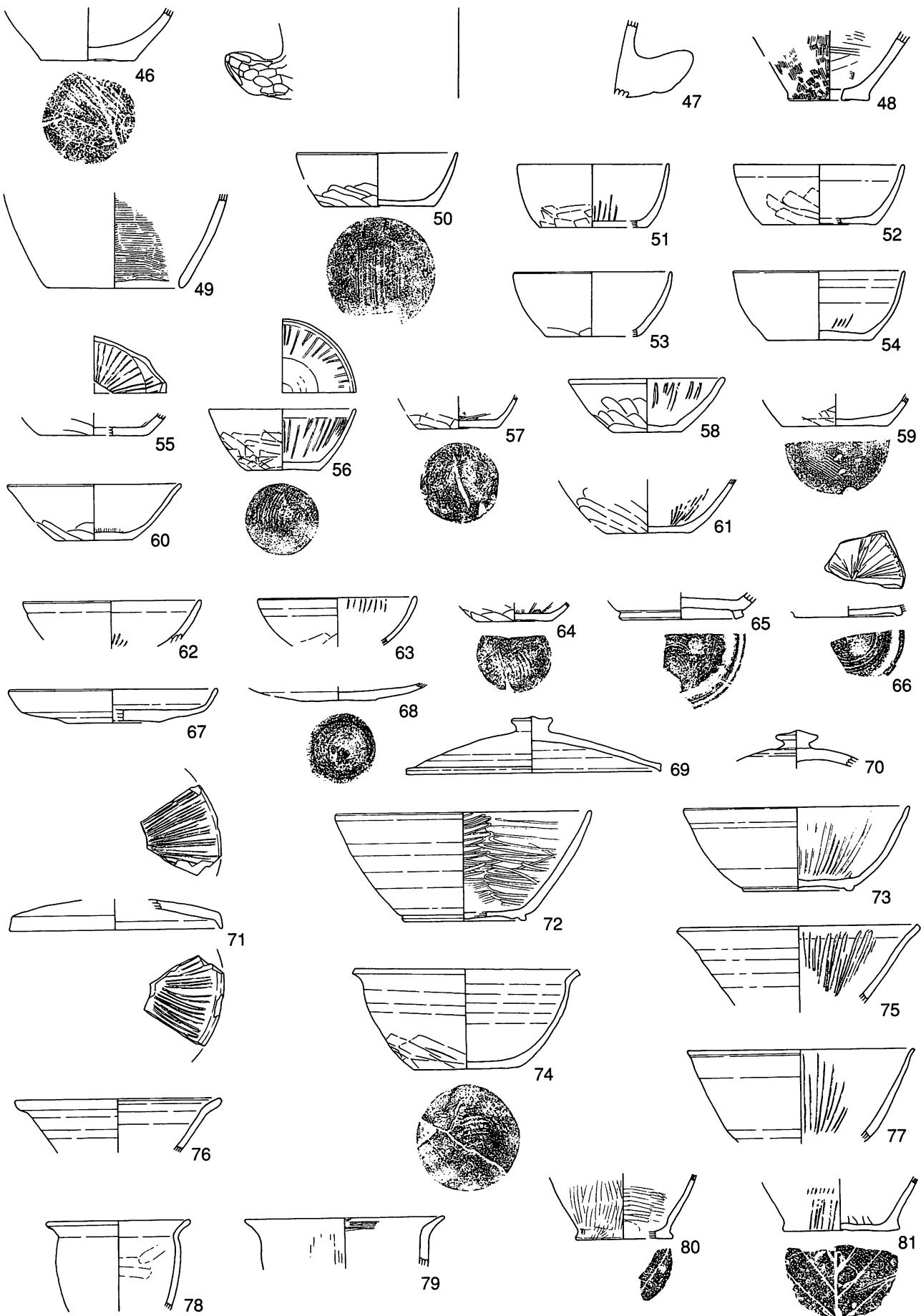
弥生時代末～古墳時代初期にかけての資料を1～31に示した。1・3・4は複合口縁を有する。6は赤彩、7～10には口唇に刻みがみられる。なお10は内外面とも磨きが顕著である。19～24にはS字状口縁台付甕を示したが、口縁外面に櫛状工具の刺突を行なった資料はなく、弥生集中区で示した資料より新しく位置づけられる。

古墳時代後期の坏を32～37に示した。32は口縁部下の稜がなくなっており、黒彩が施されることから、住居跡や3号溝より新しく、古墳時代編年のXII期（7世紀第1四半期）頃に位置づけられよう。33は外面が赤彩されている。他の資料と合わせ、住居跡や3号溝と同時期としておく。

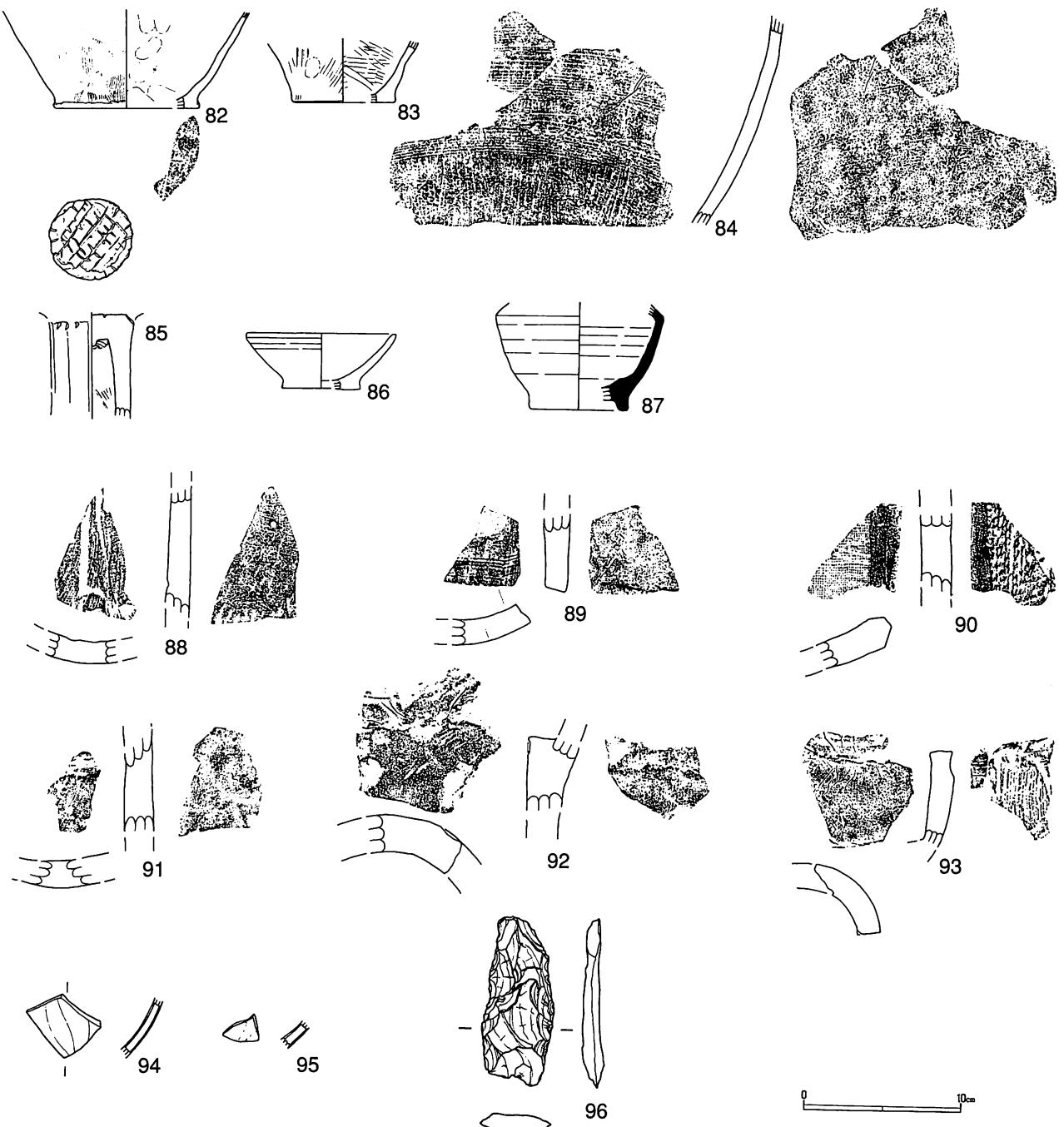
古手の甲斐型坏を50～55に示した。55は推定口径12cm、底径8.5cmを計り、みこみ部から体部への立ち上がりには一条の磨きが認められ、はっきりと区分けがなされている。底面は、静止糸切り後、周辺部のみヘラ削りを行っている。体部外面には、はっきりとしないが手持ちヘラ削りの痕跡が認められる。また図示していないが、部分的にはヘラ磨きらしき痕跡もある。甲斐型編年のVI期に位置づけられるものであろう。51・52もみこみ部と体部の境に一条の磨きを有する。51には暗文がみられるが、52にはみられない。これらもVI期に位置づけられよう。これらの資料はいずれも非常に丁寧なつくりで、胎土も精選されている。なお、すべての資料に赤色粒子が含まれている。56は底面の状況は上記資料と同じであるが、暗文はみこみ部にはみられない。しかし、これもみこみ部と体部の区分け意識がはっきりしており、境に一条の磨きを有する。VII期に位置づけられる。71も同様に精選された胎土で、かつ丁寧なつくりである。内外面とも放射状の暗文が施され、口縁部外面も丁寧にヘラ磨きされている。ここでは蓋として報告したが、このような例はほとんど無いと思われ、高坏の坏部である可能性もある。器種はともかく、甲斐型編年のVII期への位置づけが妥当であろうか。72・73の高台付坏のうち、72は内面磨きの形態が古い様相を示すものみこみ部と体部の境の磨きがない。また、73は境の区分けはわずかながら認められるが、2点共、口径と底径がちょうど2:1となっており、VII期に位置づけられる。74の鉢はすでに暗文を消失している。底面の中心部分には糸切り痕が残るが、その周辺部は手持ちヘラ削りを行っている。また体部下半もヘラ削りである。XII期に位置づけられる。85には高坏脚片を示したが、2号溝でも確認された面取りの行われた脚である。本資料には10面の面が確認される。また、坏部との接着面にはヘラにより格子目状の刻みを入れ、接着が充分に行われるよう意識していた事が窺われる。さらに接着面の外面端部にもヘラで刺突を行っているが、これも同様に充分な接着を意識したものであろう。



第49図 グリッド出土遺物（その1）



第50図 グリッド出土遺物（その2）



第51図 グリッド出土遺物（その3）

道々芽木遺跡出土遺物観察表

(法量の単位はcm、—は計測不能、〈 〉は推定値)

1号住居跡出土遺物

検査番号	遺物番号	出土地点	注記番号	種別	器形	法量			色調	胎土	焼成	調整	備考
						口径	器高	底径					
4図	1	1住	1住カマド内	土師器	瓶	22.2	28.6	6.9	橙色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒・石英	良	内面上体部：ハケメ・ヘラ削り、外面、口縁部：ナデ調整、上体部：ハケメ、下体部：ヘラ削り	把手2ヶ所
4図	2	1住	1住カマド内	土師器	高壺	—	—	—	明褐色	密	良		
4図	3	1住	1住カマド内	土師器	甕	18.7	30.7	—	黒褐色	赤色粒子・金雲母・石英	良	内外面：ハケメ	
4図	4	1住	S10-37-1	土師器	壺	11.8	3.7	—	赤褐色	赤色粒子・金雲母	良	ヘラ削り・丸底	赤彩
4図	5	1住	S10-37-2	土師器	壺	12.4	3.7	—	灰褐色	赤色粒子・金雲母	良	ヘラ削り・丸底	
4図	6	1住	S10-37-3	土師器	壺	12.3	4.1	—	茶褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	黒彩
4図	7	1住	S10-37-4	土師器	壺	12.4	4.1	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	赤彩
4図	8	1住	S10-37-5	土師器	壺	13.0	4.2	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り	
4図	9	1住	S10-38	土師器	壺	13.4	3.8	—	褐色	赤色粒子	良	内面：指頭痕	
4図	10	1住	S10-35	土師器	壺	16.0	7.7	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・	赤彩
4図	11	1住	T10-3	土師器	壺	12.0	3.9	—	明褐色	赤色粒子	良		内外面：赤彩
4図	12	1住	S9-29・30	土師器	壺	〈14.6〉	〈4.0〉	—	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
4図	13	1住	S10-42	土師器	壺	〈12.4〉	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラミガキ	
4図	14	1住	T10-14	土師器	皿	〈16.0〉	—	—	黄褐色	密	良		
4図	15	1住	S10-33・65	土師器	壺	〈14.4〉	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	ハケ状工具による調整	
4図	16	1住	S10	土師器	壺	〈14.6〉	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
4図	17	1住	S9-23	土師器	壺	—	—	—	暗褐色	赤色粒子	良		
4図	18	1住	U10-30	土師器	壺	12.2	3.8	—	暗褐色	赤色粒子	良		
4図	19	1住	U10-10	土師器	壺	12.6	4.0	—	暗褐色	赤色粒子	良	内面：指頭痕	内外面：黒彩
4図	20	1住	U10-23	土師器	壺	〈12.2〉	3.5	—	褐色	赤色粒子	良		
4図	21	1住	U10-13・14	土師器	壺	12.4	4.5	—	黒褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
4図	22	1住	U10-25・31	土師器	壺	12.2	3.9	—	黒褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
4図	23	1住	U10-21	土師器	壺	11.7	3.8	—	褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	赤彩
4図	24	1住	U10-16	土師器	壺	〈13.6〉	〈3.2〉	—	内面：黒 影、外面： 茶褐色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り	
4図	25	1住	U10-23・27	土師器	壺	〈12.1〉	4.6	—	茶褐色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り	
4図	26	1住	U10-9	土師器	壺	〈14.0〉	—	—	明褐色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り	
4図	27	1住	U10-18	土師器	壺	〈16.4〉	—	—	暗褐色	赤色粒子	良		
4図	28	1住	U10-24	土師器	壺	〈13.2〉	—	—	暗褐色	密	良	ヘラ削り	
4図	29	1住	U10-8	土師器	壺	10.0	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り	赤彩
4図	30	1住	S10-46	土師器	蓋	13.0	2.9	13.0	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
4図	31	1住	U10-6	土師器	高壺	10.7	9.0	9.2	黄褐色	赤色粒子・雲母	良	脚部内面：ヘラ削り・ハケメ、 外面：ヘラ削り	
4図	32	1住	U10-3	土師器	高壺	—	—	—	明褐色	石英・長石	良	外面：ミガキ、内面：ヘラ調整 3ヶ所に穿孔有	
4図	33	1住	S9-28・35・25	土師器	甕	〈11.7〉	16.0	5.0	赤褐色	粗：赤色粒子・石英・小石	良	内外面に調整不明瞭	
4図	34	1住	S9-24・T10-19	土師器	甕	〈11.6〉	—	—	明褐色	やや粗：石英・金雲母	良	内外面：ハケメ	
4図	35	1住	T10-23	土師器	甕	〈18.2〉	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：ハケメ、外面：ヘラナデ	
5図	36	1住	S10-57・58・55・ 56・61・62・63・32・ 39・54・T10-26	土師器	甕	18.8	—	—	黄褐色	赤色粒子・砂粒・石英・金雲母	良	内外面ハケ目	
5図	37	1住	T10-11	土師器	甕	—	—	—	内面：黒 褐色、外 面：茶褐 色	赤色・白色粒子、石英・黒雲母？	良	内外面：ハケメ	
5図	38	1住	U10-1・2	土師器	甕	—	—	—	内面：赤 褐色、外 面：黑褐 色	長石・石英・雲母	良	内外面：ハケメ	
5図	39	1住	S10-49	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5図	40	住1	—	土師器	壺	〈1.8〉	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
5図	41	1住	T9	土師器	壺	〈10.6〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良		赤彩・内黒
5図	42	1住	S9	土師器	壺	〈11.4〉	—	—	暗褐色	密	良		内黒
5図	43	1住	S10	土師器	壺	〈11.8〉	—	—	暗褐色	密	良		
5図	44	1住	S10	土師器	壺	〈14.6〉	—	—	暗褐色	密	良		
5図	45	1住	U10	土師器	壺	〈13.6〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
5図	46	1住	U10	土師器	壺	〈12.8〉	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り、ミガキ	内黒

1・3・4・5号土坑出土遺物

挿図番号	遺物番号	出土地点	注記番号	種別	器形	法量			色調	胎土	焼成	調整	備考
						口径	器高	底径					
7図	1	1土	1	土師器	蓋	25.0	<1.8>	赤褐色	赤色粒子	良			
7図	2	3土	2・9・5・11	土師器	壺	19.2	<5.0>	—	明褐色	赤色粒子	良	外面:ハケ調整後ミガキ	
7図	3	3土	8	土師器	壺?	—	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	外面:ハケメ	
7図	4	3土	1	土師器	甕	—	—	—	明褐色	赤色粒子・雲母やや含	良	外面:ハケメ	
7図	5	3土	6	土師器	甕	—	—	—	褐色	白色粒子	良	内外面:ハケメ	
7図	6	3土	6	土師器	甕	—	—	—	暗褐色	赤色・白色粒子	良	外面:ハケメ	
7図	7	3土	7	土師器	甕	—	—	—	赤褐色	白色粒子	良	内外面:ハケメ	
7図	8	3土	4	土師器	壺?	—	—	—	赤褐色	石英・白色粒子	良	内面:ハケメ	
7図	9	3土	13	土師器	甕	—	—	—	暗褐色	砂粒多數含	良	内外面:ハケメ	
7図	10	3土	14	土師器	甕	—	—	—	暗褐色	白色粒子	良	外面:ハケメ	
7図	11	3土	2	土師器	甕	—	—	—	明褐色	白色粒子	良	外面:ハケメ	
7図	12	3土	12	土師器	甕	—	—	—	暗褐色	赤色・白色粒子	良	外面:ハケメ	
7図	13	4土	1	土師器	甕?	—	—	—	赤褐色	白色粒子	良	外面:ハケメ	
7図	14	4土	4	土師器	鉢?	—	—	—	暗褐色	赤色粒子	良		
7図	15	4土	2	土師器	甕	—	—	—	暗褐色	白色粒子	良	内外面:ハケメ	
7図	16	4土	6	土師器	甕	—	—	—	明褐色	赤色粒子	良	外面:ハケメ	
7図	17	4土	7	土師器	甕	—	—	—	明褐色	白色粒子	良	外面:ハケメ	
7図	18	4土	3	土師器	甕	—	—	—	褐色	白色粒子	良	外面:ハケメ	
7図	19	5土	1	土師器	碗	<16.2>	—	—	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外面:ヘラ削り不明瞭	
7図	20	5土	2・3・5・S9—3・15・17	土師器	壺	<22.8>	—	—	赤褐色	金雲母	良	内面:ハケメ, 外面:ハケメ	
7図	21	5土	6・S9—12	土師器	甕	—	—	<9.0>	暗褐色	やや粗:金雲母多數	良	内面:ハケメ・指頭痕、底部木葉痕	

2号井戸跡出土遺物

挿図番号	遺物番号	出土地点	注記番号	種別	器形	法量			色調	胎土	焼成	調整	備考
						口径	器高	底径					
11図	1	2井戸		土師器	壺	15.3	低5.3 高5.7	5.2	赤褐色	赤色粒子	良	外面:ロクロナデ・ヘラ削り、底部:ヘラ調整、内面:ナデ	口縁:歪み
11図	2	2井戸		土師器	壺	15.0	4.7	5.2	赤褐色	赤色粒子	良	外面:ロクロナデ・ヘラ削り、底部:糸切り後ヘラ調整、内面:ロクロナデ	口縁:歪み
11図	3	2井戸	7	土師器	壺	14.4	4.8	5.4	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内外面:ナデ、体部:ヘラ削り	
11図	4	2井戸	43・94・93	土師器	壺	12.1	3.5	4.4	赤褐色・黒褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外面:ナデ・ヘラ削り・底部ヘラ調整・暗文不明瞭、内面:ナデ	
11図	5	2井戸	98・99・101・102・120・135	土師器	壺	12.4	4.5	4.4	明褐色	赤色粒子	良	外面:ナデ・ヘラ削り、底部:ヘラ調整	
11図	6	2井戸	112	土師器	壺	12.1	4.3	4.7	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良		
11図	7	2井戸	164	土師器	壺	10.2	3.95	5.7	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り、底部糸切り後ヘラ調整、口縁にやや歪み有	
11図	8	2井戸	122	土師器	壺	<11.6>	3.8	4.6	暗褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り・底部糸切り痕	
11図	9	2井戸	114・136・137・138	土師器	壺	<14.6>	4.8	5.0	明褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り・底部糸切り痕	
11図	10	2井戸		土師器	鉢	15.6	6.4	7.0	赤褐色	赤色粒子	良	外面:ヘラ削り、底部:糸切り後ヘラ調整	
11図	11	2井戸	49・19・47	土師器	壺	10.8	4.0	5.5	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部糸切り痕、暗文不明瞭	
11図	12	2井戸	124	土師器	壺	<11.2>	3.6	<5.6>	赤褐色	赤色粒子	良	内面:暗文、外:ヘラ削り	
11図	13	2井戸	166	土師器	壺	<15.0>	4.3	<5.15>	内面:黒色、外:黄褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外面:ヘラ削り、底部:糸切り後ヘラ調整	内黒
11図	14	2井戸	133	土師器	壺	<14.6>	4.8	5.0	外面:明褐色、内:黑色	赤色・白色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・底部糸切り痕	内黒
11図	15	2井戸	148・150	土師器	皿	13.0	2.7	3.5	明褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り・底部糸切り痕 *歪みがひどく口径に差有	
11図	16	2井戸	21	土師器	皿	13.0	2.4	5.0	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ロクロヘラ削り	
11図	17	2井戸	134	土師器	皿	12.4	2.5	7.6	白褐色	赤色粒子	良	底部ヘラ削り、暗文	
11図	18	2井戸	64	土師器	壺	<14.4>	5.7	<5.8>	黄褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面:暗文、底部:ヘラ調整	
11図	19	2井戸		土師器	壺	<10.1>	4.1	<4.8>	暗茶褐色、外:茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面:暗文、外:ヘラ削り・底部糸切り後ヘラ調整	
11図	20	2井戸	177	土師器	壺	<11.8>	4.5	4.4	明褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭・ヘラ削り・底部糸切り痕	
11図	21	2井戸	82	土師器	壺	<13.6>	<4.5>	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
11図	22	2井戸	20	土師器	壺	<11.0>	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	

11図	23	2井戸	141・146	土師器	坏	<14.0>	—	—	褐色	密	良	ヘラ削り	
11図	24	2井戸		土師器	坏	10.6			赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	
11図	25	2井戸	56	土師器	坏	<11.0>	<4.2>	—	明褐色	赤色粒子・白色粒子多数	良	ヘラ削り・暗文	
11図	26	2井戸		土師器	高台坏	<15.2>	<6.0>	<6.2>	褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文	
11図	27	2井戸	162	土師器	坏	<11.0>	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
11図	28	2井戸	156	土師器	坏	<9.8>	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文?	
11図	29	2井戸		土師器	坏	<11.8>	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り	
11図	30	2井戸		土師器	坏	9.3	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文	
12図	31	2井戸	25	土師器	坏	13.2	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文	
12図	32	2井戸		土師器	坏	9.4	3.35	—	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	
12図	33	2井戸		土師器	坏	<11.6>	—	—	明褐色	赤色・白色粒子	良		
12図	34	2井戸		土師器	坏	<10.6>	<4.4>	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
12図	35	2井戸	69	土師器	坏	<10.6>	—	—	明褐色	赤色・白色粒子	良	暗文不明瞭・ヘラ削り	
12図	36	2井戸		土師器	坏	<15.2>	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
12図	37	2井戸	140	土師器	坏	<11.8>	—	—	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
12図	38	2井戸	9	土師器	坏	13.2	—	—	褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	
12図	39	2井戸	83	土師器	坏	<11.0>	—	—	褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
12図	40	2井戸	87	土師器	坏	<13.8>	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良		
12図	41	2井戸		土師器	坏	<9.9>			黄褐色	赤色粒子	良		
12図	42	2井戸	33	土師器	坏	<13.8>			茶褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文	
12図	43	2井戸	84	土師器	鉢	<17.6>	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
12図	44	2井戸	11	土師器	坏	<12.6>	<4.4>	—	明褐色	赤色・白色粒子	良	暗文不明瞭・ヘラ削り	
12図	45	2井戸		土師器	坏	<13.2>	<4.5>	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文	
12図	46	2井戸	85	土師器	坏	<10.2>	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
12図	47	2井戸		土師器	坏	<11.2>	—	—	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良		
12図	48	2井戸		土師器	坏	<11.4>	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
12図	49	2井戸		土師器	坏	<12.0>	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文	
12図	50	2井戸		土師器	坏	<11.2>	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
12図	51	2井戸		土師器	坏	<11.2>	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
12図	52	2井戸		土師器	坏	<10.0>	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
12図	53	2井戸		土師器	鉢	<19.0>	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
12図	54	2井戸		土師器	鉢	<18.6>	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
12図	55	2井戸		土師器	坏	<13.0>	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
12図	56	2井戸		土師器	鉢?	<17.2>	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良		
12図	57	2井戸		土師器	坏	<11.2>	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
12図	58	2井戸		土師器	坏	<11.4>	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
12図	59	2井戸		土師器	皿?	<16.4>	—	—	外側：赤褐色、内面：黒色	赤色粒子	良	暗文	内黒
12図	60	2井戸		土師器	坏	10.9	残3.8	—	赤褐色	赤色粒子	良	全体に黒いものが付着	
12図	61	2井戸		土師器	坏	13.2	残3.1	—	明褐色	赤色粒子	良		
12図	62	2井戸		土師器	坏	11.1	残3.7	—	黄褐色	赤色粒子	良	縁の周辺が黒くなっている	
12図	63	2井戸	109	土師器	坏	<14.0>	—	—	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良		内黒
12図	64	2井戸	55	土師器	坏	<13.8>	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良		内黒
12図	65	2井戸	18	土師器	坏	<15.9>	—	—	外側：黄褐色、内面：黒色	赤色粒子	良		内黒
12図	66	2井戸	67	土師器	坏	<12.6>	—	—	明褐色	赤色・白色粒子	良		
12図	67	2井戸	131	土師器	坏	15.4	—	—	暗褐色	赤色粒子	良		
12図	68	2井戸	118	土師器	鉢?	<25.8>	残7.8	—	外側：赤褐色、内面：黒色	赤色粒子・砂粒多数含	良	内外側：ナデ、外側：ヘラ削り	
12図	69	2井戸	77	土師器	坏	—	—	5.2	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
12図	70	2井戸	62	土師器	坏	—	—	5.3	明褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り・底部糸切り痕	
12図	71	2井戸	125	土師器	坏	—	—	4.7	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
12図	72	2井戸	63	土師器	坏	—	—	4.4	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	
12図	73	2井戸	161	土師器	坏	—	—	<7.0>	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
12図	74	2井戸	66	土師器	坏	—	残3.1	4.6	明褐色	赤色粒子	良	底部糸切り痕	
12図	75	2井戸	172	土師器	坏	—	残2.2	5.7	明褐色	赤色粒子	良		
12図	76	2井戸	54・153	土師器	坏	—	残1.8	6.4	明褐色	赤色粒子	良	底部糸切り痕	
12図	77	2井戸	155	土師器	坏	—	—	5.2	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕	
12図	78	2井戸	23	土師器	坏	—	—	<6.0>	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
12図	79	2井戸	59	土師器	坏	—	—	<4.4>	明褐色	赤色粒子	良		
12図	80	2井戸	165	土師器	坏	—	—	<7.0>	赤褐色	赤色粒子	良		
12図	81	2井戸	52	土師器	坏	—	—	<6.8>	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	
12図	82	2井戸	154	土師器	坏	—	—	<6.8>	褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕	
12図	83	2井戸	35	土師器	坏	—	—	<4.4>	赤褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭	
13図	84	2井戸	79	土師器	坏	—	—	<8.6>	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文や不明瞭	
13図	85	2井戸	74	土師器	坏	—	—	<7.0>	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文	

13図	86	2井戸	121	土師器	壺	—	—	〈6.0〉	明褐色	赤色粒子	良			
13図	87	2井戸	157	土師器	高台壺	—	—	〈7.6〉	褐色	赤色粒子	良			
13図	88	2井戸		土師器	壺	—	—	4.8	暗褐色	砂粒	良			
13図	89	2井戸		土師器	壺	—	—	〈6.4〉	内面：黄褐色、外 面：赤褐色	赤色粒子・砂粒やや含	良	暗文不明瞭		
13図	90	2井戸		土師器	壺	—	—	〈6.0〉	褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り		
13図	91	2井戸		土師器	壺	—	—	〈7.8〉	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り		
13図	92	2井戸		土師器	壺	—	—	〈6.0〉	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り 痕		
13図	93	2井戸		土師器	壺	—	—	〈5.4〉	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部糸切り痕		
13図	94	2井戸	94・97	土師器	皿	—	—	〈2.4〉	〈4.2〉	黄褐色・赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
13図	95	2井戸	2・42・92	土師器	皿	—	—	〈2.3〉	赤褐色	赤色粒子・金雲母	良	ヘラ削り		
13図	96	2井戸	179	土師器	皿	—	2.5	〈4.8〉	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	ミガキ・口縁に歪み・ロクロ ヘラ削り		
13図	97	2井戸	144	土師器	皿	—	—	〈3.0〉	〈4.4〉	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
13図	98	2井戸	117	土師器	皿	—	—	〈2.5〉	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良			
13図	99	2井戸	90	土師器	皿	—	—	〈2.75〉	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部糸切り痕		
13図	100	2井戸	168	土師器	?	—	—	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良				
13図	101	2井戸	108	土師器	皿	—	—	3.7	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り		
13図	102	2井戸	80	土師器	皿	—	—	〈7.4〉	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り・底部糸切り 後ヘラ削り		
13図	103	2井戸	34・68	土師器	皿	—	—	〈5.0〉	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り・底部糸切り 後ヘラ削り		
13図	104	2井戸	158	土師器	皿	—	—	〈6.6〉	暗褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り		
13図	105	2井戸	72	土師器	皿	—	—	〈6.0〉	明褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り		
13図	106	2井戸	39	土師器	皿	—	—	〈5.0〉	暗褐色	赤色・白色粒子	良	ロクロヘラ削り		
13図	107	2井戸	32	古墳・ 壺	壺	—	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：ミガキ		
13図	108	2井戸		土師器	皿	—	—	〈7.0〉	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ミガキ・底部糸切り痕		
13図	109	2井戸	126	土師器	高台皿	—	—	〈7.2〉	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ミガキ	内黒	
13図	110	2井戸	71	土師器	高台皿	—	—	〈7.0〉	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良		削り出し高台	
13図	111	2井戸	78	土師器	高台皿	—	—	〈9.2〉	明褐色	赤色粒子・砂粒	良		削り出し高台	
13図	112	2井戸	51	土師器	高台皿	—	—	〈7.8〉	暗褐色	赤色粒子・砂粒多数含	良		削り出し高台	
13図	113	2井戸	104	土師器	蓋	—	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良			
13図	114	2井戸		土師器	蓋	—	—	〈17.6〉	明褐色	赤色粒子・砂粒	良			
13図	115	2井戸		土師器	蓋	—	—	〈17.5〉	明褐色	赤色粒子	良			
13図	116	2井戸		土師器	蓋	—	—	〈19.6〉	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良			
13図	117	2井戸		土師器	蓋	—	—	〈17.7〉	明褐色	赤色粒子	良			
13図	118	2井戸		土師器	甕	〈20.6〉	—	—	赤褐色	やや粗：白色粒子多数含・小 石含・赤色粒子やや含	良	内外面：2本単位ほどの目の 粗いハケメ有		
13図	119	2井戸	46	土師器	甕	〈14.2〉	—	—	暗褐色	石英・黒色粒子・白色粒子	良			
13図	120	2井戸	103	土師器	台付甕	—	—	—	明褐色	やや粗：金雲母・白色粒子共 に多数	良	外面：ハケメ		
13図	121	2井戸		土師器	小甕	—	—	〈7.4〉	茶褐色	白色粒子・石英・金雲母・黒 色粒子	良	外面：ヘラ削り、内面：ハケメ 不明瞭		
13図	122	2井戸		土師器	甕	〈17.0〉	—	—	橙色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内外面：ハケメ不明瞭		
13図	123	2井戸	176	須恵器	—	—	—	—	—	—	—	—		
13図	124	2井戸	182	須恵器	—	—	—	—	—	—	—	—		
13図	125	2井戸	180	須恵器	—	—	—	—	—	—	—	—		
13図	126	2井戸	26	瓦	—	—	—	—	—	—	—	—		
13図	127	2井戸	41	瓦	—	—	—	—	—	—	—	—		
14図	128	2井戸	123・139・75	土師器	壺	15.5	5.1	5.0	赤褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り		
—	129	2井戸	169	土師器	壺	13.8	5.5	5.2	茶褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	図版欠	
14図	130	2井戸	8・36・45・105・107	土師器	壺	12.6	4.5	4.4	褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・底部糸切り痕・歪 み有		
14図	131	2井戸	178	土師器	壺	13.0	4.1	6.0	明褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭・ヘラ削り・底部 糸切り痕		
14図	132	2井戸		土師器	壺	11.7	4.3	—	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り		
14図	133	2井戸	107	土師器	壺	13.0	4.2	4.2	暗褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
14図	134	2井戸	173	土師器	壺	13.7	4.4	5.1	淡黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・底部ヘラ調整		
14図	135	2井戸	8・53・175	土師器	壺	〈15.8〉	4.6	〈4.6〉	淡黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削りやや不明瞭		
14図	136	2井戸	15・12・96・16・44・ 91・45	土師器	壺	14.7	4.7	5.4	赤褐色	赤色・白色・黒色粒子	良	外面：ヘラ削り・ナデ、底部： 糸切り後ヘラ調整		
14図	137	2井戸	132	土師器	壺	14.3	4.9	4.5	黄褐色	赤色・白色粒子	良	外面：ヘラ削り、底部：糸切り 後ヘラ調整		
14図	138	2井戸	8・106・11	土師器	皿	14.4	5.4	4.75	明褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り・底部ヘラ調整・口 縁に歪み		

14図	139	2井戸	163・165	土師器	坏	14.2	4.8		明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・歪み有	
14図	140	2井戸	181	土師器	坏	14.5	5.2	5.4	淡黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・口縁に歪み	
14図	141	2井戸	163	土師器	坏	11.8	4.1	4.0	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部ヘラ調整	
14図	142	2井戸	147・152	土師器	坏	11.8	4.5	4.2	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部糸切り後ヘラ調整・歪み有	
14図	143	2井戸	89・101	土師器	坏	〈13.4〉	4.65	4.7	明褐色	赤色・白色・黒色粒子	良	外面：ヘラ削り・底部：ヘラ調整	
14図	144	2井戸		土師器	坏	〈11.4〉	—	—	茶褐色	赤色・白色・黒色粒子	良	外面：ヘラ削り	
14図	145	2井戸		土師器	坏	〈14.6〉	5.45	5.4	明黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り・底部糸切り後ヘラ調整	
14図	146	2井戸		土師器	坏	12.4	4.6	5.4	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	
14図	147	2井戸	142	土師器	坏			5.2	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	内黒
14図	148	2井戸	86	土師器	皿	15.6	2.4	11.0	褐色	赤色粒子	良		
14図	149	2井戸	145・149・151・159	土師器	皿	12.2	2.9	4.0	赤褐色	赤色・白色粒子	良	底部糸切り痕	
14図	150	2井戸	3・4・5	土師器	皿	12.3	2.75	3.1	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	口縁に歪み有・底部糸切り後ヘラ調整	
14図	151	2井戸	113	土師器	皿	〈12.8〉	2.3	3.6	暗褐色	赤色粒子	良	底部に歪み・ヘラ調整	
14図	152	2井戸	143	土師器	皿	〈13.0〉	3.0	3.8	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
14図	153	2井戸	13・105	土師器	皿？	〈13.2〉	3.0	4.0	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	底部糸切り痕	
14図	154	2井戸	116	土師器	皿	12.7	2.8	3.15	内面：橙色、外面：黄褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り	
14図	155	2井戸	81	土師器	皿	14.2	2.2	5.5	茶褐色	赤色・白色粒子	良	外面：ヘラ削り・底部ヘラ調整	
14図	156	2井戸		木製品									
14図	157	2井戸	S-1	石製品									
14図	158	2井戸	174	土師器	手捏ね	4.0	2.2	3.4	灰褐色	赤色粒子・砂粒	良		

1号溝出土遺物

捕団番号	遺物番号	出土地点	注記番号	種別	器形	法量			色調	胎土	焼成	調整	備考
						口径	器高	底径					
16図	1	1溝		土師器	甕：1号埋甕	—	—	6.8	褐色	やや粗：石英・白色粒子多数含	良	外面：ハケメ、内面：ヘラ削りの痕不明瞭	
16図	2	1溝	29	土師器	高坏	〈25.5〉	〈21.6〉	—	赤褐色	雲母・石英やや含	良	脚部：ミガキ・ハケメ、内面：ハケメ・繰り目、器体部内外面：ハケメ	
16図	3	1溝	12・14	土師器	高坏	〈21.8〉	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ハケメ・指頭痕・ナデ	
16図	4	1溝	B2-43	土師器	高坏	〈21.6〉	—	—	赤褐色	緻密：赤色粒子	良	外外面：ミガキ	
16図	5	1溝	5	土師器	高坏	24.0	残4	—	明褐色	赤色粒子	良	ハケメ	
16図	6	1溝	2	土師器	高坏	19.0	〈4.5〉	—	明褐色	赤色粒子	良		
16図	7	1溝	D3-2	土師器	高坏	15.7	〈4.1〉	—	暗褐色	赤色粒子	良		
16図	8	1溝	18	土師器	高坏	13.6	〈3.2〉	—	赤褐色	赤色粒子	良		
16図	9	1溝	15	土師器	高坏	18.0	〈3.0〉	—	赤褐色	赤色粒子	良		
16図	10	1溝	7	土師器	高坏	18.0	〈2.5〉	—	赤褐色	赤色粒子	良	内面：ハケメ	
16図	11	1溝	D3-5	土師器	高坏	18.4	〈3.7〉	—	赤褐色	赤色粒子	良	内面：ハケメ	
16図	12	1溝	F4-5	土師器	高坏	—	—	—	赤褐色	赤色粒子	良		
16図	13	1溝	16	土師器	高坏	—	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	外外面：ミガキ	
16図	14	1溝	28	土師器	高坏	—	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	外外面：ミガキ	
16図	15	1溝	D3-3	土師器	高坏	—	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
16図	16	1溝	11	土師器	高坏	—	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
16図	17	1溝	17	土師器	高坏	—	—	17.7	橙色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り・ハケメ、内面：ハケメ	
16図	18	1溝	6	土師器	高坏	—	〈7.1〉	19.8	赤褐色	赤色粒子	良		
16図	19	1溝	10・B2-43	土師器	高坏	—	—	—	黄褐色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り後ハケメ入れ調整、内面：ハケメ	
16図	20	1溝	35	土師器	高坏 脚部	—	—	—	褐色	赤色・白色粒子	良	外面：ミガキ	
16図	21	1溝	D3-7	土師器	高坏	—	〈3.3〉	14.6	明褐色	赤色粒子	良		
16図	22	1溝	D3-9	土師器	高坏 脚部	—	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	外面：ミガキ、内面：ナデ・しぱり目	
16図	23	1溝	C2	土師器	高坏	—	—	〈16.0〉	褐色	緻密：赤色粒子	良	外面：ヘラミガキ？、内面：ヘラ削り	
16図	24	1溝	A2	土師器	高坏	—	—	〈18.8〉	暗褐色	赤色粒子	良		
16図	25	1溝	1	土師器	高坏	—	—	〈6.8〉	明褐色	緻密：赤色粒子	良	外面：ヘラミガキ、内面：ヘラ削り	
16図	26	1溝	30	土師器	直口壺・埴	〈10.0〉	—	—	明褐色	赤色粒子やや含	良	外面：ミガキ	
16図	27	1溝	C2	土師器		—	—	11.0	赤褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り	
16図	28	1溝	D3-1	土師器	甕	〈15.6〉	—	—	明褐色	やや粗：長石・石英・雲母	良	外外面：ハケメ	
16図	29	1溝	10	土師器	直口壺・埴	—	—	〈6.4〉	黄褐色	密	良	外面：ヘラ削り・底部ヘラ調整、内面：指頭による調整痕	
16図	30	1溝	25	土師器	小型壺・埴	—	残5.9	—	赤褐色	赤色粒子	良	内面：指頭痕	

16図	31	1溝	22	土師器	小型壺・罐	一	残5.1	一	明褐色	赤色粒子	良	内面：指頭痕、外面：ヘラ削り	
16図	32	1溝	B2-42	土師器	壺	一	一	5.4	赤褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り、内面：指頭痕	
16図	33	1溝	40	土師器	壺	一	一	3.3	赤褐色	赤色粒子	良	内面：指頭痕	
16図	34	1溝	33	土師器	台付甕	一	一	一	赤褐色	やや粗；赤色粒子多数	良	内外面：ハケメ	
16図	35	1溝	34	土師器	台付甕	一	一	一	赤褐色	赤色粒子・雲母	良	内外面：ハケメ	

2号溝出土遺物

探査番号	遺物番号	出土地点	注記番号	種別	器形	法量			色調	胎土	焼成	調整	備考
						口径	器高	底径					
21図	1	2溝		土師器	皿	12.4	2.6	5.8	赤褐色	赤色粒子	良		
21図	2	2溝	763	土師器	壺	11.5	4.4	5.5	黄褐色	赤色粒子 密	良	ヘラ削り	
21図	3	2溝	453	土師器	壺	11.4	4.0	5.3	灰褐色	砂粒	良	ヘラ削り	
21図	4	2溝	970	土師器	壺	15.1	7.1	7.9	暗褐色	赤色粒子	良	内面：見込み部に暗文	
21図	5	2溝		土師器	高台付壺	18.6	6.6	8.6	明褐色	石英・赤色粒子	良		内黒
21図	6	2溝	29	土師器	壺	10.5	4.1	4.9	赤褐色	赤色粒子	良	内面：暗文	
21図	7	2溝	1163	土師器	壺	10.4	4.0	5.8	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	
21図	8	2溝	1051	土師器	壺	10.4	3.8	5.3	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	
21図	9	2溝	1107	土師器	壺	11.0	3.9	5.9	赤褐色	赤色粒子・砂粒子	良	暗文・ヘラ削り	
21図	10	2溝	1149・1147	土師器	壺	11.2	4.2	5.4	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	
21図	11	2溝	945	土師器	壺	10.2	3.9	5.3	黄褐色	砂粒	良	ヘラ削り	
21図	12	2溝		土師器	壺	9.4	4.1	16.7	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
21図	13	2溝	396	土師器	壺	10.5	3.7	5.5	赤褐色	密：赤色粒子・白色粒子やや含	良		焼成時に削り過ぎのための穿孔有
21図	14	2溝		土師器	壺	9.4	4.2	5.4	褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
21図	15	2溝	584	土師器	壺	9.0	5.1	5.4	褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
21図	16	2溝		土師器	壺	11.3	4.0	5.2	赤褐色	赤色粒子	良		
21図	17	2溝		土師器	壺	10.2	3.9	5.4	黄褐色	赤色粒子・砂粒子	良		
21図	18	2溝		土師器	壺	9.3			黄褐色	赤色粒子	良		
21図	19	2溝		土師器	壺	〈11.5〉	3.4	〈5.7〉	暗褐色	赤色粒子・石英・砂粒子	良	糸切り痕	
21図	20	2溝		土師器	壺	〈10.5〉	4.4	6.6	明褐色	赤色粒子・砂粒子	良	暗文やや不明瞭・ヘラ削り・底部糸切り痕	
21図	21	2溝	436・483・666	土師器	壺	11.8	4.0	5.4	褐色	緩密：白色粒子・赤色粒子・長石	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り	
21図	22	2溝	7245・794	土師器	壺	〈13.7〉	4.5	6.3	黄褐色	赤色粒子	良	底部糸切り痕	
21図	23	2溝		土師器	壺	〈11.0〉	4.65	6.9	赤褐色	赤色粒子	良	底部：糸切り痕、内面：見込み・暗文、体部下半：ヘラ削り、一部反転	
21図	24	2溝	78	土師器	壺	11.6	4.05	4.0	赤褐色	赤色粒子	良	反転・外面：体部下半削り	
21図	25	2溝		土師器	壺	10.6	4.0	5.9	明褐色	赤色粒子	良	糸切り	
21図	26	2溝	946	土師器	壺	〈10.8〉	4.15	5.4	赤褐色	赤色・白色粒子	良	反転 内面：暗文、外面：体部下半ヘラ削り	
21図	27	2溝	755・1127・773	土師器	壺	10.5	4.15	5.15	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外面：体部下半ヘラ削り	
21図	28	2溝	306	土師器	壺	〈12.6〉	〈4.0〉	一	赤褐色	密：砂粒やや含	良		
21図	29	2溝	380・384	土師器	高台壺	〈16.4〉	6.2	7.6	明褐色	密：赤色粒子・砂粒	良	暗文	
21図	30	2溝	225	土師器	壺	〈11.8〉	〈3.9〉	〈5.2〉	明褐色	密：赤色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り	
21図	31	2溝	833	土師器	壺	9.2	4.0	一	黄褐色	赤色粒子	良	暗文	
21図	32	2溝	836	土師器	壺	9.9	4.5	一	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	
22図	33	2溝	415・383・382・671	土師器	削り出し高台	15.6	5.7	6.7	明褐色	密：赤色粒子	良	外面：螺旋状にヘラ削り調整	
22図	34	2溝	1078・100・232・856	土師器	高台壺	17.0	7.0	8.0	明褐色	密：赤色粒子	良		内黒
22図	35	2溝	756・757	土師器	壺	10.5	4.2	5.5	赤褐色	密	良	底部糸切り痕・ヘラ削り	
22図	36	2溝	455・550	土師器	壺	〈16.4〉	〈4.2〉		黄褐色	密：赤色粒子・長石・白色粒子	良	内面：暗文	
22図	37	2溝	558・561・566	土師器	壺	11.4	4.8	7.6	赤褐色	赤色粒子	良	糸切り痕	
22図	38	2溝		土師器	壺	〈9.1〉	4.15	6.2	褐色	赤色粒子	良		
22図	39	2溝	1187	土師器	壺	9.4	4.3	5.7	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	
22図	40	2溝	214	土師器	壺	11.5	4.2	7.2	明褐色	密	良	底部糸切り痕・暗文不明瞭・ヘラ削り	
22図	41	2溝	840	土師器	壺	11.3	4.5	7.2	明褐色	密	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕	
22図	42	2溝	978	土師器	壺	10.8	4.5	7.3	明褐色	密	良	暗文・ヘラ削り	
22図	43	2溝	511・1182・1186	土師器	壺	11.4	4.7	6.7	黄褐色	赤色粒子	良	底部糸切り痕	
22図	44	2溝	788	土師器	壺	10.2	4.3	6.8	暗褐色	赤色粒子	良	底部糸切り痕	
22図	45	2溝	40	土師器	壺	11.2	4.7	6.2	赤褐色	赤色粒子	良	底部糸切り後ヘラ調整やや不明瞭	
22図	46	2溝	161	土師器	壺	11.1	4.6	6.3	暗褐色	赤色粒子	良	底部糸切り	
22図	47	2溝	834	土師器	壺			6.7	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	

22図	48	2溝	835・836	土師器	坏	11.0	〈4.4〉		明褐色	綴密：赤色粒子	良	暗文		
22図	49	2溝	842	土師器	坏	10.6	—	—	褐色及び 黄褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
22図	50	2溝	640・659	土師器	坏	11.2	—	—	褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文		
22図	51	2溝	824	土師器	坏		—	6.9	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
22図	52	2溝		土師器	坏	10.4	—	—	褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
22図	53	2溝	281	土師器	坏	11.4	4.4	7.4	暗褐色	密	良	底部糸切り痕・ヘラ削り		
22図	54	2溝	1185・1119・ 1156・1138	土師器	坏	〈12.9〉	4.8	5.25	赤褐色	赤色・白色粒子	良	一部反転、内面：暗文、外面： 体部下半ヘラ削り・底部糸切 り痕		
22図	55	2溝		土師器	坏	〈10.0〉	〈4.3〉	〈5.4〉	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文、底部：糸切り痕		
22図	56	2溝	838	土師器	坏	12.0	4.5	6.7	赤褐色	密	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切 り痕・底部糸切り痕		
22図	57	2溝		土師器	坏	〈10.3〉	4.45	6.8	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：体部下半ヘ ラ削り・底部糸切り痕		
22図	58	2溝	941	土師器	坏	11.0	4.7	7.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
22図	59	2溝	36	土師器	坏	11.2	4.3	6.0	黄褐色	密：赤色粒子	良	外面：ヘラ削り・内面：暗文不 明瞭		
22図	60	2溝	1144	土師器	坏	〈12.2〉	4.1	5.4	明赤褐色	密：赤色粒子・石英・白色粒 子	良	反転。内：暗文、外：ヘラ削り		
23図	61	2溝	596	土師器	坏	〈12.4〉	4.0	5.4	暗褐色	密：赤色粒子・砂粒やや含	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り不 明瞭		
23図	62	2溝	680	土師器	坏	〈10.8〉	4.0	4.55	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外面：体部下半ヘ ラ削り		
23図	63	2溝	743	土師器	坏	〈12.6〉	5.05	〈6.9〉	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文		
23図	64	2溝	678	土師器	坏	〈10.7〉	3.8	5.0	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：体部下半ヘ ラ削り・底部糸切り痕		
23図	65	2溝	783	土師器	坏	〈11.0〉	4.15	4.3	暗褐色	赤色・白色粒子	良	内面：見込み暗文、外面：体部 下方ヘラ削り		
23図	66	2溝	20・22・23	土師器	坏	〈11.6〉	4.2	〈4.5〉	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：体部下半ヘ ラ削り		
23図	67	2溝	104	土師器	坏	〈11.8〉	4.5	5.9	赤褐色	綴密	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り・ 底部糸切り痕	内黒	
23図	68	2溝	1029・1098	土師器	坏	〈11.0〉	4.5	5.4	黄褐色	綴密：赤色粒子・白色粒子	良	内面：暗文やや不明瞭、外面： ヘラ削り・底部糸切り痕		
23図	69	2溝	379	土師器	坏	10.8	4.2	5.2	赤褐色	密	良	暗文・ヘラ削り		
23図	70	2溝	800	土師器	坏	12.0	4.2	6.0	明褐色	密	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切 り痕		
23図	71	2溝		土師器	坏	〈11.2〉	4.1	〈5.4〉	暗褐色	赤色粒子・砂粒やや含	良	暗文・ヘラ削り・糸切り痕		
23図	72	2溝	864	土師器	坏	—	—	〈8.0〉	明褐色	密：赤色粒子・砂粒多数含	良	暗文		
23図	73	2溝	425・441	土師器	坏	〈11.0〉	3.6	5.6	内面：暗 褐色、外 面：黄 褐色	密：赤色粒子・砂粒やや含	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切 り痕		
23図	74	2溝	587・589・590	土師器	坏	10.4	3.6	5.0	暗褐色	密・赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切 り痕		
23図	75	2溝	744・23	土師器	坏	15.3	5.2	7.4	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文		
23図	76	2溝	10	土師器	坏	11.4	4.4	5.4	黄褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
23図	77	2溝	365	土師器	坏	17.6	5.4	6.4	明褐色	赤色粒子	良	一部反転		
23図	78	2溝	103・104・107	土師器	坏	12.0	4.5	5.8	暗褐色	赤色粒子	良	糸切り		
23図	79	2溝	456	土師器	坏	11.0	4.1	5.4	赤褐色	赤色粒子	良	底部：ヘラ削り、口縁：ゆがみ		
23図	80	2溝		土師器	坏	10.0	16.0	4.6	褐色	赤色粒子	良	反転・暗文あり		
23図	81	2溝	714・713	土師器	坏	10.0	3.8	5.0	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文		
23図	82	2溝		土師器	坏	11.2	4.2	5.5	赤褐色	赤色粒子	良	暗文		
23図	83	2溝	882・1148	土師器	坏	11.7	3.6	5.1	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
23図	84	2溝		土師器	坏	10.4	4.8	6.4	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良			
23図	85	2溝	932	土師器	坏	〈11.5〉	4.0	5.4	赤褐色	綴密：赤色・白色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
23図	86	2溝	582	土師器	坏	〈10.0〉	3.7	5.3	明褐色	密：赤色粒子・砂粒多数	良	へら削り・底部糸切り痕		
23図	87	2溝	390・394	土師器	坏	〈10.8〉	4.0	5.4	赤褐色	密：赤色・白色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切 り痕		
23図	88	2溝	31・119・945	土師器	坏	11.6	4.8	6.0	明褐色	密	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切 り痕		
23図	89	2溝	719・720	土師器	坏	10.5	3.7	4.5	明褐色	密：赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・焼成時焼む ら、底部糸切り痕		
23図	90	2溝	732	土師器	坏	11.8	3.4	5.0	明褐色	密	良	暗文・ヘラ削り		
24図	91	2溝	11	土師器	坏	〈11.4〉	4.4	〈5.2〉	暗褐色	密：赤色粒子・砂粒やや含	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切 り痕		
24図	92	2溝	754	土師器	坏	〈10.4〉	3.8	15.1	明褐色	密：赤色粒子・砂粒やや含	良	暗文：不明瞭、ヘラ削り、底部 糸切り痕		
24図	93	2溝	927	土師器	坏	10.8	4.0	4.8	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
24図	94	2溝	1184・798・744	土師器	坏	10.8	3.8	4.6	赤褐色及 び黄褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		

24図	95	2溝	746	土師器	坏	11.6	3.9	5.8	赤褐色	赤色粒子	良	糸切り痕	
24図	96	2溝		土師器	坏	<11.5>	4.15	5.0	赤褐色	赤色粒子・砂粒子	良	暗文・ヘラ削り、共に不明瞭、底部糸切り痕	
24図	97	2溝	1096	土師器	坏	13.0	4.6	6.4	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
24図	98	2溝	930・931	土師器	坏	10.4	4.1	4.8	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：体部下半ヘラ削り	
24図	99	2溝	340	土師器	坏	<10.5>	3.25	<5.1>	黄褐色	赤色粒子	良	内面：暗文、外面：体部ヘラ削り	
24図	100	2溝		土師器	坏	<10.4>	3.2	<4.4>	明褐色	密：赤色粒子・白色粒子やや含	良	暗文・ヘラ削り	
24図	101	2溝	830・837	土師器	坏			6.9	暗褐色	緻密：赤色粒子	良	体部・見込み部に暗文、ヘラ削り、底部：糸切り痕	
24図	102	2溝	321・320	土師器	坏	21.3	9.0	10.5	赤褐色	赤色粒子	良	ミガキ	
24図	103	2溝		土師器	皿	12.3	3.2	4.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文あり	
24図	104	2溝	163	土師器	坏	<12.1>	3.95	<5.4>	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、見込み不明瞭、外面：ヘラ削り、底部糸切り痕	
24図	105	2溝		土師器	坏	17.0	6.8	8.0	赤褐色	赤色粒子	良		内黒
24図	106	2溝	195	土師器	坏	—	—	5.0	明褐色	密：赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕	
24図	107	2溝	593	土師器	坏	10.8	3.8	5.2	明褐色	密：赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕	
24図	108	2溝	358	土師器	坏	—	—	4.9	外：赤褐色 内：暗褐色	密：赤色粒子・白色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕	
24図	109	2溝	868	土師器	坏	<11.3>	4.0	<5.0>	暗褐色	密：赤色粒子・砂粒やや含	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕	内黒
24図	110	2溝	176	土師器	坏	—	—	6.0	褐色	密：赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕	
24図	111	2溝		土師器	坏	<11.8>	3.25	<5.3>	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文・ナデ、外面：ヘラ削り	
24図	112	2溝		土師器	坏	<10.2>	3.65	<5.4>	明褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：体部ヘラ削り、底部糸切り痕？	
24図	113	2溝	1062・1076	土師器	坏	<8.8>	4.0	5.0	明赤褐色	緻密：赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り	
24図	114	2溝	405	土師器	坏			5.3	赤褐色	赤色粒子	良		
24図	115	2溝	104・105・1013	土師器	坏	10.9	4.3	6.0	赤褐色	赤色粒子	良	糸切り痕	
24図	116	2溝	250	土師器	坏	—	<2.3>	5.2	赤褐色	赤色粒子	良	底部ヘラ削り	
24図	117	2溝	816	土師器	坏	—	—	6.2	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り	
24図	118	2溝	841	土師器	坏	—	—	5.7	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、見込み：暗文？	
24図	119	2溝	815	土師器	坏	—	—	4.9	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
24図	120	2溝	1061	土師器	坏	—	—	5.4	明褐色	密：赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕	
24図	121	2溝	355	土師器	坏	<12.6>	4.1	<6.8>	明褐色	密：赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
24図	122	2溝	1139・1192	土師器	坏	<14.5>	<5.5>	—	暗褐色	密：赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り ※内黒	
25図	123	2溝	336	土師器	坏？	—	—	8.2	暗褐色	密：赤色粒子・砂粒多数含	良	暗文・底部糸切り痕	
25図	124	2溝	676・677	土師器	坏	<11.8>	3.6	<6.6>	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り	
25図	125	2溝	508・1042	土師器	坏	<10.2>	4.4	5.3	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り	
25図	126	2溝	1027・1034	土師器	坏	—	<3.0>	5.4	明褐色	赤色粒子	良	底部ヘラ削り	
25図	127	2溝	553	土師器	坏	—	<3.3>	6.8	赤褐色	赤色粒子	良	底部ヘラ削り	
25図	128	2溝	361	土師器	坏	10.6	4.7	5.0	赤褐色	密：赤色粒子	良		
25図	129	2溝	431・432	土師器	坏	—	—	5.4	黄褐色	密：赤色粒子・白色粒子ややむ	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕	
25図	130	2溝	547	土師器	坏	—	—	<4.5>	明褐色	密：赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕	内黒
25図	131	2溝	256・820	土師器	坏	—	—	6.1	明褐色	密	良	ヘラ削り・底部糸切り痕	
25図	132	2溝	467	土師器	坏	—	—	6.0	黄褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文 外面：ヘラ削り 不明瞭・底部糸切り痕	
25図	133	2溝	353・1145	土師器	坏	<11.4>	3.85	<5.0>	暗褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り	
25図	134	2溝	818・528	土師器	坏	—	—	5.5	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り、底部糸切り痕	
25図	135	2溝	56	土師器	坏	—	—	5.5	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
25図	136	2溝	460	土師器	坏	—	—	6.0	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り不明瞭、底部糸切り痕	
25図	137	2溝	488	土師器	高台坏	<11.2>	3.8	<5.2>	赤褐色	密	良	暗文	
25図	138	2溝	892	土師器	坏	<11.2>	4.6	<5.6>	明褐色	密：赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文不明瞭	
25図	139	2溝	1171	土師器	坏	<11.4>	4.0	<5.8>	明褐色	赤色・白色粒子	良	外面：ヘラ削り、内面：暗文不明瞭、底部糸切り痕	
25図	140	2溝	105	土師器	坏	<11.4>			明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り、暗文不明瞭	
25図	141	2溝	563	土師器	坏	<10.6>	4.15	5.1	茶褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文・底部にハケメ	

25回	142	2溝	399	土師器	坏	—	—	5.45	赤褐色	赤色・白色粒子	良	外面：ヘラ削り不明瞭・底部糸切り後ヘラ削り・内面：暗文不明瞭	
25回	143	2溝	990・1006	土師器	坏	—	—	6.3	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：暗文・見込み：暗文不明瞭・外側：ヘラ削り・底部糸切り痕	
25回	144	2溝	770	土師器	坏	〈11.4〉	3.9	〈5.8〉	明褐色	密：赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
25回	145	2溝	700	土師器	坏	〈11.4〉	3.7	〈5.4〉	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文？	
25回	146	2溝	1064	土師器	坏	〈10.3〉			暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・暗文	
25回	147	2溝	845	土師器	坏	〈11.4〉			茶褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文	
25回	148	2溝	1009	土師器	坏	〈10.9〉	4.2	〈5.0〉	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文不明瞭	
25回	149	2溝	830・831	土師器	坏	〈11.1〉	4.1	〈5.4〉	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭・外側：ヘラ削り	
25回	150	2溝	814	土師器	坏	〈13.4〉	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文・外側：ヘラ削り	口縁の一部に 煤付着
25回	151	2溝	337	土師器	坏	〈11.2〉	4.05	〈4.4〉	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文・外側：ヘラ削り	
25回	152												
25回	153	2溝	39	土師器	坏			〈5.3〉	黄褐色	密	良	暗文・ヘラ削り	
25回	154	2溝	218	土師器	坏	10.8	4.5	7.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
25回	155	2溝	490	土師器	坏	—	—	5.4	暗褐色		良	暗文・ヘラ削り	
25回	156	2溝	858	土師器	坏	12.0	4.0	6.6	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文	
25回	157	2溝	207	土師器	坏	〈11.6〉	—	—	明褐色	密	良	暗文・ヘラ削り	
25回	158	2溝	228・239・252・234	土師器	坏	—	—	5.7	明褐色	密：赤色粒子	良	暗文・底部糸切り痕	
25回	159	2溝	810	土師器		—	—	〈6.4〉	明褐色	密：赤色粒子	良		
25回	160	2溝	1068	土師器	坏	—	—	〈5.8〉	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文・外側：ヘラ削り・底部糸切り後ヘラ削り	
25回	161	2溝	506	土師器	坏	—	—	6.2	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面・見込み：暗文・外側：ヘラ削り・底部糸切り後ヘラ削り？	
25回	162	2溝		土師器	坏	—	—	〈6.2〉	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文・外側：ヘラ削り・底部糸切り後ヘラ削り	
25回	163	2溝	762	土師器	坏	〈11.3〉	4.15	〈5.6〉	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文・外側：ヘラ削り	
25回	164	2溝	731	土師器	坏	〈12.5〉	4.3	〈5.9〉	赤褐色	赤色・白色粒子	良	外側：ヘラ削り不明瞭	
25回	165	2溝		土師器	坏	〈10.8〉	〈3.8〉	〈6.0〉	明褐色	密：赤色粒子	良	暗文不明瞭・ヘラ削り	
25回	166	2溝	809	土師器	坏	—	—	〈7.4〉	暗褐色	密：赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	
25回	167	2溝	1185	土師器	坏	〈10.8〉	3.8	〈5.8〉	赤褐色	赤色粒子・白色鉱物	良	外側：ヘラ削り・内面：暗文	
25回	168	2溝	174	土師器	坏	〈11.1〉	4.0	〈6.0〉	茶褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
25回	169	2溝	1050	土師器	坏	〈11.6〉	4.1	〈5.0〉	茶褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文	
26回	170	2溝		土師器	坏	〈13.6〉	〈5.0〉	〈6.2〉	赤褐色	密：赤色粒子・砂粒	良		内黒
26回	171	2溝	286	土師器	坏	—	—	〈6.6〉	赤褐色	綴密：赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り共に不明瞭・見込み部：暗文不明瞭・底部糸切り痕	
26回	172	2溝	26・924	土師器	坏	〈12.8〉	〈4.2〉		明褐色	密：赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
26回	173	2溝	1091	土師器	坏	〈11.4〉			暗褐色	密：赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
26回	174	2溝	639	土師器	坏	—	—	6.8	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・糸切り痕	
26回	175	2溝		土師器	坏	9.8	4.0	4.6	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
26回	176	2溝	484	土師器	坏			5.7	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・糸切り痕	
26回	177	2溝	859	土師器	坏	10.9	4.0	6.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
26回	178	2溝	750	土師器	坏	10.8	4.0	8.0	外面：赤褐色・内面：黄褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
26回	179	2溝	805	土師器	坏	〈11.8〉	〈4.0〉	〈4.5〉	黄褐色	密：赤色粒子・砂粒・白色粒子やや含	良	暗文・ヘラ削り共に不明瞭	
26回	180	2溝		土師器	坏	〈10.2〉	〈4.0〉	〈6.4〉	暗褐色	密：赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り共に不明瞭	
26回	181	2溝	610	土師器	坏	—	—	〈6.0〉	暗褐色	密：赤色粒子・白色粒子・砂粒	良	体部・見込み部：暗文・ヘラ削り不明瞭・底部糸切り痕	
26回	182	2溝	1147	土師器	坏	—	—	〈6.4〉	赤褐色	密：赤色粒子・白色粒子	良	暗文・底部糸切り痕・ヘラ削り	
26回	183	2溝	1074	土師器	坏	〈11.8〉	—	—	赤褐色	密：赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
26回	184	2溝	94・1037	土師器	坏	〈11.4〉	—	—	赤褐色	密：赤色・白色粒子	良	外側：ヘラ削り	
26回	185	2溝	63	土師器	坏	—	—	〈5.0〉	赤褐色	密：赤色・白色粒子	良	内面・見込みに暗文・外側：ヘラ削り	
26回	186	2溝		土師器	坏	〈9.7〉	—	—	黄褐色	密：赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭・外側：ヘラ削り不明瞭	
26回	187	2溝	1001	土師器	坏	〈11.0〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文	
26回	188	2溝		土師器	坏	〈11.0〉	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文不明瞭	
26回	189	2溝	1170	土師器	坏	〈11.0〉	3.8	〈4.6〉	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・暗文	
26回	190	2溝	1015	土師器	坏	—	—	〈4.4〉	暗褐色	密：赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
26回	191	2溝	913	土師器	坏	—	—	〈5.8〉	明褐色	密：赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕	
26回	192	2溝	562	土師器	坏	—	—	〈6.5〉	明褐色	綴密：赤色粒子・砂粒ややむ	良	暗文・ヘラ削り・糸切り痕？	

26図	193	2溝	861	土師器	坏	—	—	<4.4>	明褐色	緻密：赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	
26図	194	2溝	1062	土師器	坏	<11.2>	<4.2>	<5.4>	赤褐色	密：赤色粒子・白色粒子	良	ヘラ削り・体部暗文の有無は 摩耗の為不明瞭	
26図	195	2溝	624	土師器	坏	—	—	6.1	内面：明 黄褐色, 外面：赤 褐色	密：赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ 削り・底部糸切り後ヘラ削り	
26図	196	2溝	387	土師器	坏	—	—	4.8	内面：赤 褐色, 外 面：明黄 褐色	密：赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ 削り不明瞭・底部糸切り痕	
26図	197	2溝	527	土師器	坏	—	—	<9.3>	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文、底部糸切り 痕・暗文	
26図	198	2溝	468	土師器	坏	—	—	<5.4>	赤褐色	赤色粒子・白色粒子	良	ヘラ削り・暗文・底部糸切り 痕	
26図	199	2溝		土師器	坏	—	—	<4.6>	暗褐色	赤色粒子・砂粒子	良	暗文・ヘラ削り	
26図	200	2溝		土師器	坏	—	—	7.2	暗褐色	赤色粒子	良	暗文・糸切り痕	
26図	201	2溝	338	土師器	坏	—	—	4.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
26図	202	2溝	968・969・1138・799?	土師器	高台 皿?	<24.0>	4.5	11.0	赤褐色	緻密：白色粒子・砂粒	良	見込み：暗文	
26図	203	2溝	675	土師器	皿	14.4	2.6	5.7	赤褐色	密：赤色粒子	良	暗文・底部糸切り痕	
26図	204	2溝	1152	土師器	皿	13.9	2.4	5.1	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ロクロヘラ削り	
27図	205	2溝	625	土師器	皿	14.2	2.7	4.4	明褐色	赤色粒子	良		
27図	206	2溝	935	土師器	皿	14.6	2.0	6.4	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：みがき、外面：ロクロヘ ラ削り・底部糸切り後ヘラ削 り	
27図	207	2溝	370・372	土師器	皿	13.3	3.0	5.8	赤褐色	赤色粒子	良	外面：ロクロヘラ削り・底部 糸切り痕、内面：ミガキ	
27図	208	2溝	454・551	土師器	皿	13.6	2.75	5.6	赤褐色	密：赤色・白色粒子	良	底部糸切り後ヘラ削り	
27図	209	2溝	529・497・498・711	土師器	高台坏	<16.9>	5.95	<7.2>	茶褐色	赤色・白色粒子	良	底部削り出し高台	
27図	210	2溝	251	土師器	皿	14.4	2.4	6.2	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ロクロヘラ削り	
27図	211	2溝		土師器	皿	12.4	2.5	4.3	赤褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
27図	212	2溝	769	土師器	皿	15.4	2.7	4.6	褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
27図	213	2溝	440・427・673	土師器	皿	13.6	2.85	4.7	赤褐色	密：赤色・白色粒子	良	ロクロヘラ削り	
27図	214	2溝	737	土師器	皿	13.2	2.05	5.2	赤褐色	密：赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ロクロヘラ 削り	
27図	215	2溝	495	土師器	皿	14.2	2.6	6.1	赤褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭	
27図	216	2溝	1018・1026・83	土師器	※蓋 たは皿	16.4	2.8	6.0	赤褐色	密：赤色・白色粒子・小石混じ り	良	内面：ヘラミガキ、ロクロ削り	
27図	217	2溝	381	土師器	皿	<13.2>	2.5	5.8	赤褐色	緻密：赤色・白色粒子・砂粒	良		
27図	218	2溝	13	土師器	皿	13.2	2.7	6.0	暗褐色	密：赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・底部ヘラ調整	
27図	219	2溝	774	土師器	皿	14.0	2.8	5.5	赤褐色	密：赤色粒子・砂粒多数	良	暗文・底部糸切り後ヘラ削り	
27図	220	2溝		土師器	皿	13.7	1.9	4.6	赤褐色	密：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
27図	221	2溝	792	土師器	皿		1.6	4.8	明褐色	密	良	底部糸切り痕	
27図	222	2溝		土師器	皿	<14.1>	2.3	<6.2>	赤褐色	密：赤色粒子	良		
27図	223	2溝	392	土師器	皿	<13.9>	2.3	4.9	赤褐色	密：赤色・白色粒子	良	外面：ロクロヘラ削り	
27図	224	2溝	486・485	土師器	皿	<14.4>	2.25	5.3	赤褐色	密：赤色・白色粒子	良	見込み：暗文不明瞭	
27図	225	2溝		土師器	皿	14.0	2.7	5.4	赤褐色	密：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
27図	226	2溝	339・908	土師器	皿	13.0	2.2	5.2	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ロクロヘラ削り	
27図	227	2溝	243・536	土師器	皿	<14.4>	1.8	<5.5>	明褐色	密：赤色粒子	良	底部糸切り痕	
27図	228	2溝	602	土師器	皿	<14.8>	<2.7>	<6.0>	暗褐色	密	良	暗文・ロクロヘラ削り	
27図	229	2溝	952・959	土師器	皿	14.0	2.5	6.4	明褐色	赤色粒子	良	底部糸切り後整形	
27図	230	2溝	570	土師器	皿	15.5	2.7	5.4	明褐色	赤色粒子	良		
27図	231	2溝	806	土師器	坏	<10.9>	2.3	5.6	明褐色	密：赤色粒子	良	ヘラ削り	
27図	232	2溝	231	土師器	皿	<10.6>	1.3	6.2	明褐色	密：赤色粒子	良	底部糸切り痕	
27図	233	2溝		土師器	皿	<13.2>	2.0	4.4	黄褐色	密：赤色・白色粒子・砂粒	良	見込み：暗文不明瞭、外面：ロ クロヘラ削り	
27図	234	2溝	907	土師器	皿	<12.7>	2.35	<4.6>	明褐色	密：赤色・白色粒子	良	外面：ロクロヘラ削り	
27図	235	2溝	793・795	土師器	皿	<13.5>	2.0	4.4	黄褐色	密：赤色・白色粒子・砂粒	良	外面：ロクロヘラ削り	見込み部：煤 の痕？
27図	236	2溝		土師器	皿	13.1	2.0	5.0	赤褐色	密：赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り	
27図	237	2溝		土師器	皿	12.8	2.5	4.8	赤褐色	密：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
27図	238	2溝	1198・1203	土師器	皿	13.0	2.2	—	赤褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
28図	239	2溝	984	土師器	皿	17.0	—	—	暗褐色	密：赤色粒子	良	暗文・ロクロヘラ削り	
28図	240	2溝		土師器	皿	13.6	2.6	5.4	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り	
—	241	2溝		土師器	皿	16.3	—	—	—	—	良		図版欠
28図	242	2溝	416	土師器	皿	<12.4>	<2.2>	—	赤褐色	密：赤色粒子・砂粒	良	暗文	
28図	243	2溝		土師器	皿	<13.0>	—	—	暗褐色	密：赤色・白色粒子	良		
28図	244	2溝	138	土師器	皿	—	—	5.0	暗褐色	密：赤色・白色粒子	良	暗文、底部：糸切り後回転ヘラ 削り	
28図	245	2溝	458・465	土師器	皿	—	—	6.0	黄褐色	赤色粒子	良	内面：ヘラミガキ・ロクロヘ ラ削り、底部糸切り痕	

28図	246	2溝	576	土師器	皿	—	—	5.5	赤褐色	密：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
28図	247	2溝	79・1007	土師器	皿	—	—	5.4	赤褐色	密：赤色粒子	良	暗文・ロクロヘラ削り	
28図	248	2溝	752	土師器	皿	〈13.4〉	〈3.0〉	〈6.0〉	赤褐色	緻密：砂粒	良		
28図	249	2溝	855	土師器	皿	〈13.6〉	〈3.1〉	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良		
28図	250	2溝	764	土師器	皿	〈13.8〉	2.2	〈6.1〉	赤褐色	赤色粒子・白色鉱物	良	内面：暗文不明瞭	
28図	251	2溝	156	土師器	皿	〈21.4〉	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良		
28図	252	2溝	767	土師器	皿	〈13.8〉	1.9	〈6.0〉	赤褐色	赤色粒子	良	暗文、底部糸切り痕	
28図	253	2溝	457	土師器	皿	〈13.8〉	2.6	〈6.0〉	明褐色	密：赤色粒子	良		
28図	254	2溝	658	土師器	皿	〈14.2〉	—	—	明褐色	密	良		
28図	255	2溝		土師器	皿	16.1	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ロクロヘラ削り	
28図	256	2溝		土師器	皿	13.8	—	—	赤褐色	密：赤色粒子	良		
28図	257	2溝		土師器	皿	13.4	—	—	黒褐色、内：赤褐色	密：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	外面：黒彩
28図	258	2溝	603	土師器	皿	〈12.9〉	—	—	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭・ナデ	
28図	259	2溝	872	土師器	皿	〈14.2〉	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭・ナデ	
28図	260	2溝	730	土師器	皿	〈14.5〉	—	—	黄褐色	密：赤色・白色粒子・砂粒	良		
28図	261	2溝		土師器	皿	〈13.8〉	—	—	赤褐色	赤色粒子	良		
28図	262	2溝		土師器	皿	〈12.4〉	—	—	茶褐色	赤色粒子・石英・白色粒子	良	暗文不明瞭	
28図	263	2溝		土師器	皿	〈11.7〉	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良		
28図	264	2溝		土師器	皿	16.5	—	—	茶褐色	密：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
28図	265	2溝		土師器	皿	13.2	—	—	赤褐色	密：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
28図	266	2溝		土師器	皿	14.0	—	3.1	赤褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
28図	267	2溝	998	土師器	皿	〈16.3〉	—	—	茶褐色	密：赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭	
28図	268	2溝		土師器	皿	〈13.7〉	2.75	〈5.4〉	茶褐色	密：赤色・白色粒子・砂粒	良	外面：ロクロヘラ削り	
28図	269	2溝	902	土師器	皿	〈14.0〉	—	—	赤褐色	密：赤色・白色粒子	良		
28図	270	2溝	1158・1160	土師器	皿	〈15.1〉	—	—	明褐色	赤色・白色粒子	良	暗文、底部糸切り痕	
28図	271	2溝	519	土師器	皿	〈15.8〉	—	—	明褐色	密：赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
28図	272	2溝	779	土師器	皿	〈11.2〉	2.4	〈5.0〉	明褐色	密：赤色粒子	良		
28図	273	2溝		土師器	皿	〈13.2〉	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り	
28図	274	2溝	794	土師器	皿	〈13.8〉	2.5	〈7.0〉	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：ヘラミガキ？	
28図	275	2溝		土師器	皿	〈13.7〉	1.5	〈6.2〉	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文	
28図	276	2溝		土師器	皿	14.3	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
28図	277	2溝		土師器	皿	14.4	2.0	4.8	赤褐色	赤色粒子	良		
28図	278	2溝		土師器	皿	13.2	—	—	赤褐色	赤色粒子	良		
28図	279	2溝	956	土師器	皿	〈13.8〉	—	—	暗褐色	赤色粒子・小石	良		
28図	280	2溝	1205	土師器	皿	〈15.6〉	—	—	赤褐色	砂粒	良		
28図	281	2溝		土師器	皿	〈14.4〉	—	—	赤褐色	赤色粒子・白色粒子	良		
28図	282	2溝		土師器	皿	〈12.9〉	〈残2〉	—	赤褐色	赤色粒子	良		
28図	283	2溝		土師器	皿	〈14.1〉	〈残1.5〉	—	赤褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
28図	284	2溝		土師器	皿	〈13.4〉	〈残2〉	—	赤褐色	赤色粒子	良		
28図	285	2溝		土師器	皿	〈14.6〉	—	—	明褐色	密：赤色粒子	良		
28図	286	2溝		土師器	皿	〈15.8〉	—	—	黄褐色	密	良		
29図	287	2溝		土師器	皿	13.0	—	—	赤褐色	赤色粒子	良		
29図	288	2溝		土師器	皿	〈14.0〉	〈2.0〉	〈5.0〉	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良		
—	289	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
29図	290	2溝	868	土師器	皿	—	—	〈6.0〉	明褐色	赤色粒子を多数	良		
29図	291	2溝		土師器	皿	—	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	暗文	
29図	292	2溝		土師器	皿	—	—	2.8	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り	
—	293	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	図版欠
29図	294	2溝		土師器	皿	—	—	〈6.2〉	明褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
29図	295	2溝		土師器	皿	—	—	〈5.0〉	暗褐色	密	良	ロクロヘラ削り	
29図	296	2溝		土師器	坏	—	—	〈5.6〉	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外見：ヘラ削り不分明瞭	
29図	297	2溝		土師器	皿	—	—	〈5.0〉	赤褐色	赤色・白色粒子	良	見込み：暗文があるが不明瞭、外見：ロクロヘラ削り	
29図	298	2溝	566・560	土師器	蓋	〈17.2〉	4.6	—	赤褐色	密：白色粒子	良	内面：ロクロナデ、外見：ロクロヘラ削り	29図301と同一個体
29図	299	2溝	257	土師器	蓋	13.5	3.4	—	赤褐色	赤色粒子	良		
29図	300	2溝	795(798?)	土師器	蓋	〈17.8〉	—	—	暗褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：ナデ、外見：ロクロヘラ削り	
29図	301	2溝	297・1139・568	土師器	蓋	〈16.6〉	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良		29図298と同一個体
29図	302	2溝		土師器	蓋	〈17.0〉	—	—	明褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外見：ロクロヘラ削り	
29図	303	2溝		土師器	蓋	〈15.8〉	4.5	—	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：みがき	
29図	304	2溝	449	土師器	蓋	16.0	—	—	暗褐色	砂粒	良		
29図	305	2溝	108	土師器	鉢	20.8	—	—	暗褐色	緻密：赤色粒子	良		
29図	306	2溝	499	土師器	蓋	19.5	残2.2	—	赤褐色	赤色粒子	良		
29図	307	2溝	978・979	土師器	蓋	23.6	残3.0	—	赤褐色	赤色粒子	良		
29図	308	2溝	996	土師器	蓋	—	残5.1	—	赤褐色	赤色粒子	良		

29回	309	2溝	239	土師器	蓋	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
29回	310	2溝	1060	土師器	高坏	〈20.6〉	—	—	赤褐色・明褐色	赤色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り
29回	311	2溝	904	土師器	蓋	16.2	〈3.9〉	—	明褐色	赤色粒子	良	
29回	312	2溝	851	土師器	蓋	15.0	残2.5	—	明褐色	赤色粒子	良	
29回	313	2溝	1113	土師器	蓋？	〈17.4〉	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	外面：ロクロヘラ削り
29回	314	2溝	1054	土師器	蓋？	〈22.8〉	—	—	黄褐色	赤色粒子やや含	良	
29回	315	2溝	496	土師器	蓋	—	—	—	赤褐色	赤色・白色粒子	良	
29回	316	2溝	38	土師器	蓋	—	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	
29回	317	2溝	662	土師器	蓋	〈19.6〉	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り
29回	318	2溝	1168	土師器	蓋	〈17.0〉	—	—	暗褐色	密	良	
29回	319	2溝		土師器	蓋	16.4	〈2.0〉	—	赤褐色	赤色粒子	良	
29回	320	2溝	994	土師器	蓋	17.8	〈1.9〉	—	明褐色	赤色粒子	良	
29回	321	2溝	637	土師器	蓋	18.0	残1.6	—	黄褐色	赤色粒子	良	
29回	322	2溝	1134	土師器	蓋？	29.6	残2.0	—	明褐色	赤色粒子	良	
29回	323	2溝	412	土師器	蓋	〈13.6〉	—	—	赤褐色	赤色・白色粒子	良	
29回	324	2溝	1024	土師器	蓋	〈18.6〉	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	外面：ナデ、内面：ロクロヘラ削り、ミガキ
29回	325	2溝	701	土師器	蓋	〈15.4〉	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒多数含	良	
29回	326	2溝	632	土師器	蓋	〈14.0〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良	
29回	327	2溝	178	土師器	蓋	〈19.6〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り、ミガキ
29回	328	2溝	210	土師器	蓋	17.4	—	—	明褐色	綴密：赤色・白色粒子	良	
29回	329	2溝	635	土師器	蓋	〈17.0〉	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	
29回	330	2溝	938	土師器	蓋	—	—	—	暗褐色	白色粒子	良	
29回	331	2溝	141	土師器	蓋	—	—	—	黄褐色、内面：暗褐色	赤色・白色粒子	良	
29回	332	2溝	854	土師器	蓋	〈17.8〉	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	
29回	333	2溝	462	土師器	蓋	〈19.7〉	—	—	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭
30回	334	2溝	400	土師器	蓋	〈27.8〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良	
30回	335	2溝		土師器	蓋		残2.1	—	灰褐色	赤色粒子	良	
30回	336	2溝		土師器	蓋	15.3	残2.3	—	明褐色	赤色粒子	良	
30回	337	2溝	721	土師器	蓋	13.8	1.9	—	明褐色	赤色粒子	良	
30回	338	2溝	827	土師器	蓋	〈16.0〉	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	
30回	339	2溝	116	土師器	蓋	〈19.6〉	—	—	明褐色	密	良	
30回	340	2溝		土師器	蓋	〈16.4〉	—	—	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	
30回	341	2溝	1142	土師器	蓋		—	—	黄褐色	赤色・白色粒子	良	
30回	342	2溝		土師器	鉢	18.0	—	—	内面：赤褐色、外 面：黒褐色	赤色・白色粒子	良	
30回	343	2溝		土師器	蓋	〈15.3〉	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	
—	344	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	図版欠
—	345	2溝		土師器	蓋	〈19.8〉	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	図版欠
30回	346	2溝	999	土師器	蓋	〈15.0〉	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	
—	347	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	図版欠
30回	348	2溝			蓋	17.7	残2.4	—	明褐色	赤色粒子	良	
30回	349	2溝		土師器	鉢	15.4	—	—	暗褐色	赤色粒子やや含	良	
30回	350	2溝	643・645	土師器	鉢		—	—	明褐色、底部黒色	やや粗、白色粒子多数・砂粒	良	外面：ヘラミガキ、底部ヘラ削り、内面：暗文
30回	351	2溝	1146	土師器	鉢	〈26.6〉	—	—	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	
30回	352	2溝		土師器	鉢	〈17.8〉	—	—	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	
30回	353	2溝		土師器	鉢	13.6	〈3.9〉	—	黄褐色		良	
30回	354	2溝	270	土師器	鉢	14.0	〈4.1〉	—	赤褐色	赤色粒子	良	
30回	355	2溝	560	土師器	壺	〈20.0〉	—	—	白褐色	赤色粒子	良	
30回	356	2溝		土師器	壺	〈18.0〉	—	—	白褐色	赤色粒子	良	
30回	357	2溝		土師器			残2.5	—	赤褐色	赤色粒子	良	
30回	358	2溝		土師器	鉢	23.9	残1.6	—	明褐色	赤色粒子	良	
30回	359	2溝		土師器	鉢	17.2	残2.4	—	暗褐色	赤色粒子	良	
30回	360	2溝		土師器	鉢	16.6	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	
30回	361	2溝	887・1130	土師器	壺		5.1	5.8	外：白褐色、内：黒褐色	赤色粒子・砂粒	良	削り出し高台？ 内黒
30回	362	2溝	1137	土師器	壺	8.2	2.3	4.8	赤褐色	赤色粒子	良	ナデ
30回	363	2溝	849	土師器	壺	〈19.4〉	—	—	内面：黒色、外面： 赤褐色	赤色粒子	良	内黒
30回	364	2溝	891・962	土師器	鉢or壺	〈20.2〉	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子	良	外面：ヘラ削り
30回	365	2溝	137・346	土師器	壺	13.6	〈6.5〉	—	赤褐色	赤色粒子	良	
30回	366	2溝	951	土師器	壺	14.0	5.0	7.4	明褐色	赤色粒子	良	
30回	367	2溝	621	土師器	壺	〈9.7〉	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り不明瞭

30回	368	2溝	955	土師器	坏	<11.0>	4.0	5.6	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り不明瞭	
30回	369	2溝	981・986	土師器	坏	<16.5>	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子	良		
30回	370	2溝		土師器	坏	10.7	4.1	4.9	明褐色	赤色粒子	良		
30回	371	2溝	1066	土師器	坏	11.2	4.0	5.2	明褐色	赤色粒子	良		
31回	372	2溝		土師器	坏	12.3	残4.7	—	赤褐色	赤色粒子	良		
31回	373	2溝	694	土師器	坏	<14.6>	—	—	赤褐色	赤色粒子	良		
31回	374	2溝	693	土師器	坏	<13.2>	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
31回	375	2溝	763	土師器	坏	15.2	< 5.6>	—	明褐色	赤色粒子	良		
31回	376	2溝	1017・1076	土師器	坏	11.4	< 3.3>	—	明褐色	赤色粒子	良		
31回	377	2溝	599	土師器	坏	<11.8>	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭、ヘラ削り	
31回	378	2溝	505	土師器	坏	<10.4>	3.6	<4.3>	赤褐色	赤色粒子・石英・砂粒	良	ヘラ削り・暗文：やや不明瞭	
31回	379	2溝	73	土師器	坏	<10.4>	3.4	<5.3>	黄褐色	赤色粒子	良		
31回	380	2溝	592	土師器	坏	11.6	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文	
31回	381	2溝	575	土師器	坏	10.6	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	ナデ	
31回	382	2溝	594	土師器	坏	11.0	—	—	赤褐色	密：赤色粒子	良	ヘラ削り有	
31回	383	2溝		土師器	坏	13.1	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	
31回	384	2溝	585	土師器	坏	11.4	3.8	5.4	赤褐色	赤色粒子	良	底部ヘラ削り	
31回	385	2溝	171	土師器	坏	11.2	<3.7>	—	赤褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り	
31回	386	2溝	820	土師器	坏	<11.6>	4.2	<5.6>	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
31回	387	2溝	801	土師器	坏	<12.0>	4.0	<5.5>	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
31回	388	2溝	731	土師器	坏	<11.9>	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	
31回	389	2溝		土師器	坏	<12.4>	4.35	<7.1>	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文	
31回	390	2溝	212	土師器	坏	<11.4>	—	—	黄褐色	密	良		
31回	391	2溝	594	土師器	坏	<11.4>	—	—	明褐色	密	良	暗文	
31回	392	2溝	422	土師器	坏	<9.6>	4.7	<6.4>	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
31回	393	2溝	1085	土師器	坏	<11.0>	—	—	黑褐色	赤色・白色粒子	良	内面：わずかに暗文、外面：ヘラ削り	
31回	394	2溝	1086	土師器	坏	<11.2>	3.7	<4.6>	黄褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：わずかに暗文、外面：ヘラ削り	
31回	395	2溝	261	土師器	坏	<16.2>	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	ミガキ	内黒
31回	396	2溝		土師器	坏	14.0	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	
31回	397	2溝	733	土師器	坏	16.0	—	—	褐色	赤色粒子	良	暗文・クロヘラ削り	
31回	398	2溝	656	土師器	坏	14.3	—	—	黄褐色及 び赤褐色	赤色粒子	良	指痕痕	
31回	399	2溝	821	土師器	坏	14.0	<5.0>	—	赤褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り	
31回	400	2溝	451	土師器	坏	11.7	<4.0>	—	黄褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り	
31回	401	2溝	816	土師器	坏	<2.8>	—	—	明褐色	赤色粒子	良	内面：暗文、外面ヘラ削り、内 外面ナデ	
31回	402	2溝	946	土師器	坏	<10.4>	—	—	明褐色	砂粒	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り、 内外面：ナデ	
31回	403	2溝	652	土師器	坏	11.2	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
31回	404	2溝	798	土師器	坏	<13.7>	—	—	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ 削り・ナデ	
31回	405	2溝	1043	土師器	坏	<12.1>	—	—	茶褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ 削り・ナデ有？	
31回	406	2溝	118	土師器	坏	<9.8>	4.0	<4.7>	明褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り	
31回	407	2溝		土師器	坏	<13.2>	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ 削り	
31回	408	2溝	309	土師器	坏	<13.0>	—	—	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
31回	409	2溝	829	土師器	坏	<11.2>	—	—	赤褐色	赤色粒子、白色粒子ややむ	良		
31回	410	2溝	1157	土師器	坏？	<20.8>	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外面：クロヘラ削り	
31回	411	2溝	1070	土師器	坏	11.2	—	—	明褐色	密	良	暗文・ヘラ削り	
31回	412	2溝	742	土師器	坏	<12.6>	<3.7>	—	明褐色	密	良	暗文・ヘラ削り	
31回	413	2溝	285	土師器	坏	<12.4>	—	—	赤褐色	赤色粒子・白色粒子やや含	良	外面：ナデ、内面：暗文	
31回	414	2溝	175	土師器	坏	<10.4>	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ 削り	
31回	415	2溝	1160	土師器	坏	11.0	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
31回	416	2溝	1019	土師器	坏	<11.0>	—	—	赤褐色	やや粗：赤色粒子・長石	良		
31回	417	2溝	726	土師器	坏	<10.6>	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	暗文？・ヘラ削り	
31回	418	2溝	445	土師器	坏	12.8	<3.1>	—	明褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り	
31回	419	2溝		土師器	坏	<10.8>	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
31回	419	2溝	36	土師器	坏	<12.7>	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り・暗文不明瞭	
31回	420	2溝	580	土師器	坏	<11.8>	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
31回	421	2溝		土師器	坏	<11.9>	3.7	<5.7>	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
31回	422	2溝	1070	土師器	坏	<11.2>	—	—	明褐色	密	良	暗文・ヘラ削り	
31回	423	2溝	816	土師器	坏	<11.2>	—	—	明褐色	密	良	暗文・ヘラ削り	
31回	424	2溝	879	土師器	坏	<12.0>	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
31回	425	2溝	958	土師器	坏	<9.8>	—	—	黄褐色	密：赤色粒子	良	外：ヘラ削り 内：暗文不明 瞭	
31回	426	2溝	618	土師器	坏	<10.8>	<4.0>	<4.4>	明褐色	密：赤色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り 内面：暗文 不明瞭	

31図	427	2溝	1000	土師器	坏	〈11.2〉	—	—	明褐色	密：赤色粒子	良	暗文不明瞭	
31図	428	2溝	1025	土師器	坏	〈12.4〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
31図	429	2溝	1056	土師器	坏	〈11.0〉	—	—	赤褐色	砂粒	良	ヘラ削り	
31図	430	2溝		土師器	坏	〈11.4〉	—	—	赤褐色	緻密：赤色粒子・砂粒	良	暗文不明瞭	
31図	431	2溝	1150	土師器	鉢？	〈19.2〉	—	—	黄褐色	赤色粒子・砂粒多数	良		
31図	432	2溝	49	土師器	坏	〈11.4〉	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り後ハケ状工具による調整	
31図	433	2溝	317	土師器	坏	〈13.8〉	—	—	褐色	赤色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り、内面：暗文不明瞭	
31図	434	2溝	264	土師器	坏	12.4	〈3.1〉	—	赤褐色	赤色粒子	良		
31図	435	2溝	708	土師器	坏	11.4	4.0	5.4	明褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り	
31図	436	2溝	874	土師器	坏	10.5	残2.7	—	明褐色	赤色粒子	良		
32図	437	2溝	668	土師器	坏	10.7	残4.3	—	赤褐色	赤色粒子	良		
32図	438	2溝		土師器	坏	17.0	残4.1	—	黄褐色	赤色粒子	良		
32図	439	2溝	1175	土師器	坏	—	—	—	明褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り	
32図	440	2溝	1123	土師器	坏	〈12.0〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭・ヘラ削り	
32図	441	2溝	805	土師器	坏	〈11.8〉	—	—	明褐色・内黒？	赤色粒子	良	暗文	内黒？
32図	442	2溝	1071	土師器	坏	〈10.8〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
32図	443	2溝	664	土師器	坏	〈10.5〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
32図	444	2溝	143	土師器	坏	〈11.8〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り、暗文不明瞭	
32図	445	2溝		土師器	坏	〈10.9〉	3.95	5.6	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
32図	446	2溝		土師器	坏	〈12.8〉	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
32図	447	2溝		土師器	坏	〈11.2〉	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭	
32図	448	2溝		土師器	坏	〈11.0〉	—	—	褐色	赤色粒子・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭	
32図	449	2溝		土師器	坏	〈11.0〉	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文不明瞭・外面：ヘラ削り	
32図	450	2溝		土師器	坏	〈12.2〉	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭	
32図	451	2溝		土師器	坏	11.4	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
32図	452	2溝		土師器	坏	13.4	—	—	赤褐色	赤色粒子	良		
32図	453	2溝		土師器	坏	11.5	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	
—	454		実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
32図	455	2溝		土師器	坏	14.2	〈3.2〉		明褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り	
32図	456	2溝		土師器	坏	11.4	〈3.7〉		黄褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り	
—	457	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
—	458	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
32図	459	2溝		土師器	坏	13.0	〈4.0〉		明褐色	赤色粒子	良		
32図	460	2溝		土師器	坏	〈14.0〉	3.3	〈8.3〉	暗褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭・ヘラ削り	
32図	461	2溝		土師器	坏	〈11.8〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
32図	462	2溝		土師器	坏	〈13.2〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭	
32図	463	2溝		土師器	坏	〈11.2〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
32図	464	2溝		土師器	坏	〈11.4〉	—	—	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り	
32図	465	2溝		土師器	坏	〈15.5〉	—	—	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良		
32図	466	2溝		土師器	坏	〈13.5〉	—	—	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り	
32図	467	2溝		土師器	坏	〈11.2〉	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭、外面：ヘラ削り	
32図	468	2溝		土師器	坏	〈10.8〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り、内面暗文不明瞭	
32図	469	2溝		土師器	坏	〈10.8〉	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：暗文を施す時の刻み痕	
32図	470	2溝		土師器	坏	〈9.8〉	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り	
32図	471	2溝		土師器	坏	〈10.0〉	—	—	赤褐色	緻密：赤色粒子	良	内面：暗文、外面：ロクロナデ	
32図	472	2溝		土師器	坏	11.7	残3.3	—	明褐色	赤色粒子	良		
32図	473	2溝	328・515	土師器	坏	—	残3.0	4.3	赤褐色	赤色粒子	良		
32図	474	2溝	1065	土師器	坏(鬼高)	—	—	—	暗褐色	白色粒子	良		古墳時代後期
32図	475	2溝		土師器	坏	10.4	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文	
32図	476	2溝		土師器	坏	—	—	5.4	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文	
32図	477	2溝		土師器	坏	11.4	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文	
32図	478	2溝		土師器	坏	13.4	〈4.2〉	—	赤褐色	赤色粒子	良		
32図	479	2溝		土師器	坏	12.4	〈3.4〉	—	黄褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り	
32図	480	2溝		土師器	坏	〈10.4〉	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：ヘラナデ、暗文不明瞭	
—	481	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
32図	482	2溝		土師器	坏	〈11.4〉	—	—	外面：暗褐色、内面：黒色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	内黒
32図	483	2溝		土師器	坏	〈4.4〉	—	—	内面：赤褐色、外側：黄褐色	赤色粒子・砂粒・小石やや含	良	暗文・ヘラ削り	
—	484	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠

32回	485	2溝		土師器	坏	〈10.2〉	4.25	5.2	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り	
32回	486	2溝		土師器	坏	〈9.7〉	3.6	4.1	茶褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り・底部糸切り後ヘラ削り	
32回	487	2溝	550	土師器	坏	〈10.9〉	4.9	〈6.6〉	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り	
32回	488	2溝	669	土師器	坏	〈13.3〉			黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り	
32回	489	2溝	1165	土師器	坏	〈11.0〉			赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
—	490	2溝	実測不能	—	—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
32回	491	2溝	225	土師器	坏？	—	—	5.5	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良		
32回	492	2溝	1166	土師器	坏	—	〈1.8〉	6.6	灰褐色	赤色粒子	良	底部：ヘラ削り調整、見込み部：回転調整	
32回	493	2溝	605	土師器	坏	—	〈1.5〉	7.4	灰褐色	赤色粒子	良	底部：糸切り後ヘラ削り	
32回	494	2溝	765	土師器	坏	—	—	〈5.0〉	黄褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	底部糸切り痕	
32回	495	2溝	389・391	土師器	坏	—	—	6.3	暗褐色	赤色粒子・砂粒多数	良	底部糸切り痕	
32回	496	2溝	291	土師器	坏	—	—	6.4	明褐色	白色粒子・小石やや含	良	底部糸切り痕	
32回	497	2溝	471	土師器	坏	—	—	5.0	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り・底部糸切り痕	
32回	498	2溝	698	土師器	坏	—	—	5.0	黄褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り後ヘラ削り	
32回	499	2溝	586	土師器	坏	〈12.8〉	—		赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	
32回	500	2溝	650	土師器	坏	—	—	7.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・底部ヘラ調整	
32回	501	2溝	967	土師器	坏	—	—	6.6	暗褐色	赤色粒子	良	暗文・底部ヘラ調整	
32回	502	2溝	283	土師器	坏	—	—	6.8	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・底部ヘラ調整	
32回	503	2溝	541・305	土師器	坏	—	—	〈4.6〉	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り・底部糸切り後ヘラ調整	
32回	504	2溝	54	土師器	坏	—	—	5.25	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り・底部糸切り後ヘラ調整	
33回	505	2溝	1063	土師器	坏	—	—	8.2	内面：黒色、外面：茶褐色	赤色・白色粒子	良	見込み部：暗文	内黒
33回	506	2溝	682	土師器	坏	—	—	6.0	内面：暗褐色、外面：褐色	赤色粒子やや含	良	暗文・ヘラ削り・見込み部：暗文不明瞭、底部：糸切り痕	
33回	507	2溝	823	土師器	坏	—	—	6.0	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部・見込みに暗文	
33回	508	2溝	1035	土師器	坏	—	〈1.7〉	5.1	赤褐色	赤色粒子	良	底部：糸切り後ヘラ削り調整	
33回	509	2溝	808	土師器	坏	—	〈3.7〉	8.0	黄褐色	赤色粒子	良	底部：糸切り後ヘラ調整	
33回	510	2溝	797	土師器	坏	—	—	5.45	明褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り・底部ヘラ削り調整	
33回	511	2溝	814	土師器	坏	—	—	5.75	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒・石英	良	内面：暗文不明瞭、外面：ロクロヘラ削り・底部ヘラ調整	
33回	512	2溝	925	土師器	坏	—	—	〈5.2〉	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り・底部糸切り後ヘラ削り調整	
33回	513	2溝	606	土師器	坏	—	—	6.6	明褐色	密	良	暗文・底部糸切り痕	
33回	514	2溝	326・327	土師器	坏	—	—	〈7.0〉	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
33回	515	2溝		土師器	坏	—	—	9.6	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
33回	516	2溝		土師器	坏	—	—	6.4	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
33回	517	2溝	1093	土師器	坏	—	—	5.6	赤褐色	赤色粒子	良	内面全面剥離・糸切り痕	
33回	518	2溝	1024	土師器	坏	—	—	6.0	褐色	密	良	暗文・外面・底部：ヘラ削り	
33回	519	2溝	811	土師器	坏	—	—	6.6	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	
33回	520	2溝	402	土師器	坏	—	—	5.3	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：調整、底部：糸切り後ヘラ調整	
33回	521	2溝	804	土師器	坏	—	—	5.8	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り不明瞭、底部：糸切り後周りをヘラ調整	
33回	522	2溝	634・655	土師器	坏	—	—	5.0	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り・底部糸切り後ヘラ調整	
—	523	2溝	772	土師器	坏	—	—	5.8	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り	図版欠
33回	524	2溝	631	土師器	坏	—	—	6.0	明褐色	密	良	暗文・底部糸切り痕	
33回	525	2溝	128	土師器	坏	—	—	〈7.0〉	明褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭・ヘラ削り	
33回	526	2溝	518	土師器	坏	—	—	4.7	暗褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕	
—	527	2溝	81	土師器	坏	—	—	4.4	明褐色	赤色・白色粒子	良	暗文不明瞭	図版欠
33回	528	2溝	1121	土師器	坏	—	—	〈4.7〉	黄褐色	赤色粒子	良	暗文	内黒
33回	529	2溝	848	土師器	坏	—	—	6.3	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部糸切り痕、暗文不明瞭	
33回	530	2溝	1136	土師器	坏	—	—	5.5	外面：黄褐色、内面：赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・暗文不明瞭、底部糸切り痕	

33図	531	2溝	857	土師器	坏	—	—	〈5.2〉	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り、底部糸切り痕		
33図	532	2溝	1055	土師器	坏	12.0	3.8	6.4	赤褐色	赤色粒子	良	底部：糸切り痕、周辺部：ヘラ調整		
33図	533	2溝	771	土師器	坏	—	—	〈2.0〉	4.4	赤褐色	赤色粒子	良	底部糸切り後ヘラ調整、見込み部：回転調整	
33図	534	2溝	796	土師器	坏	—	—	5.0	明褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭・底部糸切り痕		
33図	535	2溝	957	土師器	坏	—	—	6.0	明褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭・底部糸切り痕		
—	536	2溝	712	土師器	坏	—	—	5.4	黄褐色	赤色粒子	良	暗文	図版欠	
33図	537	2溝	555	土師器	坏	—	—	6.0	暗褐色	密	良	暗文不明瞭・ヘラ削り・底部糸切り痕		
33図	538	2溝	1060	土師器	坏	—	残1.5	6.4	明褐色	赤色粒子	良	底部糸切り痕		
33図	539	2溝	407	土師器	坏	—	残2.8	4.7	明褐色	赤色粒子	良	見込み部：剥離		
33図	540	2溝	722	土師器	坏	—	残1.6	4.4	黄褐色	赤色粒子	良	底部糸切り痕		
33図	541	2溝	765	土師器	坏	—	〈1.5〉	5.6	明褐色	赤色粒子	良	底部：糸切り痕、周辺部：ヘラ調整		
33図	542	2溝	357	土師器	坏	11.2	4.3	4.8	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り		
33図	543	2溝	658	土師器	坏	—	〈2.4〉	6.8	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部糸切り痕		
33図	544	2溝	866	土師器	坏	—	—	4.8	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り		
33図	545	2溝	474	土師器	坏	—	—	6.0	明褐色	赤色粒子	良	暗文		
33図	546	2溝	117	土師器	坏	—	—	7.4	明褐色	赤色・白色粒子	良	底部糸切り痕		
33図	547	2溝	607	土師器	坏	—	—	5.4	暗褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り・暗文		
33図	548	2溝	961	土師器	坏	—	—	5.2	明褐色	赤色粒子	良	暗文がかなりあったと思われるが不明瞭		
33図	549	2溝		土師器	坏	—	—	〈5.6〉	赤褐色	赤色・白色粒子	良	底部：ヘラ削り調整したと思われる		
—	550	2溝	362	土師器	坏	—	—	5.1	明褐色	やや粗：赤色粒子	良		図版欠	
33図	551	2溝	601	土師器	坏	—	—	〈4.8〉	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文		
34図	552	2溝	1116	土師器	坏	—	—	〈6.0〉	赤褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕		
34図	553	2溝	883	土師器	坏	—	—	5.2	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕		
34図	554	2溝	447	土師器	坏	—	—	5.4	赤褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り・体部・見込み部：暗文		
34図	555	2溝	1021	土師器	坏	—	—	5.4	褐色	赤色粒子・砂粒	良	底部糸切り痕、外面：ヘラ削りは不明瞭		
34図	556	2溝		土師器	坏	—	—	5.8	褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文		
34図	557	2溝		土師器	坏	—	—	7.2	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部ヘラ調整		
34図	558	2溝		土師器	坏	—	—	3.7	黄褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部ヘラ調整		
34図	559	2溝	832	土師器	坏	—	—	6.0	明褐色	赤色・白色粒子	良	底部糸切り痕		
34図	560	2溝	352	土師器	坏	—	—	5.8	赤褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・底部糸切り痕		
34図	561	2溝	347	土師器	坏	—	—	6.2	赤褐色	赤色・白色粒子	良	暗文		
34図	562	2溝	870	土師器	坏	—	—	〈5.2〉	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外見：ヘラ削り、底部：糸切り後ヘラ調整		
—	563	2溝	95	土師器	坏	—	—	〈5.2〉	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外見：ヘラ削り	図版欠	
—	564	2溝	398	土師器	坏	—	—	〈5.3〉	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外見：ヘラ削り	図版欠	
—	565	2溝	1197	土師器	坏	—	—	〈5.7〉	茶褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外見：ヘラ削り	図版欠	
34図	566	2溝	144	土師器	坏	—	—	〈6.4〉	赤褐色	赤色粒子・白色粒子やや含	良	体部・見込み部に暗文、ヘラ削り		
34図	567	2溝	950	土師器	坏	—	—	5.4	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外見：ヘラ削り		
34図	568	2溝	1062	土師器	坏	—	—	〈6.0〉	内部：明褐色、外部：赤褐色	赤色粒子やや含	良	暗文・底部糸切り痕		
34図	569	2溝	146	土師器	坏	—	—	〈6.0〉	赤褐色	赤色粒子	良	底部に調整有：櫛歯状？		
—	570	2溝	554	土師器	坏	—	—	5.0	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文不明瞭	図版欠	
34図	571	2溝	594	土師器	坏	—	—	4.9	暗褐色	赤色粒子	良	底部糸切り後ヘラ調整		
34図	572	2溝	608	土師器	坏	—	—	〈6.8〉	黄褐色	赤色粒子・砂粒子	良	底部糸切り		
34図	573	2溝	269	土師器	坏	—	—	〈6.8〉	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り		
34図	574	2溝		土師器	坏	11.8	3.7	5.9	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
34図	575	2溝	777	土師器	坏	—	—	5.2	赤褐色	赤色粒子	良	糸切り痕・ヘラ調整		
34図	576	2溝	558	土師器	坏	—	—	6.6	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
34図	577	2溝	126	土師器	坏	—	—	5.6	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・糸切り痕・ヘラ調整		
—	578	2溝	80	土師器	坏	—	—	4.4	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外見：ヘラ削り	図版欠	
—	579	2溝	710	土師器	高台坏	—	—	—	茶褐色	赤色・白色粒子	良		図版欠	
34図	580	2溝	593	土師器	坏	—	—	〈5.0〉	内部：赤褐色、外面：黒色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外見：ヘラ削り、底部：糸切り後ヘラ調整		

34図	581	2溝	910	土師器	坏	—	—	<5.0>	黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り、底部：糸切り後周りをヘラ調整		
34図	582	2溝	473	土師器	坏	—	—	5.0	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り後ヘラ削り		
34図	583	2溝	940	土師器	坏	—	—	5.8	黄褐色	緻密：赤色粒子、砂粒やや含	良	底部：糸切り後ヘラ削り、外面：ヘラ削り、内面：暗文		
34図	584	2溝	983	土師器	坏	—	—	6.2	明褐色	赤色粒子	良	暗文・底部糸切り痕		
34図	585	2溝	877	土師器	坏	—	—	<5.4>	明褐色	赤色・白色粒子	良	暗文不明瞭・底部：ヘラ調整		
34図	586	2溝	875	土師器	坏	<12.4>	3.5	<6.6>	明褐色	赤色粒子・白色粒子やや含	良	暗文不明瞭・ヘラ削り		
34図	587	2溝	1020	土師器	坏	—	—	<6.0>	赤褐色	赤色・砂粒	良	暗文不明瞭・ヘラ削り・底部ヘラ調整		
34図	588	2溝	604	土師器	坏	—	—	残1.5	6.6	暗褐色	赤色粒子	良	底部糸切り後ヘラ調整	
34図	589	2溝	960	土師器	坏	—	—	残1.3	5.2	明褐色	赤色粒子	良	底部糸切り後ヘラ調整	
34図	590	2溝	525	土師器	坏	—	—	残2.8	6.2	明褐色	赤色粒子	良	底部糸切り	
—	591	2溝	526	土師器	坏	—	—	4.7	褐色	赤色粒子	良	底部：ヘラ調整、外面：ヘラ削り	図版欠	
34図	592	2溝		土師器	坏	—	—	<6.0>	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	底部：糸切り痕		
34図	593	2溝	596	土師器	坏	—	—	4.8	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り、底部糸切り後ヘラ削り		
34図	594	2溝	179	土師器	坏	—	—	<6.6>	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・糸切り痕		
—	595	2溝	298	土師器	坏	—	—	4.6	黄褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部：ヘラ調整	図版欠	
34図	596	2溝	850	土師器	坏	—	—	6.8	明褐色	赤色粒子やや含	良	暗文・ヘラ削り・底部：糸切り後ヘラ調整		
34図	597	2溝	748	土師器	坏	—	—	5.4	赤褐色	赤色粒子・砂粒多数	良	暗文・ヘラ削り・底部：糸切り後ヘラ削り		
34図	598	2溝	595	土師器	坏	—	—	5.3	赤褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り・暗文・底部糸切り痕		
—	599	2溝	737	土師器	坏	—	—	<4.6>	暗褐色	赤色粒子	良	暗文	図版欠	
34図	600	2溝	1101	土師器	坏	—	—	<6.0>	赤褐色	赤色粒子	良	底部糸切り後ヘラ調整		
—	601	2溝	65	土師器	坏	—	—	4.8	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・暗文	図版欠	
34図	602	2溝	350	土師器	坏	—	—	5.6	明褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・底部糸切り痕		
34図	603	2溝	1097	土師器	坏	—	—	6.3	明褐色	赤色粒子	良	底部糸切り痕		
34図	604	2溝	343	土師器	坏	—	—	<4.8>	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り、底部：糸切り後ヘラ調整		
34図	605	2溝	132	土師器	坏	—	—	5.3	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒・石英？	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ調整？：底部：糸切り後ヘラ調整		
—	606	2溝	238	土師器	坏	—	—	<6.1>	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り	図版欠	
34図	607	2溝	843	土師器	坏	—	—	<8.6>	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	見込み：暗文、内面：暗文、外面：ヘラ削り、底部：糸切り後ヘラ調整		
34図	608	2溝	847	土師器	坏	—	—	<5.0>	赤褐色	赤色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り不明瞭		
34図	609	2溝	535	土師器	坏	—	—	4.8	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り後ヘラ調整		
34図	610	2溝	571	土師器	坏	—	—	6.8	暗褐色	赤色粒子・白色粒子やや含	良	暗文・底部糸切り後ヘラ調整		
34図	611	2溝	599	土師器	坏	—	—	5.0	明褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り後ヘラ調整		
34図	612	2溝	514	土師器	坏	—	—	<6.0>	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒多数	良	体部・見込み部に暗文、ヘラ削り、底部：ヘラナデ？		
35図	613	2溝	886	土師器	坏	—	—	<6.0>	黄褐色	赤色粒子やや・砂粒	良	暗文・ヘラ削り		
35図	614	2溝	274	土師器	坏	—	—	<5.4>	赤褐色	赤色粒子・白色粒子やや含	良	体部・見込み：暗文、ヘラ削り		
35図	615	2溝		土師器	坏	—	—	6.4	赤褐色	赤色粒子やや・砂粒	良	暗文・ヘラ削り		
35図	616	2溝	160	土師器	坏	—	—	6.8	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・糸切り後底部ヘラ調整		
—	617	2溝	52	土師器	坏	—	—	4.4	暗褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・ヘラ削り	図版欠	
35図	618	2溝	735	土師器	坏	—	—	6.4	赤褐色	赤色粒子	良	暗文		
35図	619	2溝	867	土師器	坏	—	—	5.4	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・糸切り痕・底部ヘラ調整		
35図	620	2溝	916	土師器	坏	—	—	5.0	褐色	赤色粒子	良		見込み部：剥離	
35図	621	2溝	223	土師器	坏	—	—	6.0	暗褐色	緻密：赤色粒子・砂粒	良			
35図	622	2溝	302	土師器	坏	—	—	<6.4>	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良			
—	623	2溝	794	土師器	坏	—	—	5.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	図版欠	
35図	624	2溝	841	土師器	坏	—	<2.9>	6.0	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り		
35図	625	2溝	521	土師器	坏	—	<2.7>	7.6	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部糸切り後周辺部ヘラ調整		

35図	626	2溝	1	土師器	坏	—	—	〈5.2〉	赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ調整、底部：糸切り後ヘラ調整			
35図	627	2溝	1194	土師器	坏	—	—	〈5.7〉	明褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外面：ヘラ削り			
35図	628	2溝	314	土師器	坏	—	—	〈4.2〉	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り			
—	629	2溝	146	土師器	坏	—	—	〈6.8〉	黄褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭、底部糸切り痕	図版欠		
35図	630	2溝	1073	土師器	坏	—	—	〈8.0〉	明褐色	赤色・白色粒子	良	体部・見込み：暗文、ヘラ削り 暗文、底部：糸切り痕			
35図	631	2溝	1199	土師器	坏	—	—	〈5.0〉	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・底部ヘラ調整			
35図	632	2溝	323	土師器	坏	—	—	4.8	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り後ヘラ調整			
35図	633	2溝	289	土師器	坏	—	—	〈8.0〉	黄褐色	赤色粒子	良	暗文			
35図	634	2溝	613	土師器	坏	—	—	〈7.2〉	黄褐色	赤色粒子	良	暗文・底部糸切り痕			
35図	635	2溝	300	土師器	坏	—	—	〈4.8〉	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文			
35図	636	2溝	386	土師器	坏	—	—	〈6.4〉	黄褐色	赤色粒子	良	底部糸切り痕			
35図	637	2溝	688	土師器	坏	—	—	〈6.4〉	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・底部糸切り後ヘラ調整			
35図	638	2溝	803	土師器	坏	—	—	〈4.9〉	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒・石英	良	内面：暗文、外面：ヘラ調整、底部：糸切り後ヘラ調整			
35図	639	2溝	1122	土師器	坏	—	—	〈5.8〉	茶褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り、底部：糸切り後ヘラ調整			
35図	640	2溝	866	土師器	坏	—	—	〈10.6〉	3.7	〈4.0〉	暗褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り	
35図	641	2溝		土師器	坏	—	—	〈5.8〉	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	見込み・内面：暗文、外面：ヘラ削り、底部：糸切り後外周ヘラ調整			
35図	642	2溝		土師器	坏	—	—	〈4.4〉	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・底部：糸切り後ヘラ調整			
—	643	2溝		土師器	坏	—	—	5.2	赤褐色	赤色粒子・白色粒子やや含	良	暗文・ヘラ削り・底部：糸切り後ヘラ調整	図版欠		
35図	644	2溝		土師器	坏	—	—	〈6.0〉	外面：黄褐色、内面：赤褐色	赤色粒子	良	暗文			
35図	645	2溝		土師器	坏	—	—	〈1.7〉	6.0	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文不明瞭、底部糸切り痕		
35図	646	2溝		土師器	坏	—	—	〈1.0〉	5.1	明褐色	赤色粒子	良	底部糸切り後周辺部ヘラ調整・見込み部：回転調整、暗文不明瞭		
35図	647	2溝		土師器	坏	—	—	〈1.4〉	5.6	赤褐色	赤色粒子	良	底部糸切り後ヘラ調整		
35図	648	2溝		土師器	坏	—	—	〈11.0〉	明褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭・ヘラ削り			
35図	649	2溝		土師器	坏	—	—	〈5.4〉	黄褐色	赤色粒子	良	暗文			
35図	650	2溝		土師器	坏	—	—	〈6.2〉	黄褐色	赤色粒子	良	暗文			
35図	651	2溝		土師器	坏	—	—	〈1.6〉	5.4	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部糸切り痕		
35図	652	2溝		土師器	坏	—	—	〈0.8〉	3.9	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部：糸切り痕・周辺ヘラ調整		
35図	653	2溝		土師器	坏	—	—	〈2.7〉	6.4	暗褐色	赤色粒子	良	底部ヘラ削り調整		
35図	654	2溝		土師器	坏	—	—	4.8	明褐色	赤色粒子	良	暗文・底部糸切り痕			
—	655	2溝		土師器	坏	—	—	〈5.0〉	黄褐色	赤色粒子	良		図版欠		
35図	656	2溝		土師器	坏	—	—	〈6.0〉	明褐色	赤色粒子	良	暗文・底部糸切り痕			
35図	657	2溝		土師器	坏	—	残1.2	7.2	内面：明褐色、外 面：黄褐色	赤色粒子	良	底部糸切り後ヘラ整形			
35図	658	2溝		土師器	坏	—	残1.4	8.3	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り			
35図	659	2溝		土師器	坏	—	残1.3	4.4	内面：明褐色、外 面：黄褐色	赤色粒子	良				
35図	660	2溝		土師器	坏	—	—	〈11.0〉	〈3.4〉	〈5.4〉	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
35図	661	2溝		土師器	坏	—	—	〈6.0〉	内面：黄褐色、外 面：赤褐色	赤色粒子	良	底部：糸切り後ヘラ削り			
35図	662	2溝		土師器	坏	—	—	〈8.0〉	黄褐色	赤色粒子	良	暗文・底部糸切り			
35図	663	2溝		土師器	坏	—	—	〈7.2〉	黑褐色	赤色粒子	良	暗文・底部糸切り痕			
35図	664	2溝		土師器	坏	—	—	〈6.5〉	明褐色	赤色粒子	良	底部糸切り痕			
35図	665	2溝		土師器	坏	—	—	〈5.8〉	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部ヘラ調整・糸切り痕			
35図	666	2溝		土師器	坏	—	—	〈7.0〉	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・底部ヘラ調整			

36図	667	2溝		土師器	坏	—	—	〈7.0〉	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文	
36図	668	2溝		土師器	坏	—	—	〈6.0〉	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文・底部ヘラ調整・糸切り痕	
36図	669	2溝		土師器	坏	—	—	〈5.2〉	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文不明瞭・底部糸切り痕	
36図	670	2溝		土師器	坏	—	—	〈6.0〉	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・底部糸切り	
—	671	2溝		土師器	坏	—	—	〈5.4〉	黄褐色	赤色粒子やや含	良	暗文	図版欠
36図	672	2溝		土師器	坏	—	—	〈6.0〉	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り?	
36図	673	2溝		土師器	坏	—	—	〈6.4〉	明褐色:底部にやや暗褐色部分有	赤色粒子	良	暗文・底部糸切り後ヘラ調整	
36図	674	2溝		土師器	坏	—	—	〈5.6〉	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・底部糸切り痕	
36図	675	2溝		土師器	坏	—	—	5.2	黄褐色	赤色粒子	良	暗文・削り	
36図	676	2溝		土師器	坏	—	—	5.2	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
36図	677	2溝		土師器	坏	—	—	4.1	赤褐色	赤色粒子	良	暗文:ヘラ削り・糸切り後ヘラ調整	
—	678	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
36図	679	2溝	I-5	土師器	坏	—	—	6.0	黄褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
36図	680	2溝	I-5	土師器	坏	—	—	〈5.0〉	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕	
36図	681	2溝		土師器	坏	—	—	〈5.4〉	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・底部糸切り痕	
36図	682	2溝		土師器	坏	—	—	〈5.8〉	黄褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
36図	683	2溝		土師器	坏	—	—	〈6.0〉	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・底部糸切り痕・沈線	
—	684	2溝		土師器	坏	—	—	〈5.4〉	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	図版欠
—	685	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
—	686	2溝		土師器	坏	—	—	〈4.6〉	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	図版欠
36図	687	2溝	420	土師器	坏	—	—	〈5.0〉	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
36図	688	2溝	110	土師器	坏	〈10.0〉	4.3	5.0	赤褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部ヘラ調整	
—	689	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
—	690	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
36図	691	2溝		土師器	—	—	—	〈5.3〉	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面:暗文、外面:ヘラ削り、底部:糸切り痕	
—	692	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
—	693	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
—	694	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
—	695	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
—	696	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
36図	697	2溝	I-5	土師器	坏	—	—	5.5	内面:黒色塗彩、外面:茶褐色	赤色・白色粒子	良	内面・見込み:ミガキの痕跡、外面:ヘラ削り・底部:糸切り後ヘラ調整	内黒
36図	698	2溝		土師器	坏	—	—	〈7.0〉	内面:暗茶褐色、外面:茶褐色	赤色・白色・黑色粒子・砂粒	良	内面:暗文、外面:ヘラ削り、底部:糸切り後ヘラ調整	底部:糸切り後ヘラ調整
36図	699	2溝		土師器	高台皿?	—	—	〈9.0〉	赤褐色	赤色粒子	良		
36図	700	2溝		土師器	坏	—	—	〈5.0〉	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り・底部糸切り痕	
36図	701	2溝		土師器	坏	—	—	〈5.0〉	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良		
—	702	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
36図	703	2溝		土師器	坏	—	—	5.4	赤褐色	赤色粒子やや含・砂粒	良		
36図	704	2溝	873	土師器	高台坏	—	〈1.7〉	7.2	明褐色	赤色粒子	良	体部ヘラ削り・削り出し高台	
36図	705	2溝		土師器	高台坏	—	〈2.4〉	6.6	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・底部ヘラ調整・削り出し高台	
36図	706	2溝	201	土師器	高台皿?	—	—	〈7.0〉	明褐色	緻密:赤色粒子	良	体部・見込み:暗文、回転ヘラ削り	
36図	707	2溝	906	土師器	高台坏	—	—	〈7.2〉	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	体部・見込み:暗文、回転ヘラ削り・底部ヘラ調整痕・削り出し高台	
36図	708	2溝	168	土師器	高台皿	—	—	〈7.4〉	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・底部糸切り後ヘラ削り	
36図	709	2溝	1100	土師器		—	—	7.8	黒褐色	赤色粒子	良	暗文・クロクロヘラ削り	
36図	710	2溝	975	土師器	坏	—	—	6.6	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	
36図	711	2溝	220	土師器	坏	—	—	8.6	外面:赤褐色、外面:黄褐色	赤色粒子	良	底部糸切り痕	
36図	712	2溝	1031	土師器	高台坏	—	〈1.2〉	7.0	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ回転調整・底部ヘラ調整・削り出し高台	

36図	713	2溝	293	土師器	高台坏	—	〈1.7〉	7.8	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ回転調整、底部ヘラ調整、削り出し高台	
36図	714	2溝	1081	土師器	高台坏	—	〈3.1〉	7.3	暗褐色	赤色粒子	良	回転ヘラ調整、底部糸切り痕・ヘラ調整、削り出し高台	
36図	715	2溝	1057	土師器	高台坏	—	—	〈7.4〉	橙色	赤色粒子	良	内面・見込み：内面剥離、外面：回転ヘラ削り、削り出し高台	
36図	716	2溝	876	土師器	高台坏	—	—	〈8.4〉	赤褐色	赤色・白色粒子	良	外面：回転ヘラ削り、削り出し高台	
36図	717	2溝	491	土師器	鉢	—	—	〈9.6〉	明褐色	赤色・白色粒子	良	外面：回転ヘラ削り・削り出し高台	
36図	718	2溝	717	土師器	皿	—	—	〈6.8〉	内面：赤褐色、外面：明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外面：回転ヘラ削り・削り出し高台	
36図	719	2溝	1059	土師器	皿	—	〈2.0〉	6.2	明褐色	赤色粒子	良	回転ヘラ調整、底部ヘラ調整、削り出し高台	
36図	720	2溝	679	土師器	高台坏	—	〈2.9〉	8.4	明褐色	赤色粒子	良	回転ヘラ調整、削り出し高台	
36図	721	2溝	670	土師器	鉢or高台坏	—	—	〈9.2〉	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外面：回転ヘラ削り、削り出し高台	
36図	722	2溝	1179	土師器	高台坏	—	—	〈7.3〉	明褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文、外面：回転ヘラ削り、削り出し高台	
37図	723	2溝	292	土師器	坏	—	—	〈6.8〉	茶褐色	赤色・白色粒子	良	内面・見込み：暗文、外面：回転ヘラ削り、削り出し高台	
37図	724	2溝	260	土師器	坏or皿	—	—	〈6.2〉	内面：赤褐色、外面：黄褐色	赤色・白色粒子	良	内面：ヘラ削り、外面：回転ヘラ削り、削り出し高台	
37図	725	2溝	359	土師器	高台坏	—	—	〈8.2〉	内面：黒色塗彩、外面：赤褐色	赤色・白色粒子	良	内面・見込み：ミガキ・暗文、削り出し高台	内黒
37図	726	2溝		土師器	坏	—	—	6.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	
37図	727	2溝		土師器	坏	—	—	6.2	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	
37図	728	2溝		土師器	坏	—	—	6.4	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ロクロヘラ削り	
37図	729	2溝		土師器	坏	—	—	6.0	赤褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	
37図	730	2溝		土師器	高台坏？	—	—	〈6.7〉	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	底部糸切り痕・削り出し高台	
37図	731	2溝		土師器	高台皿	—	—	〈6.4〉	暗褐色	赤色粒子	良	削り出し高台	
37図	732	2溝		土師器	高台坏	—	—	〈6.4〉	褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・底部削り出し高台・ヘラ調整	
37図	733	2溝		土師器	高台坏	—	〈2.4〉	8.2	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	底部剥離・削り出し高台
37図	734	2溝		土師器	高台坏	—	〈2.9〉	7.2	明褐色	赤色粒子	良	回転ヘラ削り調整	底部剥離・削り出し高台
—	735	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
37図	736	2溝		土師器	高台皿？	—	—	10.6	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良		
—	737	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
—	738	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
—	739	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
—	740	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
37図	741	2溝	826・1072	土師器	皿	〈23.4〉	1.6	〈18.0〉	赤褐色	緻密：赤色粒子・砂粒多数	良	見込み部：ミガキ	見込み部：墨を落としたような痕
37図	742	2溝	534	土師器	皿	—	—	〈7.0〉	赤褐色	赤色粒子	良	底部糸切り痕	
37図	743	2溝	805・817・824	土師器	皿	—	—	〈6.4〉	明褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り・底部糸切り痕	
37図	744	2溝	618・1180	土師器	皿	—	—	6.0	赤褐色	赤色・白色粒子	良	暗文不明瞭、底部糸切り後ヘラ削り	
37図	745	2溝		土師器	皿	—	—	〈5.0〉	赤褐色	赤色粒子・小石	良	ロクロヘラ削り	
37図	746	2溝	442・443	土師器	皿	—	—	〈5.2〉	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り	
37図	747	2溝	812	土師器	皿	〈14.2〉	2.5	〈6.6〉	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り・底部ヘラ調整	
37図	748	2溝	789	土師器	皿	—	—	〈7.6〉	明褐色	赤色粒子	良	暗文・底部糸切り痕	
37図	749	2溝	435	土師器	皿	—	—	〈6.4〉	明褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り・底部糸切り痕	
37図	750	2溝	70	土師器	皿	—	—	〈5.0〉	明褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り・底部糸切り痕	

37図	751	2溝	761	土師器	高台坏	—	—	〈8.0〉	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外面：回転ヘラ削り、底部：糸切り後ヘラ調整、削り出し高台	
37図	752	2溝	1058	土師器	皿	—	—	〈4.7〉	橙色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外面：ロクロヘラ削り	
37図	753	2溝	707	土師器	皿	—	—	5.85	橙色	赤色・白色・砂粒	良	内面：暗文、外面：ロクロヘラ削り	
—	754	2溝	898	土師器	皿	—	—	〈4.6〉	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り・底部ヘラ調整	図版欠
37図	755	2溝	1090	土師器	皿	—	—	〈5.3〉	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文不明瞭・ヘラ削り、ロクロヘラ削り	
37図	756	2溝	936	土師器	皿	〈14.4〉	2.5	〈6.0〉	黄褐色	赤色粒子・白色鉱物	良	ロクロヘラ削り・見込み：ミガキ不明瞭	
37図	757	2溝	177	土師器	皿	—	—	〈5.3〉	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ロクロヘラ削り・底部ヘラ調整	
37図	758	2溝		土師器	皿	—	残1.7	6.0	明褐色	赤色粒子	良	底部ヘラ調整	
37図	759	2溝	583	土師器	皿	—	残1.0	4.9	明褐色	赤色粒子	良	底部糸切り後ヘラ調整	
37図	760	2溝	869	土師器	皿	—	残1.4	5.8	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ調整	
37図	761	2溝	349	土師器	皿	—	—	5.2	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り・底部：糸切り後ヘラ削り	
37図	762	2溝	614	土師器	皿	—	—	5.2	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	底部：ヘラ調整、見込み：ミガキ	
37図	763	2溝	487	土師器	皿	—	—	〈8.4〉	赤褐色	赤色粒子やや含	良	糸切り痕	
37図	764	2溝	429・430	土師器	皿	—	〈1.1〉	5.6	赤褐色	赤色粒子	良	内面：ミガキ不明瞭、回転ヘラ削り・底部ヘラ削り・糸切り痕	
37図	765	2溝		土師器	高台坏	—	〈2.9〉	7.2	明褐色	赤色粒子	良	内面：ミガキ、外面：回転ヘラ削り・底部：糸切り後ヘラ削り調整	
37図	766	2溝		土師器	皿	—	—	〈6.4〉	明褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り・底部糸切り痕	
37図	767	2溝	65	土師器	皿	—	—	〈6.6〉	明褐色	赤色・白色粒子	良	ロクロヘラ削り・底部糸切り痕	
37図	768	2溝	630	土師器	皿	—	—	〈6.2〉	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り・底部ヘラ調整	
37図	769	2溝	598	土師器	皿	—	—	5.6	暗褐色	赤色粒子	良	歪みが激しく厚みが一定でない	
38図	770	2溝	1176	土師器	皿	—	—	6.4	赤褐色	赤色・白色粒子	良	見込み：ミガキ	
38図	771	2溝	240	土師器	皿	—	—	6.0	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	見込み：暗文	
38図	772	2溝	1	土師器	皿	—	—	5.6	暗褐色	赤色粒子	良		
38図	773	2溝	140・173	土師器	皿	—	—	7.2	明褐色	緻密：赤色粒子・砂粒多数含	良	暗文・ロクロヘラ削り・底部ヘラ調整	
38図	774	2溝	315	土師器	坏	—	—	〈6.2〉	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
—	775	2溝		土師器	皿	—	—	〈5.6〉	明褐色	赤色・白色粒子	良		図版欠
38図	776	2溝	1164	土師器	皿	—	—	〈5.4〉	明褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・ロクロヘラ削り・底部糸切り痕	
—	777	2溝	706	土師器	皿	—	—	〈5.4〉	明褐色	赤色・白色粒子	良	ロクロヘラ削り	図版欠
38図	778	2溝	1159	土師器	皿	—	—	〈4.8〉	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り・暗文	
38図	779	2溝		土師器	皿	—	残1.5	5.9	黄褐色	赤色粒子	良	底部ヘラ調整	
38図	780	2溝	627	土師器	皿	13.3	1.8	9.1	黄褐色	赤色粒子	良	底部ヘラ調整	
38図	781	2溝		土師器	皿	—	残2.0	5.6	明褐色	赤色粒子	良	底部糸切り後ヘラ調整	
38図	782	2溝	1140他	土師器	皿	—	〈1.2〉	6.0	赤褐色	赤色粒子	良		
38図	783	2溝	988	土師器	高台坏	—	〈0.8〉	8.9	内面：赤褐色、外面：明褐色	赤色粒子	良	見込み部：暗文、底部ヘラ調整	削り出し高台
38図	784	2溝		土師器	坏	—	—	5.2	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
38図	785	2溝		土師器	?	—	—	6.0	赤褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り・底部糸切り痕	
38図	786	2溝	492	土師器	坏	—	—	6.6	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り・底部糸切り痕	
38図	787	2溝		土師器		—	—	4.5	赤褐色	赤色粒子	良	暗文	
38図	788	2溝	802	土師器	皿	—	—	〈5.0〉	明褐色	赤色粒子	良	底部ヘラ調整	
—	789	2溝	1177	土師器	皿	—	—	〈8.2〉	明褐色	赤色粒子・白色粒子やや含	良	ロクロヘラ削り・暗文不明瞭	図版欠
38図	790	2溝	1088	土師器	皿	—	—	〈6.0〉	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り・底部ヘラ調整	
38図	791	2溝	884	土師器	皿	—	—	〈5.4〉	明褐色	赤色粒子	良	見込み：暗文、ヘラ削り	
—	792	2溝	542	土師器	皿	—	—	〈6.4〉	暗褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ調整の為か底部が凸凹している	図版欠
38図	793	2溝		土師器	皿	—	—	〈5.2〉	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ロクロヘラ削り・底部ヘラ調整	

—	794	2溝	306-2	土師器	皿	—	—	<4.0>	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良		図版欠	
38図	795	2溝	135	土師器	皿	—	<13.8>	<2.4>	<5.2>	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・暗文不明瞭	
—	796	2溝	917	土師器	皿	—	—	<6.0>	明褐色	赤色・白色粒子	良		図版欠	
—	797	2溝	406	土師器	皿	—	—	<6.8>	明褐色	赤色・白色粒子	良	内面：剥離部分有	図版欠	
—	798	2溝	1162	土師器	皿	—	—	4.0	明褐色	赤色・白色粒子	良	底部糸切り痕	図版欠	
—	799	2溝	597	土師器	皿	—	—	<6.8>	明褐色	赤色粒子	良	底部糸切り痕	図版欠	
38図	800	2溝	828	土師器	皿	—	—	5.6	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	底部糸切り痕		
38図	801	2溝	885	土師器	皿	—	<1.6>	4.8	赤褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り		
38図	802	2溝	617	土師器	皿	—	<1.2>	6.4	明褐色	赤色粒子	良	回転ヘラ調整・底部ヘラ調整		
38図	803	2溝		土師器	皿	—	—	<6.3>	明褐色	赤色・白色粒子	良	内面：暗文不明瞭、外面：ロクロヘラ削り		
38図	804	2溝		土師器	皿	<14.4>	1.75	<9.6>	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良			
38図	805	2溝	860	土師器	皿	—	—	<5.6>	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文		
—	806	2溝	82	土師器	坏	—	—	<4.2>	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内面：暗文、外面：ヘラ削り	図版欠	
38図	807	2溝	377	土師器		—	—	6.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・糸切り痕・ロクロヘラ削り		
38図	808	2溝	444	土師器	皿	—	—	<5.6>	明褐色	赤色粒子・砂粒	良			
38図	809	2溝	647	土師器	坏	—	—	6.0	赤褐色	赤色・白色粒子	良	暗文・ヘラ削り		
38図	810	2溝	1005	土師器	坏	—	—	7.6	赤褐色	赤色粒子	良	見込み：暗文、底部：糸切り後ヘラ調整		
—	811	2溝				—	—						図版欠	
—	812	2溝	227	土師器	皿	—	—	<3.8>	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り	図版欠	
38図	813	2溝	1181	土師器	皿	—	—	<6.4>	黄褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り・底部ヘラ調整		
38図	814	2溝	745	土師器	皿	—	—	<6.0>	赤褐色	赤色粒子やや含・砂粒	良	ロクロヘラ削り・底部ヘラ調整		
	815	2溝		土師器	皿	—	残0.7	4.8	明褐色	赤色粒子	良	底部ヘラ調整	図版欠	
38図	816	2溝	537	土師器	皿	15.9	2.7	6.6	赤褐色	赤色粒子	良			
38図	817	2溝		土師器	皿	—	残1.3	11.1	暗褐色	赤色粒子	良			
38図	818	2溝	47	土師器	皿	—	<1.2>	7.9	明褐色	赤色粒子	良	内面：回転調整、底部：ヘラ調整		
—	819	2溝	825	土師器	皿	—	—	—	明褐色	赤色粒子	良	内面：ロクロナデ、内外面：回転調整	図版欠	
—	820	2溝	489	土師器	皿	—	—	—	明褐色	赤色粒子	良		図版欠	
—	821	2溝	553	土師器	坏?	—	—	<8.0>	明褐色	赤色粒子	良	暗文・底部ヘラ調整	図版欠	
38図	822	2溝	363	土師器	坏	—	—	<5.0>	赤褐色	赤色粒子	良	暗文		
38図	823	2溝	134	土師器	坏	—	—	5.0	暗褐色	石勝粒子	良	暗文・底部ヘラ調整		
38図	824	2溝		土師器	皿	—	—	5.2	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	糸切り痕・ロクロヘラ削り		
—	825	2溝	863	土師器	坏	—	—	6.0	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	体部：暗文・ロクロヘラ削り	図版欠	
39図	826	2溝	1191	土師器	坏	—	—	6.4	白褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り		
—	827	2溝	450	土師器	高台坏	—	—	7.0	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	底部糸切り痕	図版欠	
39図	828	2溝	251	土師器	皿	14.4	—		明褐色	赤色粒子・砂粒	良			
—	829	2溝	327	土師器	皿	—	—	<6.0>	明褐色	赤色粒子	良		図版欠	
39図	830	2溝	258	土師器	皿	<12.6>	—	—	赤褐色	赤色粒子	良			
—	831	2溝	7	土師器	皿		—	—	暗褐色	赤色粒子	良		図版欠	
39図	832	2溝		土師器		12.8	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文		
—	833	2溝		土師器	皿	—	—	2.6	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り	図版欠	
39図	834	2溝		土師器	坏	—	—	6.2	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り・糸切り後ヘラ調整		
—	835	2溝		土師器	皿	—	—	5.6	赤褐色	赤色・白色粒子	良	ロクロヘラ削り・底部糸切り痕	図版欠	
—	836	2溝		土師器	皿	—	—	<5.7>	明褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り・底部ヘラ調整	図版欠	
—	837	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	図版欠	
—	838	2溝		土師器	皿	—	—	<7.0>	明褐色	赤色粒子	良	ロクロヘラ削り	図版欠	
—	839	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	図版欠	
—	840	2溝		土師器		—	—	<6.0>	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ロクロヘラ削り・暗文不明瞭	図版欠	
—	841	2溝				—	—	—	—	—	—	—	図版欠	
—	842	2溝		土師器	皿	—	—	<6.4>	明褐色	赤色粒子・砂粒	良		図版欠	
39図	843	2溝		土師器	皿	14.8	—		黄褐色	赤色粒子	良			
—	844	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	図版欠	
—	845	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	図版欠	
—	846	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	図版欠	
—	847	2溝		土師器	皿	—	—	<6.0>	黄褐色	赤色・白色粒子	良	ロクロヘラ削り・底部ヘラ調整	図版欠	
39図	848	2溝		土師器		—	—	<7.0>	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	底部糸切り痕		
39図	849	2溝		土師器	皿	13.8			灰褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・ミガキ		
—	850	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	図版欠	
39図	851	2溝		土師器	皿	<15.4>			赤褐色	赤色粒子	良			
—	852	2溝		土師器	皿	<13.8>			赤褐色	赤色粒子・砂粒	良		図版欠	
—	853	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	図版欠	

39回	854	2溝	208	土師器	坏	—	—	8.4	内面：明褐色、外 面：黄褐色	緻密：赤色粒子・砂粒	良	見込み部：暗文、底部：糸切り痕	底部：線刻
39回	855	2溝		土師器	坏	〈13.6〉	—	—	暗褐色	赤色粒子やや含・砂粒	良		
39回	856	2溝	202	土師器	坏	—	—	〈7.0〉	明褐色	緻密：赤色粒子	良	見込み・体部：暗文、底部糸切 り後ヘラ削り	
39回	857	2溝	15	土師器	坏	〈14.8〉	—	—	黄褐色	緻密：赤色粒子やや	良	外面：ヘラ削り、暗文不明瞭	
39回	858	2溝	1171	土師器	坏	〈11.0〉	2.9	〈5.0〉	明褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭、ヘラ削り	
39回	859	2溝	1144	土師器	坏	〈15.2〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
39回	860	2溝		土師器	坏	〈11.0〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
39回	861	2溝	342・871	土師器	坏	12.6	4.5	5.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文不明瞭、ヘラ削り	
39回	862	2溝	437	土師器	坏	〈13.0〉	4.5	6.4	明褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
39回	863	2溝	426・424	土師器	坏	〈11.8〉	—	—	赤褐色	赤色・白色粒子	良	ヘラ削り・暗文	
39回	864	2溝	1178	土師器	坏	〈10.8〉	3.75	〈5.0〉	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・暗文不明瞭	
39回	865	2溝		土師器	坏	10.8	3.9	5.2	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ヘラ削り	
39回	866	2溝		土師器	坏	11.6			黄褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
—	867	2溝		瓦	丸瓦	—	—	—	—	—	良	裏面：布目痕・斜めにも線が 残る	図版欠
39回	868	2溝	224	土師器	甕	〈19.0〉	—	—	暗褐色	やや粗：金雲母・石英・黒色 粒子多数	良	内面：ハケメ、外面：ハケ調整	
39回	869	2溝	839	土師器	甕	〈15.8〉	—	—	暗褐色	やや粗：金雲母・石英・長石・ 砂粒子多数む	良	外面：ハケメ、内面：ハケメ・ 指頭痕	
39回	870	2溝		土師器	甕	—	—	—	明褐色	赤色粒子	良		
39回	871	2溝		土師器	甕	—	—	—	赤色粒子・金雲母		良		
39回	872	2溝		土師器	甕	—	—	—	褐色	やや粗：石英・金雲母・砂粒	良		
—	873	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
39回	874	2溝		弥生土 器	弥生・ 壺	—	—	—	明褐色	白色粒子多数	良		
—	875	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
39回	876	2溝		弥生土 器	弥生・ 壺	—	—	—	内面：灰 褐色、外 面：明褐色	黑色・白色粒子多数含	良	ハケメ	
—	877	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
39回	878	2溝	992	土師器	—	—	—	7.0	赤褐色	赤色粒子・砂粒多数含	良		
39回	879	2溝	410	土師器	甕	—	—	〈6.8〉	暗褐色	やや粗：金雲母・黒色粒子多 数	良	内面：ハケメ、外面：ハケメ、 底部：木葉痕	
—	880	2溝	628	土師器	—	—	—	8.8	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良		図版欠
39回	881	2溝	1105・1094	土師器	坏	—	—	8.6	黒褐色	赤色粒子・金雲母	良	一部反転・体部ナデ、木葉痕	
—	882	2溝	実測不能		—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠
39回	883	2溝	299	土師器	—	—	—	〈5.0〉	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	糸切り痕	
39回	884	2溝		土師器	—	—	—	〈8.6〉	赤褐色	赤色粒子・石英・砂粒	良	ハケメ・木葉痕	
—	885	2溝	1089	土師器	丸瓦？	—	—		黄褐色	—	良		図版欠
39回	886	2溝	1564	土師器	甕	—	—	〈8.9〉	暗褐色	赤色粒子・金雲母・石英	良	ハケ・底部木葉痕	
39回	887	2溝	317	土師器	甕	—	—	〈8.9〉	暗褐色	赤色粒子・金雲母・石英	良	ハケ・指頭痕・底部木葉痕	
—	888	2溝	1092	土師器	—	—	—		暗褐色	赤色粒子・石英・砂粒	良		図版欠
—	889	2溝	158	土師器	鉢？	—	〈2.0〉	5.4	暗褐色	赤色粒子	良	外面：削り	内面：キズの 線、図版欠
39回	890	2溝	316	土師器	鉢？	—	〈2.9〉	4.0	明褐色	赤色粒子	良	削り・底部ヘラ調整	
39回	891	2溝	1206	土師器	甕	—	—	〈5.8〉	灰褐色	赤色粒子	良		
39回	892	2溝	290	土師器	高台皿	—	—	〈7.0〉	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良		内黒
39回	893	2溝		土師器	高台坏	—	—	〈8.0〉	灰褐色	緻密：砂粒	良	削り出し高台	
—	894	2溝		土師器	小甕？	—	—	〈6.2〉	黒褐色	粗：白色粒子・石英・黒雲母	良	外面：ヘラ削り	図版欠
—	895	2溝		土師器	甕？	—	〈2.4〉	6.8	暗褐色	赤色粒子・金雲母		外面：削り	図版欠
—	896	2溝		土師器	—	—	〈7.8〉	黄褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良		図版欠	
39回	897	2溝		土師器	甕？	—	—	〈7.4〉	黑茶褐色	粗：長石・金雲母	良	内外面：ハケ、底部木葉痕	
39回	898	2溝	230	土師器	皿？	—	—	5.0	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	底部糸切り痕	
39回	899	2溝		土師器	—	—	〈2.2〉	10.0	暗褐色		良	ヘラ調整、内面：回転ナデ、底 部：糸切り痕	
—	900	2溝		土師器	—	—	〈2.3〉	1.5	赤褐色		良	ハケ調整、内面：ナデ、底部： ヘラ削り	図版欠
39回	901	2溝		土師器	甕	—	—	8.0	赤褐色	砂粒	良	ハケ目・木葉痕	
—	902	2溝		土師器	甕	—	—	〈6.8〉	茶褐色	粗：白色粒子・石英・黒雲母	良	外面：ハケ目	図版欠
39回	903	2溝	591	土師器	高坏	—	—	〈15.3〉	橙色	赤色・白色粒子・石英	良	外面：ヘラ削り	
39回	904	2溝		土師器	高坏	—	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・ナデ	
39回	905	2溝		土師器	高坏	—	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
39回	906	2溝	1125	土師器	器台	—	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良		

39回	907	2溝	605	土師器	器台	—	—	—	赤褐色	赤色粒子	良		
40回	908	2溝	844	土師器	高坏	—	—	—	赤褐色	赤色粒子	良		
40回	909	2溝	561	土師器	高坏	—	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良		
40回	910	2溝	649	土師器	高坏	—	—	—	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り？	
40回	911	2溝	595	土師器	高坏	—	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良		
40回	912	2溝		土師器	高坏	—	<5.7>	—	明褐色	赤色粒子	良		
40回	913	2溝		土師器	高坏	—	<4.5>	—	外面：黄褐色，内面：赤褐色	赤色粒子	良	内外面：回転調整	
40回	914	2溝	198	土師器	高坏	—	—	<15.0>	赤褐色	赤色粒子・砂粒多数	良		
40回	915	2溝	846	土師器	高坏	—	—	—	赤褐色	砂粒	良		
40回	916	2溝	294	土師器	高坏	—	—	—	明褐色	やや粗：石英・白色粒子多数	良		
40回	917	2溝	1099	土師器	高坏	—	残7.0	—	明褐色	赤色粒子	良		
40回	918	2溝		土師器	高坏	—	残5.5	10.6	内面：赤褐色，外 面：暗褐色	赤色粒子	良		
40回	919	2溝	203	土師器	高坏	—	残4.5	—	赤褐色	赤色粒子	良		
40回	920	2溝	12	土師器	高坏 脚部	—	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ミガキ	
40回	921	2溝	987	土師器	高坏	—	—	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
40回	922	2溝	914	土師器	高坏	—	—	—	褐色	赤色粒子・砂粒	良	ハケ目・ヘラ削り	
40回	923	2溝	911	土師器	高坏	—	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	暗文・ハケ目	
40回	924	2溝	578	土師器	鉢	9.6	—	—	赤褐色	砂粒	良		
40回	925	2溝	1208	土師器	壺？	—	—	—	明褐色	やや粗：石英・金雲母・赤色粒子・黒色粒子	良	内外面：ハケ目	
40回	926	2溝	665	土師器	小型壺	<9.0>	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良		
40回	927	2溝	1133	土師器	甕	<13.6>	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子	良	ハケ目	
40回	928	2溝	629	土師器	甕	—	—	—	暗褐色	赤色粒子・金雲母・石英	良	ハケ目	
40回	929	2溝	1111	土師器	甕	—	—	—	黄褐色	赤色粒子・砂粒・石英	良		
—	930	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	圓版欠
—	931	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	圓版欠
—	932	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	圓版欠
—	933	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	圓版欠
40回	934	2溝	577	土師器	甕	—	—	—	赤褐色	石英・金雲母多数含	良	内外面：ハケメ	
40回	935	2溝	330	土師器	甕	—	—	—	赤褐色	金雲母多数含	良	内外面：ハケメ	
40回	936	2溝	110	土師器	壺・底 部	—	—	—	明褐色	砂粒	良	底部：木葉痕、内面：ハケメ	
—	937	2溝	344	土師器	甕	—	—	—	明褐色	赤色・白色粒子	良	内外面：ハケメ	圓版欠
—	938	2溝		土師器	甕	—	—	—	暗褐色	金雲母	良	内外面：ハケメ	圓版欠
—	939	2溝		土師器	甕	—	—	—	褐色	雲母	良	外面：ハケメ	圓版欠
—	940	2溝	932	土師器	甕	—	—	—	明褐色	金雲母・石英	良	内外面：ハケメ	圓版欠
—	941	2溝	1052	土師器	甕	—	—	—	赤褐色	金雲母多数含	良	内外面：ハケメ	圓版欠
—	942	2溝	824	土師器	甕	—	—	—	赤褐色	石英多数含	良	外面：ハケメ	圓版欠
40回	943	2溝	313	瓦	平瓦	—	—	—	青灰色	白色粒子	良	繩目・表：布目	
40回	944	2溝	219・267・191	瓦	平瓦	—	—	—	灰色	白色粒子	良	繩目・表：布目・ヘラ削りによる面取り	
40回	945	2溝	262	瓦	平瓦	—	—	—	灰黑色	白色粒子	良	表：布目・裏：繩目	
40回	946	2溝	616	瓦	平瓦	—	—	—	灰色	砂粒	良	—	剥離有
41回	947	2溝	150	瓦	平瓦	—	—	—	灰色	砂粒	良	表：布目・裏：繩目	
41回	948	2溝	1183	瓦	平瓦	—	—	—	黑灰色	砂粒	良	表：布目・裏：繩目・ヘラ削りによる面取り	剥離有
—	949	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	圓版欠
41回	950	2溝	897	瓦	丸瓦	—	—	—	灰色	赤色粒子	良	ヘラ削り	剥離有
41回	951	2溝	466	瓦	平瓦	—	—	—	灰色	砂粒	良	表：布目	
41回	952	2溝	122	瓦	丸瓦	—	—	—	灰色	砂粒	良	—	
—	953	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	圓版欠
—	954	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	圓版欠
—	955	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	圓版欠
—	956	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	圓版欠
—	957	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	圓版欠
41回	958	2溝	149	瓦	丸瓦	—	—	—	明褐色	赤色粒子・雲母	良	裏：布目	
41回	959	2溝	332	瓦	平瓦	—	—	—	褐色	白色粒子・砂粒	良	繩目	
41回	960	2溝		瓦	丸瓦	—	—	—	明褐色	赤色粒子・雲母	良	裏：布目	
41回	961	2溝	980	瓦	平瓦	—	—	—	暗褐色	白色粒子・雲母	良	繩目	
41回	962	2溝	972	瓦	丸瓦	—	—	—	明褐色	赤色粒子	良	布目	
41回	963	2溝	209	瓦	平瓦	—	—	—	褐色	砂粒・雲母	良	表：布目・繩目	
—	964	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	圓版欠
—	965	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	圓版欠
—	966	2溝	実測不能			—	—	—	—	—	—	—	圓版欠

—	967	2溝	実測不能	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠	
—	968	2溝	実測不能	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠	
—	969	2溝	504	瓦	丸瓦	—	—	—	明褐色	赤色粒子	良	布目	図版欠		
—	970	2溝	実測不能	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠	
—	971	2溝	実測不能	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠	
—	972	2溝	実測不能	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠	
—	973	2溝	実測不能	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠	
—	974	2溝	実測不能	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	図版欠	
42図	975	2溝	須恵器	須恵器壺	—	—	—	灰色	白色粒子・小石混じり	良	内外面：ロクロナデ	—	—	—	
42図	976	2溝	151	須恵器壺？	—	—	—	明灰色	白色粒子	良	内外面：平行叩き目	—	—	—	
42図	977	2溝	1131	須恵器壺？	—	—	—	明灰色	白色粒子	良	外面：平行叩き目	—	—	—	
42図	978	2溝	須恵器壺？	須恵器壺？	—	—	—	青灰色	白色粒子	良	外面：平行叩き目、内面：同心円状當て具痕	—	—	—	
42図	979	2溝	307	須恵器壺？	—	—	—	青灰色	白色粒子	良	外面：平行叩き目、内面：同心円状當て具痕	—	—	—	
42図	980	2溝	464	須恵器壺？	—	—	—	灰色	白色粒子	良	外面：平行叩き目、内面：同心円状當て具痕	—	—	—	
42図	981	2溝	75	須恵器壺？	—	—	—	青灰色	白色粒子	良	外面：平行叩き目	—	—	—	
42図	982	2溝	775	須恵器壺？	—	—	—	青灰色	白色粒子・小石混じり	良	外面：平行叩き目	—	—	—	
42図	983	2溝	325	須恵器壺？	—	—	—	青灰色	白色粒子	良	外面：平行叩き目	—	—	—	
42図	984	2溝	310	須恵器壺？	—	—	—	灰色	白色粒子	良	外面：平行叩き目、内面：同心円状當て具痕	—	—	—	
42図	985	2溝	113	須恵器壺？	—	—	—	暗褐色	白色粒子	良	内外面：ロクロナデ	—	—	—	
42図	986	2溝	333	須恵器壺？	—	—	—	青灰色	白色粒子	良	外面：平行叩き目	—	—	—	
42図	987	2溝	782	中世陶器？	?	—	—	—	無色	白色粒子	良	外面：平行叩き目	—	—	—
42図	988	2溝	364	灰釉？	?	—	—	—	灰色	白色粒子	良	—	—	—	—
42図	989	2溝	1104	須恵器？	?	—	—	—	灰色	砂粒	良	外面：平行叩き目	—	—	—
42図	990	2溝	1045	須恵器？	?	—	—	—	青灰色	砂粒	良	外面：平行叩き目	—	—	—
42図	991	2溝	S-3	石器	石鎚	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
42図	992	2溝	—	青銅製品	縁金具	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
42図	993	2溝	—	土製品	土馬頭部	—	—	—	赤褐色	赤色粒子やや含	良	面取り有	—	—	—
42図	994	2溝	667	土製品	土馬脚部	—	—	—	赤褐色	赤色粒子やや含	良	—	—	—	—

3号溝出土遺物

(法量の単位はcm、—は計測不能、< >は推定値)

掲図 番号	遺物 番号	出土地点	注記番号	種別	器形	法量			色調	胎土	焼成	調整		備考
						口径	器高	底径				—	—	
44図	1	3溝	74	土師器	壺	<11.8>	3.9	—	赤褐色	赤色・白色・黒色粒子	良	外面：ヘラ削り	—	内外面：赤彩
44図	2	3溝	78	土師器	壺	<12.6>	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・ミガキ・ヘラ調整	—	内黒
44図	3	3溝	2・45	土師器	壺	<12.2>	<4.0>	—	暗褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・ミガキ	—	—
44図	4	3溝	75	土師器	壺	<13.8>	4.35	—	暗茶褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	—	—
44図	5	3溝	50	土師器	椀	<13.8>	—	—	外面：赤褐色、内面：黒色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	—	内黒
44図	6	3溝	40	土師器	壺	<13.2>	<3.7>	—	黄褐色	砂粒	良	—	—	内外面：赤彩の痕跡
44図	7	3溝	53	土師器	壺	<11.6>	4.0	—	暗褐色	砂粒	良	—	—	内黒
44図	8	3溝	52	土師器	壺	<12.4>	—	—	明褐色	赤色粒子	良	—	—	—
44図	9	3溝	125	土師器	壺	<13.8>	—	—	黑褐色	密	良	ヘラ削り	—	黒彩
44図	10	3溝	76	土師器	壺	<11.8>	3.8	—	外面：黄褐色・赤色塗彩、内面：内黒	赤色粒子	良	ヘラ削り	—	内黒、外面：赤彩
44図	11	3溝	61	土師器	壺	13.4	—	—	黄褐色	赤色粒子・石英	良	ヘラ削り	—	—
44図	12	3溝	63	土師器	壺	<13.6>	<3.1>	—	黄褐色	赤色粒子	良	—	—	—
44図	13	3溝	87・88	土師器	壺	<12.4>	<3.4>	—	内面：赤褐色、外側：暗褐色	赤色粒子	良	—	—	外面：黒彩か？
44図	14	3溝	27	土師器	蓋付壺	<11.6>	—	—	黄褐色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り	—	—
44図	15	3溝	117	土師器	壺	<14.0>	3.55	—	明褐色	赤色・黒色粒子・砂粒	良	外面：ロクロヘラ削り	—	—
44図	16	3溝	1	土師器	壺	<12.8>	—	—	橙色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り	—	—
44図	17	3溝	—	土師器	壺：内黒	<15.6>	—	—	内面：黒色、外側：茶褐色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒	良	内面：ミガキ、外面：ヘラ削り	—	内黒

44図	18	3溝	62	土師器	坏	13.4	3.5	—	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
44図	19	3溝	58	土師器	坏	〈13.0〉	—	—	褐色	赤色粒子・砂粒	良	内外面：黒彩	内外面：黒彩
44図	20	3溝	114	土師器	坏	〈12.8〉	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	指頭による調整痕	
44図	21	3溝	89	土師器	坏	〈12.0〉	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	内面：赤彩、外面：赤彩の痕跡 内面：赤彩、外面：赤彩の痕跡	
44図	22	3溝	110・V11-29	土師器	坏		—	—	黄褐色、内外面赤彩	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・指頭痕	赤彩
44図	23	3溝	18・41	土師器	坏	〈13.8〉	—	—	明褐色、内外面赤彩	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	赤彩
44図	24	3溝	68	土師器	坏	〈11.8〉	—	—	黄褐色、内外面赤彩	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	赤彩
44図	25	3溝	107	土師器	坏	〈12.0〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	赤彩
44図	26	3溝	90	土師器	坏	〈14.0〉	—	—	明褐色	密	良		赤彩
44図	27	3溝	66	土師器	坏	〈12.6〉	—	—	黒褐色	密	良	ヘラ削り、ミガキ	
44図	28	3溝	3	土師器	坏	〈12.0〉	—	—	暗褐色	砂粒	良	内面：ミガキ	
44図	29	3溝	122・V11G	土師器	坏	〈12.6〉	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	内黒
44図	30	3溝	83	土師器	坏	〈11.8〉	3.9	—	外面：褐色、内面：暗褐色	赤色粒子・砂粒	良		
44図	31	3溝	82	土師器	坏	〈13.7〉	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
44図	32	3溝	102	土師器	坏	〈13.4〉	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
44図	33	3溝	112	土師器	坏	〈14.6〉	—	—	褐色	赤色粒子・砂粒	良		内外面：黒彩の痕跡
44図	34	3溝	W11G	土師器	坏	〈11.4〉	—	—	黄褐色	赤色粒子	良		外面：赤彩
44図	35	3溝	103	土師器	坏	12.3	—	—	暗褐色	赤色粒子	良		
44図	36	3溝	124	土師器	坏	11.7	—	—	暗褐色	赤色粒子	良		
44図	37	3溝		土師器	坏	11.4	—	—	赤褐色	赤色粒子	良		赤彩
44図	38	3溝		土師器	坏	15.4	—	—	赤褐色	赤色粒子	良		赤彩
44図	39	3溝		土師器	坏	〈11.4〉	—	—	褐色	赤色粒子・砂粒	良		
44図	40	3溝		土師器	坏	〈14.8〉	—	—	暗褐色	赤色粒子	良		
44図	41	3溝		土師器	坏	〈14.6〉	—	—	暗褐色	赤色粒子	良		内外面：黒彩の痕跡
44図	42	3溝		土師器	坏	〈11.8〉	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良		外面：黒彩か？
44図	43	3溝	80	土師器	S字甕	〈12.2〉	—	—	赤褐色	赤色粒子・金雲母	良	内面：ハケメ不明瞭、外面：ハケメ	
44図	44	3溝	95	土師器	S字甕		—	—	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	ハケメ	
44図	45	3溝	26	土師器	S字甕	〈14.2〉	—	—	暗褐色	金雲母	良		
44図	46	3溝	94	土師器	台付甕	—	—	〈6.2〉	明褐色	赤色粒子・石英	良	外面：ハケメ、内面：ヘラ削り	脚部
44図	47	3溝	120	土師器	台付甕	—	—	—	赤褐色	石英	良	内外面：ハケメ	
44図	48	3溝	19	土師器	壺？	—	—	〈7.4〉	明褐色	砂粒	良	内面：ミガキ	内外面：赤彩
44図	49	3溝	86	土師器	台付甕	—	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	外面：ハケメ、内面：ヘラ調整痕	
44図	50	3溝	99	土師器	台付甕	—	—	—	褐色	密	良	内面：ミガキ・ハケメ、外面：ハケメ	脚部
44図	51	3溝	96	土師器	高坏	—	—	—	明黄褐色	やや粗：長石・石英	良		3ヶ所に穿孔
44図	52	3溝	97	土師器	高坏	—	—	—	明褐色	赤色粒子やや	良	外面：ヘラミガキ、内面：ヘラ調整	
44図	53	3溝	70	土師器	高坏	—	—	〈8.9〉	黒褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り・ハケメ	
44図	54	3溝	84	土師器	高坏	—	—	〈9.0〉	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	ハケメ・ヘラ削り	
44図	55	3溝	108	土師器	坏？	〈17.9〉	—	—	外面：黄褐色、内面：黒色	赤色粒子	良	ヘラ削り	内黒
44図	56	3溝	57	土師器	壙	〈15.9〉	—	—	明褐色	赤色・白色粒子	良	ハケメ	

弥生集中区遺物

捕団番号	遺物番号	出土地点	注記番号	種別	器形	法量			色調	胎土	焼成	調整	備考
						口径	器高	底径					
46図	1	弥生集中	59・62・63・64・U26-19	土師器	壺	〈19.2〉	—	—	赤褐色	密	良	内外面：ハケメ	
46図	2	弥生集中	17	土師器	壺		5.5	—	赤褐色	赤色粒子	良	内面：ハケメ・ミガキ	
46図	3	弥生集中	73	土師器	壺	16.0	—	—	赤褐色	赤色粒子・石英	良		
46図	4	弥生集中	117	土師器	壺	14.4	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒・石英	良		
46図	5	弥生集中	W26-32	土師器	壺	〈23.6〉	—	—	褐色	石英・雲母	良	内外に赤彩、ヘラミガキ不明瞭	内外面：赤彩、折り返し口縁
46図	6	弥生集中	145	土師器	壺	〈18.0〉	—	—	明褐色	やや粗：白色粒子多数	良	内面：ヘラミガキ	

46図	7	弥生集中	U28-18・19	土師器	壺	—	—	—	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	ミガキ・ハケメ	
46図	8	弥生集中	125	土師器	壺	—	—	—	赤褐色	白色粒子多数含	良	外面：縄文	赤彩
46図	9	弥生集中	U26-3	土師器	壺	—	—	—	暗褐色	金色粒子	良	内外面：ハケメ	
46図	10	弥生集中	48・37・69・123・V26-22・W27-5	土師器	壺	〈15.6〉	—	—	明褐色	黑色・白色粒子・砂粒	良	内面・口縁部：ヘラ削り不明瞭・ハケメ・ナデ・外面口縁部：ハケメ・胴部：ヘラ削り不明瞭	
46図	11		V27-12	土師器	壺	—	残5.8	—	灰褐色、内側：暗褐色	赤色粒子	良	内面：ミガキ、外面：ナデ	
46図	12	弥生集中	U27-15	土師器	壺	—	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	内外面：ハケメ	
46図	13	弥生集中	U25-25・13・14・V25-8	土師器	壺	—	—	—	赤褐色	白色粒子	良	外面：縄文・ハケメ	
46図	14	弥生集中	V26-8・9	土師器	壺	—	—	—	赤褐色	石英	良	内面：ハケメ・外面：ミガキ	
46図	15	弥生集中	123・140	土師器	壺	—	—	—	明褐色	白色粒子	良	内外面：ハケメ	
46図	16	弥生集中	53・93	土師器	壺	—	—	—	明褐色	白色粒子	良	内外面：ハケメ	
46図	17		V26-12	土師器	壺	—	—	—	黄褐色	密	良	外面：鉢状貼付文	
46図	18	弥生集中	12	土師器	壺	—	—	—	暗褐色	白色粒子	良	内外面：ハケメ	
46図	19	弥生集中	99	土師器	壺	—	—	—	明褐色	白色粒子	良	内外面：ハケメ	
46図	20	弥生集中	U26-29	土師器	壺	—	—	—	明褐色	白色粒子	良	内外面：ハケメ	
46図	21	弥生集中	29・32	土師器	壺	—	—	—	明褐色	白色粒子多数含	良	内外面：ハケメ	
46図	22	弥生集中	U25-25	土師器	壺？	—	—	—	褐色	白色粒子・雲母	良	外面：ハケ調整後ミガキ、内面：ハケメ	
46図	23	弥生集中	106	土師器	壺	—	—	—	褐色	白色粒子多数含	良	外面：ミガキ、内面：ヘラナデ	
46図	24	弥生集中	31・18・83・84 85・V27G	土師器	台付甕	14.0	18.5	6.9	黄褐色	赤色粒子・砂粒・石英	良	内外面にハケメ	
46図	25	弥生集中	V26-11	土師器	甕	〈18.2〉	—	—	橙色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒・石英	良	内面：ヘラ削り、口唇部：刻み文、口縁部：ハケメ	
46図	26	弥生集中	U26-20	土師器	壺	〈14.8〉	—	—	明褐色	密	良	内外面：ハケメ、口唇部刻み文	
46図	27	弥生集中	V27-7・W26-34	土師器	甕	〈14.6〉	—	—	赤黄褐色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒	良	口唇部に刻み文、外面：かすかにハケメ	
46図	28	弥生集中	3	土師器	甕	〈17.0〉	—	—	赤褐色+黄褐色	白色粒子やや	良	内外面：ハケメ	
46図	29	弥生集中	83	土師器	甕	〈26.0〉	—	—	明褐色	白色粒子・砂粒	良	内面：ハケメ、口唇部：刻み文、外面口縁部：ハケメ	
47図	30	弥生集中	V27-7	土師器	甕	〈19.4〉	—	—	暗褐色	やや粗：白色粒子	良	口唇部：刻み文、外面：ハケメ、内面：ヘラ削り	
47図	31	弥生集中	U26-5	土師器	甕	22.0	—	—	黄褐色	赤色粒子	良	ハケメ	
47図	32	弥生集中	44	土師器	甕	〈16.8〉	—	—	明褐色	白色粒子やや	良	口唇部：刻み文、内外面：ハケメ	
47図	33	弥生集中	V25-15	土師器	甕	〈13.8〉	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	ハケメ	
47図	34	弥生集中	W26-19	土師器	甕	—	—	—	褐色	白色粒子・石英	良	内外面：ハケメ	
47図	35	弥生集中	68	土師器	甕	—	—	—	明褐色	白色粒子	良	内外：ハケメ、口唇部：刻み文	
47図	36	弥生集中	90	土師器	甕	—	—	—	明褐色	白色粒子・石英	良	外面：ハケメ、口唇部：刻み文	
47図	37	弥生集中	26	土師器	甕	—	—	—	明褐色	白色粒子	良	内外面：ハケメ、口縁部：ハケ条工具による刻み文	
47図	38	弥生集中	W26-12	土師器	甕	—	—	—	暗褐色	白色粒子	良	口唇部：刻み文	
47図	39	弥生集中	1・115・126?	土師器	甕	—	—	—	明褐色	白色粒子	良	内外面：ハケメ	
47図	40	弥生集中	U27-12	土師器	甕	—	—	—	暗褐色	白色粒子	良	外面：ハケメ、内面：ナデ	
47図	41	弥生集中	41・67・135・21	土師器	甕	—	—	—	明褐色	白色粒子やや含	良	内外面：ハケメ	
47図	42	弥生集中	132	土師器	甕	—	—	—	赤褐色	白色粒子やや含	良	内外面：ハケメ	
47図	43	弥生集中	U27-9	土師器	甕	—	—	—	黄褐色	白色粒子・砂粒	良	外面：ハケメ	
47図	44	弥生集中	27	土師器	甕	—	—	—	褐色	白色粒子・砂粒	良	内外面：ハケメ	
47図	45	弥生集中	91	土師器	甕	—	—	—	赤褐色	白色粒子多数含	良	外面：ハケメ	
47図	46	弥生集中	V27-2	土師器	甕	—	—	—	黄褐色	白色粒子やや含	良	外面：ハケメ	
47図	47	弥生集中	V26-21	土師器	甕	—	—	—	明褐色	長石・石英	良	外面：ハケメ	
47図	48	弥生集中	56	土師器	甕	—	—	—	明褐色	白色粒子	良	外面：ハケメ	
47図	49	弥生集中	30	土師器	甕	—	—	—	暗褐色	白色粒子	良	外面：ハケメ	
47図	50	弥生集中	V25-13	土師器	甕	—	—	—	暗褐色	長石・石英	良	外面：ハケメ	
47図	51	弥生集中	U26-22	土師器	甕	—	—	—	褐色	白色粒子多数含	良	外面：ハケメ	
47図	52	弥生集中	V25-12	土師器	甕	—	—	—	明褐色	白色粒子多数含	良	内外面：ハケメ	
47図	53	弥生集中	W26-28	土師器	台付甕	—	—	〈9.4〉	黄褐色+赤褐色	白色粒子	良	外面：ハケメ、内面：胴部にハケメ・脚部にヘラ調整	
47図	54	弥生集中	71	土師器	台付甕	—	—	—	茶褐色	白色・黒色粒子・砂粒・石英	良	外面：指頭による調整か？	
47図	55	弥生集中	V25-3	土師器	台付甕	—	—	〈9.0〉	赤褐色	白色粒子やや	良	内外面：ハケメ	

47図	57	弥生集中	U25-20	土師器	台付甕	—	—	—	内面：黒褐色、外面：茶褐色	石英・長石・砂粒	良	外面：ハケメ不明瞭、内面：ざらざらしている	
47図	58	弥生集中	U25-19	土師器	台付甕	—	—	—	茶褐色	白色・赤色・黒色粒子・砂粒	良	外面：指で調整後ヘラ削り・ハケメ、脚部内面：ハケメ	
47図	59	弥生集中	U25-18	土師器	台付甕	—	—	—	褐色	やや粗：白色粒子	良	外面：ヘラ調整	
47図	60	弥生集中	U26-9	土師器	壺	—	—	3.6	赤褐色	白色粒子・砂粒	良	内面：ヘラ削り不明瞭、外面：ヘラ削り・指頭痕	内外面：赤彩
47図	61	弥生集中	2	土師器	高坏	—	—	<10.0>	褐色	石英	良	外面：ヘラミガキ、内面：ハケメ	赤彩
47図	62	弥生集中	101	土師器	高坏	—	—	—	黄褐色	やや粗：白色粒子	良		穿孔有
47図	63	弥生集中	W26-33	土師器	高坏	—	<3.2>	—	明褐色	赤色粒子・砂粒	良		
47図	64	弥生集中	V26-1	土師器	高坏	—	—	—	赤褐色	砂粒	良	内外面：ハケメ	
47図	65	弥生集中	28・33・34・36・40・45・46・47・51・58・109・110・113・114・136	土師器	甕	23.0	—	—	暗褐色	密	良	外面上部：ハケメ、口唇部：刻み文、内外面：ミガキ	
47図	66	弥生集中	104	土師器	壺	<13.0>	—	—	赤褐色	白色粒子やや	良	外面：ハケメ、内面：ヘラ削り	
47図	67	弥生集中	W25-6	土師器	S字甕	<18.4>	—	—	黄褐色	やや粗：白色粒子多数	良	口縁部：刻み文、外面：縦横にハケメ、内面：ハケメ	
47図	68	弥生集中	V26-15	土師器	S字甕	<16.0>	—	—	黄褐色	赤色粒子やや	良	内外面：ハケメ、口縁部：ハケによる刻み文	
47図	69	弥生集中	V28-2	土師器	甕	—	—	—	黄褐色	赤色粒子・砂粒・石英	良	ハケメ	
47図	70	弥生集中	103	土師器	S字甕	<15.8>	—	—	明褐色	白色粒子	良	内面：ハケメ	
47図	71	弥生集中	W26-8	土師器	甕	—	—	—	黄褐色	白色粒子・雲母	良	外面：ハケメ	
47図	72	弥生集中	W26-4	土師器	甕	—	—	—	暗褐色	白色粒子	良	外面：ハケメ	
47図	73	弥生集中	U25-9	土師器	甕	—	<5.4>	4.2	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良		底部：8穴、内面：7穴
47図	74	弥生集中	V26-24	土師器	甕	—	—	4.8	赤褐色	赤色粒子・石英	良	ハケメ	
47図	75	弥生集中	4	土師器	甕	—	—	4.4	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良		
48図	76	弥生集中	U26-8	土師器	壺	—	—	<6.5>	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	ヘラ削り	
48図	77	弥生集中	89	土師器	壺	—	—	6.0	赤褐色	赤色粒子・石英・長石	良	指頭痕	
48図	78	弥生集中	W27-4	土師器	壺	—	—	<7.0>	明褐色	やや粗：石英	良	外面：ヘラ調整・底部：木葉痕	
48図	79	弥生集中	V26-6	土師器	壺	—	—	<8.0>	明褐色	やや粗：長石・石英	良	外面：ミガキ、内面：ヘラ削り？	
48図	80	弥生集中	V26-29	土師器	壺	—	—	<6.8>	暗褐色	やや粗：白色粒子	良	内外面にハケメ、底部：木葉痕	
48図	81	弥生集中	79	土師器	壺	—	—	5.2	赤褐色	赤色粒子・石英	良	指頭痕	
48図	82	弥生集中	U27-16	土師器	壺	—	—	6.6	赤褐色	赤色粒子・石英・砂粒	良	ハケメ	
48図	83	弥生集中	U28-19	土師器	壺	—	—	<12.0>	明褐色	やや粗：白色粒子多数	良		
48図	84		V25-11	土師器	壺	—	残1.7	5.8	赤褐色	赤色粒子	良	ハケメ	
48図	85	弥生集中	U27-5	土師器	壺	—	—	4.6	赤褐色	赤色粒子・金雲母	良	内外面：ハケメ	
48図	86	弥生集中	U26-24	土師器	壺	—	<2.8>	6.0	暗褐色	赤色粒子・石英	良		
48図	87	弥生集中	W26-24・25・26・V26-3	土師器	甕	—	—	<9.0>	内面：橙色、外面：黄褐色	白色・黑色粒子・砂粒	良	内面：ミガキ、見込み付近：ハケメ、外面：ミガキ不明瞭	
48図	88	弥生集中	76	土師器	甕	—	残7.7	6.1	暗褐色	赤色粒子	良	上部にナデ、下部にハケメ	
48図	89	弥生集中	144・138	土師器	甕	—	<3.6>	6.8	外面：暗褐色、内面：明褐色	赤色粒子・砂粒	良		
48図	90	弥生集中	V26-25	土師器	甕	—	—	<7.2>	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒・石英	良	ハケメ不明瞭、指頭痕	
48図	91	弥生集中	74	土師器	甕	—	<3.0>	5.0	明褐色	赤色粒子・砂粒	良		
48図	92	弥生集中	130	土師器	甕	—	—	6.0	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒・石英	良	ヘラ削り不明瞭、指頭痕	
48図	93	弥生集中	70	土師器	甕	—	—	7.8	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	外面：ハケメ、見込みに調整、底部：木葉痕	
48図	94	弥生集中	U28-1	土師器	甕	—	—	4.4	赤褐色	赤色粒子	良	見込み部：ヘラ削り	
48図	95		U27-14	土師器	甕	—	残2.9	8.4	黄褐色	赤色粒子	良		
48図	96	弥生集中	W26-10	土師器	甕	—	—	7.2	暗褐色	赤色粒子	良		
48図	97	弥生集中	V26-13	土師器	甕	—	—	<7.4>	黒茶褐色	白色粒子・砂粒	良	内面：ナデ・ハケメ、見込み：ナデ・指頭痕、外面：ハケメ、底部：木葉痕	
48図	98	弥生集中	60	土師器	甕	—	—	8.4	黄褐色	赤色粒子・石英・砂粒	良	ハケメ	
48図	99	弥生集中	U26-26	土師器	甕	—	—	5.6	赤褐色	赤色粒子・石英・長石	良		
48図	100	弥生集中	49・52	土師器	甕	—	—	<8.9>	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒・石英	良	外面：ハケメ不明瞭、輪積痕	
48図	101	弥生集中	U26-17	土師器	甕	—	—	<8.0>	明褐色	赤色・白色粒子・石英	良	外面：ハケメ不明瞭	
48図	102	弥生集中	50	土師器	甕	—	残2.4	7.9	暗褐色	赤色粒子	良		
48図	103	弥生集中	7	土師器	甕	—	<2.2>	<6.6>	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良		

48図	104	弥生集中	35	土師器	甕	—	<2.5>	7.0	明褐色	赤色粒子・石英	良		
48図	105		U25-17	土師器	甕	—	残3.1	7.7	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り・ハケメ	

遺構外出土遺物

検出番号	遺物番号	出土地点	注記番号	種別	器形	法量			色調	胎土	焼成	調整	備考
						口径	器高	底径					
49図	1	K7	2	土師器	壺	—	—	—	暗褐色	砂粒	良	内面：ミガキ	
49図	2	R9	21	土師器	壺	<16.6>	—	—	茶褐色	白色・黒色粒子・石英・雲母	良	内面：ヘラミガキ不明瞭、外面：ハケメ	
49図	3	V20	2	土師器	壺	13.0	—	—	明褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
49図	4	W22	8	土師器	壺	<21.8>	—	—	明褐色	赤色粒子	良	内面：ハケ調整	
49図	5	V15	6	土師器	壺	—	—	—	明褐色	白色粒子多数含	良		
49図	6	W22	7	土師器	壺？	23.2	—	—	赤褐色	白色粒子	良	内外面：ハケメ	
49図	7	L6	3	土師器	甕	13.0	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良		
49図	8	G4	3	土師器	甕	<19.4>	—	—	内面：茶褐色、外面：暗茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒・石英	良	内面：ヘラミガキ、外面：ハケメ不明瞭、口唇部：刻み	
49図	9	L6	1	土師器	甕	<13.6>	—	—	外面：暗褐色、内面：黄褐色	白色粒子やや含	良	内外面：ハケメ	
49図	10	Q9	5	土師器	小型甕	<8.4>	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒	良	内外面：ミガキ、口唇部：ハケ状工具による刻み	
49図	11	L6	2	土師器	小型甕	<9.0>	—	—	暗褐色	白色粒子やや含	良	内面：ミガキ、外面：ハケメ	
49図	12	O-7	2	土師器	小型甕	8.2 < 3.1>	—	0	赤色粒子	良			
49図	13	W21	6	土師器	高坏	<13.8>	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子・石英・金雲母	良	ハケメやや不明瞭	
49図	14	W20	1	土師器	甕	—	—	11.4	黄褐色	白色粒子多数含	良	外面：ハケメ、底部：木葉痕	
49図	15	S10	53	土師器	甕	—	—	—	灰褐色	石英・長石	良		
49図	16	S10	51	土師器	甕	—	—	—			良		
49図	17	T10	4	土師器	甕	—	—	—	外面：赤褐色、内面：黒褐色	石英	良	内外面：ハケメ	
49図	18	T10		土師器	甕	—	—	—	暗褐色	砂粒	良	内外面：ハケメ	
49図	19	V15	8	土師器	S字甕	<15.6>	—	—	明黄褐色	白色・黒色粒子・砂粒	良	内面：ナデ、外面：ハケメ	
49図	20	S9		土師器	台付甕	—	—	—	黄褐色	砂粒	良		
49図	21	S9		土師器	S字甕	—	—	—	灰褐色	赤色・白色粒子・金雲母	良		
49図	22	W22	11	土師器	S字甕	<15.4>	—	—	暗褐色	赤色・白色粒子・石英・金雲母	良		
49図	23	T10	18	土師器	S字甕	<19.6>	—	—	明褐色	赤色・白色粒子・金雲母	良	ハケメ	
49図	24	O-8	5	土師器	S字甕	11.4 <2.9>	—	—	明褐色	赤色粒子・金雲母	良		
49図	25	T10	17	土師器	高坏	—	残4.7	9.7	明褐色	赤色粒子	良	内外面：ハケメ	
49図	26	W22	9	土師器	台付甕	—	—	8.0	明褐色	白色粒子	良	内外面：ハケメ	
49図	27	V23	3	土師器	高坏	—	—	<7.8>	外面：明褐色、内面：茶褐色	赤色・白色・黒色粒子・金雲母・石英	良	脚部内面：ナデ、脚部外面：ハケメ、内面：削り	
49図	28	S10	25	土師器	台付甕	—	—	<9.2>	茶褐色	黑色粒子・長石・雲母	良	脚部内面：ナデ、脚部外面：ハケメ	
49図	29	T10		土師器	台付甕	—	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒・石英	良	ハケメ・指頭痕	
49図	30	S10	6	土師器	台付甕	—	—	—	暗褐色	赤色粒子・砂粒・石英	良	ハケメ	
49図	31	W20	2	土師器	高坏	—	—	—	茶褐色	赤色・白色粒子・砂粒・石英	良		穿孔：貫通せず
49図	32	V19	3	土師器	坏	12.8	—	—	黄褐色	金雲母	良		
49図	33	K6	1	土師器	坏	<12.8>	3.2	—	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り	
49図	34	R9・Q9	R9-19・26・Q9-2	土師器	坏	<12.2>	3.7	—	黄褐色	赤色・白色・黒色粒子・砂粒	良	外面：ヘラ削り	
49図	35	Q9	24	土師器	坏	<12.6>	<4.0>	—	暗褐色	赤色粒子	良		内黒
49図	36	Q9	21	土師器	坏	<13.0>	—	—	明褐色	赤色粒子	良	外面：ヘラ削り	
49図	37	V11	15	土師器	坏	15.2	—	—	黄褐色	赤色粒子	良		
49図	38	V22	4	土師器	壺？	<22.0>	—	—	赤褐色	赤色・白色粒子・金雲母	良	内外面：ハケメ	
49図	39	V22	2	土師器	壺	<11.8>	—	—	赤褐色	赤色粒子・金雲母・石英・小石	良	内面：ヘラ削り・外面：ハケメ不明瞭	
49図	40	Q9	22	土師器	甕？	<17.6>	—	—	灰褐色	金雲母	良		
49図	41	I-5		土師器	甕	<15.8>	—	—	明褐色	赤色・白色粒子・金雲母	良	ヘラ削り	
49図	42	R9	1	土師器	甕	17.2	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	ハケメ	
49図	43	V11	44	土師器	壺	—	—	—	黄褐色	小石・石英・砂粒	良		

49図	44	W21	6	土師器	高坏?	<13.8>	—	—	黄褐色	赤色・白色粒子・石英・砂粒	良	ハケメやや不明瞭	
49図	45	Q9	23	土師器	甕	<15.8>	—	—	明褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	内外面:ハケメ不明瞭	
50図	46	R9	25	土師器	壺	—	—	7.0	赤褐色 内面:黒褐色	赤色粒子・金雲母・石英	良	木葉痕	
50図	47	W20	5	土師器	甕	—	—		赤褐色	赤色粒子	良	ヘラ削り	
50図	48	V19	5	土師器	甕	—	—	6.0	褐色	白色粒子	良	内外面:ハケメ	底部に穿孔
50図	49	W20	1	土師器	甕	—	<6.9>	10.2	黄褐色	赤色粒子	良	内面:ハケメ	
50図	50	V11	11	土師器	坏	<12.0>	4.0	8.2	明褐色	赤色粒子やや含	良	外面:ヘラ削り、底部:糸切り後ヘラ削り	
50図	51	V11	47	土師器	坏	11.2	4.7	8.0	暗褐色	赤色粒子	良	暗文	
50図	52	V11	17	土師器	坏	12.4	4.55	8.3	暗褐色	赤色粒子	良	外面:ヘラ削り	
50図	53	V11	20	土師器	坏	11.8	—	—	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良		
50図	54	V11		土師器	坏	12.8	5.2	7.8	明褐色	赤色粒子	良	底部:ヘラ調整	
50図	55	V10	5	土師器	坏	—	—	8.0	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ヘラ削り	
50図	56	R9	5	土師器	坏	11.0	4.5	5.6	赤褐色	赤色粒子	良	外面:回転ナデ・ヘラ削り、内面:暗文、底部:糸切り痕・ヘラ削り	
50図	57	P8	30	土師器	坏	—	—	<6.0>	黄褐色	赤色粒子	良		
50図	58	P8	29	土師器	坏	<11.6>	4.0	<5.0>	赤褐色	赤色粒子	良	内面:暗文不明瞭、外面:ヘラ削り	
50図	59	V11	21	土師器	坏	—	<2.3>	7.8	明褐色	赤色粒子	良	外面:ヘラ削り	
50図	60	R9	28	土師器	坏	13.0	4.1	3.6	赤褐色	赤色粒子	良	暗文・ハケメ	
50図	61	P8	27	土師器	坏	—	—	6.2	黄褐色	赤色粒子・砂粒	良	内面:暗文、外面:ヘラ削り	
50図	62	V11	45	土師器	坏	13.4	—	—	暗褐色	赤色粒子	良		
50図	63	S10	64	土師器	坏	<11.8>	—	—	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	外面:暗文・ヘラ削り	
50図	64	J6	3	土師器	坏	—	残1.4	5.6	明褐色	赤色粒子	良	底部糸切り痕	
50図	65	J6	5	土師器	高台坏?	—	—	<9.2>	明褐色	緻密	良	底部糸切り痕	
50図	66	S10	27	土師器	皿	—	—	<8.0>	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良	見込み:暗文、底部:糸切り後ヘラ調整、削り出し高台	
50図	67		S9-8・S10-24	土師器	皿	15.6	2.5	7.0	赤褐色	赤色粒子やや含	良		
50図	68	L7	3	土師器	皿	—	—	5.4	赤褐色	赤色粒子・砂粒	良		
50図	69	T9	6・12	土師器	蓋	19.0	4.2		暗褐色	赤色粒子やや含	良		
50図	70	S9	5	土師器	蓋	—	—		暗褐色	赤色粒子・砂粒	良		
50図	71	U27	2	土師器	蓋	<15.8>	—	—	橙色	赤色・白色粒子	良	内外面:暗文	
50図	72	T9	10・11・17	土師器	高台鉢	<19.2>	8.0	<9.2>	赤褐色	赤色粒子	良	内面:暗文、外面:回転ヘラ削り	内黒
50図	73	T9	9・10	土師器	高台坏	<16.6>	6.2	8.0	赤褐色	赤色粒子	良	内面:暗文	
50図	74	T10	22・27・28・29・31・33・37・38	土師器	坏	16.5	7.4	7.9	赤褐色	赤色粒子	良	外面:ヘラ削り・ロクロ調整、底部:糸切り後ヘラ調整	
50図	75	T10	15	土師器	碗	17.6	—	—	赤褐色	赤色・白色粒子・砂粒	良	暗文	
50図	76	M7	2	土師器	壺	<15.6>	—	—	褐色	赤色粒子・砂粒	良		
50図	77	U11	5	土師器	鉢?	<16.8>	—	—	赤褐色	赤色粒子含	良		
50図	78	P8	28	土師器	甕	<10.8>	—	—	暗褐色	赤色粒子	良	内面:ヘラ削り不明瞭	
50図	79	V11	7	土師器	甕	<14.8>	—	—	茶褐色	白色粒子・雲母・石英	良	内外面:ハケメ不明瞭	
50図	80	S10	16	土師器	甕	—	—	<7.2>	暗褐色	金雲母・石英	良	内外面:ハケメ、底部:木葉痕	
50図	81	S9	1・3	土師器	甕	—	—	8.4	暗褐色	金雲母	良	外面:ハケメ、内面:ヘラ削り、底部:木葉痕	
51図	82	S10	1	土師器	甕	—	—	<9.0>	暗褐色	金雲母・石英	良	底部:木葉痕	
51図	83	S10	5	土師器	甕	—	—	<6.4>	暗褐色	金雲母	良	内外面:ハケメ	
51図	84	V11	18・28	土師器	甕	—	—	—	暗褐色	金雲母	良	内外面:ハケメ	
51図	85	O-8		土師器	高坏	—	—	—	赤褐色	赤色粒子	良	外面:ヘラ削り	
51図	86	O-7	15	土師器	坏	<9.6>	3.5	<5.0>	赤褐色	赤色粒子	良		
51図	87	I-5		須恵器	長頸壺?	—	—	<6.2>	灰色	白色粒子	良		
51図	88	U27	13	瓦	平瓦	—	—	—	青灰色	緻密	良	布目	
51図	89	S9	20	瓦	平瓦	—	—	—	—	—	良		
51図	90	S10	29	瓦	平瓦	—	—	—	—	—	良		
51図	91	S9	9	瓦	平瓦	—	—	—	—	—	良		
51図	92	J6	2	瓦	丸瓦	—	—	—	明褐色	白色粒子・金雲母	良	布目	
51図	93	K7	1	瓦	丸瓦	—	—	—	明褐色	赤色粒子・金雲母	良		
51図	94	K5	1	青磁	—	—	—	—	—	—	—	—	
51図	95	M7	5	青磁	—	—	—	—	—	—	—	—	
51図	96	C3	S1	石器	打製 石斧	—	—	—	—	—	—	—	

第4章 調査の成果と課題

以上、今回の調査の概要を示したが、調査面積が少なくしかも「ウナギの寝床」のような調査状況、さらには事前に非常に多くの遺物が細片となって表面採取されたことから遺構はすでに削平されていることが予想されたことなど、条件は決してよいとは言えないものであったが、その割りに豊富な遺構と遺物が得られた。これらの成果や課題についてここでまとめておきたい。

今回の調査では、縄文時代と思われる石鏃と多孔石が確認されているが、これが最古の居住の痕跡である。

弥生時代末～古墳時代初期の遺物が集中して出土しており、該期の生活の一端が確認された。今回の報告では提示できなかったが、口縁部～頸部に波状文・簾状文を施した弥生時代後期の箱清水式の小破片が確認されている。その他の資料は終末期～古墳時代初期に位置づけられるもので、東海東部～西相模、東海西部、さらには中部高地などの諸地域の資料が入り交じって確認された。甲府盆地の他遺跡の例をみても、このような状況がこの地域の特徴といえるものである。しかし、このように捉えられるとするなら、この地域独特の土器なり他の要素なりとは一体どのようなものなのであろうか。大まかに言えば、本県への文化的所要素は、東から関東の、南から東海の、北西から中部高地の3つの流入経路が存在するのである。これは縄文時代から存在するルートであり、何も該期に限ったことではないが、甲府盆地は、例えば縄文時代中期では中部高地的色彩が強く、後期以降には関東的色彩が濃くなり、さらに晩期前半では県内東部を中心とする勢力が県内だけではなく関東や東海にも拡大する状況がみてとれる。つまりは時期毎の“いろ”が比較的鮮明なのである。しかし、どうもこの時期はそのような状況ではなく、混沌とした状況であるということになるらしい。本遺跡で今回確認された資料は口唇に櫛歯状工具の刺突を施したものが多く見受けられるが、甲府盆地内だけでも遺跡毎で土器の様相に違いがあるようである。この時期にはこれらのうちのどの勢力下に入っているのか、あるいは本県内もしくは甲府盆地でのみ3者が微妙なバランスを保っているのか、さらには在地と呼べる資料が存在するのかしないのか、するとすればどのようなものなのかなど、今後の課題は多い。

古墳時代中期の資料はまさに思いがけないものであった。遺物の集中状況から、最終的に遺構が確認されることもあって、遺構の残存状況は決してよくはないが、ともかくこの時期の資料は県内では非常に少なく、蓄積がなにより求められている中での確認という意味で思いがけない成果といえる。この資料が発見されたのが溝であったこともある、高壙が多くを占める。“供献”状況を示しているものと思われ、方形周溝墓の可能性も考えられるが、ごく一部の調査であるため可能性にとどめざるを得ない。

同後期は住居跡と溝とが確認された。いずれも同時期の遺構であり、出土遺物から6世紀末頃に位置づけられる。本遺跡の後背（北側）には東に大蔵経寺山、西に八人山が控える。周知のごとく、大蔵経寺山の南西斜面と八人山の南東斜面には横根・桜井積石塚古墳群が分布し、143基が現存している。これらの古墳群は7世紀代が主体であるが、確実に6世紀代から築造が始まっているとされている。本遺跡はまさにこれらの古墳群に挟まれた地域に位置し、時期的にも合致することから、必然的にこれらとの関連を想定することとなろう。これまで、この地域（甲府～石和～春日居）の山裾、あるいはそれに近い地域でこの時期の集落が確認された例としては、大蔵経寺山の南西斜面に位置する桜井積石塚古墳群よりさらに東の石和町松本塚の越遺跡が挙げられるだけである。既に消滅した古墳の数を想定すれば、横根・桜井積石塚古墳群としては最盛期には1千基もの存在さえ指摘されている事からすれば、被葬者であれ労働力であれ、この地域に大規模な集落が存在したはずであるが、これまでの確認は意外なことに前述の例だけである。笛吹川を越えた御坂町内には二之宮遺跡・姥塚遺跡など該期の大規模集落が確認されているが、それらはむしろ姥塚古墳を初めとする金川流域古墳群との関連が指摘されている。また、甲府市北西部に位置する榎田遺跡でも、一部の調査であるにもかかわらず同時期の集落が濃い密度で確認されているが、その周辺は加牟那塚古墳をはじめ、千塚の名称が示すように6世紀後半以降の古墳の密集域として知られている。このように、古墳群分布域の周辺には同時期の集落が必ず存

在している。横根・桜井積石塚古墳群を考えれば、やはり現在の中央本線に沿った部分での該期集落の存在が最も可能性が高いものと思われるが、本遺跡は横根・桜井積石塚古墳群の喉元ともいえる位置に存在する訳であり、その意味からも今回の住居跡や溝の確認は意義深いものと考える。

2号溝および2号井戸跡、さらには遺構外から甲斐型土器が多量に出土し、その中にはこれまで類例の少なかったものも多数含まれ、多くの成果を上げることができた。これまで述べてきた資料を元に作成した編年図が第52図である。なお、52図は2号溝を中心に2号井戸跡、グリッド資料を加えて作成したものであるが、番号はそれぞれの図面番号と固有番号を意味するもので、本文中の番号と一致する。

甲斐型編年のV期に位置づけられるものは確認できなかったが、遺構外出土遺物中にVI期に遡ると思われる資料がある。50-50・51・52がそれにあたり、底部には中心部に糸切り痕が残り、周辺部はヘラ削りを行っている。みこみ部と体部の境には一条の深い磨きを施し、明確に体部と底部を区分けするものである。本来暗文はみこみ部・体部ともに存在するはずであるが、ここに提示した資料には少なくともみこみ部にはみられない。外面は横方向の磨きもしくは斜めの削りが施されている。

みこみ部と体部を明確に区分けする意識は次のVII期に引き継がれる。2号溝では破片資料も含めれば25点が確認されている。この時期の底面の処理は皆一様であり、中心部にのみ糸切り痕が残りその周辺をヘラ削りするものである。みこみ部の暗文も一般的であるが、壺や皿ではそれがみられないものもある。そしてこの時期までの壺や皿はとにかく造りが丁寧な印象が強く、小破片であっても見分けが可能なほどである。

VIII期にはみこみ部の暗文は消失するが、みこみ部と体部の区分けを意識した境の磨きが残存するものもある。また、言われているように口径と底径が、みごとに2:1になっている。

IX期には前段階の口径と底径比がくずれる。このことは、体部の立ち上がりの角度がより緩やかになることを示しており、VI期からの一連の傾向として捉えられるものである。なお、立ち上がりの角度はこの時期以降それほど変わらない。

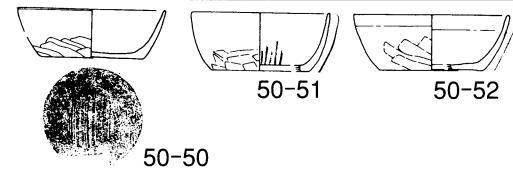
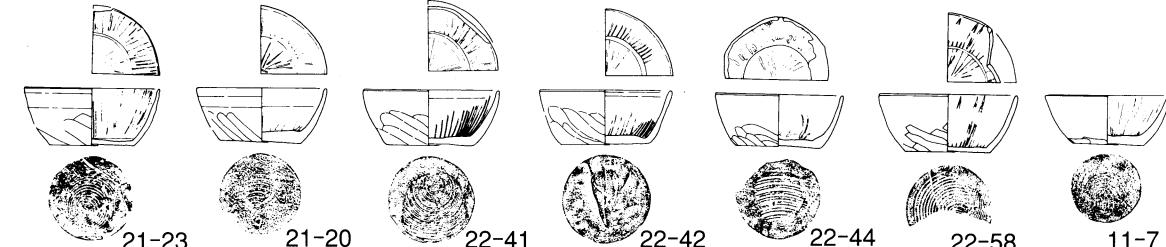
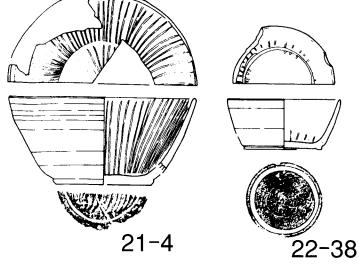
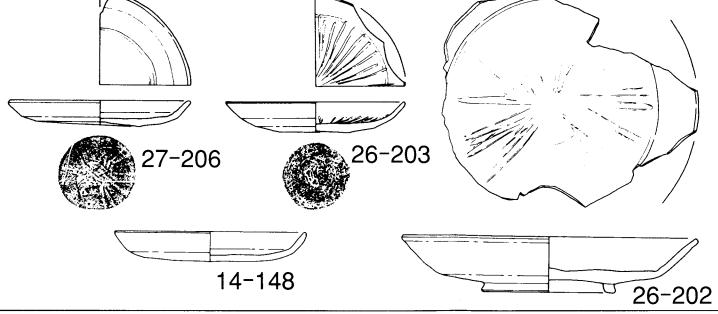
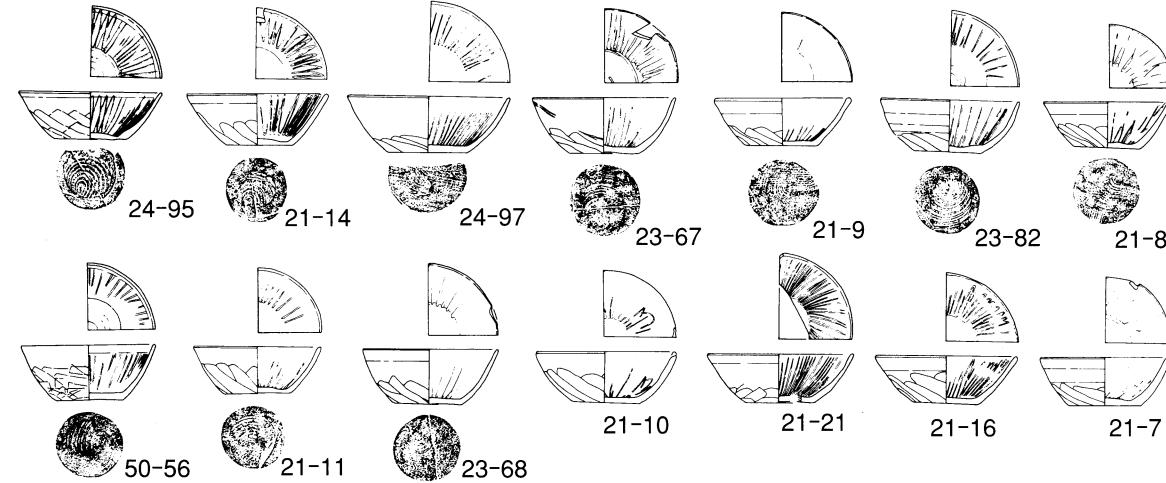
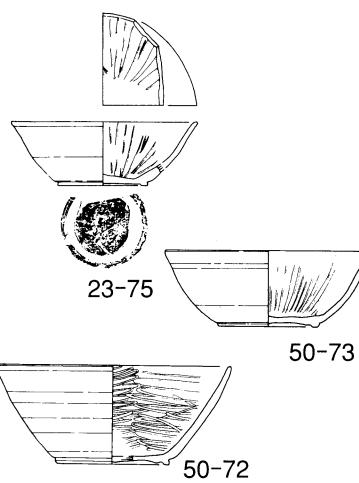
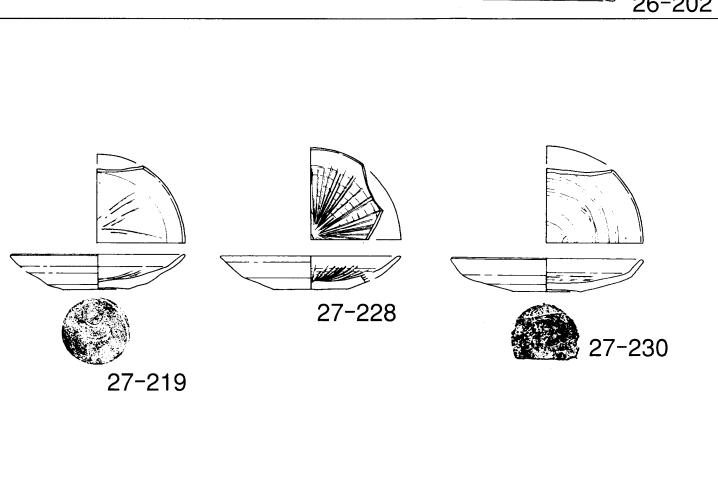
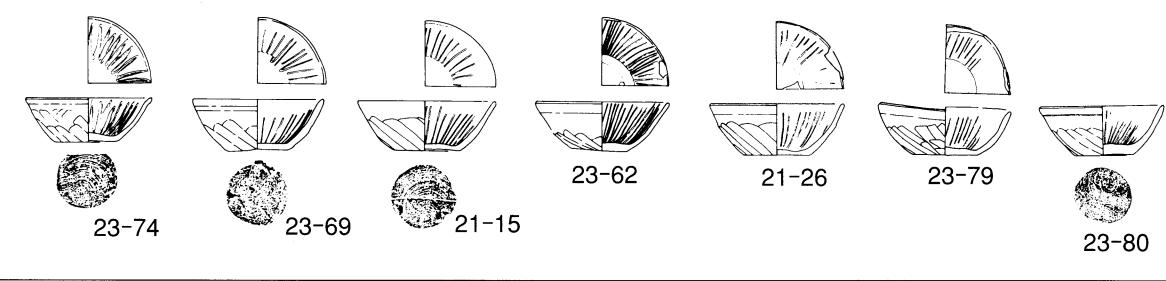
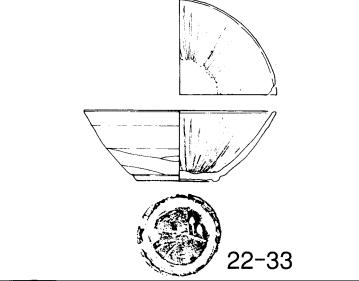
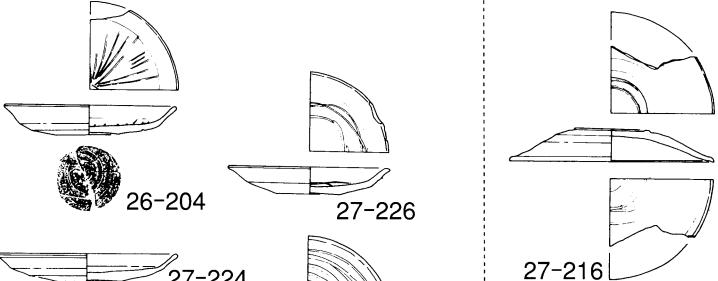
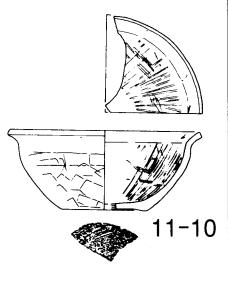
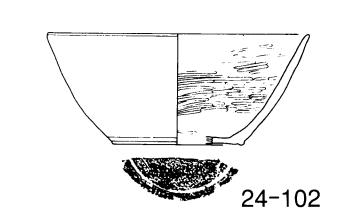
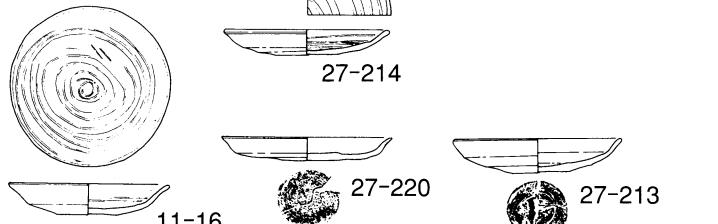
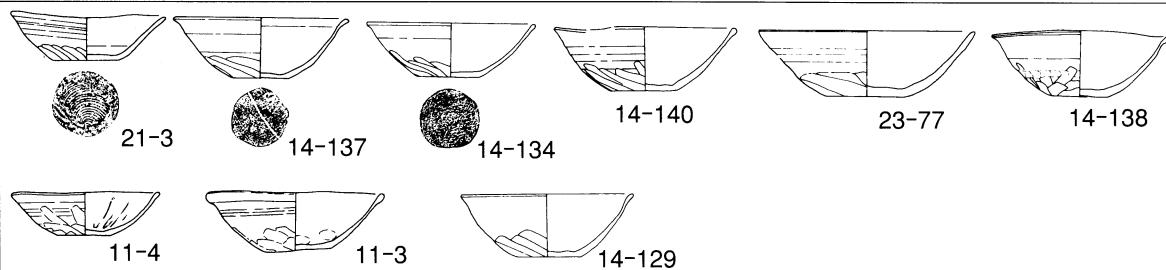
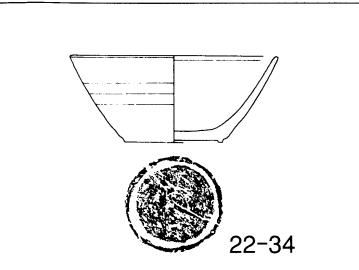
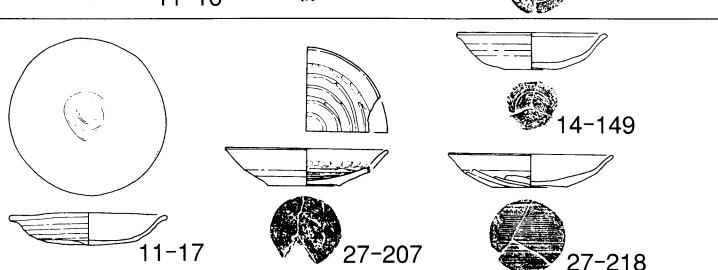
X期の形態的変化としては口縁部の肥厚化が指摘できる。

XI期では暗文の消失が挙げられる。

以上、今回の調査で出土した甲斐型土器の概略をまとめた。とくにVII期の壺がまとまって得られたこと、同時期の大型のものを含む皿が確認できたこと、さらには壺の製作時に意識化されたみこみ部と体部の区分けが皿にも同様に意識されていることが確認できたことなどが成果として挙げられる。

また、編年以外では、溝中からの土馬の発見が大きな成果といえるものである。同時期に調査された白根町百々遺跡では何頭もの馬の頭部が検出され、なかには4頭がまとめられて埋葬された事例（10世紀前半：甲斐型編年X-XII期）なども確認されているが、そこでは中世の八田牧との関連が指摘されている。一方では屠馬による雨乞いなどの風習も指摘されるが、百々遺跡の事例はその一端をしめしたものである可能性もある。雨乞いの場合に、実際に屠馬を行う代わりに土馬を用いたことはよく知られており、今回の土馬もその例と考えることができる。そして今回発見された土馬が2号溝の遺物の出土状況からすればXI期にまで下る可能性は少なく、最も多出する遺物の時期で考えればVIII-X期に位置づけることが妥当なところであろう。また、胎土にも特徴的な赤色粒子が含まれており、胎土からも平安時代と認識できる。土馬の実年代は、やや幅広いが9世紀代としておきたい。これまで県内では5例の土馬が確認されているが、すべて中世以降（あるいはその可能性が高い）で確実に平安時代に位置づけられる資料はない。確実に平安時代に遡るものとしては今回が県内では初めての確認と言える。なお、今回の調査区域に隣接する大坪遺跡では地点を変えて過去何回かの発掘調査が行われているが、1994年に老人福祉施設建設に先立つ事前調査として発掘が行われた際、ヘラ削りのある「獸足状の土製品」が表面採取されており、土馬の可能性もある。仮にそうであるなら近接地域で複数の確認ということにもなり、この地域では普遍的な存在であったことを想定する必要が出てくる。

最後に、生産関連について触れておく。本遺跡東方600mには甲斐国分寺に瓦を供給したとされる上土器遺跡があり、さらにその東方には川田瓦窯跡が知られている。本遺跡や近接の大坪遺跡、また、桜井畠遺跡などで

	坏	高台付坏	皿	鉢
VI				
VII				
VIII				
IX				
X				
XI				

第52図 道々芽木遺跡出土土器編年図（数字は図版・遺物番号を示す）

も、直接生産を示すものではないが、一様に瓦の利用を含む出土がみられる。古墳時代末期以降、この地域が瓦生産の中心地であったことは確実である。そして、それは瓦だけに限定されたことではなく、日常使用される土師器生産についても言えることである。当地域で産出される粘土は、瓦にも土師器にもよほど適していたのであろう。

今回の調査で確認された2号溝の出土状況は明らかに廃棄を示す。本文中でも述べたごとく、第21図13に示した資料などは底部の削りを強く行い過ぎたために焼成段階で底面の一部が剥離した状況を示しており、そのための廃棄であったと考えられる。極めて近接した場所での生産と廃棄が日常的に行われていたことを示すものであろう。今回の調査では明確に生産跡と言い切ることができる遺構は確認されなかったが、その可能性は5号土坑や1号土坑に求めることができる。5号土坑は、焼土を伴い内部から土師器が出土しており、また、遺物は出土しなかったものの1号土坑も焼土を伴っているからである。これらが小規模な土師器焼成遺構である可能性は充分考えられよう。

このような事例は1994年の大坪遺跡の調査（老人福祉施設地点）、あるいは1975年の山梨県遺跡調査団による調査でも確認されているのである。1994年の調査で確認された96号ピットからは、3cm程の焼土層の上面から土師器が集中して出土し、焼土層の下部からの焼土や灰混りの土が確認されており、土師器焼成遺構と報告されている。なお、類似した遺構が他にも確認されている。加えて、工房跡と考えられる竪穴住居跡が確認されており、報告者である平野修は、数軒程度の小規模な工房と焼成窯が近接して存在した姿を想定している。今回の調査で確認された5号土坑や1号土坑の状況は平野の想定から逸脱するものではなく、廃棄場所とも極めて近接した状況さえ浮かんでくる。また、1975年の調査では「レンズ状に窪む焼土ブロック2カ所が並ぶように検出された」と報告されている。以上の例から、地面を掘り窪めただけの簡単な構造の、それも小規模な焼成遺構が想定されてこよう。ただ、2号溝から出土したおびただしい量の土師器は短期間に廃棄されたものではなく、甲斐型編年のⅧ期～XI期までが確認されている。実年代では800年～920年頃と考えられ、時間的連続性や、何と言ってもこれだけ大量に廃棄された状況から、この地域での生産期間中、一様に平野の想定するような数軒程度の規模であったとは、むしろ考えにくい気がする。1975年の調査、さらには1983年の甲府市教育委員会による調査のいずれも大量廃棄された状況が確認されているのであり、本遺跡から大坪遺跡一帯にかけて、このような規模の生産単位が濃密に存在し、かつ、それが連綿と続いたのであろう。ここで生産された甲斐型土器が甲斐国中に流通していることから考えても、全体としての規模は非常に大きかったことが窺われる所以である。

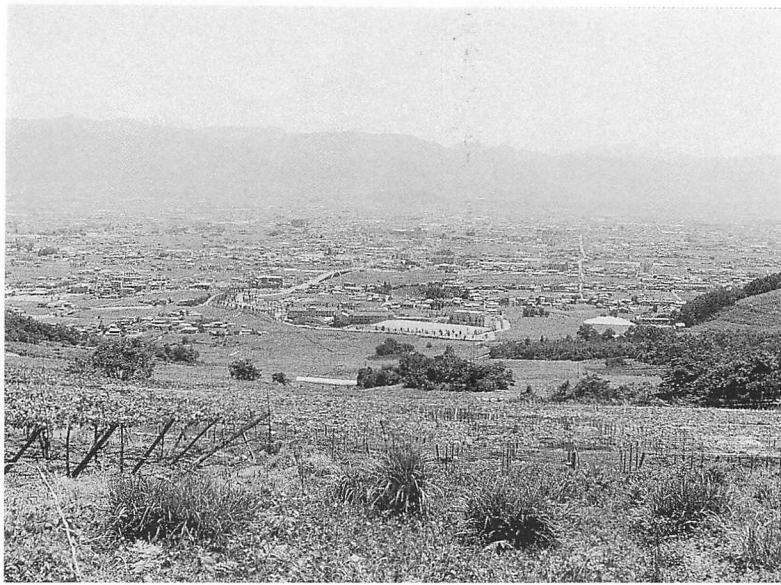
参考文献

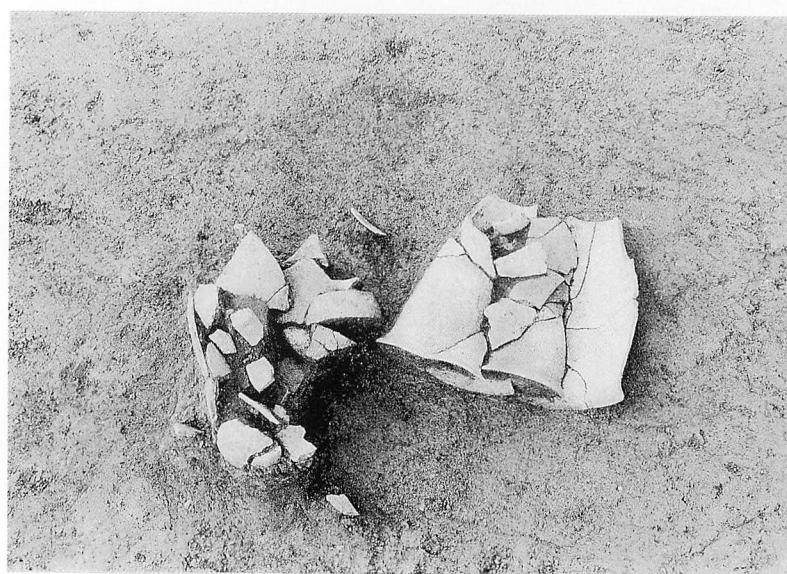
- 末木健・坂本美夫ほか 1976 『大坪』 山梨県遺跡調査会
坂本美夫・末木健・堀内真 1983 「甲斐地域シンポジウム奈良・平安時代の諸問題」『神奈川考古』14号 神奈川県考古学会
信藤祐仁ほか 1984 『大坪遺跡』 甲府市教育委員会
甲府市史編纂委員会 1988 『甲府市史 史料編 第一巻』 甲府市
田代孝・櫛原功一・宮沢公雄 1988 「上土器遺跡発掘調査報告」『甲府市史研究』第6号 甲府市
坂本美夫・中山誠二ほか 1989 山梨県埋蔵文化財センター調査報告第50集『桜井畠遺跡（B地区）』 山梨県教育委員会
坂本美夫・中山誠二ほか 1990 山梨県埋蔵文化財センター調査報告第54集『桜井畠A・C地区』 山梨県教育委員会
清水博・信藤祐仁ほか 1991 『横根・桜井積石塚古墳群調査報告書』 甲府市教育委員会
甲斐型土器研究グループ 1992 『甲斐型土器—その編年と年代—』 山梨県考古学協会
櫛原功一 1993 「金峰山発見の土馬」『帝京大学山梨文化財研究所所報』19号 帝京大学山梨文化財研究所

- 平野修 1996 『大坪遺跡発掘調査報告書』 甲府市遺跡調査会
- 中山誠二 1999 「弥生時代の編年」『山梨県史 資料編 2』 山梨県
- 坂本美夫 1999 「古墳時代の編年」『山梨県史 資料編 2』 山梨県
- 山下孝司・瀬田正明 1999 「奈良・平安時代の編年」『山梨県史 資料編 2』 山梨県

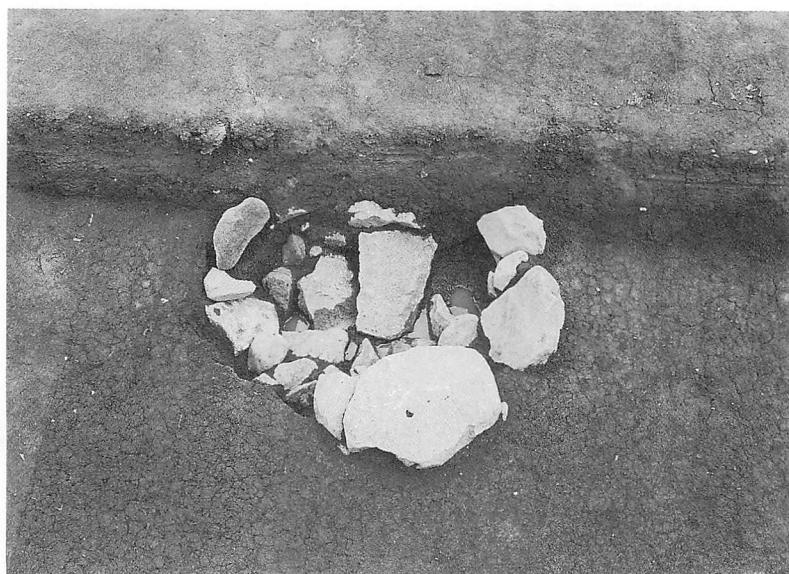
写 真 図 版

図版1 遺跡遠景 調査前風景 住居跡遺物出土状況





図版3 1号井戸跡 2号井戸跡

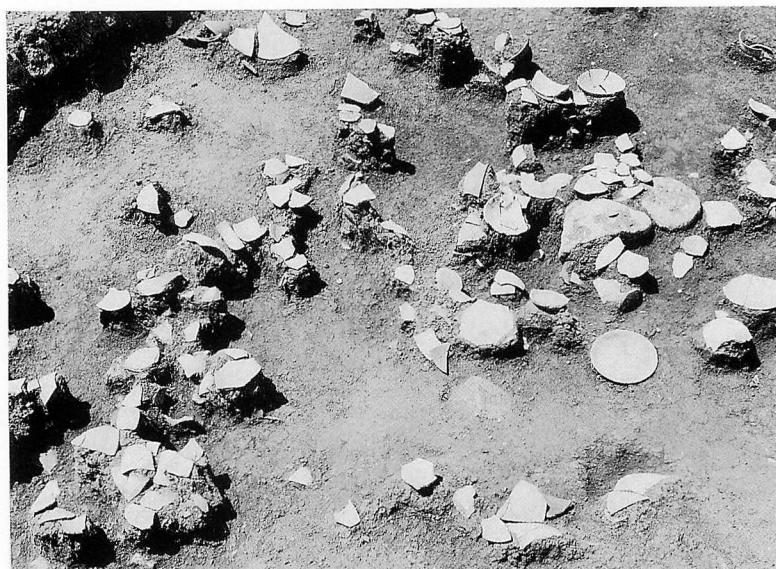


図版4
1号溝



図版5 2号溝遺物出土状況

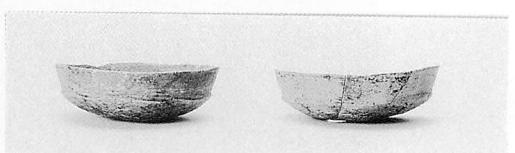
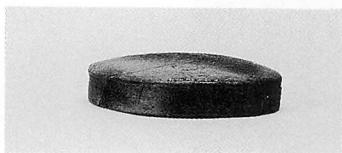




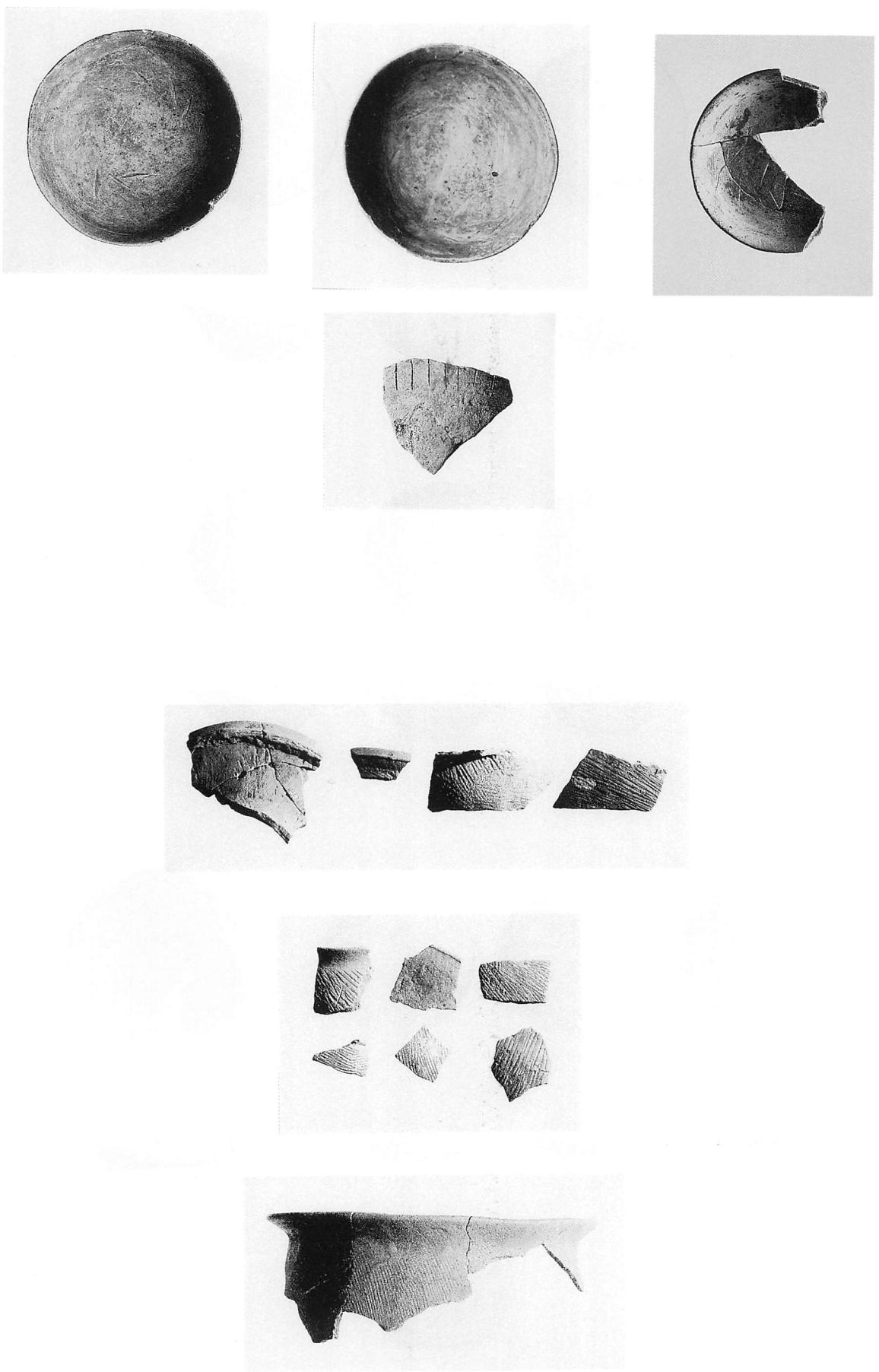


图版 7 2号溝 3号溝遺物出土状况 弥生集中区遺物出土状况

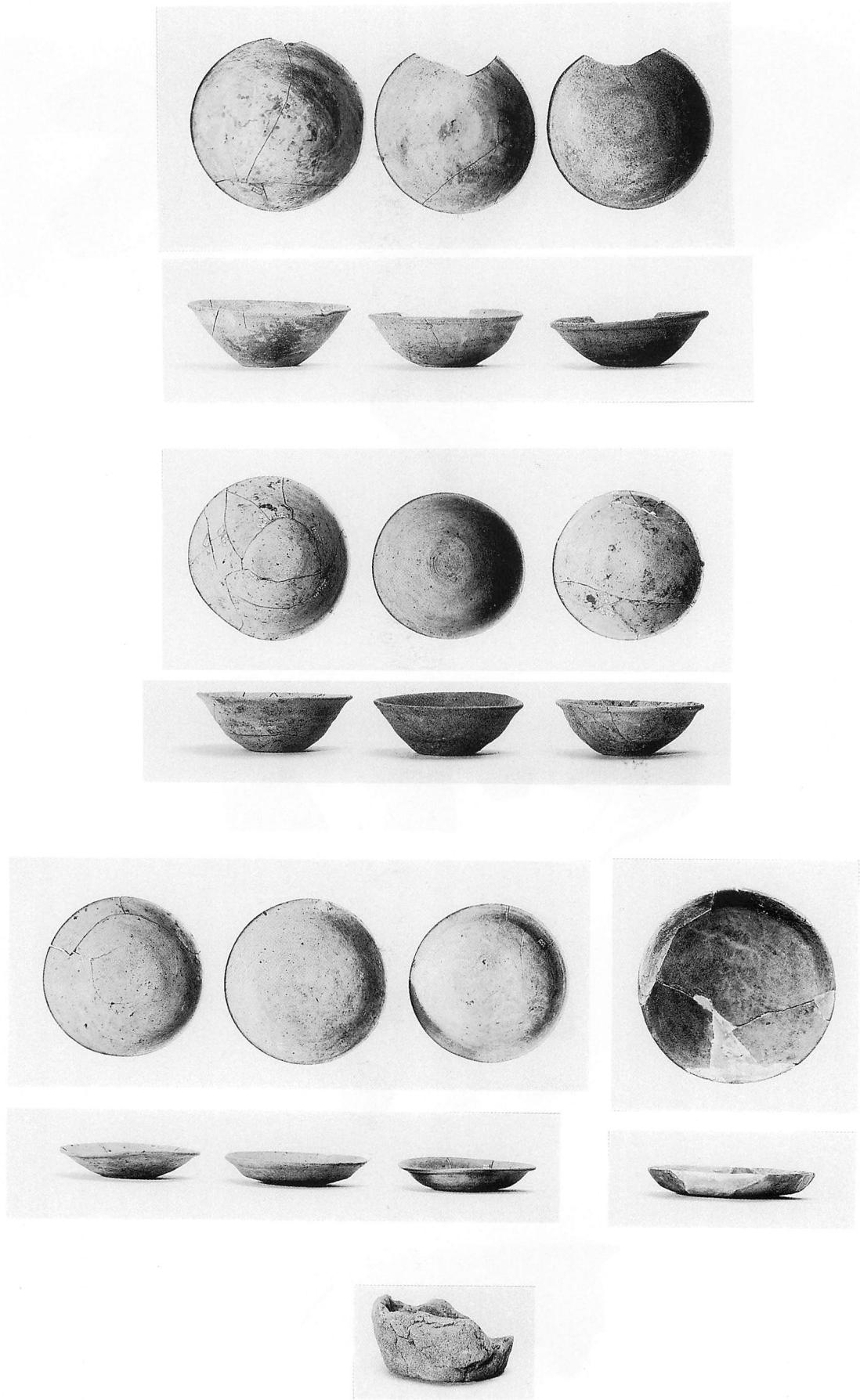
図版8 住居跡出土遺物



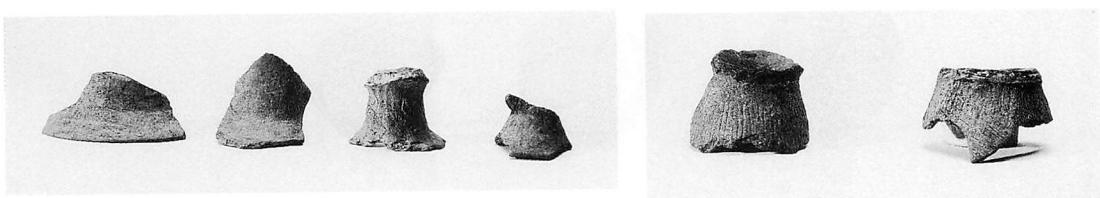
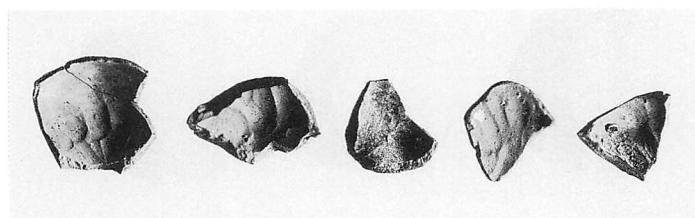
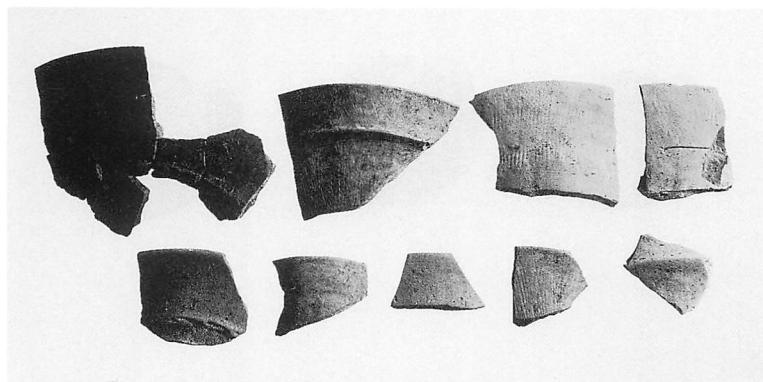
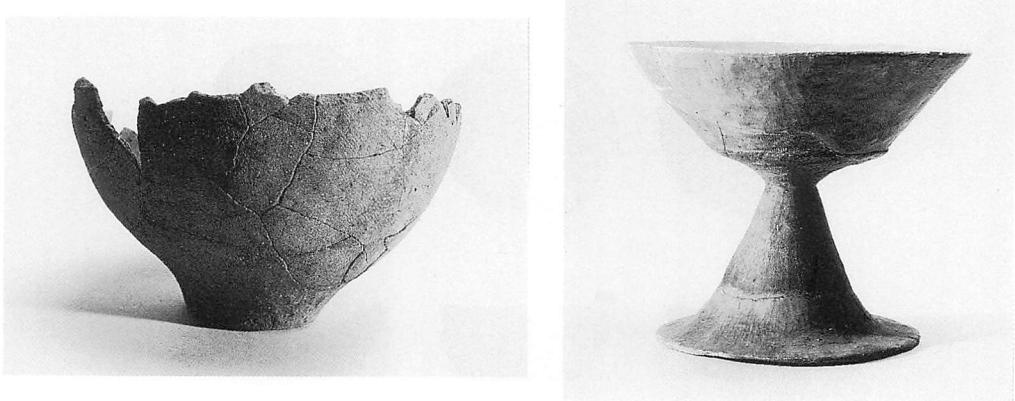
図版9 住居跡出土遺物 3号～5号土坑出土遺物

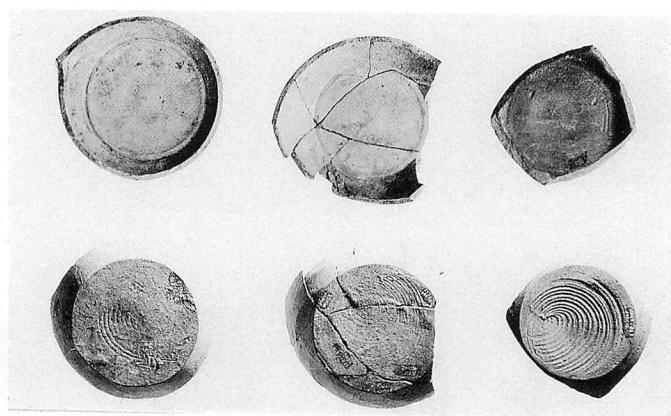
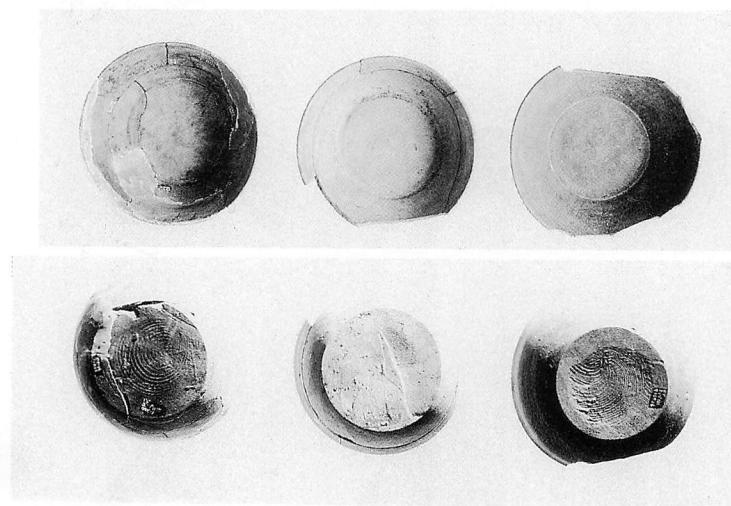
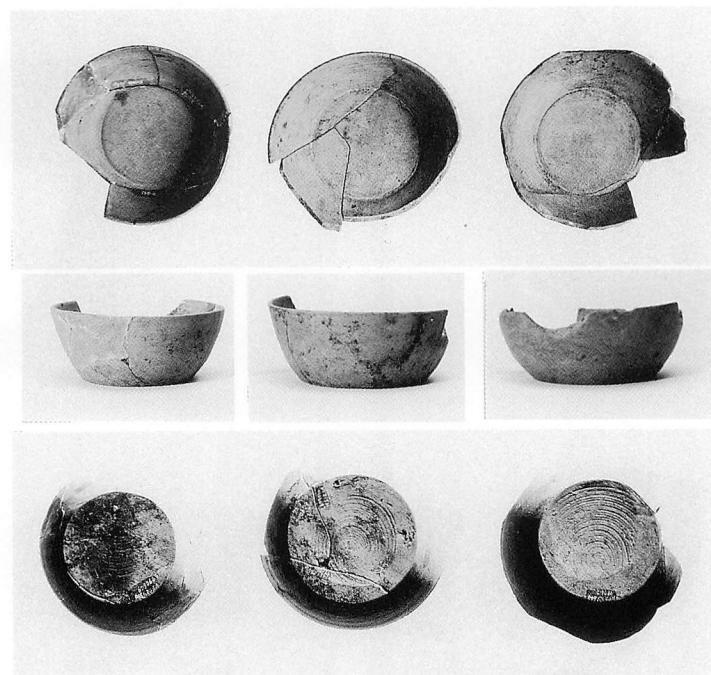


図版 10
2号井戸跡出土遺物

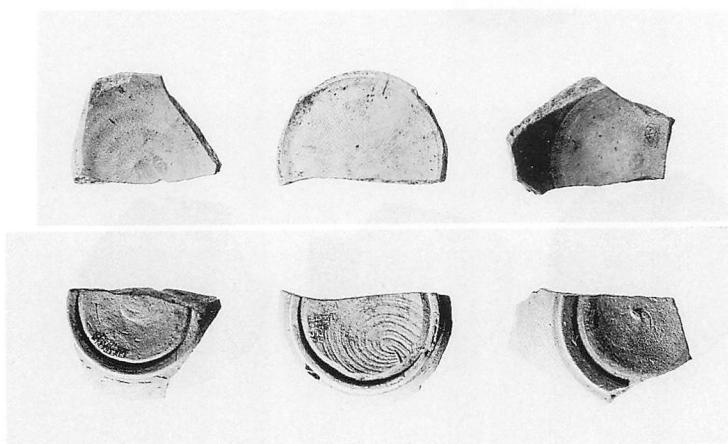
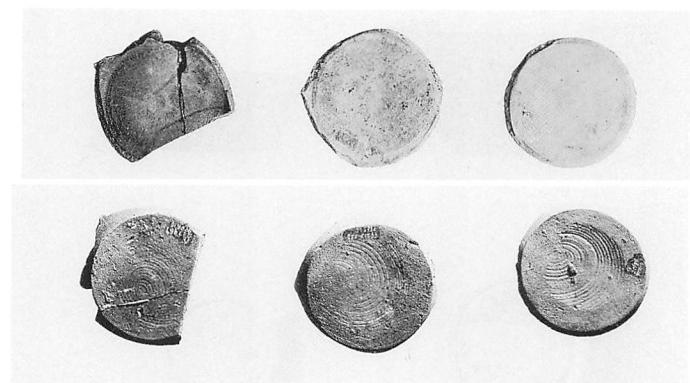


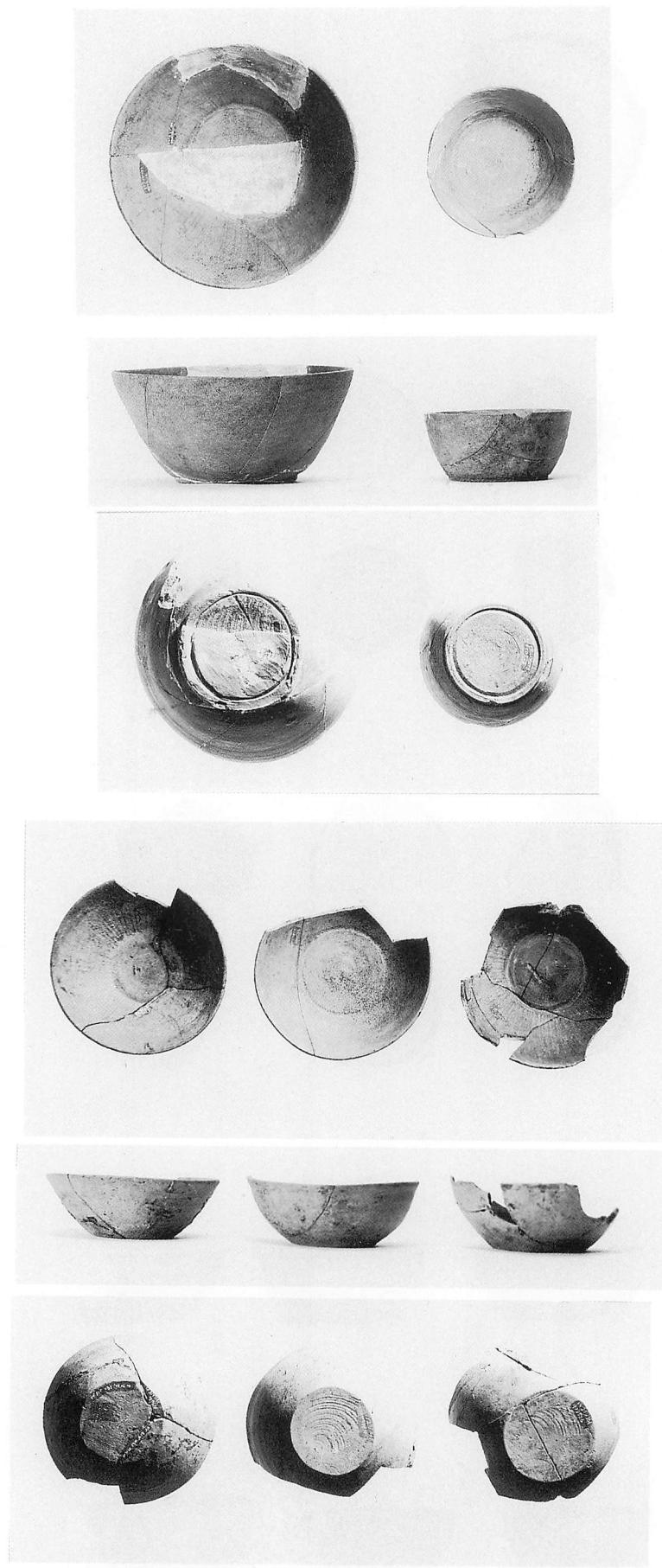
図版 11
1号溝出土遺物



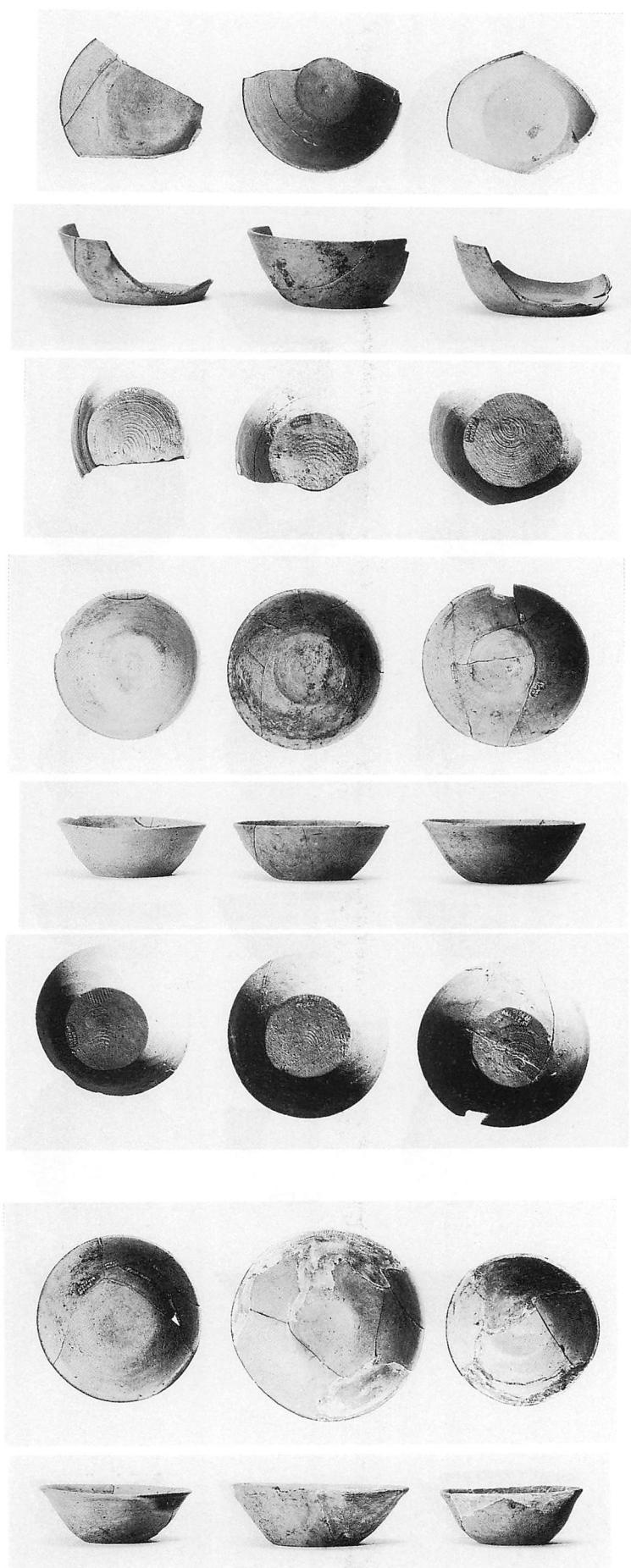


図版 13
2号溝出土遺物

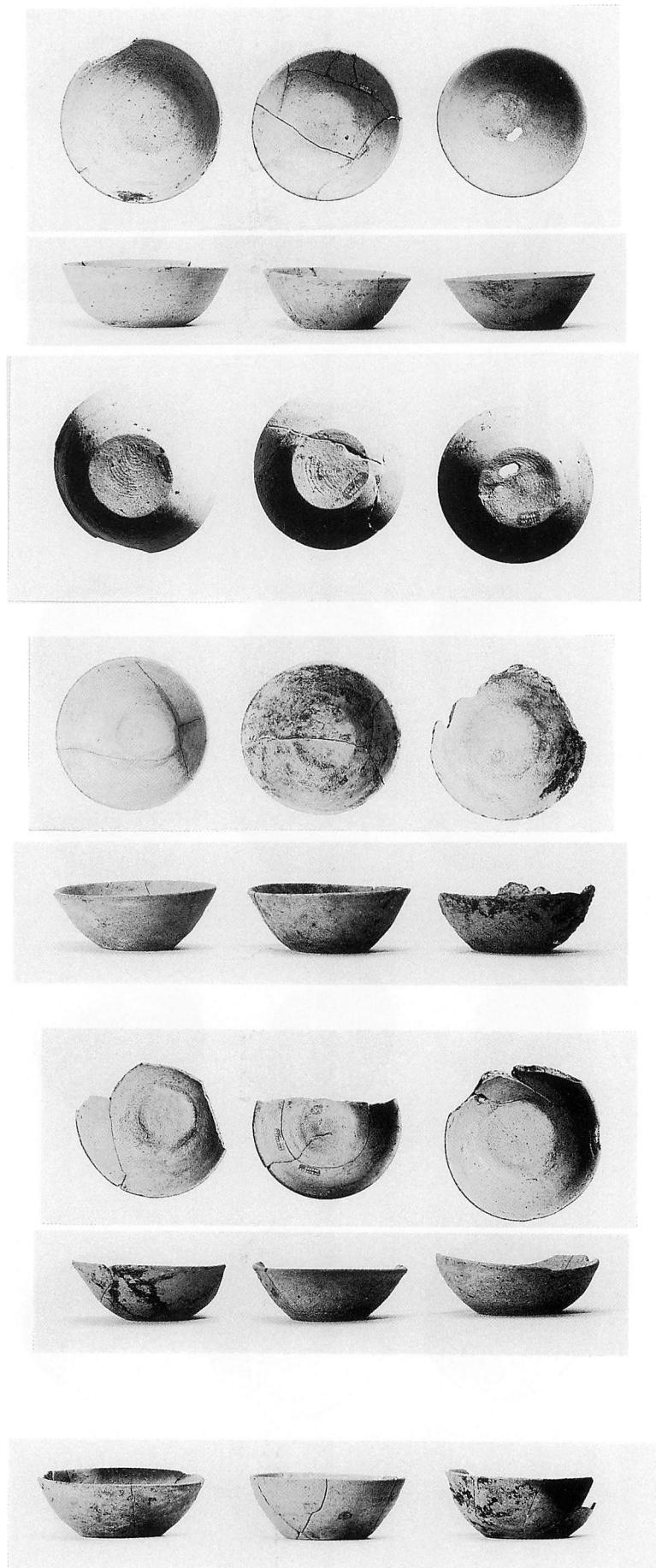




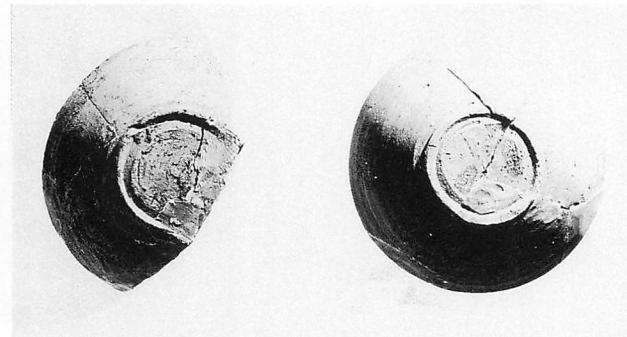
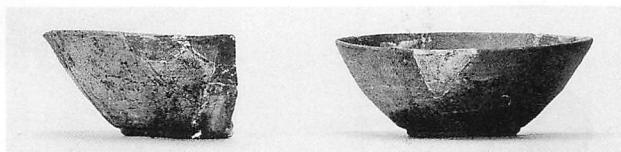
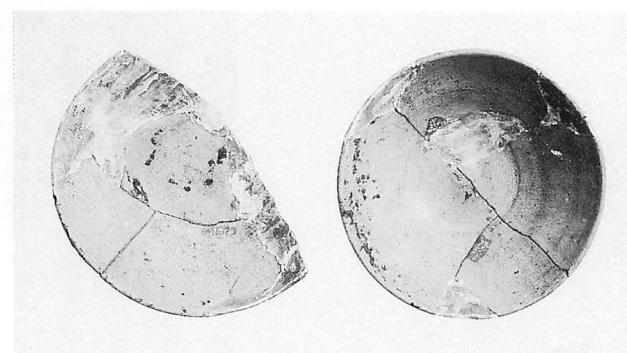
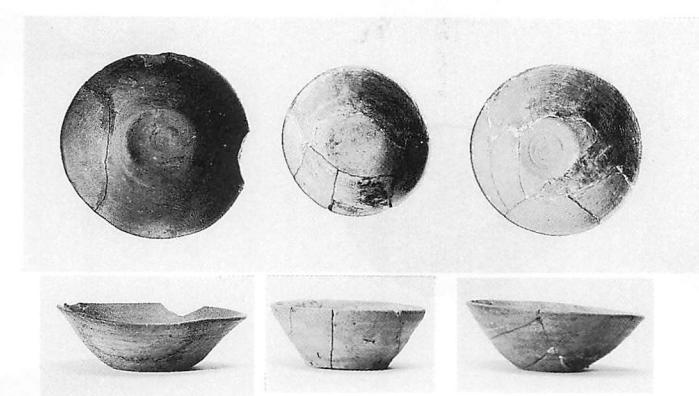
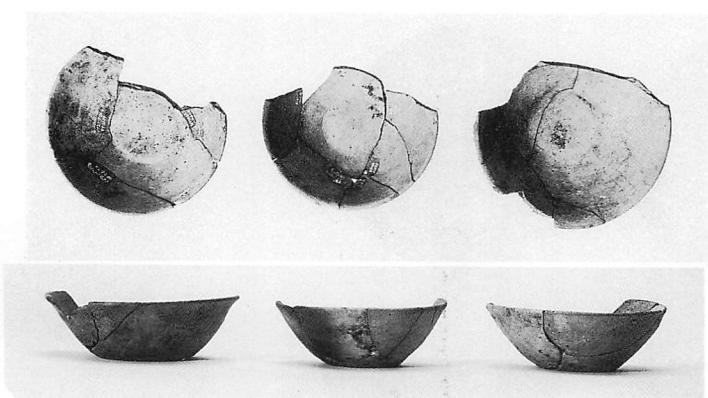
図版 15
2号溝出土遺物

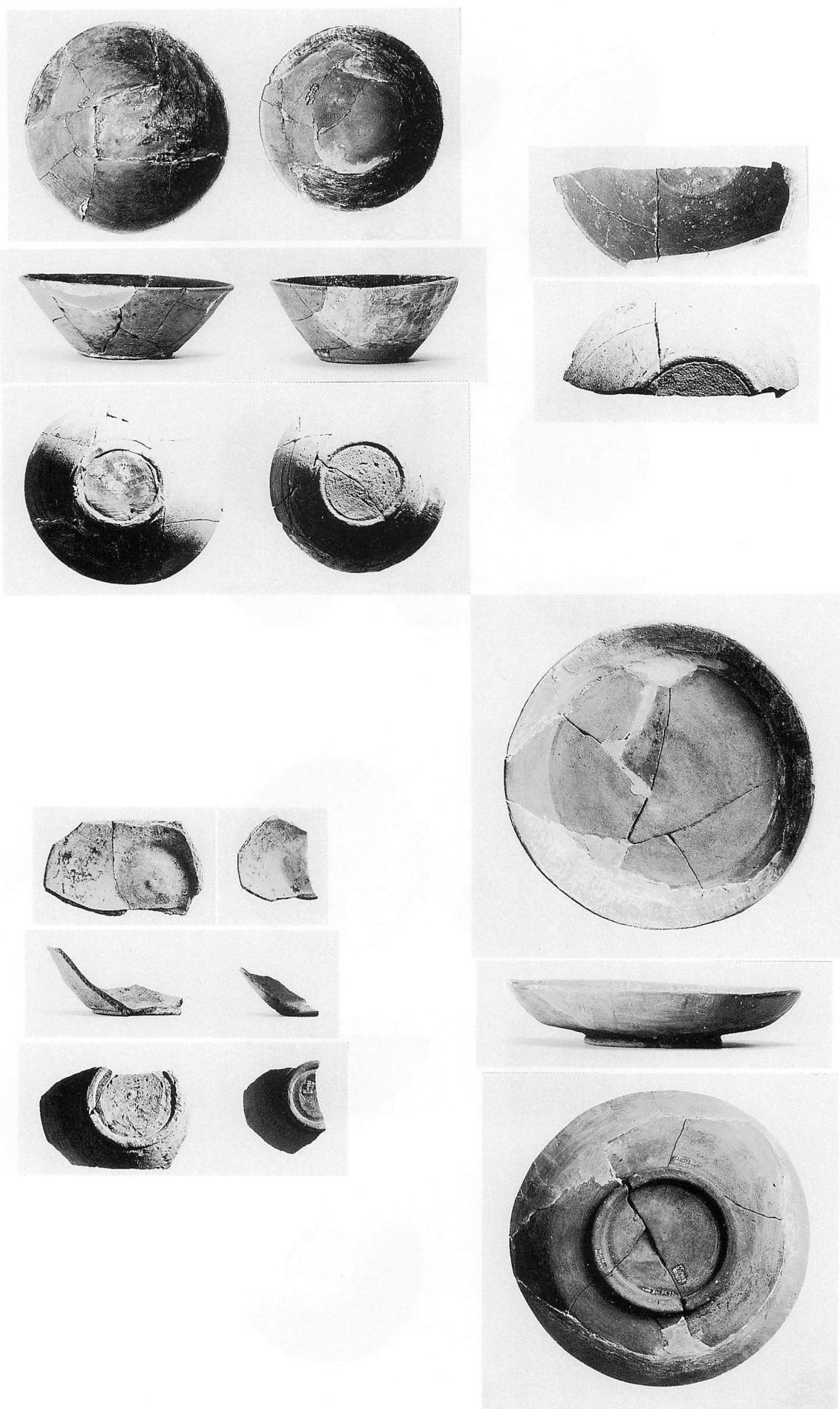


図版16
2号溝出土遺物

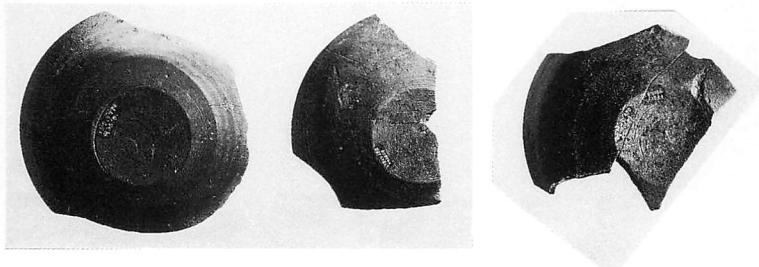
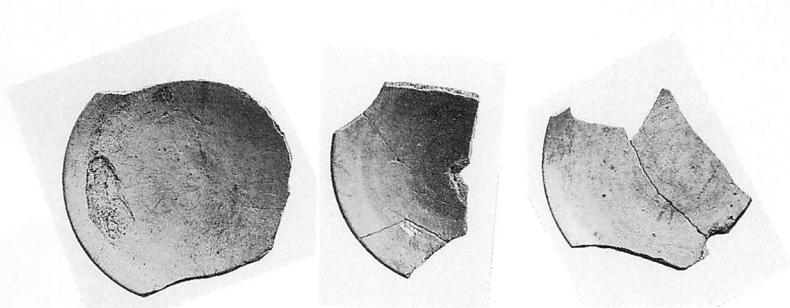
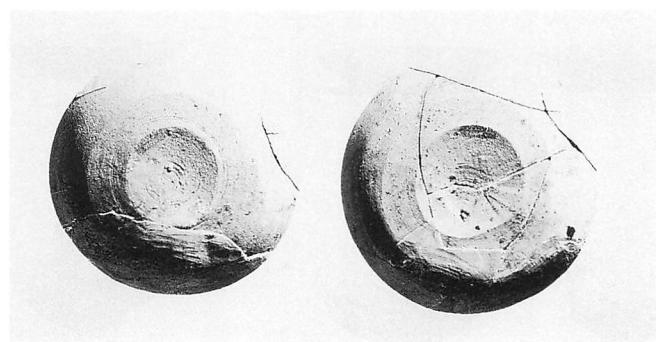
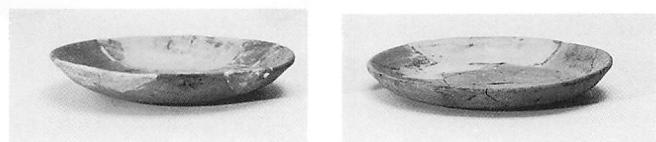
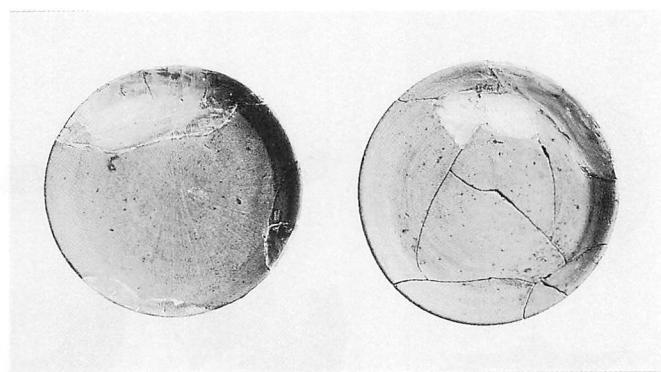


図版17 2号溝出土遺物

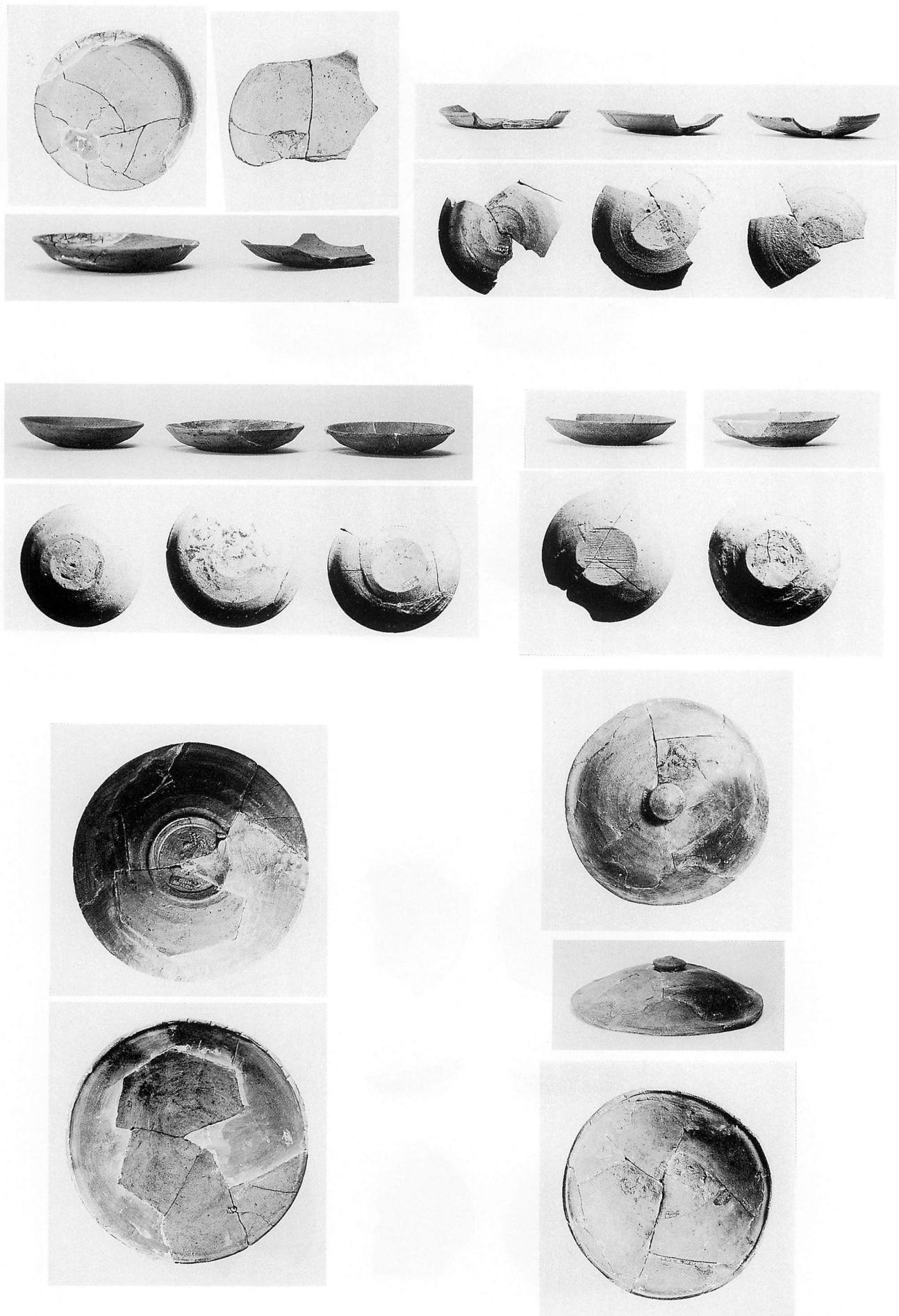


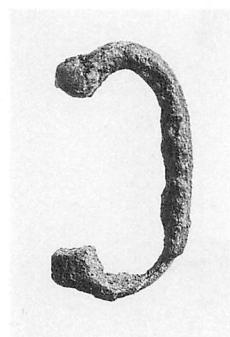
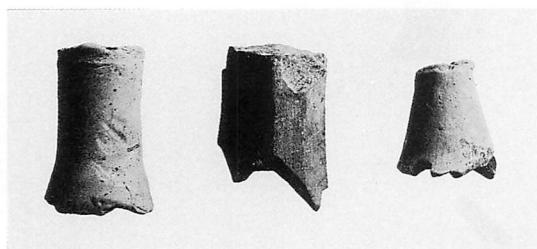


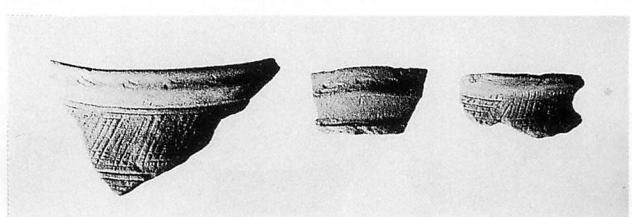
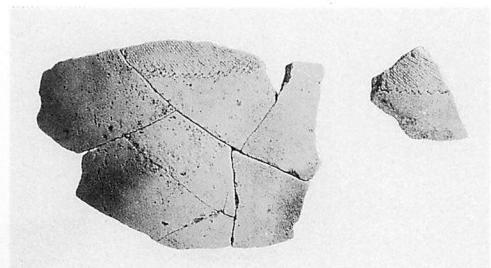
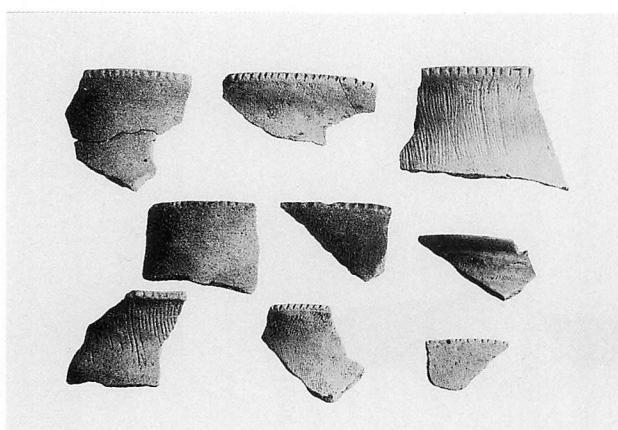
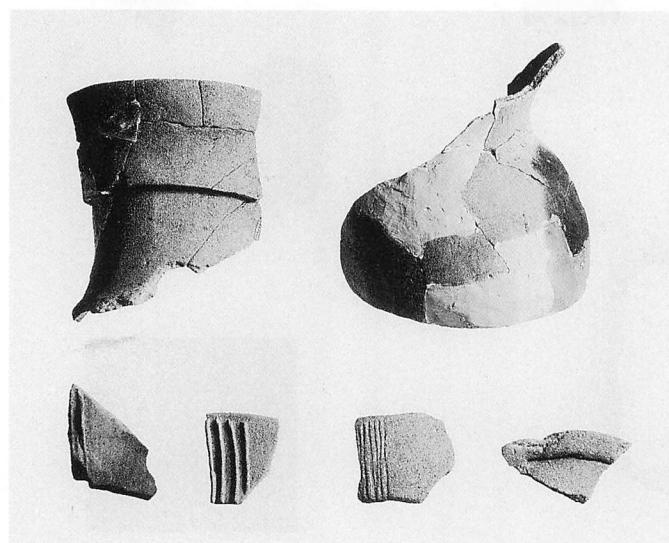
図版 19
2号溝出土遺物



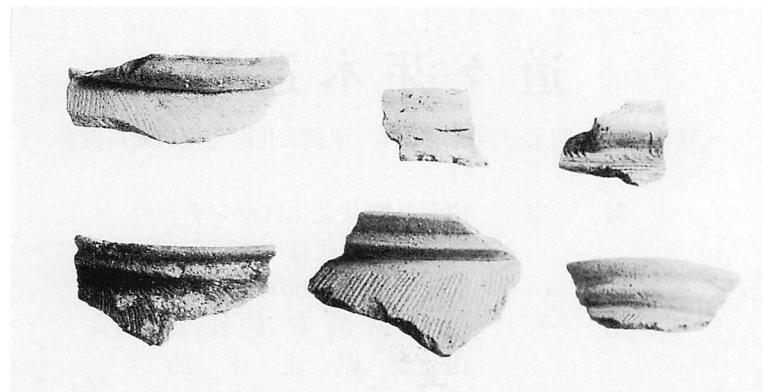
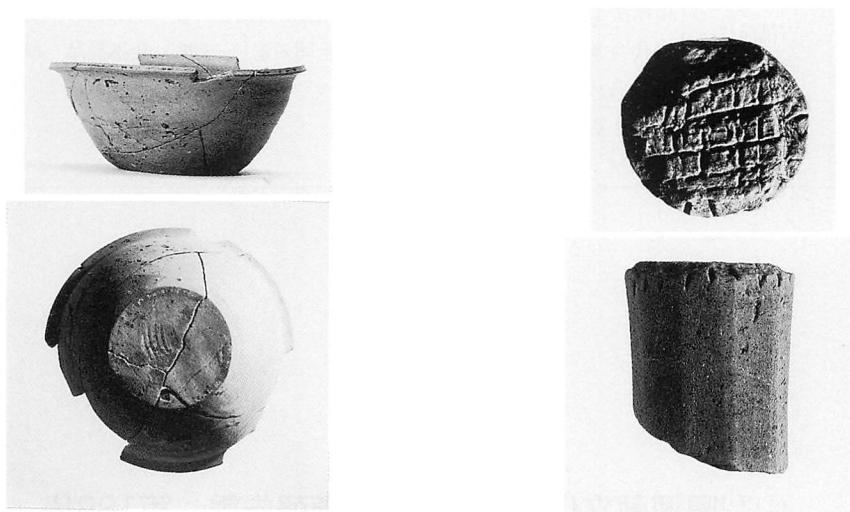
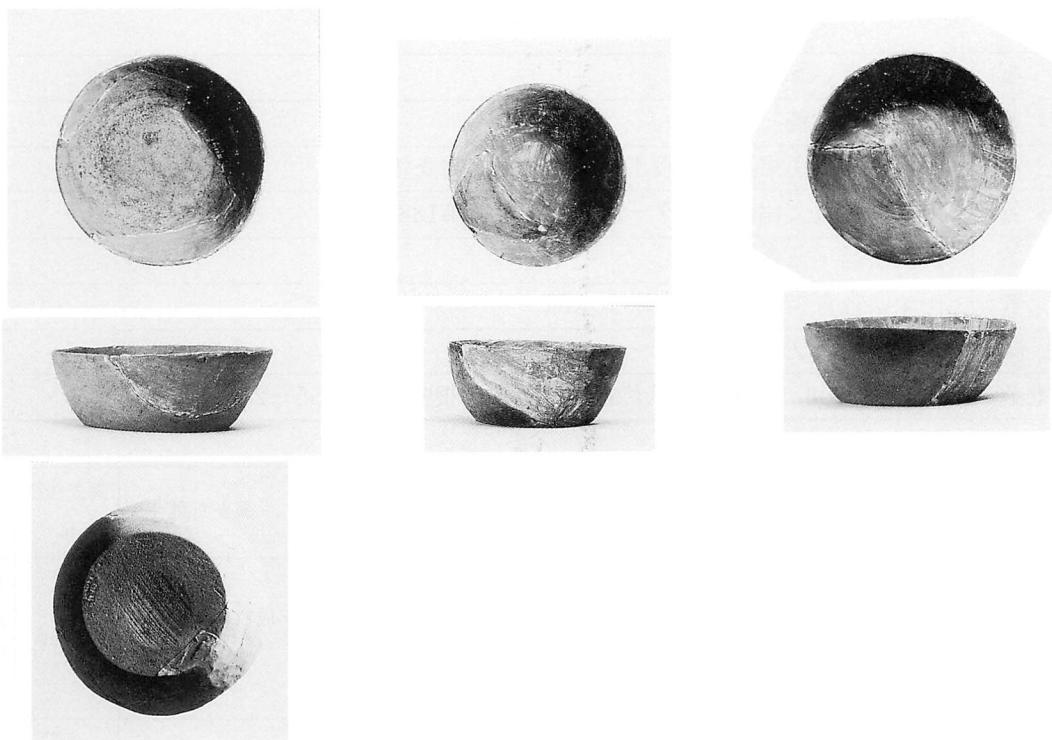
図版20
2号溝出土遺物







図版 23 遺物外出土遺物



報 告 書 抄 錄

ふりがな	どどめぎいせき						
書名	道々芽木遺跡						
副題	新環状・西関東道路建設工事に伴う発掘調査報告書						
シリーズ名	山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第188集						
著者名	長沢宏昌・三森鉄治						
発行者	山梨県教育委員会・山梨県土木部						
編集機関	山梨県埋蔵文化財センター						
所在地・電話	〒400-1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923 TEL055-266-3016						
発行日	西暦 2001年3月31日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コード 市町村	北緯 。' "	東経 。' "	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
どどめぎいせき 道々芽木遺跡	やまなしけんこうふし よこねちょう 山梨県甲府市横根町 875番地外	19201	35° 39' 10"	138° 37' 00"	平成11年4月27日 ~ 6月28日	800m ²	新環状・西関東 道路建設工事に 伴う埋蔵文化財 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項	
道々芽木遺跡	散布地	弥生時代後期 ・古墳時代 ・奈良時代 ・平安時代	古墳時代後期住居 跡1軒、古墳時代 中期溝1条、古墳 時代後期溝1条、 平安時代溝1条、 井戸2基、土坑4 基など	土器（弥生土器、古墳時代土師器・須恵器、平安 時代土師器、中世陶磁器）、土馬、金属製品（縁 金）			

山梨県埋蔵文化財センター調査報告書 第188集

2001年3月20日 印刷

2001年3月31日 発行

道々芽木遺跡

—新環状・西関東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—

編集 山梨県埋蔵文化財センター
 山梨県東八代郡中道町下曾根923
 TEL 055-266-3016
 発行 山梨県教育委員会
 山梨県土木部
 印刷 株式会社少国民社

